

えびの市埋蔵文化財調査報告書 第61集

柁野第1遺跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書



えびの市埋蔵文化財調査報告書
第61集

柁野第1遺跡

2022

宮崎県えびの市教育委員会

2022

宮崎県えびの市教育委員会

えびの市埋蔵文化財調査報告書 第61集

ふきの 柵野 第1遺跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書

2022

宮崎県えびの市教育委員会

序

えびの市は、宮崎県の南西部に位置し、日向・肥後・薩摩・大隅の分岐点にあたることから、古くから交通や物流の要所として栄え、必然的に様々な文化や文物が混合した独特の地域であります。

北の九州山地と南の霧島山系に挟まれた狭長な盆地は河岸段丘が発達し、豊富な降雨や湧水、肥沃な氾濫原の存在により、段丘面の殆どが周知の遺跡となっております。

本市の中央南、川内川の支流である長江川と池島川・白鳥川に挟まれた丘陵の白鳥地区の畑地灌漑事業も終盤を迎えております。その全面は周知の遺跡であり、数年前からの県文化財課による試掘調査の結果、古墳時代の堅穴住居等が検出されております。

本書は、平成30年度から令和元年度にかけて実施した、終野第1遺跡の発掘調査報告書であります。近現代の畑作に伴う攪乱などもありましたが、弥生～古墳時代の堅穴建物50棟や土坑などを検出しております。県内最古級の、古墳時代前期末の鍛冶炉が検出されており、1km北東の小木原地下式横穴墓群の中の初期の墳墓群を営んだ豪族の居住地であることがわかりました。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯学習や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

本遺跡の調査にあたり、ご指導・ご協力いただいた県文化財課諸氏、県埋蔵文化財センター諸氏、調査に対してご理解・ご協力いただいた西諸県農林振興局ならびに地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事していただいた作業員の方々に対しまして厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

えびの市教育委員会

教育長 永山新一

例 言

1. 本書は、平成30年度～令和元年度に実施した、県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う柗野第1遺跡発掘調査報告書である。
2. 調査は、えびの市教育委員会が主体となり、I区を平成30年10月18日から平成31年2月13日まで、II～III区を令和元年7月22日から令和2年3月25日まで実施した。
3. 令和2年3月下旬、調査の遅れを改善するため、宮崎県埋蔵文化センターの東憲章氏と今塩屋毅行氏・吉行真人氏および宮崎県教育庁文化財課の高橋浩子氏のご支援・ご協力を得ることができました。記して感謝・御礼申し上げます。
4. SA19～23・25～37の遺構実測図は、(株)大脳測量によるトータルステーション図化の成果品を使用している。
5. 鍛冶関係の鉛滓と鉄粉および石材不詳の小玉の分析については、(株)古環境研究所に委託して結果を第4章に掲載した。
6. 遺跡の航空写真は(有)スカイサーベイに、航空測量は九州航空株式会社に委託した。
7. 遺構および遺物の写真撮影は中野が担当した。
8. 出土遺物の実測は、石器を主に上原・米倉・前田が実測して中野が加筆・修正し、土器の殆どの外形・断面を中野が実測し、徳澄・濱田・前田が内外面の調整を描き、中野が加筆・修正した。鉄器は徳澄が実測し、中野が加筆修正した。
9. SA01～34出土土器と石器全点・鉄器全点の実測図のデジタルトレースは(有)ジバング・サーベイに委託した。その他のトレースは、徳澄・濱田・前田が行った。
10. 出土遺物観察表は、徳澄・濱田・前田が作成した。
11. 本書の執筆および編集は、中野が担当した。
12. 炭化種実のウメモモ判定については、鹿児島大学総合研究博物館の橋本達也教授を通じて田金秀一郎特任助教に鑑定していただき、ご教示いただいたので、ここに記し感謝申し上げます。

凡 例

1. 本書掲載の遺構は、SA: 堅穴建物、SK: 土坑・土壇墓、SD: 溝状遺構、SR: 道路遺構、ST: 地下式土壇墓、SZ: 不詳遺構として略している。
2. 遺構番号は通し番号であり、I区のSAは01から08まで、SKは01から71までである。
3. 写真図版の個別遺構中のピンボールの長さは、全て1mである。

調 査 組 織

調査主体	えびの市教育委員会	教育長	萩原和範	(令和元年7月まで)
			永山新一	(令和元年8月から)
		社会教育課長	領家修司	(令和2年度まで)
			齋藤和明	(令和3年度)
		補佐兼文化係長	山下誠介	(令和元年度まで)
			齋藤和明	(令和2年度)
			高佐伸也	(令和3年度)
		文化係長	田中美千代	(令和元年度)
		主任主査	小島英子	
			中野和浩	(令和元年度まで)
		主任技師	中野和浩	(令和2年度から)
			技師 税田脩介	(令和2年度から事務・連絡調整)

発掘作業員

平成30年度	赤瀬川康、井手平綾子、大林清三、甲斐るり子、上牟田忠正、川田テル子、川原安行、木村哲治、楠元良亮、源島みどり、白坂有莉子、瀧山志保子、常増則幸、鶴園妙子、西村春雄、久松信博、山下トシ、山路津男、真方幸雄、丸野咲子、森愛
令和元年度	今東薫、大橋賢一、岡田道昭、上牟田忠正、川田テル子、川原安行、木村哲治、栗坂利次、古賀幸一、西道覚三、白坂有莉子、關田克己、瀧山志保子、常増則幸、西村春雄、久松信博、山下エミ、山下トシ、山下裕子、山路律男

整理作業員

平成30年度	二反田あゆみ、米倉千春
令和元年度	上原千佳、米倉千春
令和2年度	徳澄みどり、前田昭子、米倉千春
令和3年度	徳澄みどり、濱田彩子、前田昭子

本文目次

第1章	はじめに	1
第2章	遺跡の位置と歴史的景観	2
第3章	発掘調査	
1.	I区の調査	4
2.	II～III区	28
第4章	冬野第1遺跡出土品の自然科学分析報告(株式会社古環境研究所)	163
第5章	まとめ	171

挿図目次

第1図	遺跡の位置と周辺の遺跡分布図	1
第2図	調査区の位置と小木原地下式横穴墓群	2
第3図	I区遺構分布図	5
第4図	SA-01 遺構実測図	6
第5図	SA-02 遺構実測図	7
第6図	SA-03 遺構実測図	8
第7図	SA-04 遺構実測図	9
第8図	SA-05 遺構実測図	10
第9図	SA-06 遺構実測図	11
第10図	SA-07 遺構実測図	11
第11図	SA-08 遺構実測図	12
第12図	ST-01 遺構実測図	12
第13図	SK-32・33・42・45・52～55・63、SD-01 遺構実測図	13
第14図	SA-01 出土土器、SA-02 出土土器実測図(1)	15
第15図	SA-02 出土土器(2)、SA-03 出土土器実測図(1)	16
第16図	SA-03 出土土器(2)、SA-04 出土土器実測図(1)	17
第17図	SA-04 出土土器実測図(2)	18
第18図	SA-04 出土土器(3)、SA-05 出土土器実測図	19
第19図	SA-06～08、I区IV a層ほか出土土器実測図	20
第20図	I区SK-55・63、IV a層ほか出土土器実測図	21
第21図	SA-01・02 出土土器実測図	22
第22図	SA-03 出土土器実測図(1)	23
第23図	SA-03 出土土器(2)、SA-04・05・06・07 出土土器実測図(1)	24
第24図	SA-07 出土土器(2)、SA-08、II層・IV a層出土土器実測図(1)	25
第25図	SK-50・71、IV a層出土土器実測図(2)	26
第26図	SK-36、IV a層出土土器実測図(3)	27
第27図	II～III区遺構分布図	29
第28図	SA-09・10 遺構実測図	30
第29図	SA-11 遺構実測図	31
第30図	SA-12 遺構実測図	32
第31図	SA-13 遺構実測図	33
第32図	SA-14 遺構実測図	34
第33図	SA-15 遺構実測図	35
第34図	SA-16 遺構実測図	35
第35図	SA-17 遺構実測図	36
第36図	SA-17 土坑実測図	36
第37図	SA-18 遺構実測図	37
第38図	SA-19 遺構実測図	37
第39図	SA-20 遺構実測図	38
第40図	SA-21 遺構実測図	39
第41図	SA-22 遺構実測図	40
第42図	SA-23 遺構実測図	41
第43図	SA-24 遺構実測図	42

第44图	SA-25 遺構実測図	43	第84图	SA-30 出土土器実測図(5)	85
第45图	SA-26 遺構実測図	44	第85图	SA-30 出土土器実測図(6)	86
第46图	SA-27 遺構実測図	44	第86图	SA-30 出土土器(7)、SA-30~31、SA-31 出土土器実測図(1)	87
第47图	SA-28、29 遺構実測図	45	第87图	SA-31 出土土器(2)、SA-32 出土土器実測図(1)	88
第48图	SA-30 遺構実測図	47・48	第88图	SA-32 出土土器実測図(2)	89
第49图	SA-30南東部遺物出土状態	47・48	第89图	SA-32 出土土器(3)、SA-33、34 出土土器実測図(1)	90
第50图	SA-31 遺構実測図	49	第90图	SA-34 出土土器実測図(2)	91
第51图	SA-32 遺構実測図	50	第91图	SA-34 出土土器実測図(3)	92
第52图	SA-33 遺構実測図	51	第92图	SA-35 出土土器実測図(1)	93
第53图	SA-34 遺構実測図	52	第93图	SA-35 出土土器実測図(2)	94
第54图	SA-35、46 遺構実測図	53・54	第94图	SA-35A、SA-35C 出土土器実測図(1)	95
第55图	SA-36 遺構実測図	55・56	第95图	SA-35C 出土土器(2)、SA-36 出土土器実測図(1)	96
第56图	SA-37 遺構実測図	57	第96图	SA-36 出土土器実測図(2)	97
第57图	SA-38、39 遺構実測図	58	第97图	SA-37 出土土器実測図(1)	98
第58图	SA-40 遺構実測図	59	第98图	SA-37 出土土器実測図(2)、SA-38、39、40 出土土器実測図(1)	99
第59图	SA-41 遺構実測図	60	第99图	SA-40 出土土器実測図(2)	100
第60图	SA-42 遺構実測図	60	第100图	SA-40 出土土器実測図(3)	101
第61图	SA-43 遺構実測図	61	第101图	SA-41 出土土器実測図(1)	102
第62图	SA-44 遺構実測図	61	第102图	SA-41 出土土器(2)、SA-42、43、44 出土土器実測図(1)	103
第63图	SA-47 遺構実測図	63・64	第103图	SA-44 出土土器(2)、SA-43-44間の須恵器、SA-46、47 出土土器実測図(1)	104
第64图	SA-48 遺構実測図	65	第104图	SA-47 出土土器実測図(2)	105
第65图	SA-49 遺構実測図	66	第105图	SA-47 出土土器実測図(3)、SA-47内SK-2 出土土器実測図	106
第66图	SA-50 遺構実測図	67	第106图	SA-48 出土土器実測図(1)	107
第67图	SK-95 遺構実測図	67	第107图	SA-48 出土土器実測図(2)	108
第68图	SA-09、10、11、12、13 出土土器実測図(1)	69	第108图	SA-48 出土土器実測図(3)	109
第69图	SA-13 出土土器(2)、SA-14、15 出土土器実測図	70	第109图	SA-48 出土土器実測図(4)	110
第70图	SA-16、17、18 出土土器実測図(1)	71	第110图	SA-48 出土土器実測図(5)	111
第71图	SA-18 出土土器(2)、SA-19、20(1) 出土土器実測図	72	第111图	SA-48 出土土器実測図(6)	112
第72图	SA-20 出土土器(2)、SA-21、22 出土土器実測図(1)	73	第112图	SA-49 出土土器実測図(1)	113
第73图	SA-22 出土土器実測図(2)	74	第113图	SA-49 出土土器(2)、SA-50 出土土器実測図(1)	114
第74图	SA-22 出土土器(3)、SA-23、24 出土土器実測図(1)	75	第114图	SA-50 出土土器(2)、SK-102、103他、SZ-02、II~III層、攪乱出土土器実測図	115
第75图	SA-24 出土土器実測図(2)	76	第115图	SK-140、141他出土土器・土製品実測図	116
第76图	SA-25 出土土器実測図	77	第116图	II~III区出土土器実測図(1)	117
第77图	SA-26、27、28 出土土器実測図(1)	78	第117图	II~III区出土土器実測図(2)	118
第78图	SA-28 出土土器実測図(2)	79			
第79图	SA-28 出土土器(3)、SA-29 出土土器実測図	80			
第80图	SA-30 出土土器実測図(1)	81			
第81图	SA-30 出土土器実測図(2)	82			
第82图	SA-30 出土土器実測図(3)	83			
第83图	SA-30 出土土器実測図(4)	84			

第118図	SA-33 内サブトレV層出土縄文土器実測図	118	第132図	SA-34 出土石器実測図 (3)、SA-35、35A・C (1) 出土石器実測図	130
第119図	SA-17 内SK出土 炭化木器実測図	118	第133図	SA-35 C 出土石器実測図 (2)	131
第120図	ガラス小玉、白玉、管玉実測図	118	第134図	SA-35 C 出土石器 (3)、SA-36 出土石器実測図	132
第121図	SA-09、10、11、13、14 出土石器実測図	119	第135図	SA-37 出土石器実測図	133
第122図	SA-18、20 出土石器実測図	120	第136図	SA-36 ~ 37、SA-38・40 出土石器実測図 (1)	134
第123図	SA-21、22、23、24 出土石器実測図 (1)	121	第137図	SA-40 出土石器実測図 (2)	135
第124図	SA-24 出土石器 (2)、SA-25 出土石器実測図 (1)	122	第138図	SA-40 出土石器 (3)、SA-41・42・43 (1) 出土石器実測図	136
第125図	SA-25 出土石器 (2)、SA-27 出土石器実測図 (1)	123	第139図	SA-43 (2)、44、46、47 出土石器実測図 (1)	137
第126図	SA-27 出土石器 (2)、SA-28・30 出土石器実測図 (1)	124	第140図	SA-47 出土石器 (2)、SA-48 出土石器実測図	138
第127図	SA-30 出土石器実測図 (2)	125	第141図	SA-49 出土石器実測図	139
第128図	SA-30 出土石器実測図 (3)	126	第142図	II ~ IV a・V 層出土石器実測図	140
第129図	SA-31、32 出土石器実測図	127	第143図	I 区 SK-55、IV a 層出土石器実測図	140
第130図	SA-33、SA-33・34 間、SA-34 出土石器実測図 (1)	128			
第131図	SA-34 出土石器実測図 (2)	129			

表 目 次

表 1	I 区出土土器観察表 (1)	141	表 15	II ~ III 区出土土器観察表 (11)	153
表 2	I 区出土土器観察表 (2)	142	表 16	II ~ III 区出土土器観察表 (12)	154
表 3	I 区出土土器観察表 (3)	143	表 17	II ~ III 区出土土器観察表 (13)	155
表 4	I 区出土土器観察表	143	表 18	II ~ III 区出土土器観察表 (14)	156
表 5	II ~ III 区出土土器観察表 (1)	143	表 19	II ~ III 区出土土器観察表 (15)	157
表 6	II ~ III 区出土土器観察表 (2)	144	表 20	II ~ III 区出土土器観察表 (16)	158
表 7	II ~ III 区出土土器観察表 (3)	145	表 21	II ~ III 区出土土器観察表 (17)	159
表 8	II ~ III 区出土土器観察表 (4)	146	表 22	II ~ III 区出土土器観察表 (18)	160
表 9	II ~ III 区出土土器観察表 (5)	147	表 23	鉄器観察表	160
表 10	II ~ III 区出土土器観察表 (6)	148	表 24	II ~ III 区出土土器観察表 (19)	160
表 11	II ~ III 区出土土器観察表 (7)	149	表 25	玉類観察表	160
表 12	II ~ III 区出土土器観察表 (8)	150	表 26	II ~ III 区出土土器観察表 (1)	160
表 13	II ~ III 区出土土器観察表 (9)	151	表 27	II ~ III 区出土土器観察表 (2)	161
表 14	II ~ III 区出土土器観察表 (10)	152	表 28	II ~ III 区出土土器観察表 (3)	162

写真図版目次

- 図版 1 調査地遠景
- 図版 2 調査地近景
- 図版 3 I区 全景(上が北)、I区全景(西から)
- 図版 4 SA-01 1層 遺物出土状態(北から)、(南から)、南西部の台石と焼土(東から)、南西部赤色顔料(西から)、断面層序(南東から)、南北畦東壁 断面層序(東から)、内区断面層序、床面全景(西から)
- 図版 5 SA-02 1層 遺物出土状態(北から)、(南から)、断面層序(北東から)、南北畦東壁と内区遺物(南東から)、内区北東部床面と断面層序(東から)、内区床面・遺物出土状態(東から)、中央部火処(東から)、貼床除去後全景(東から)
- 図版 6 SA-03 上層 遺物出土状態(西から)、(東から)、外区中央部 2次床直遺物(南から)、断面層序(南東から)、北東区床面・北壁～東壁(北東から)、東西畦東半 内区北壁(北から)、東西畦東半 内区北壁(南から)、貼床除去後全景
- 図版 7 SA-04 上～中層 遺物出土状態(西から)、(東から)、北東部土器溜まり上層(北から)、中層(西から)、断面層序(南西から)、(北西から)、床面遺物出土状態(南から)、床面全景
- 図版 8 SA-05 1層 遺物出土状態(北西から)、内区(北西から)、畦、東・南壁層序・床面(南東から)、内区断面層序(南から)、2本柱完掘状況(南から)、床面全景、SA-06 床面・遺物出土状態(南から)、北東部遺物集中部(南から)
- 図版 9 SA-06 遺物集中部 磨製石礫他(南から)、床面全景、SA-07 1層 遺物出土状態(南から)、東半部遺物出土状態(東から)、床面完掘全景(東から)、床面全景、SA-08 東半部1層 遺物出土状態(南から)、床面全景
- 図版 10 ST-01 遺物出土状態(東から)、完掘(東から)、(北から)、玄室、羨門～玄室、SK-23 遺物出土状態・断面層序(南から)、SK-42 遺物出土状態(東から)、下部遺物(東から)
- 図版 11 SK-45 遺物出土状態・断面層序(南から)、SK-49 遺物出土状態・断面層序(東から)、SK-52 遺物出土状態(北から)、SK-53 遺物出土状態(南から)、SK-55 遺物出土状態(南東から)、SK-63 遺物出土状態、SK-66 遺物出土状態(東から)、SK-37～40・56・57 断面層序(北から)
- 図版 12 SD-01 遺物出土状態・北壁層序(南から)、北側IV a層遺物出土状態(南西から)、(東から)、北東部(南から)、磨製石斧とその周辺(南から)、トータルステーション遺物取上(南西から)、ラジコンヘリによる航空写真撮影、SA-03 貼床除去・清掃状況
- 図版 13 II区 全景、ドローン空撮
- 図版 14 III区 全景(右上が北)

- 図版 15 SA-09～11 1層遺物出土状態（東から）、（西から）、SA-10 床面全景、SA-11 床面全景、SA-12 1層遺物出土状態（西から）、東西畦 南壁層序（南東から）、床面全景（東から）
- 図版 16 SA-13 1層遺物出土状態（西から）、東西畦南壁断面層序（南西から）、火処平面、床面全景、SA-14 1層遺物出土状態（西から）、（東から）、内区遺物出土状態（南東から）、北主柱穴・柱抜取穴・土坑（西から）
- 図版 17 SA-14 土坑断面（西から）、南北畦南半西壁断面層序（西から）、鍛冶炉周辺の1c層（西から）、接写（西から）、1c層の広がり～鍛冶炉検出、鍛冶炉検出状態、鍛冶炉底面、接写
- 図版 18 SA-14 鍛冶炉床面（北から）、北主柱穴内 甕底部を入れた甕、床面全景、SA-15 1層遺物出土状態（西から）、内区1層遺物出土状態（南西から）、東西畦 南壁断面層序（南東から）、内区断面層序（南東から）
- 図版 19 SA-15 東端火処底面・断面（南から）、床面全景、SA-16 1層遺物出土状態（北から）、断面層序（西から）、床面全景、SA-17 1層遺物出土状態（西から）、床直の土器と焼土・炭
- 図版 20 ST-17 中央土坑と焼土・炭、土坑底面の炭化木片出土状態（西から）、（東から）、床面全景、SA-18 1層遺物出土状態（北から）、北東部遺物出土状態、南西部火処、床面全景
- 図版 21 SA-19 1層遺物出土状態（西から）、断面層序（南西から）、SA-20 1層遺物出土状態（西から）、（東から）、南中央区中央付近に編物石4、南北畦西壁層序（南西から）、中央付近の編物石等出土状態、床面全景
- 図版 22 SA-21 1層遺物出土状態（西から）、（東から）、火処断面層序（南東から）、床面全景、Ⅱ区 SA-22 1層遺物出土状態南西から、北端部遺物出土状態（西から）、Ⅲ区 SA-22 1層遺物出土状態（西から）、（南から）
- 図版 23 SA-22 内区南西部断面層序（南西から）、南北西壁層序、東西畦中央寄断面層序、接写、西・北壁断面層序（北西から）、東・南壁断面層序（南東から）、内区火処断面、床面全景（右上が北）
- 図版 24 SA-23 1層遺物出土状態・西壁層序、西壁中央部断面層序、SA-24 1層遺物出土状態、南北畦西壁層序（南西から）、接写、床面全景、SA-25 1層遺物出土状態（西から）、南半分（東から）
- 図版 25 SA-25 南半・西壁・内区床面、内区畦西壁層序・被熱床面、接写、内区・畦東～南壁・被熱床面、主柱穴P5（南から）、主柱穴P1（南から）、主柱穴P6（南東から）、内区被熱床面
- 図版 26 SA-25 内区被熱床面、床面全景、SA-26 1層遺物出土状態（西から）、東側中央土坑遺物出土状態、西・北壁層序（北西から）、南北畦南半西壁断面層序（西から）、SA-27 1層遺物出土状態（東から）、南東部

- 図版 27 SA-27 南東部断面層序（南から）、SA-26・27 床面全景（右が北）、SA-28 1層遺物出土状態（南から）、（東から）、北東角の土師器、下部出土状態、北西区内 甕他、東西畦東半内 二重口縁壺
- 図版 28 SA-28 断面層序（南東から）、火処断面層序、断面層序（北東から）、中央部支柱穴、SA29 北東部 火処（南東から）、柱穴と断面層序、南側床面（南から）、SA-28・29 床面全景
- 図版 29 SA-30 1層上～中層遺物出土状態（南西から）、南西区画（南西から）、高坏等出土状態 南中央区画 鑄造鉄斧等出土状態（南から）、南東区画 甕・高坏等出土状態（東から）、南西区画 1層下層遺物出土状態、中央付近 石包丁等出土状態、南中央区画 1層下層 鉄鏝と編物石他
- 図版 30 SA-30 南東区画 編物石と断面層序、南中央区画北西部の土坑内遺物、南東区甕（南から）、南西区画火処、内底の赤色顔料、南東区北西部火処内遺物、南東区画 焼土と鉛滓・炭化物、接写
- 図版 31 SA-30 断面層序（北から）、南西区画東南壁、内区貼床確認、接写、南半北から西壁断面層序、床面全景、SA-31 1層遺物出土状態、西半部
- 図版 32 SA-31 北西端 鉄鏝出土状態、東半 1層遺物出土状態、中央付近火処上面、中央畦西壁層序、断面層序、床面全景、SA-32 遺物出土状態（南西から）、（北東から）
- 図版 33 SA-32 南西区画北東部火処、西中区画東部火処、断面層序、東部火処、断面層序、断面層序、中央西端火処、断面層序
- 図版 34 SA-32 中央西端火処断面、北東部、南半畦北壁層序、床面全景、SA-33 1層遺物出土状態（西から）、（北から）、北端部 砥石と編物石出土状態、石製模造品とその周辺
- 図版 35 SA-33 刀子他出土状態、北西端部 被熱礫集積状態、中央部断面層序（北東から）、中央部火処、床面全景、SA-34 1層遺物出土状態（南から）、南西区画南東角 土製勾玉と編物石
- 図版 36 SA-34 南東区画 砥石他出土状態、南西区南西部の火処検出状態、北西区火処、1層下層遺物出土状態、南～西壁層序、中央付近断面層序、砥石他出土状態、床面全景
- 図版 37 SK-140（SA-35 B埋没後切込）遺物出土状態、中央底面 蓋出土状態、SA-35 1層遺物出土状態、U字溝型掘込内遺物、小型壺出土状態、内区1層断面、内区断面層序、接写
- 図版 38 SA-35 A 床面全景、SA-35 B 床面全景、SA-36 西半部 1層遺物出土状態、下層・土坑上層遺物、火処・台石出土状態、中央付近の火処、断面層序、火処接写
- 図版 39 SA-36 南東部Ⅶb層探掘穴断面層序、完掘（東から）、床面工具痕、床面全景、SA-36 外方 SK-141 上層遺物出土状態、下層焼土・炭、完掘、SZ-02 遺物出土状態（南西から）
- 図版 40 SA-37 1層遺物出土状態、台石と火処、内区東部の土器片出土状態、南東部断面層序（北から）、畦除去 鉄鏝状鉄片、断面層序（北から）、東壁層序、床面全景（南半分）

- 図版 41 SA-38 西北部 1 層遺物出土状態 東部火処と周辺、火処、火処断面層序、西北部 朱と編物石、SA-39 遺物出土状態、断面層序（西から）、SA-38・39 床面全景
- 図版 42 SA-40 管玉と台石出土状態、接写、床面と火処、断面層序、東西畦北壁層序、南東部と東端中央火処 1 c 層、SA-42 北西区東南部火処、1 層下層遺物出土状態
- 図版 43 SA-43 断面層序（東から）、SA-43 東端～SA-40 西端断面層序、SA-44 南東区火処（南から）、南東区南西部土坑断面、断面層序、火処断面層序、SA-47 南西区南東端土坑内遺物、VII b 層採掘穴断面層序
- 図版 44 SA-47 VII b 層採掘穴完掘、床面、断面層序、火処断面層序、SA-38 北西区 1 層上層遺物出土状態（北から）、（東から）、接写（北から）
- 図版 45 SA-48 東西畦東半 1 層上層遺物出土状態（南から）、火処の上 1a 層内、西端部側面（北から）、西端部 甕内外入れ子状態、西南区中央寄り火処、南北畦東壁層序（北東から）、東西畦西側断面層序
- 図版 46 SA-49 断面層序（南東から）、火処と断面、南北断面層序（北東から）、中央寄り接写、SA-50 畦南・西壁断面層序（南西から）、火処部分断面層序（北西から）、西端部断面層序（南から）
- 図版 47 III 区 遺構検出作業（東から）、南東部（北東から）、II 区 SA-13 掘込作業（西から）、III 区 SA-28 掘込作業（北から）、SA-30 内区サブトレ掘込～清掃（南から）、SA-36 掘込作業、SA-26～29 トータルステーション測量、航空写真撮影
- 図版 48 SA-01 出土土器、SA-2 出土土器(1)、(2)、SA-03 出土土器(1)、(2)、(3)、(4)、SA-04 出土土器(1)、(2)、(3)
- 図版 49 SA-04 出土土器(4)、SA-05 出土土器、SA-06 出土土器、SA-07 出土土器、SA-08 出土土器、SK-63 出土土器、SK-55 出土土器、I 区出土 縄文土器
- 図版 50 I 区 弥生赤彩土器、右：青花、I 区出土土器片加工円盤、土器片加工方形品、SA-01 出土土器、SA-02 出土土器、SA-03 出土土器(2)、(3)（2 層）
- 図版 51 SA-03 出土土器(3)、SA-04 出土土器、SA-05 出土土器・石製品、SA-06 出土土器、SA-07 出土土器(1)、(2)、SA-08 出土土器
- 図版 52 I 区 SK・IV a 層出土土器、I 区 II～III・IV a 層・SK・攪乱出土土器
- 図版 53 SA-09 出土土器、SA-10 出土土器、SA-11 出土土器、SA-12 出土土器、SA-13 出土土器
- 図版 54 SA-14 出土土器(1)、鍛冶炉付近・鍛冶炉直上出土甕（外面のススを年代測定）、SA-14 出土土器、SA-16 出土土器
- 図版 55 SA-15 出土土器、SA-17 出土土器(1)、(2)
- 図版 56 SA-18 出土土器(1)、(2)、SA-19 出土土器、SA-20 出土土器(1)
- 図版 57 SA-20 出土土器(2)、SA-21 出土土器、SA-22 出土土器(1)、(2)

- 図版 58 SA-22 出土土器(3)、SA-23 出土土器、SA-24 出土土器(1)、(2)
- 図版 59 SA-24 出土土器(3)、SA-25 出土土器(1)、(2)
- 図版 60 SA-26 出土土器、SA-27 出土土器、SA-28 出土土器(1)
- 図版 61 SA-28 出土土器(2)、反転、SA-29 出土土器、SA-30 出土土器(1)
- 図版 62 SA-30 出土土器(2)、(3)、(4)
- 図版 63 SA-30 出土土器(5)
- 図版 64 SA-30 出土土器(6)、(7)、(8)
- 図版 65 SA-30 出土土器(9)、(10)、SA-31 出土土器(1)、(2)、(3)
- 図版 66 SA-31 出土土器(4)、SA-32 出土土器(1)
- 図版 67 SA-32 出土土器(2)
- 図版 68 SA-32 出土土器(3)、SA-33 出土土器、SA-34 出土土器(1)
- 図版 69 SA-34 出土土器(2)、(3)、(4)
- 図版 70 SA-34 出土土器(5)、SK-140 (SA-34 埋没後に切り込む土坑) 出土土器、SA-35 出土土器(1)、(2)、(3)
- 図版 71 SA-35 出土土器(4)、(5)、SA-35・35A 出土土器
- 図版 72 SA-35B 出土土器、SA-35C 出土土器(1)、(2)、(3)
- 図版 73 SA-35C 出土土器(4)、SA-36 出土土器(1)、(2)
- 図版 74 SA-36 出土土器(3)、SK-141 (SA-36 南東) 出土土器(1)
- 図版 75 SA-141 出土土器(2)、SA-37 出土土器(1)
- 図版 76 SA-37 出土土器(2)、(3)、SA-38 出土土器
- 図版 77 SA-40 出土土器(1)
- 図版 78 SA-40 出土土器(2)、SA-41 出土土器
- 図版 79 SA-42 出土土器、SA-43-44 間IVa層 出土須恵器、SA-43 出土土器、SA-44 出土土器、SA-46 出土土器
- 図版 80 SA-47 出土土器(1)、(2)、(3)、(3)の内面
- 図版 81 SA-47 出土土器(4)、SA-47内SK 出土土器、SA-48 出土土器(1)
- 図版 82 SA-48 出土土器(2)
- 図版 83 SA-48 出土土器(3)
- 図版 84 SA-48 出土土器(4)
- 図版 85 SA-48 出土土器(5)、SA-49 出土土器(1)
- 図版 86 SA-49 出土土器(2)、SA-50 出土土器
- 図版 87 SK-95(1)、(2)、SK-103、SR-03、SZ-02 出土土器、II～III層ほか 出土土器、II～III層出土土器
- 図版 88 II～III区 出土 縄文土器、II～III区 須恵器、土師質土器、SA-34 出土土製勾玉、

SA-出土 小玉、管玉、左から (SA35B、SA-35C、SA-36、SA-48、SA-48、SA-48、SA-49、SA50、SA-40)、土製品、被熱発泡土器片 左から (SK-141、SA-40、SA-33、SA-25、SA-30 出土)、内面、SA-17 出土炭化木製品

図版 89 II～III区 出土 鉄器・鉄片

図版 90 SA-30 出土 鑄造鉄斧 斜側面～裏面、短辺、SA-14 鍛冶炉内覆土水洗選別 粒状滓～鍛造剥片～鉄滓(1)、(2)、(3)、(4)、覆土出土 鉄滓

図版 91 SA-14 鍛冶炉周辺 1c層水洗選別 鍛造剥片・鉾滓、SA-18 焼土水洗選別、SA-35C 1c層水洗選別、SA-34 南西部 1c層水洗選別 鍛造剥片、SA-40 北東部 1c層水洗選別、SA-40 南西部 1c層、SA-40 1c層 (焼土混)、SA-49 1c層水洗選別、SK-141 水洗選別 鍛造剥片、鉾滓、左から SA-17、SA-31、SK-103 出土、赤色顔料の素材 左から SA-20 の褐鉄鉾、SA-30 の朱塊、SA-49 の朱塊、SA-36 1c層水洗選別 左列から炭片・粒、土器片、小礫、粗砂、中砂、微細砂、砂鉄

図版 92 SA-09 出土石器、SA-09～10 出土石器、SA-14 出土石器、SA-11 出土石器、SA-13 出土石器、SA-14 出土石器、SA-20 出土石器(1)、(2)、SA-18 出土石器、SA-21 出土石器、SA-22 出土石器、SA-23 出土石器

図版 93 SA-24 出土石器、SA-25 出土石器(1)、(2)、SA-27 出土石器、SA-28 出土石器、SA-30 出土石器(1)、(2)、(3)、(4)

図版 94 SA-31 出土石器、SA-32 出土石器(1)、(2)、SA-33 出土石器(1)、(2)、SA-34 出土石器(1)、(2)、(3)、(4)

図版 95 SA-35 出土石器、SA-35C 出土石器(1)、(2)、(3)、SA-36 出土石器(1)、(2)、SA-36～37 出土石器、SA-37 出土石器(1)、SA-36 出土石器(3)、SA-37 出土石器(2)、SA-38 出土石器(1)、(2)

図版 96 SA-40 出土石器(1)、(2)、(3)、SA-41 出土石器(1)、(2)、SA-42 出土石器(1)、(2)、SA-43 出土石器、SA-44 出土石器(1)、(2)、SA-46 出土石器(1)、(2)、SA-47 出土石器(1)

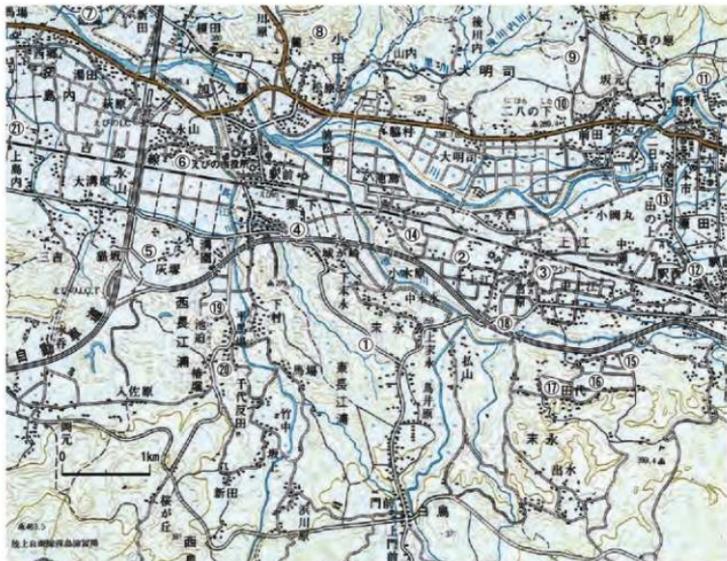
図版 97 SA-47 出土石器(2)、SA-48 出土石器、SA-49 出土石器 鉄床石か、SA-49 出土石器(1)、SA-49 出土石器(2)、II～III層 出土石器、攪乱他 出土石器

図版 98 鉄鑄模造品・類似品 集合、器面調整具 集合、小型砥石・類似品 集合、SA・SK 出土シイ類、SA 出土炭化モモ核、クリ核

第1章 はじめに

平成8年度より、西諸県地区（小林市・えびの市・高原町）の4,150haを対象とした畑地灌漑事業が始まった。ダム造り（国営）と基幹水利整備事業（県営）が先行的に建設され、平成8年度からはモデルほ場設置事業が実施され、17年度から本格的に計画・実施されてきた。本市の畑地の対象地は550haで、その殆どが周知の遺跡である。

本市の中央南側に位置する白鳥地区60haの工事（半分は水田）は、平成25年に採択され、平成27年度から4～5年で区画整備工事が計画されたものの、29年度にようやく、しかも突発的に村ノ前遺跡地区の工事が着手・完了した。ここ以外では、県文化財課による試掘調査も終わらない中で平成30・31年度の計画図をもとに、消失する2地点（Ⅰ・Ⅱ区）の発掘調査を計画した。令和元年度にⅡ区の調査を計画したが、対象地が狭長であり、テント設置地と駐車場・土置き場を確保するためにⅡ区とⅢ区に分割して実施した。

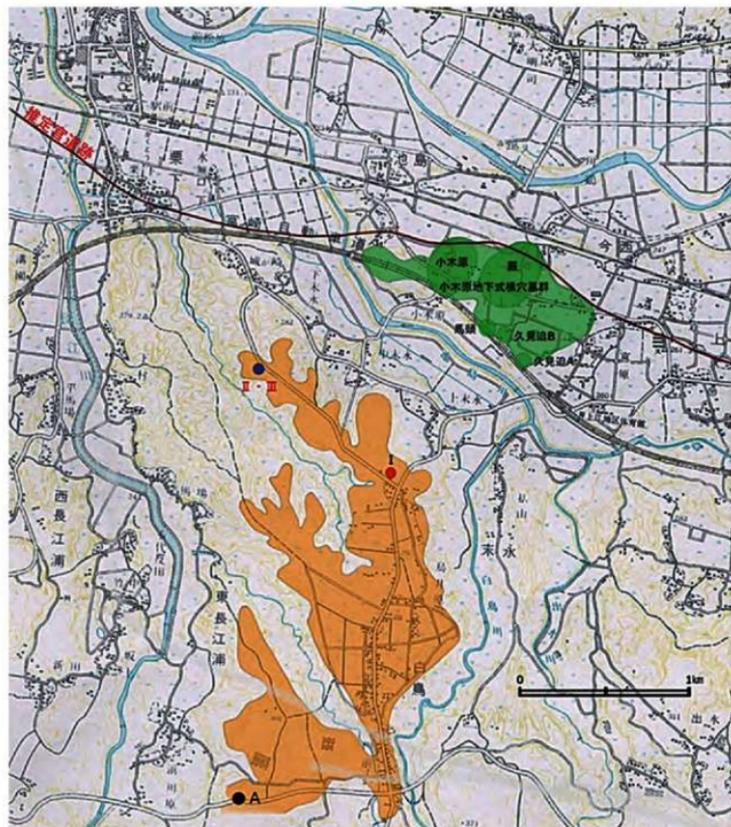


- 1: 桜野第1遺跡
- 2: 小木原地下式横穴墓群
- 3: 法光寺跡
- 4: 草刈田遺跡
- 5: 灰塚地下式横穴墓群
- 6: 推定真祈駅
- 7: 徳満城跡
- 8: 加久藤城跡
- 9: 二本杉遺跡
- 10: 宇畑地下式横穴墓群
- 11: 籠野城跡
- 12: 建山地下式横穴墓群
- 13: 田之上城跡
- 14: 永田原遺跡
- 15: 松山遺跡
- 16: 上田代遺跡
- 17: 竹之内遺跡
- 18: 桑田遺跡
- 19: 役所田遺跡
- 20: 馬場田遺跡
- 21: 島内地下式横穴墓群

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図

第2章 遺跡の位置と歴史的環境 (第1・2図)

えびの市は、34万年前の加久藤カルデラの中にあり、10万年前の阿多カルデラの火砕流とその後の堆積物の上に、3万年前の入戸火砕流（シラス）が標高400m位まで被る。その後、2万年前までの霧島山系の火山活動で狭長な盆地になり、やがて湖になり、西南方が決壊して水が排出されつつ、高位段丘～中位段丘～低位段丘（16700年前の小林ボラを含む）が形成される。氾濫原を西流する川内川は暴れ川で、昭和40年代に堤防が出来るまでは流路を変えていた。従って周知の遺



第2図 調査区の位置と小木原地下式横穴墓群

跡の殆どは段丘面にあり、現在、地目が畑地となっている所の殆どは周知の遺跡である。

終野第1遺跡は、えびの市大字末永字上原から大字東長江浦字城ノ下・終野、大字栗下字城宇都まで、東西1.6km・南北3.3kmの、広大な高位段丘に立地する。Ⅰ・Ⅱ区の氾濫原との比高は45～48mを測る。

周囲に旧石器が出土した遺跡は無い。縄文時代早期は、当遺跡内南西端部(仮A地点)において、集石遺構1と土坑12のほか、知覧式や中原式土器片と石器少量が出土している(第2図A)。Ⅰ区の北東1km対岸に立地する小木原地下式横穴墓群久見道B支群の微高地からは、押型土器片が出土している。⁽²⁾4km北西に位置する二本杉遺跡においては、環状に配置する集石遺構20基などが出土している。⁽³⁾中期は無いに等しい。後期～晩期前半は遺構遺物が多く、1.5km東の広大な段丘に立地する松山遺跡⁽⁴⁾・上田遺跡⁽⁵⁾や、1km西を北流する長江川左岸に立地する、役所田遺跡⁽⁶⁾・馬場田遺跡⁽⁷⁾(20)などの拠点集落が豊富な湧水池付近の段丘に立地する。弥生時代早期は、桑田遺跡⁽⁸⁾(18)で突帯文土器と石鋏がまとまって出土し、プラントオパールも検出されている。弥生前期～中期の集落は未確認であるが、後期～古墳時代前期は、草刈田遺跡⁽⁹⁾(4)・二本杉遺跡⁽¹⁰⁾(9)・松山遺跡⁽¹¹⁾(15)で間仕切り住居がまとまって検出されている。南東部九州特有の地下式横穴墓群は、島内⁽¹²⁾(21)・灰塚⁽¹³⁾(5)・小木原⁽¹⁴⁾(2)・建山⁽¹⁵⁾(12)・芋畑⁽¹⁶⁾(10)など、凡そ2.5kmおきに分布しており、中でも小木原では総数400基以上が確認されており、それを造営した集落の所在地はいまだ不詳であるが、今回報告する調査対象地が最有力である。

古代には官道が敷かれ、草刈田遺跡⁽¹⁷⁾(4)と推定真駒駅付近⁽¹⁸⁾(6)で官道跡が、法光寺跡⁽¹⁹⁾(3)で布目瓦が出土している。永田原遺跡⁽²⁰⁾(14)と田之上城跡・北田遺跡⁽²¹⁾(13)では小規模な馬飼(数ha)の存在を肯定させうる遺構・遺物が出土している。中世には、丘陵や段丘の突端に山城が築かれ、肥沃な盆地の覇権が争われた。

註

- (1) 宮崎県埋蔵文化センター『終野第1遺跡』2003
- (2) えびの市教育委員会『小木原遺跡群概観地区(C・D地区)・久見道地区・地主原地区・原田・上江遺跡群六部市遺跡・蔵元遺跡・中満遺跡・法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ』1996
- (3) えびの市教育委員会『桑田遺跡・二本杉遺跡・元栗塚』2019
- (4) えびの市教育委員会『上田地区遺跡群・妙見原遺跡』1997
- (5) えびの市教育委員会『長江浦地区遺跡群』2002
- (6) 同上
- (7) (3)と同じ
- (8) えびの市教育委員会『草刈田遺跡』2004
- (9) (3)と同じ
- (10) (4)と同じ
- (11) えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群』2001ほか
- (12) 宮崎県教育委員会『九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告(2)灰塚遺跡』1973
- (13) えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群Ⅴ・灰塚地下式横穴墓群』2017
- (14) えびの市教育委員会『永田原遺跡・小木原遺跡群概観地区(A・B地区)・口ノ坪遺跡』1990
- (15) えびの市教育委員会『広畑遺跡』1991
- (16) (8)と同じ
- (17) えびの市大字灰塚字真崎と字古川の境の市道拡幅工事に伴う発掘調査において、溝状に掘削された官道跡(上面幅9m、深さ1m、底面幅3m、硬化面幅0.4～0.6m、側溝は西側に幅0.5～1m・深さ0.1m)を検出した。駅家に関する遺構・遺物は皆無である。
- (18) (2)と同じ
- (19) (13)と同じ
- (20) えびの市教育委員会『小岡丸地区遺跡群』2003
- (21) 中野和浩「えびの市の官道と牧について」『えびの市歴史民俗資料館年報No.5』えびの市教育委員会2013

第3章 発掘調査

1. I区の調査

1. はじめに

平成23年度から、県文化財課による試掘調査が始まり、当地点において、表土下すぐにアカホヤ火山灰2次堆積層（縄文～古墳時代の遺物包含層）が厚さ15～30cmあることが確認され、工事によってやむをえず削平されることからI区として調査することとした。

2. 基本的層序

層序は、上からI層：暗灰色土（耕作土）、II層：旧耕作土・近世以降の灰色系土、III層：淡黒灰色土（殆どは耕作土化している）、IV a層：アカホヤ火山灰2次堆積層、IV b層：アカホヤ火山灰（B.P.7300）（不整序・攪乱状態）、V層：灰褐色・淡黒褐色火山灰（不明瞭）、VI層：黒褐色土（混クサリ礫）に分別した。なお、西方200～300mの畑地では、県文化財課の試掘調査においてVI層から相当量の土器と石器が出土している。IV b層は、市内の段丘では30～40cmの層厚であるが、本地区では5～15cmほど、もしくはa b層混在の地点が多い。堅穴建物においては、覆土を1層とし、貼床土を2層とした。1 c層は暗灰色～黒灰色土で、火処である。

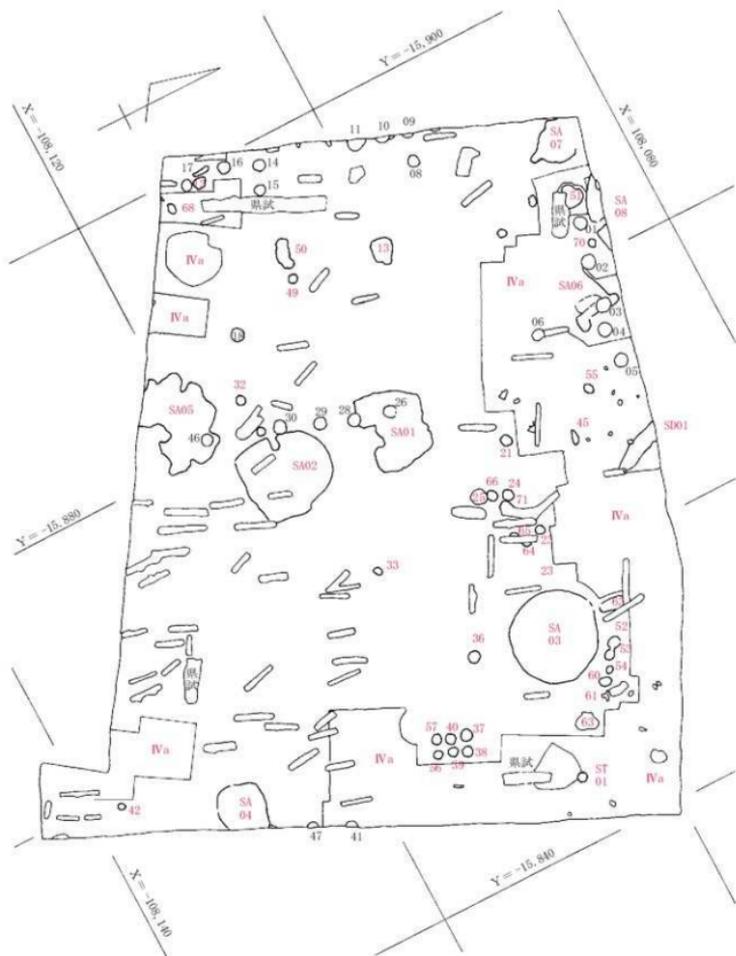
3. 発掘調査（第3図）

表土剥ぎ後、II層残土除去兼遺構検出を行い、約70基のイモ穴と約30基の座棺墓を掘り上げ、土坑と堅穴建物、遺物包含層を調査した。IV a層は調査区全面に堆積しているが、遺物の粗密が顕著で、旧地形が下降する北側に多い。IV a層には、縄文後期後半～晩期前半・弥生中期後半～古墳前期の遺物を含むが、遺構面はIV a層上面である。

調査区では弥生～古墳時代の堅穴建物8、土坑40、地下式土壇墓1、溝状遺構1を検出した。堅穴建物は、北西端に2基、中央～南側に3基、北東部に1基、南東部に1基を検出した。土坑は、3号建物の周囲に1～6m離れて集中している他は、まばらに散在する。

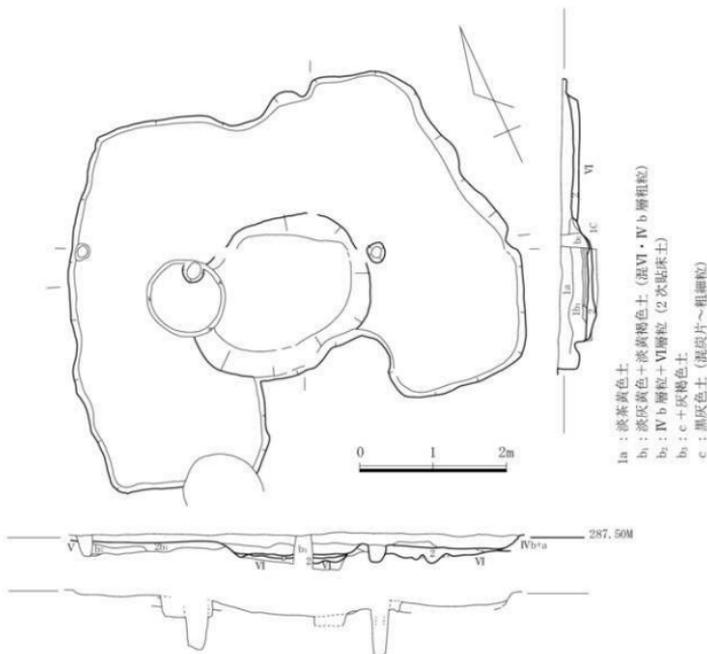
SA-01（第4図） 調査区のほぼ中央で検出した、北辺4m・南辺6m・南北4.5～5mの隅丸台形を基調とし、南辺中央1/3を掘り残す。検出面から9～19cmで床面となり、中央部は、長さ2.6m・幅2.1mの楕円形に掘り下げられ（以降、内区と呼称する）、深さ15～19cmを測る。底面中央北寄りには厚さ2～3cmの黒色土が堆積（1 c層）し、1b2層で埋めた上面が2次面である。主柱穴は2で、柱間は2.5m、西側の柱穴は、直径30cm・深さ72cm、東側は直径20cm・深さ74cm・柱痕跡の直径は11cmを測る。床面の殆どは硬化面で、厚さ8～16cmの貼床がある。

南中央部の間仕切りの西壁付近で、台石と焼土が検出されたほかは、少数の土器片と砥石、敲磨石が出土したにすぎない。弥生中期後半の黒髪式期に比定できる（第14・21図）。



黒色番号：近現代塚館墓
 赤色番号：弥生～古墳時代の土坑
 県試：県文化財課による試掘溝

第3図 I区 遺構分布図

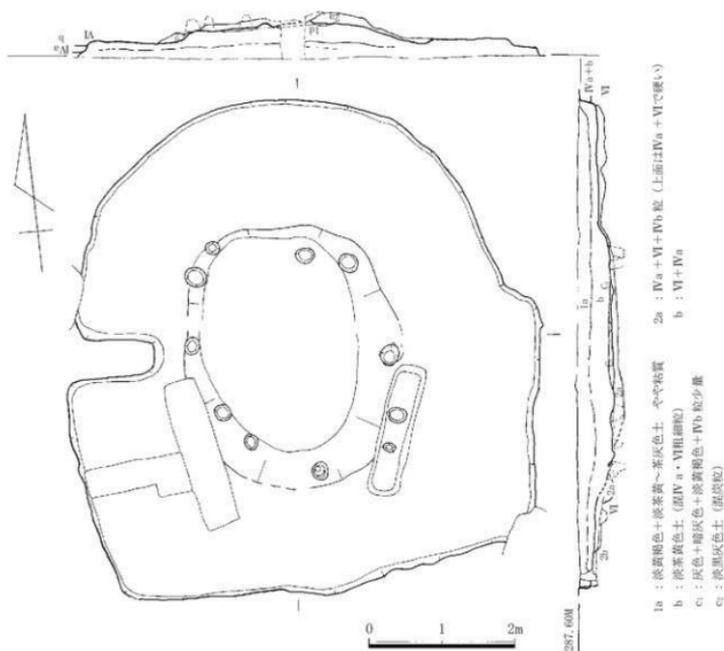


第4図 SA-01 遺構実測図

SA-02 (第5図) 01号の3m南に位置した、半円半方形で西側中央部に間仕切り掘り残しがあり、東壁中央部は40cmのズレがある。円の直径は5.8mであるが、東西最大幅6.56m、南北6.92m、西側間仕切りは上場の長さ1.04m・幅0.52mを測る。19～28cm掘下げるとやや硬化した床面になり、さらに内側に直径3.8m・短径3.0mの楕円形を呈し深さ16cmほどの火処があり、1.6×0.5mの範囲に暗灰色～黒色土が厚さ2～6cm確認された。この段落ちの斜面上、直径18～23cm・深さ19～40cmの小柱穴が散在する。東西の1段目以外には、厚さ3～15cmの貼床が施されている。壁面観察では、IVa層は8cm、IVb層は10cmの厚さしかなく、覆土にオレンジ色が目立たない理由がわかる。

出土遺物としては、古墳前期末主体の壺甕類、小型丸底壺、ミニチュア(26)等のほか、磨製石鏃(153)、砥石、軽石がある(第14・15・21図)。

SA-03 (第6図) 北端部の上場は不明瞭であったが、長径7.2m・短径6.3mの略円形を呈する。深さ42～52cmで幅1.3mほどの1段目の床面になり、内区は直径3.8mが14～20cm低くなり、1段目よりもさらに硬い床面になる。底面の西半分は炭化物を多く含む黒色土が広がる。支柱穴は

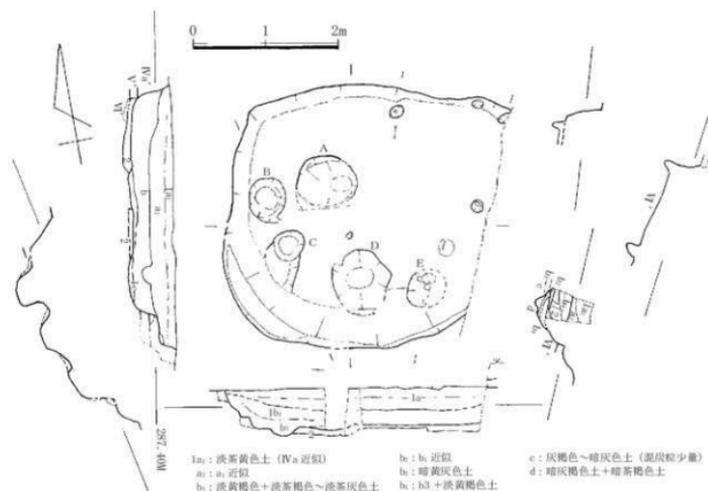


第5図 SA-02 遺構実測図

段落ちの傾斜部4ヶ所に設けられている。直径40cm前後で床面から深さ70cm前後を測り南の柱穴のみやや浅い。又、北と東の柱穴には柱抜取穴が接していた。内区の貼床は、厚さ4～10cmで、硬い淡緑灰色のクサリ礫碎片を含む2a層と5～18cmのV～VII層の混和土を主とする2b層に分けている。特に西側の2a層は厚さ1～2cmで細分され、炭混じりの黒色土と混じらない層との互層となっており床面の2回の貼り直しが認められた。

遺構の規模とは対象的に出土遺物は少なく、弥生土器(39～41)の他、小型壺(55)、高坏(56)などが古墳時代前期後半と推定されるが、南東部の外区2次面から甕2(49・53)等が出土している。出土石器のうち、159～162の打製石鏃は縄文早期以降期の混入であり、磨製石鏃(163)は遺構に帰属すると思われる。蔽き石(167・169)は、173(鉄床石の可能性)と共に小鍛冶を推定させるが、鉾滓や鍛造剥片等は検出されていない(第15・16・22・23図)。

SA-04(第7図) 東西3.8m以上、南北3.65mの不整楕円形と推定されるプランである。検出面から52～57cmで床面に達し、直径40～90cmの土坑5基(A～E)が西～南側に集中した。中央部と土坑D・Eの覆土は炭粒混じりの暗灰色～黒灰色土である。北東端の小pitは斜めに穿たれ



第7図 SA-04 遺構実測図

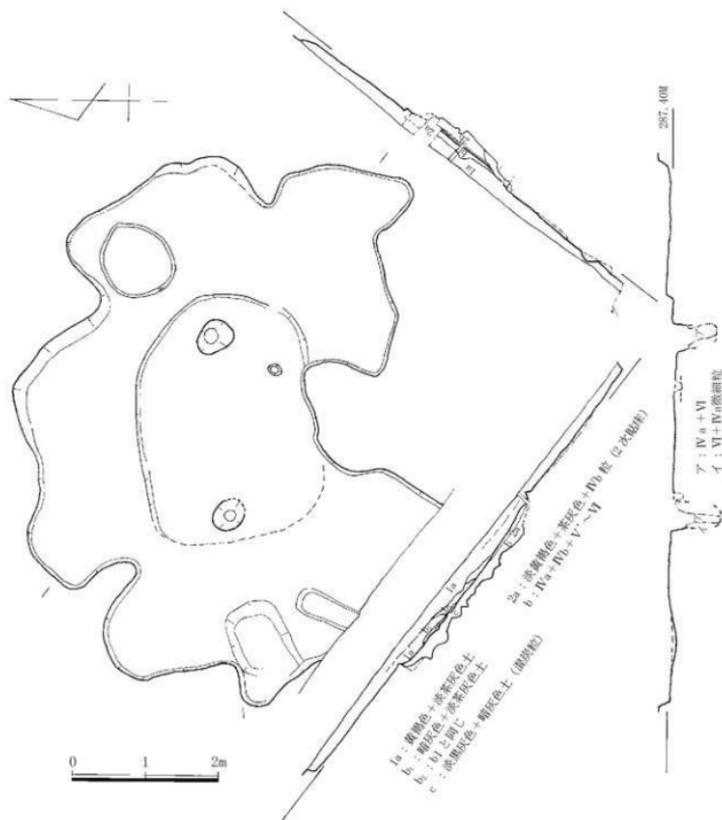
mの楕円形を呈し深さ10～12cmの火処となる。中心部の直径80cmの範囲で炭粒混じりの黒色土が認められた。

底面の東側では、貼床2次面を確認した。2次の貼床の厚さは2～7cm、初期の貼床は内区のみで、厚さ8～22cmを測る。主柱穴は壁寄りの2基で、柱間2.58m、西側は直径42cm・深さ68cmで直径8～12cmの柱痕跡が認められた。東側は直径38cm・深さ58cmで、直径18cmの柱痕跡を確認した。この柱痕跡は傾斜しているが、廃絶後の傾きと思われる。

出土遺物は少量であるが、小型壺等から古墳時代前期前半と推定される。また、特異な遺物として、穿孔の無い勾玉模造品(177)が出土している(第18・23図)。

SA-06(第9図) 東西3.4m以上、南北3m以上の方形基調の堅穴建物であるが、プランが掴めなかった。深さ7～8cmで硬化面に達し、東辺部はさらに13～15cm落ち込む。硬化面は西～南には広がらず、火処も不明である。東辺の落ち込みの覆土には丹塗り磨研土器片があり、弥生時代の溝状落ち込みと重複した可能性が高いが、切り合いは確認できなかった。出土土器に土師器は含まれず、弥生中期後半の可能性もある(第19・23図)。

SA-07(第10図) 東西3.4m、南北3mほどの半円平方基調のプランで、南東角に長さ80cm・幅60cm・深さ14cm前後の突出部がある。深さ12～17cmで、やや硬い床面に達する。火処は確認されなかった。柱穴は、直径2mの円周に乗る位置に深さ15～48cmのものが9基ある。北西部には、長さ2.6m・幅76cm・深さ29cmの隅丸長方形土坑があるが、堅穴建物に伴うかどうか不詳で



第8図 SA-05 遺構実測図

ある。この土坑と主軸を同じくする東側中央部の楕円形土坑は、掘ってすぐに埋められ、機能していない。貼床は、全く無い。

出土遺物は少ないが、黒髪式土器を主体に磨製石織の整品(180・181)、未製品(182・183)、チップ、敲石(184～186)が出土している(第19・23・24図)。

SA-08(第11図) 06・07号の間に位置し、円形基調の間仕切りタイプで、6.2mほどを検出した。正円を想定すると直径7.5mほどになる。北側は、攪乱と開発によって消滅している。

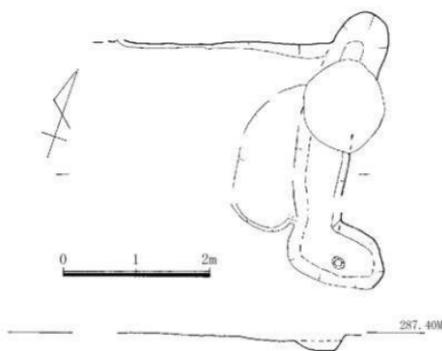
深さ5～15cmで床面に達し、やや硬くなる。間仕切りは、長さ1m強、幅0.5～0.9mを測る。

出土遺物は少ないが、土器片を略方形に加工した工具(116)や、磨製石鏃(187)が出土している(第19・24図)。

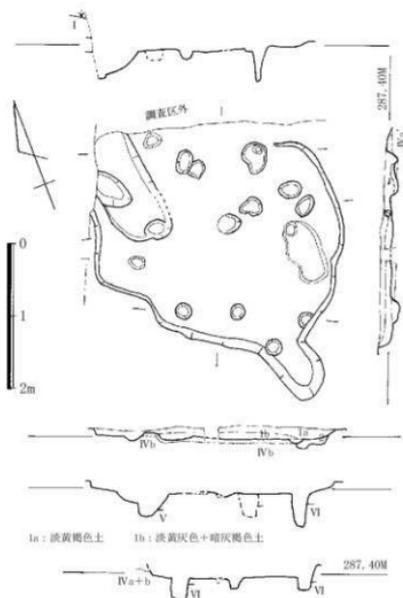
ST-01(第12図) 03号堅穴の東7.5mに位置する。堅穴は、直径76～78cmの円形を呈し、深さ60cmを測る。底面の北西部が幅55cmで先細りに掘下げられ、幅44cm・奥行き13cm・高さ24cmの玄室が設けられた地下式土壌墓である。羨門の閉塞材や人骨・副葬品は無い。玄室は黒色土で埋まり、堅穴は土塊で埋め戻された土層で、周縁は埋土の乾燥収縮による隙間に入った軟質土である。埋土から、土師器片数点が出土したが図化に耐えない。

市内遺跡検出の小型タイプの地下式横穴墓の型態とかなり違和感があり、近世以降の土壌墓の可能性もある。

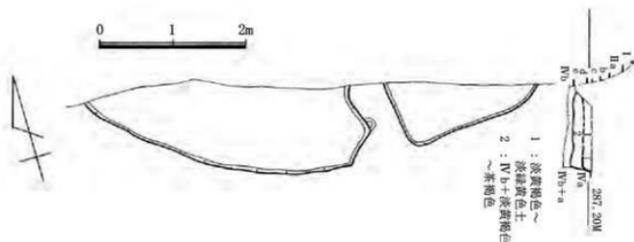
土坑(第13図) 弥生後期～古墳前期の土坑は40基ほどあり、覆土はIV a層主体である。直径0.7～1.2mほどの円形土坑が多くを占めるが出土遺物は少ない。中には楕円形や長楕円形のもの、3×2列に配列されたものなどもあるが割愛する。



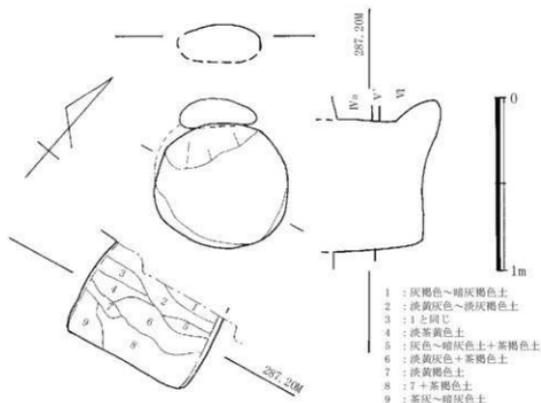
第9図 SA-06 遺構実測図



第10図 SA-07 遺構実測図

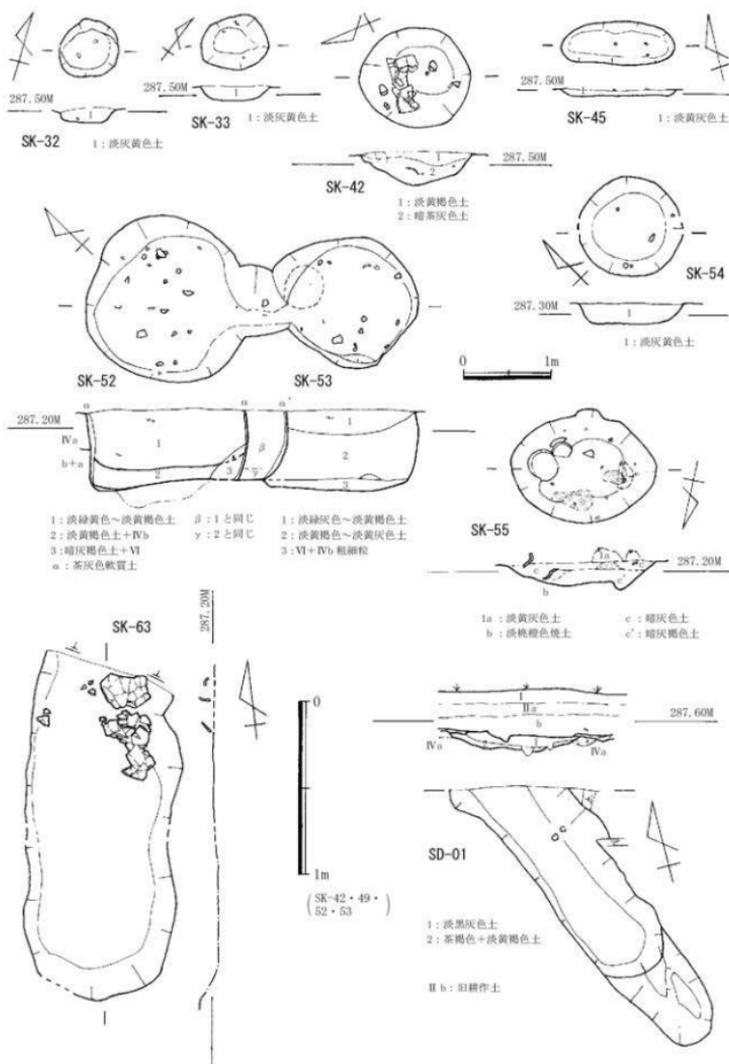


第 11 図 SA-08 遺構実測図



第 12 図 ST-01 遺構実測図

- SK-32 長径 71 cm・短径 65 cm の不整形円形で、深さ 14 cm を測る。土師器の小片が出土している。
- SK-33 長径 80 cm・短径 62 cm の不整形楕円形で、深さ 15 cm を測る。土師器の小片が出土している。
- SK-42 長径 65 cm・短径 58 cm の円形で、深さ 19 cm の槽鉢型である。土師器片が 40 点出土している。
- SK-45 長径 1.29 m・短径 50 cm の楕円形で、深さは 6～8 cm を測る。土師器の小片が出土している。
- SK-52 SA-03 の北東部に 4 基並んだうちの西端部にあり、直径 95 cm 前後の円形である。深さは 40 cm 前後と思われるが、不明瞭である。
- SK-53 直径 72～80 cm の不整形円形で、深さ 45 cm を測る。SK-52 との間には小土坑がある。
- SK-54 SK-53 の 50 cm 東に位置し、直径 58～59 cm の円形を呈し、深さ 12 cm を測る。土師器の小片が出土している。



第13图 SK-32・33・42・45・52~55・63、SD-01 遺構実測図

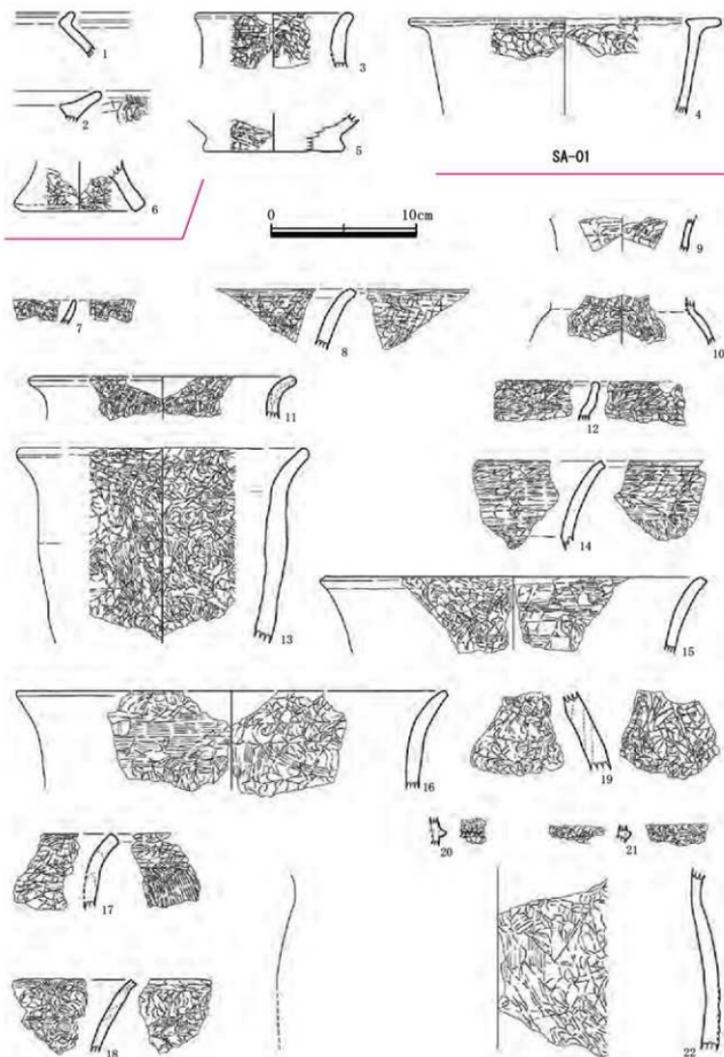
SK-55 SA-03 と 06 の中間に位置し、長径 84 cm・短径 65 cm の楕円形を呈し、深さ 10 ～ 14 cm・一部 16 cm を測る。上部は 10 cm ほど消失している。覆土中に焼土と炭化物があり、これらの廃棄坑と思われる。完形に復元できる台付鉢 (125) が出土している。

SK-63 SA-03 の北縁と接する、長さ 2.0 m + α 、幅 80 ～ 88 cm・深さ 12 cm の浅い土坑で、北東寄りで甕片 (126) (第 20 図) が出土した。

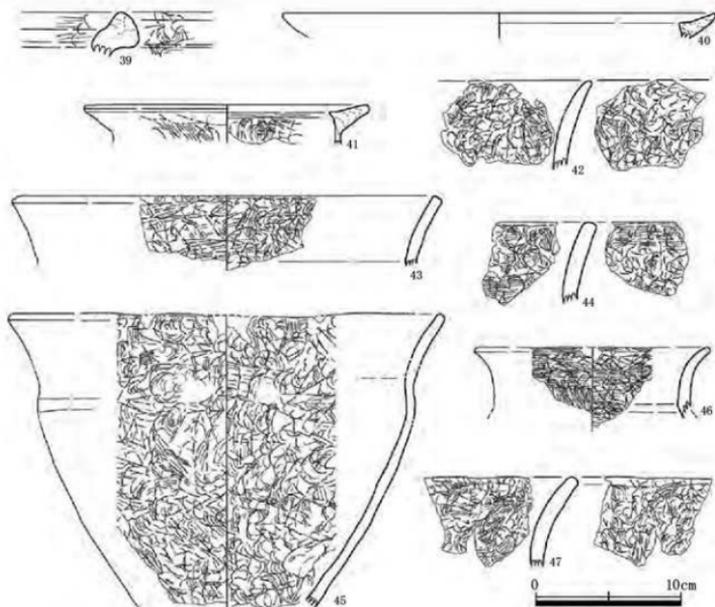
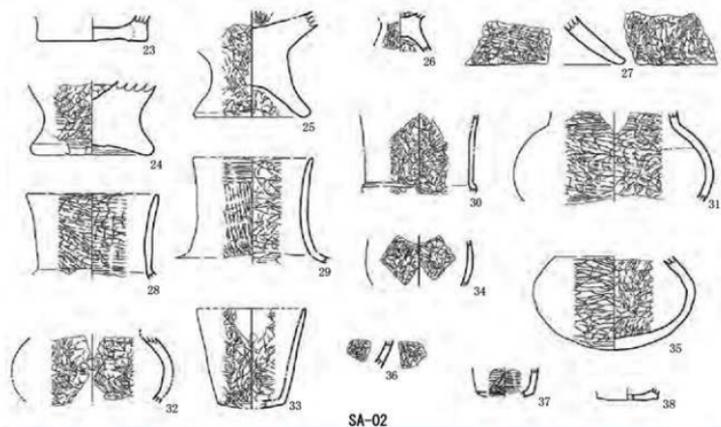
SD-01 (第 13 図) 調査区の北側中央部において、幅 1 m の北北西方向の溝状遺構を長さ 4 m 検出した。南端からゆるやかに傾斜し、北壁中央で深さ 16 cm を測る。覆土は 2 層に分別でき、上層から彩文土器片 (127) が出土した。

遺物包含層の調査 IV b 層上面における微地形は、SA-01.02 あたりが最高所で、北・東・南へ緩やかに下降し IV a 層が堆積している。遺物の包含密度は低いが、SA-03 の北側が若干高く、縄文後期～晩期 (128 ～ 137)、弥生中期後半～古墳前期の土器 (140 ～ 147)、土器片加工円盤 (138・139) が出土している (第 20 図)。

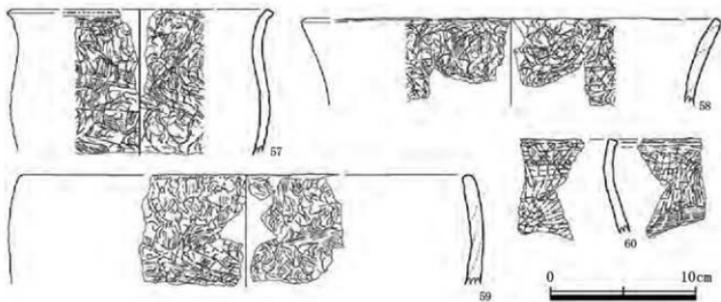
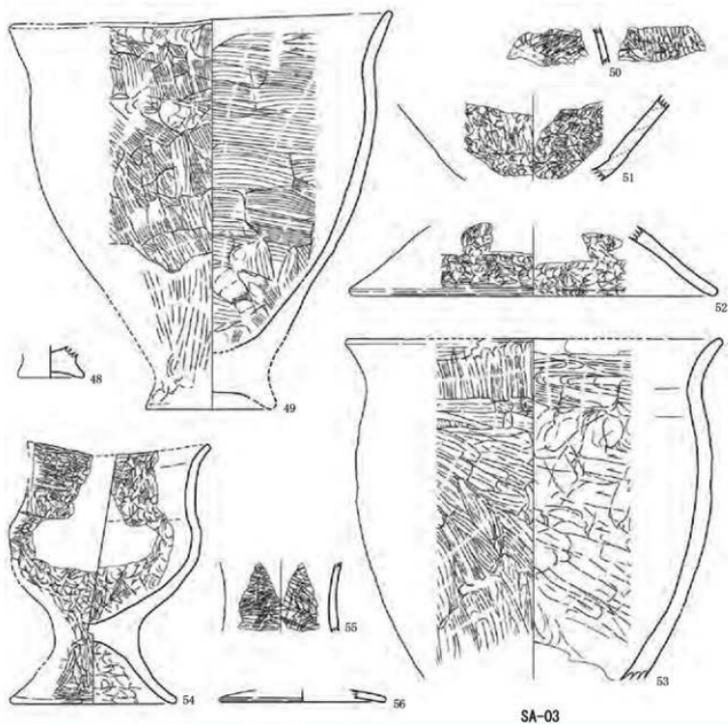
古墳時代後期以降、近世にかけては、輸入陶磁器青花 1 片 (148) のみで、近代の開拓までは不毛の地と思われる。



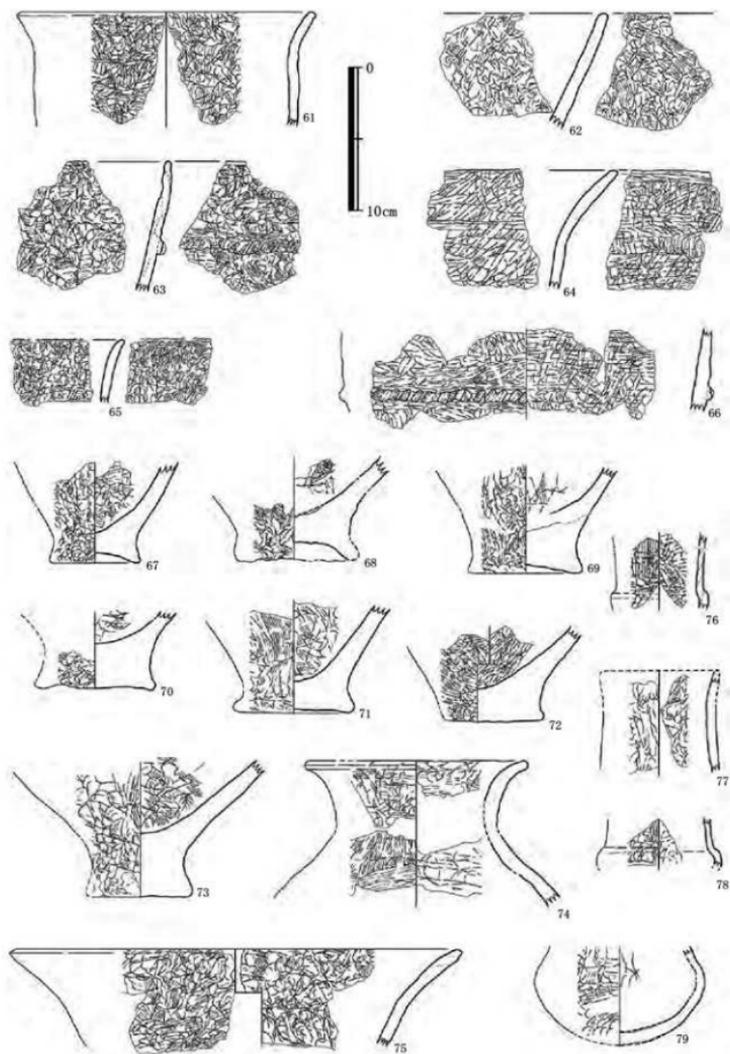
第14图 SA-01 出土土器、SA-02 出土土器 实测图(1)



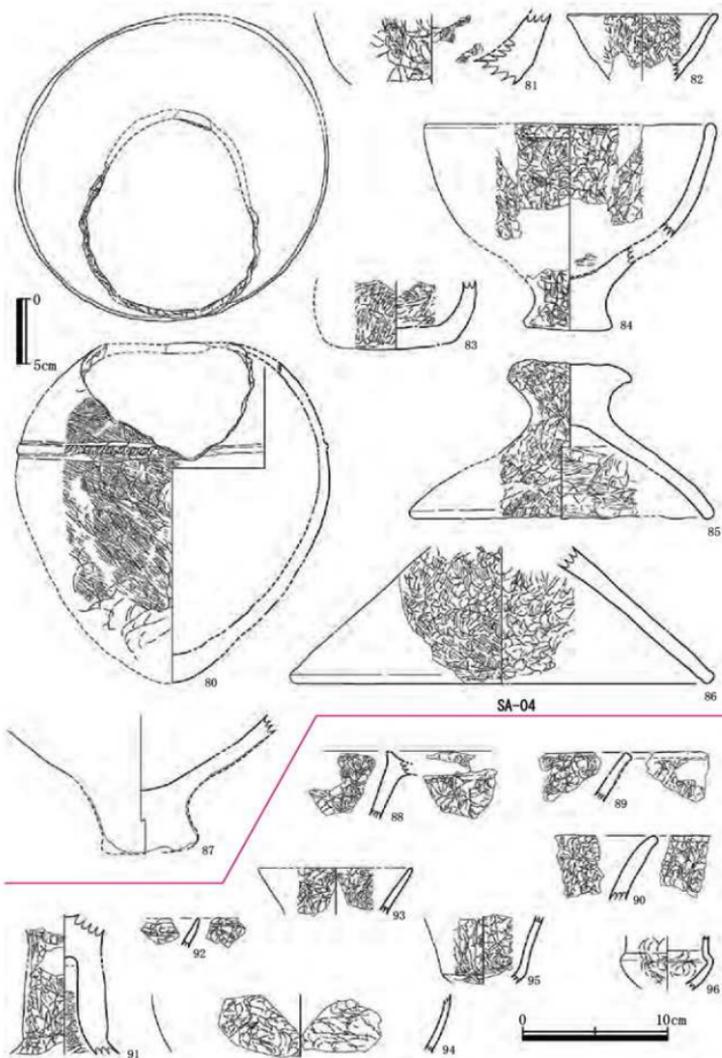
第15图 SA-02 出土土器(2)、SA-03 出土土器 实测图(1)



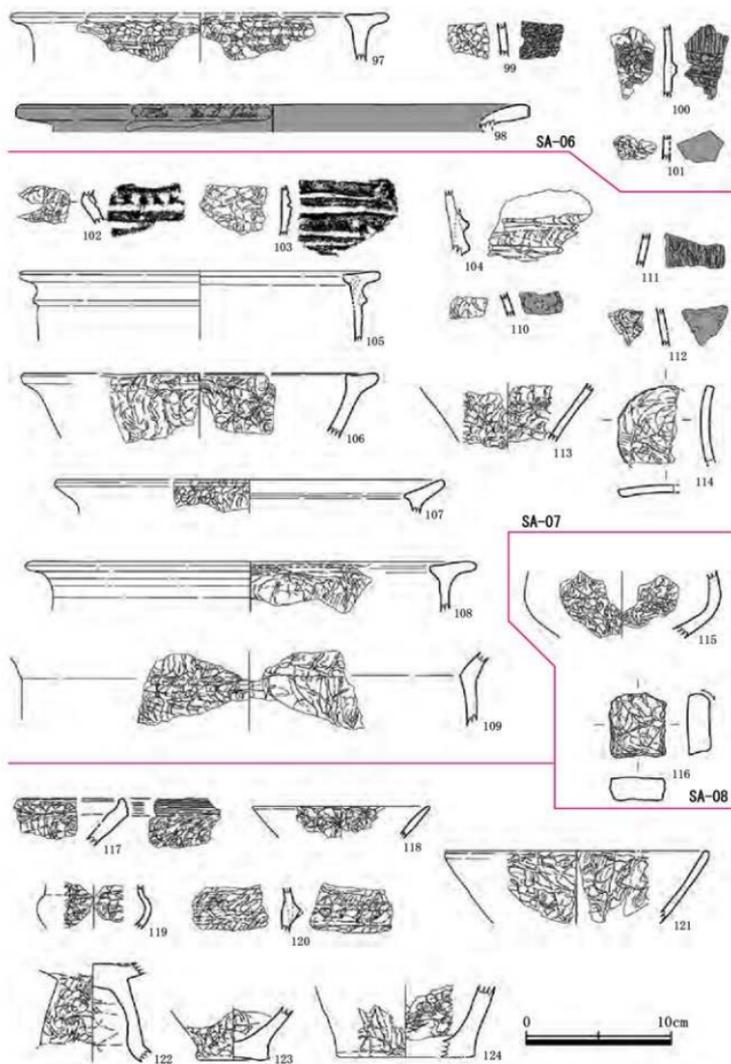
第16图 SA-03 出土土器(2)、SA-04 出土土器 实测图(1)



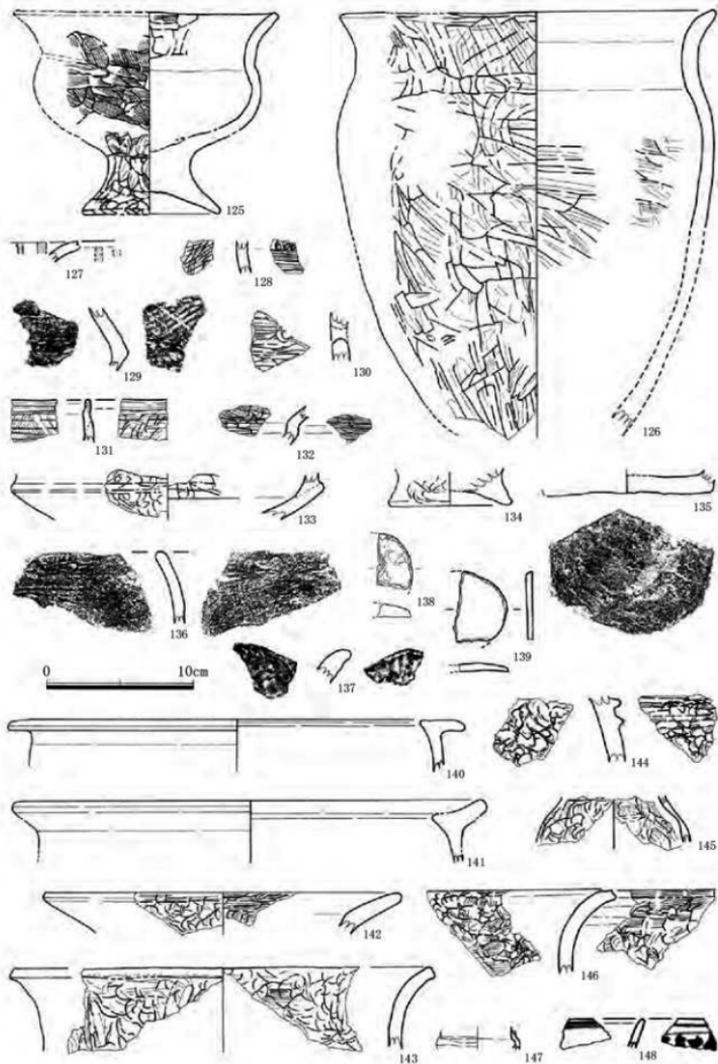
第 17 图 SA-04 出土土器 实测图 (2)



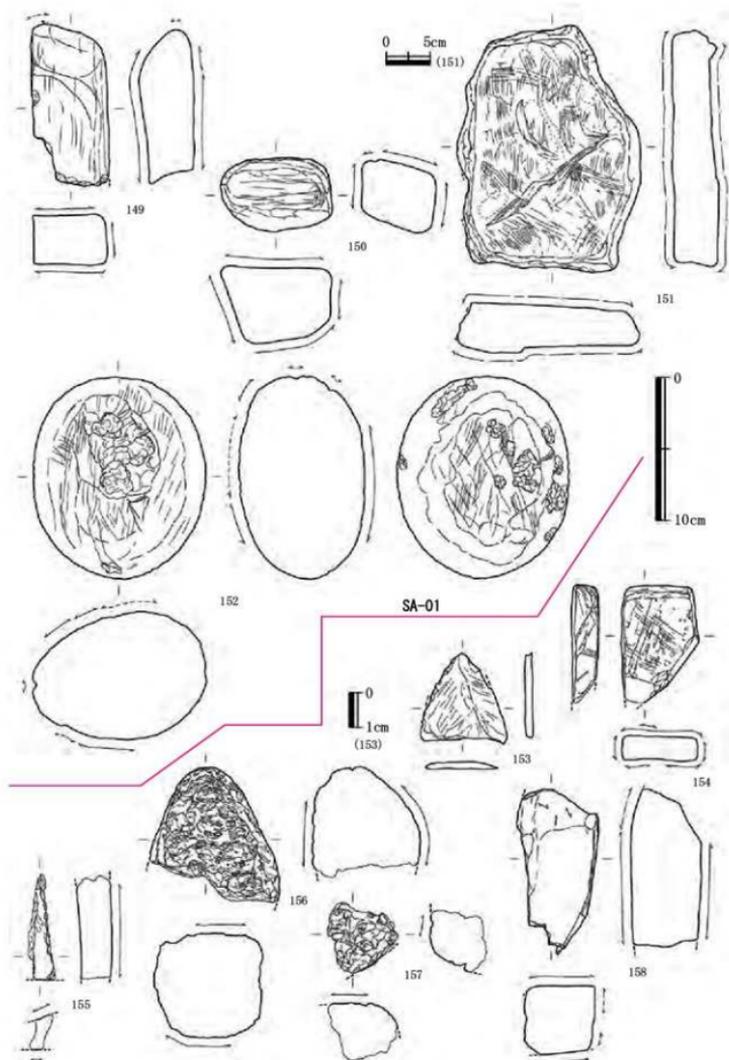
第18图 SA-04 出土土器(3)、SA-05 出土土器 实测图



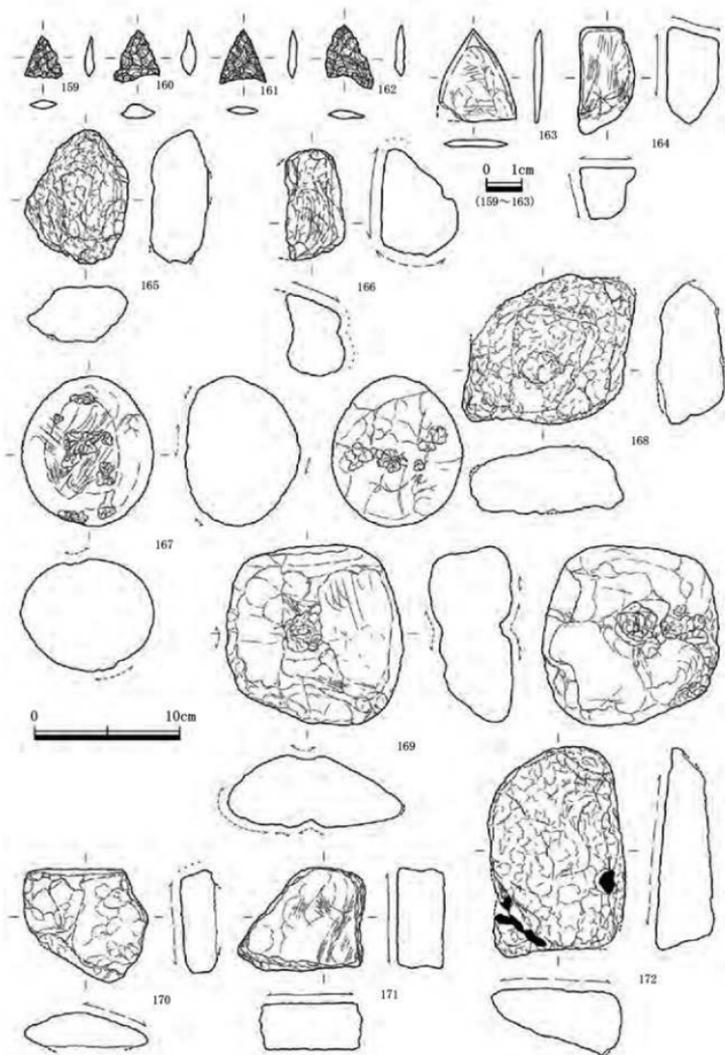
第 19 図 SA-06-08、I 区 IV a 層ほか出土土器 実測図



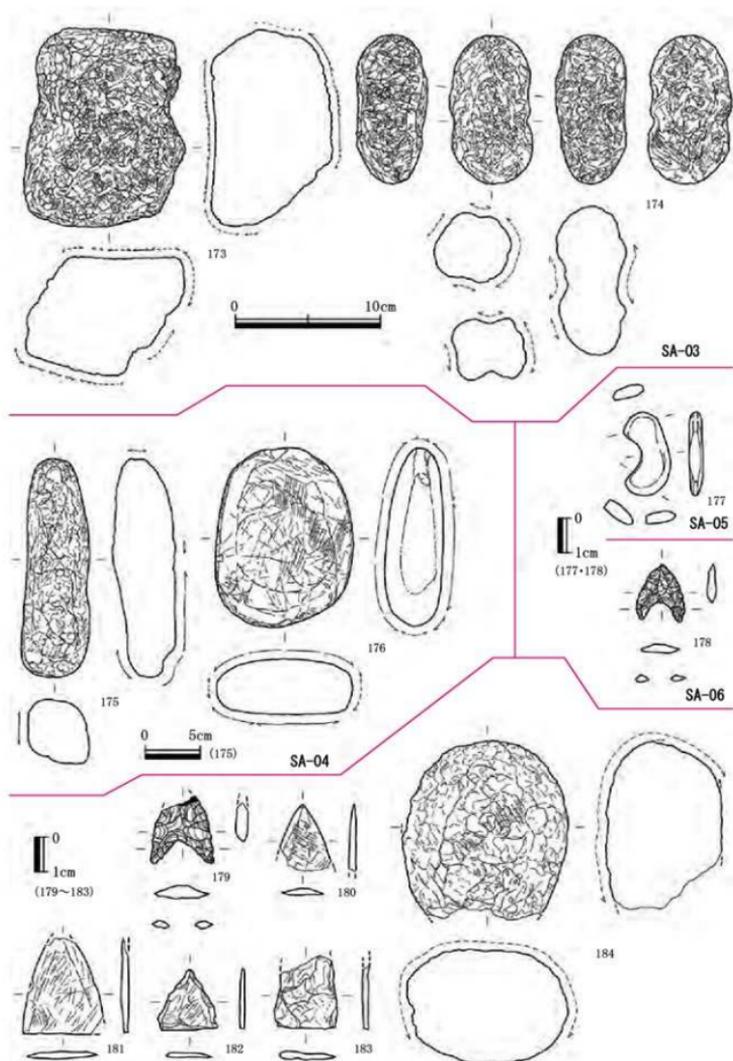
第20图 I区 SK-55・63、IVa層ほか出土土器 实测图



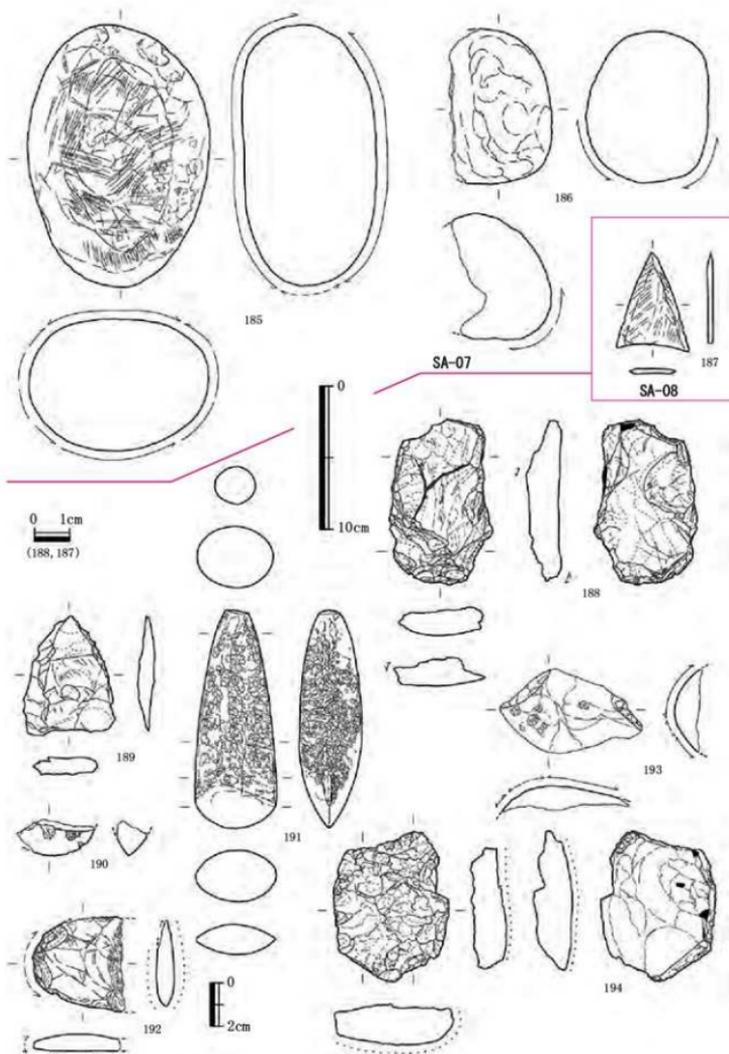
第 21 图 SA-01-02 出土石器 实测图



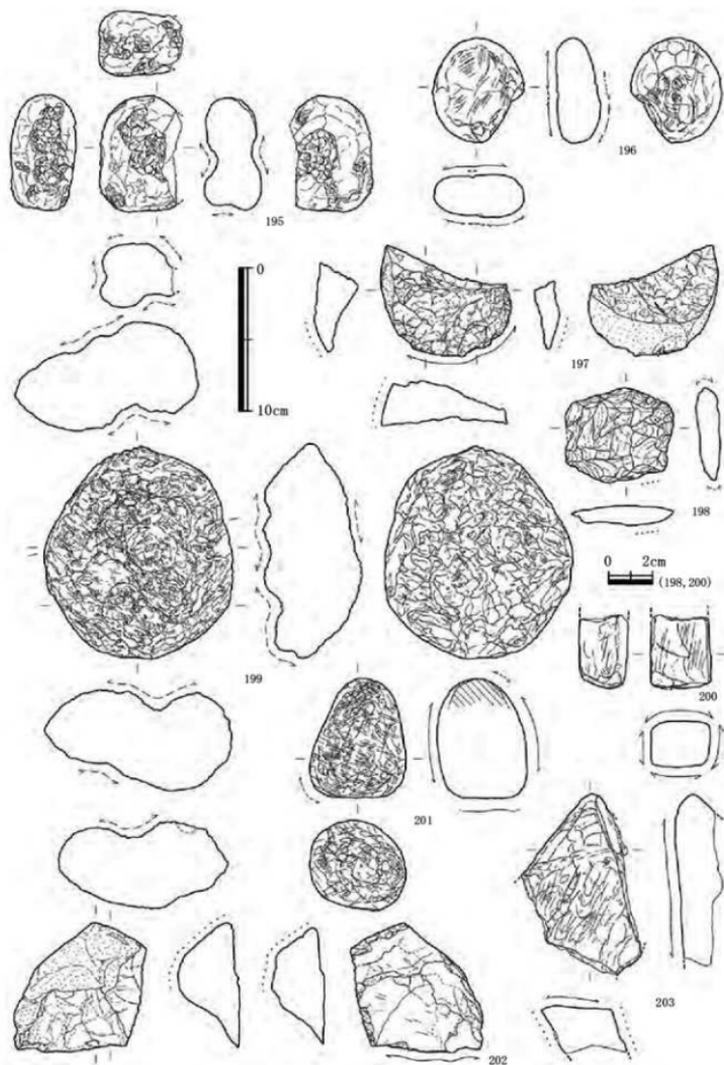
第22図 SA-03 出土石器 実測図(1)



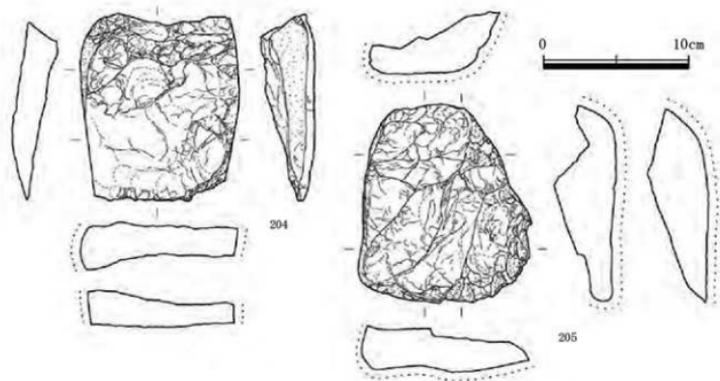
第 23 图 SA-03 出土石器 (2)、SA-04・05・06・07 出土石器 实测图



第24图 SA-07 出土石器(2)、SA-08、II层、IVa层出土石器 实测图(1)



第 25 图 SK-50-71、IVa 层 出土石器 实测图 (2)



第 26 图 SK-36、IVa 层出土石器 实测图 (3)

2. II～III区 (第27図)

発掘調査地点は、終野第1遺跡の西北端に位置し、居住域の幅が狭くなる。県道の北側はかつて畑作りのために深さ4 mもの天地返しをした際に、相当量の土器片が出土したらしい。

調査区の北壁西端から20 mほどから南南東へ、幅約2 mの19世紀後半～近代と推定される開墾時の農道跡(畑の一筆境と重複する)を検出した。路面は厚さ5 cmの小礫混じりの硬化面で、約1 mおきに楕円形の土坑が掘り込まれ、砂礫混じりの黒色土で充填されている。この道路を境に、西側は東西・南北方向に、東側は東西方向にトレンチャーの溝が走り、遺構が切り刻まれている。必然的に遺構のプランと前後関係をつかむのは困難である。

弥生～古墳時代の遺構覆土は茶褐色土が主体で、IV層以下の土壌の粒度や混じり具合で切り合いが判別できるが、極めて判断し難い部分も多々ある。覆土が黒色の遺構は近代の溝跡の小路跡と小土坑程度である。直径1 m前後の近代の土坑は灰色土混じりで垂直な壁であることから座棺墓と推定され、2～5基ほどが直列・散在する。

SA-19までをII区とし、III区の中央付近東西方向は深さ0.5 mほどの削失を受け、床面や貼床土が露出した。遺物包含層であるIV a層は、SA-49～43の北西壁沿いのみ遺存している。

間仕切りタイプの堅穴建物は市内では相当数検出しているが、当遺跡ほど大型で歪なタイプが重複・密集する遺跡は他に無い。深い遺構は床面まで60 cmあり貼床土のような硬く締まった覆土からの出土遺物の密度は低く、床面までに2面程度の擬似床・層境があり(堅いV層やVII b層を含む)、床面の把握には軟質のトレンチャー跡を数多く掘り込んで壁面で確認、労力・時間を費やした。

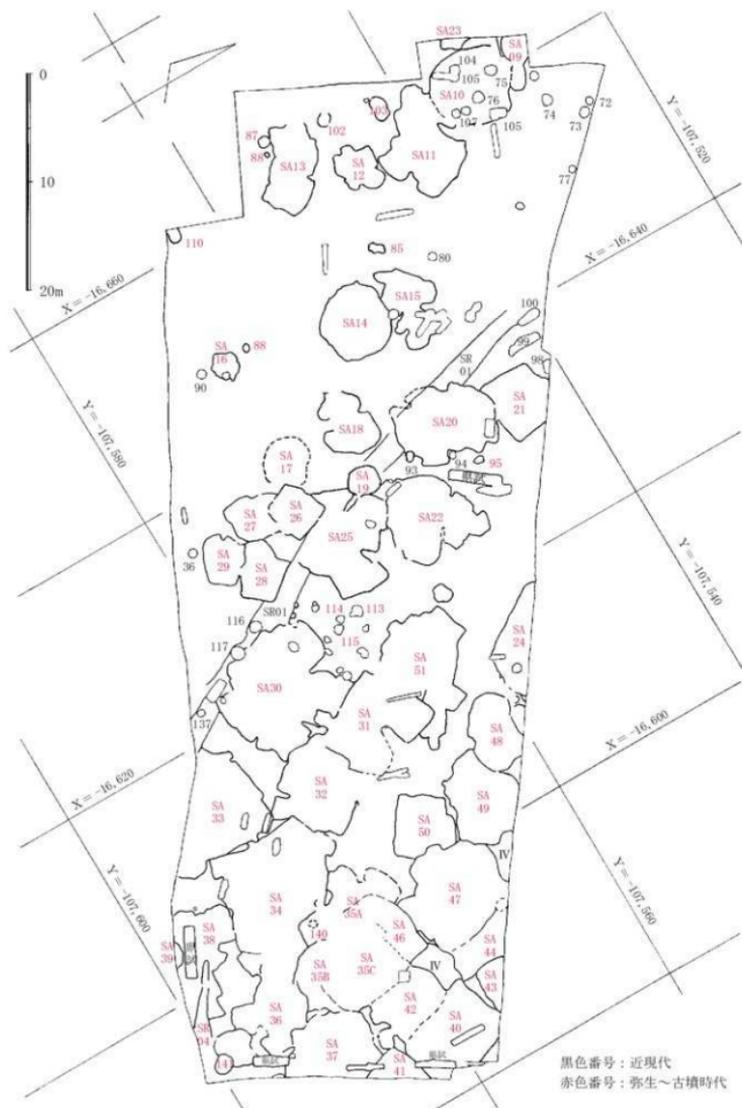
基本的層序はI区に準ずるが、VII a層:淡黄灰色～淡黄褐色土、VII b層:クサリ礫+VII a土、VIII層:高位段丘礫層に分別している。堅穴建物の2 a層は、VII b層土を混ぜた堅く締まった貼床土で、2 b層はVI～VII a層を主としてIV～V層が少し混じる混和土である。III区の東端部では、表土下1.5 m位でVIII層になる。

SA-09 (第28図) 調査区の西北端に位置し、SA-10に切られているように見えたが、縦横に走るトレンチャーによって不詳である。西端底面は若干低くなり、炭粒混じりの黒色土が認められた。図化できた遺物も僅かで、小型鉢(206)と砥石(1433)のみである(第68・121図)。

SA-10 (第28図) 長径8.0 m・短径7.2 m前後の不整形円形を呈する。10～15 cmで床面に達する。部分的に凹む所もあるが、屋内土坑や火処は確認できなかった。柱穴も未検出である。出土遺物は少量の土器片と砥石(1435)、小型の台石(1436)がある(第121図)。

SA-11 (第29図) SA-10に北端を切られた、歪なプランであるが、長さ8.8 m・幅5.7～6.6 mの隅丸長方形を基調とし、北西部と北中部、南東中部に間仕切りを有する。深さ10～20 cmで少し締まった床面になる。西側に直径1.6 mの不整形で深さ18 cmの火処がある。貼床は、10～25 cmの厚さがある。主柱穴は不明で、出土遺物も僅かである。古墳時代前期前半の土師器(第121図)と、2層から出土した磨石(1437)が図化できた。

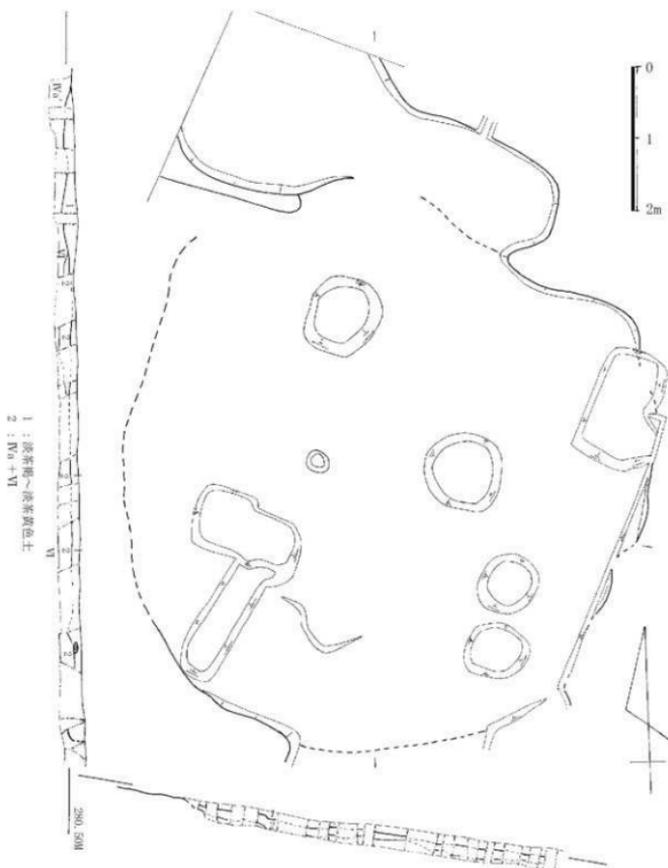
SA-12 (第30図) SA-11と一部接して検出した、長径5.0 m・短径3.4～4.0 mのかなり歪な不



第 27 图 II～III 区 遺構分布图

整形タイプである。深さ12 cmで1段目のやや硬い床面になり、中側1/3は25 cmほど深くなる。その南側はさらに長径1 m・短径0.8 mが10 cmほど深くなり、底面は炭泥混じりとなっている。貼床は10～30 cmの厚さがあり、最深部周辺のみ硬い2 a層がある。

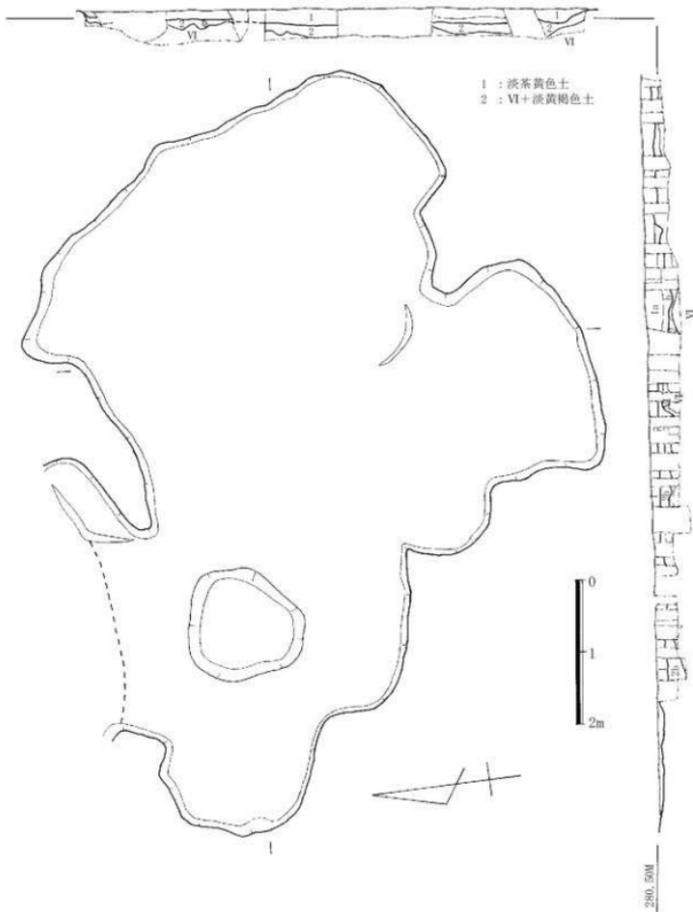
SA-13 (第31図) 東西8.6 m・南北3.6～4.2 mの不整形プランで、北辺中央東寄りに狭小な間仕切りがある。深さ35 cm前後でやや硬い床面になり、中央部5 mほどはさらに20 cm下がる。その



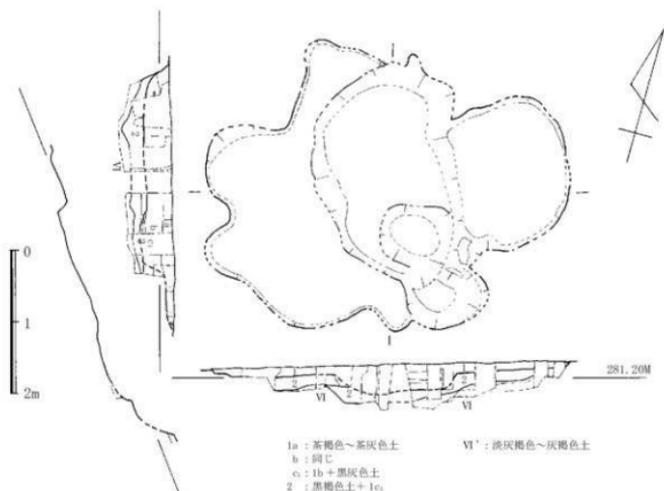
第28図 SA-09-10 遺構実測図

少し東側に火処があり、長さ70cmの隅丸三角形を呈し、深さ12cmを測る。主柱穴は不明瞭で、貼床は6～20cmほどの厚さを測るが、中央部は施されていない。出土遺物は少なく（第121図）小片であるが、小型壺（235～238）などから、古墳時代前期前半の時期と推定される。

SA-14（第32図）東西6.86m・南北6.1～6.52m、南辺3.2mが直線的な隅丸六角形に近いブ



第29図 SA-11 遺構実測図



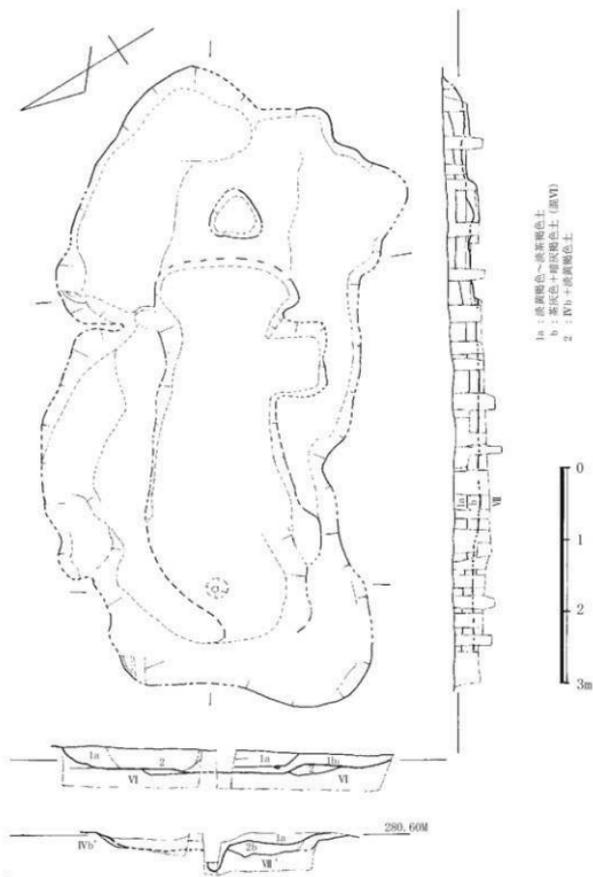
第30図 SA-12 遺構実測図

ランである。深さ10cmほどで硬い貼床になり、直径4mほどの内区は深さ20～30cm下がってさらに硬い床面になる。中央やや東に鍛冶炉が設けられ、周囲に厚さ3～8cmの暗灰色土1c層が広がっていた。

炉は、長さ50cm・幅28～34cmの不整形プランで、底面は全面朱色に焼け中央寄りに焼灰と炭が集中している。深さは1～2cmで、西寄りには長さ6cm・幅2cmの灰色物質があり、錫滓を連想させたので自然科学的分析を行った。結果は、第4章掲載のとおり自然由来のもの（焼灰）であった。ただ、掘込時に覆土から鉛滓が出土したので鍛冶炉であることがわかり、炉内および周辺の1c層を全て（土囊袋満杯4袋分）持ち帰って水洗選別した。その結果、直径1～8mmの粒状滓75点、鍛造剥片124点、鉄滓49点を採取できた。さらには、磁石で「砂鉄」も大匙1杯採取できた。なお、これは、試験的に磁石を当てただけなので、1c層全てに着磁していたら、もっと多くの砂鉄を採取できていただろう。

主柱穴は、柱間3.8mの2本柱で、段落ちの肩～斜面部に設けられ、間仕切り住居構築過程の名残りと思われる。主柱穴は双方深く、内区底面から70～80cmの深さがあり、中心側に柱抜取穴がある。北側の柱穴には、小型の甕(245)とその内底(248)と下に別物の甕の底部(249)が入っていた。

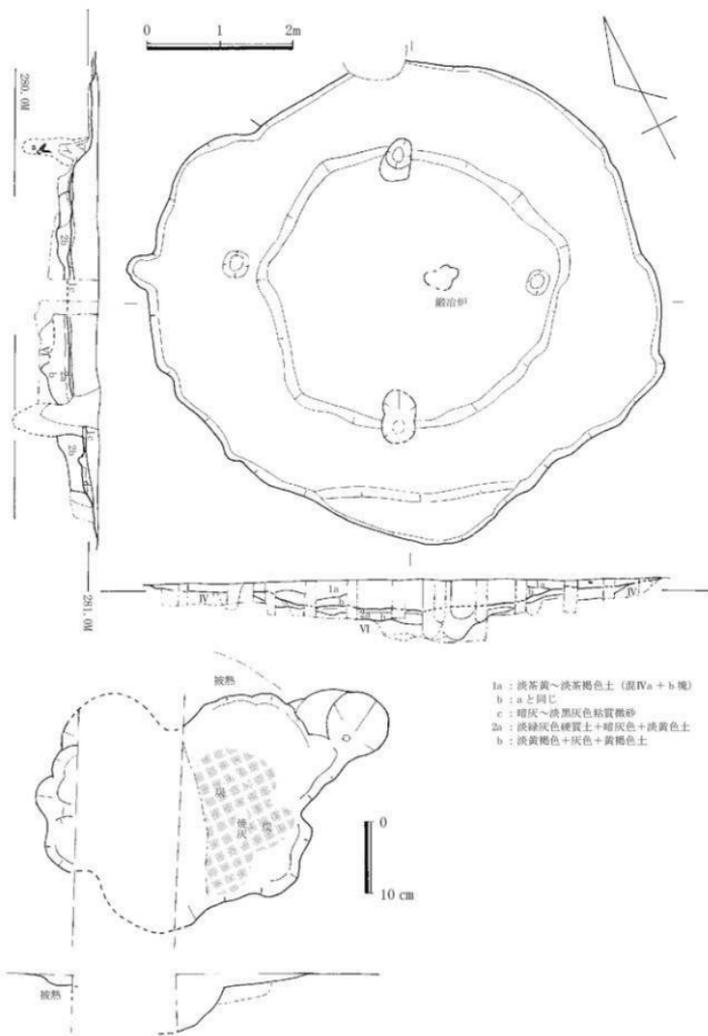
貼床は、硬く縮まった厚さ5～6cmの2a層と混和土の2b層(20～30cm)がある。主柱穴2と直交して直径30cm前後・深さ23cm前後の柱穴状の遺構(芯々4.1m)があるが、補助的なもの



第31図 SA-13 遺構実測図

と考えられる。

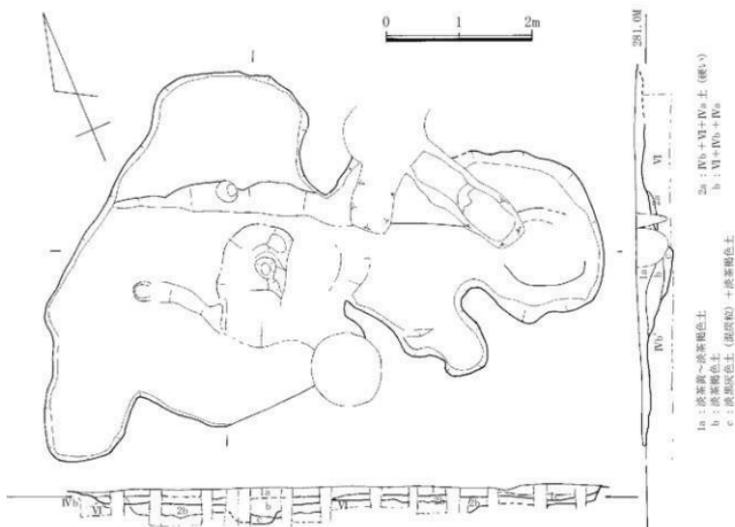
出土遺物は少なく、土器片(第121図)と石器が僅かに出土したにすぎないが、(241)は鍛冶炉直上にあつた甕片で、鍛冶の年代を示すであろうことから外面のススを採取し、年代測定を委託した(第4章)。その結果、布留式終末並行の推定より古い、3世紀後半～4世紀前半の結果であつた。反面、外面下半は被熱と弾けがあり、その内面は暗茶褐色に変色しており、取瓶の使用の可能



第 32 図 SA-14 遺構実測図

性が高い。小鍛冶を営んだことは証明されるが、鉄器や鉄片、蔽石等の工具は明瞭でない。唯一、小型の台石（1442）は稜が潰れており、鉄床石の可能性もある。なお、炉内覆土の水洗選別土壌に磁石を用いて大匙1の砂鉄を採取している。

SA-15（第33図）長さ7.6m・幅2.4～5.4mの極めて歪な間仕切りタイプである。6×4.8mほどの隅丸長方形を基調とした可能性もある。深さ10cmほどでやや硬い床面になり、西側は内区が10cm下がる。中央部1.6×1.1mほどはさらに30cm下げられ、火処となっている。東部も直

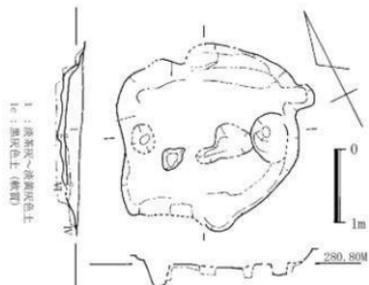


第33図 SA-15 遺構実測図

径1mほどが10cm程度下げられ、火処となっている。主柱穴は不詳で、貼床は10～20cmの厚さがあり、西側火処の北部のみ硬い2a層がある。

出土遺物は少なく、古墳前期前半の土師器片（第69図）が出土している。

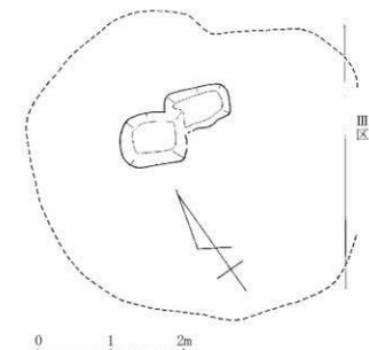
SA-16（第34図）南側のやや低い位置で検出した、直径2.5mほどの不整形プランで、東側に長さ25cmほどの突出部



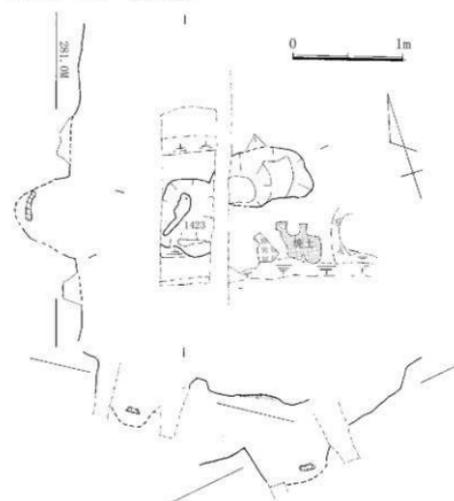
第34図 SA-16 遺構実測図

がある。深さ 20 cm でやや硬い床面になり、東西に支柱穴がある。西側は深さ 32 cm、東側は 17 cm を測る。中央寄りには、長径 30 cm と 52 cm ・深さ 2 ～ 3 cm の火処がある。貼床は 5 ～ 10 cm の厚さがある。

2 基の支柱穴の位置を考慮すると本遺構は、間仕切り住居の内区である可能性が高い。覆土から少量の土器片が出土（第 70 図）しているが、古墳前期かと想定される程度である。



第 35 図 SA-17 遺構実測図



第 36 図 SA-17 内 土坑 実測図

SA-17（第 35・36 図）表土下すぐに床面が現れたが、東西 6.4 m ・南北 6.2 m ほどを確認できたにとどまり、2 段掘りの浅い土坑（長さ 93 cm ・幅 50 cm ・深さ 15 ～ 23 cm）とそれに直交する長さ 70 cm ・幅 48 cm 以上 ・深さ 50 cm の土坑、浅い土坑の南側では厚さ 1 ～ 2 cm の焼土を確認した。

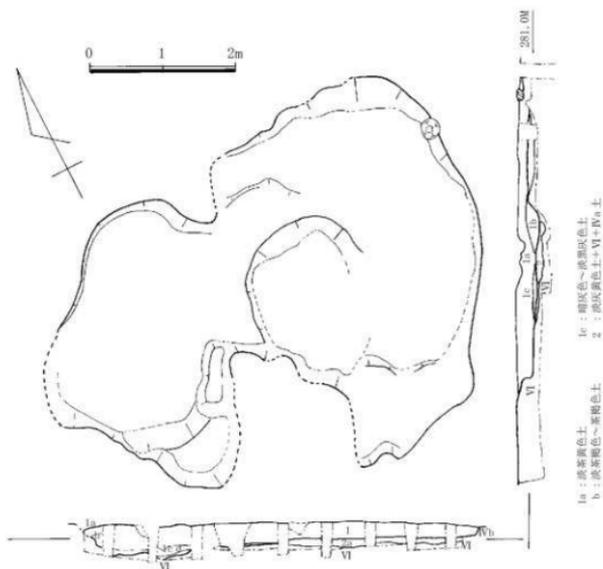
炭と焼土に混じって、古墳前期を主とする土器片（第 70 図）が出土した。又、攪乱内から、長さ 24 mm の鉤滓が出土した。

深い土坑の底面付近では、長さ 44 cm の炭化材が出土した。取り上げ後、洗浄・乾燥時に

崩壊しかけたが、出土時に近い形で図化できた（第 119 図-1423）。ほぼ旧状を保つ外縁は丸みがあり、左上には内径 13 × 16 mm の孔（？）があり、4.3 cm 下にも孔跡があった。厚さは 5 ～ 35 mm あり、右～下方が厚くなる。左側が薄く、右側が厚い打割製材（ミカン割り）の節が抜けている木器の未製品もしくは失敗品と思われる。燃料として使い、灰化する前に埋まって形状が保たれたものと思われる。

SA-18（第 37 図）東西 6.4 m ・南北 4 ～ 5 m ・くびれ部幅 2 m の歪なヒョウタン形を呈し、中央付近が 1 段（12 cm）低くなる。中央

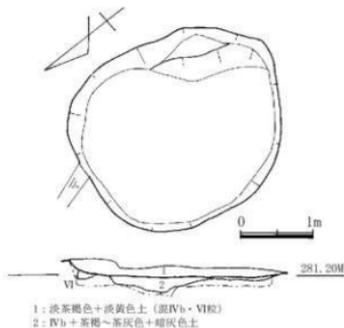
付近と西半部の中央寄りの底面が火処である。検出面から15～30cmで床面に達し、やや硬化している。貼床は中位から東側にかけて10～20cm施される。



第37図 SA-18 遺構実測図

出土遺物は少なく(第70・71図)、古墳前期前半が主体と思われる。

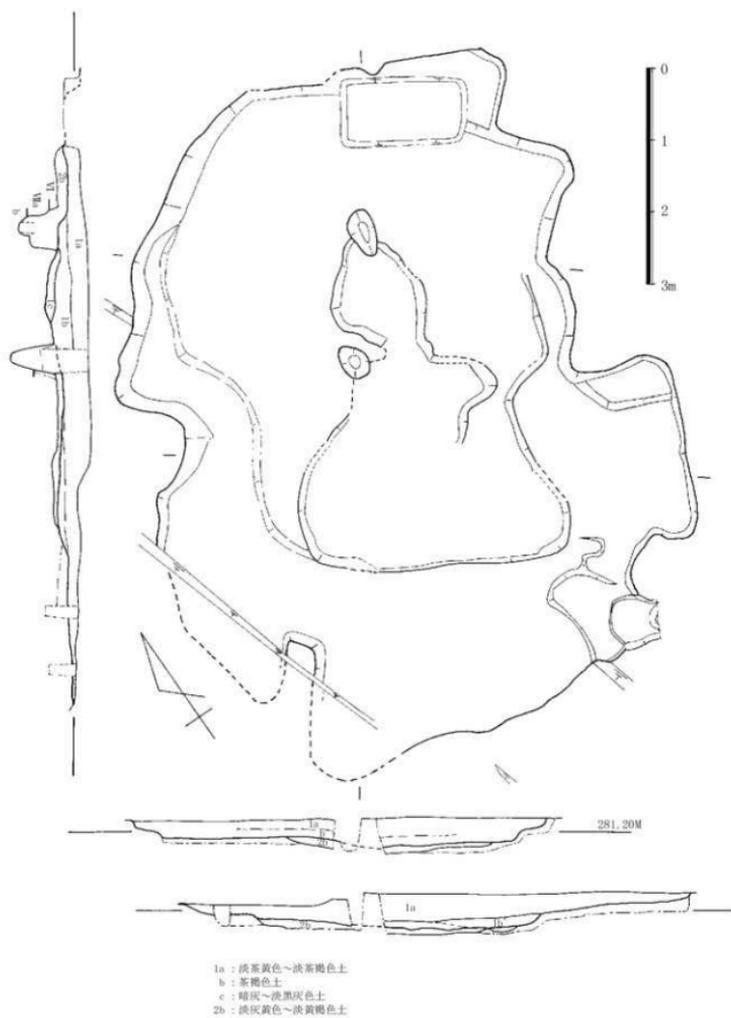
SA-19(第38図) 長径3.02m・短径2.52mの楕円形プランが遺存するが、西側6/7が上部を消失している。深さ12～24cmでやや硬い床面になる。火処は無く、貼床は厚さ4～19cmで全面に施される。南西部の肩が緩やかなので、外方に狭小な1段目が存在した可能性がある。出土遺物は少ない(第71図)が古墳時代前期と思われる。



第38図 SA-19 遺構実測図

SA-20(第39図) 南北9.5m・最長10.3m・

東西5.6～7.4mの楕円形を基調とし、中位以南に長さ0.4～1.2mの明瞭な間仕切りがある。

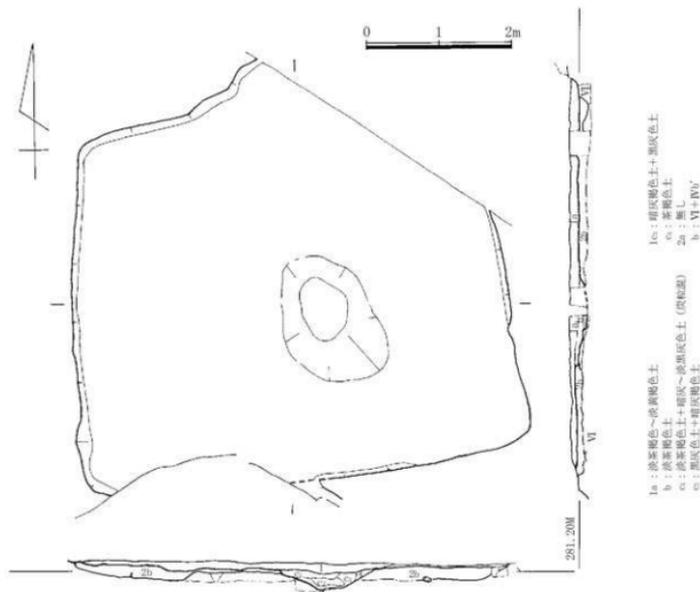


第 39 图 SA-20 遺構実測図

東壁は凹凸の激しい不整形プランである。西南端部は、硬化面が僅かに残っていた。深さ13～27 cmでやや硬い床面になり、中央寄り、さらに不整形に15～20 cm下がる。北寄りの位置で、直径40 cm前後、深さ60 cm・柱間1.9 mの主柱穴を確認した。北側主柱穴には柱抜取穴が南接する。柱間には、直径1.3～1.4 m・深さ10～14 cmに掘り込まれた火処がある。北側の1段目と内区全体に厚さ8～15 cmの貼床が施されている。

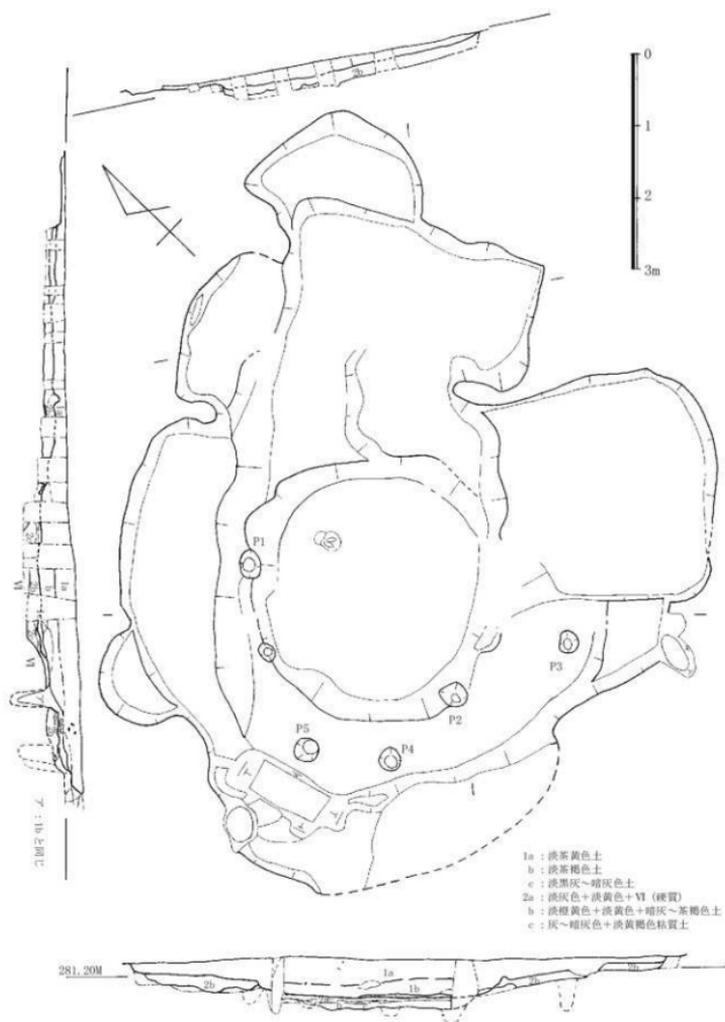
出土遺物としては、壺甕類ほか小型壺、高坏（第71・72図）、器面調整具（1447、1448）、編物石（1454～1460）・鉄片（1380）などがある。1447・1448の面には光沢があり、砥石（1449）の面の光沢は金属を研磨したものと思われる。編物石は砥石を兼用するものが多く、稜は摩滅・摩耗（手擦れ・紐擦れ）している。

SA-21（第40図）東西5.6～6.16 m・南北5 mの方形基調で、北側に1.2 mほど突出部がある。深さ10～13 cmでやや硬い床面になり、中央やや南東寄りの、長径1.95 m・短径1.27 mの不整形円形プランが深さ26 cmの火処である。貼床は4～18 cmあり、2層を全面完掘したが、柱穴は確認できなかった。



第40図 SA-21 遺構実測図

出土遺物としては、少量の土器片（第72図）と砥石があり、古墳前期前半が想定される。

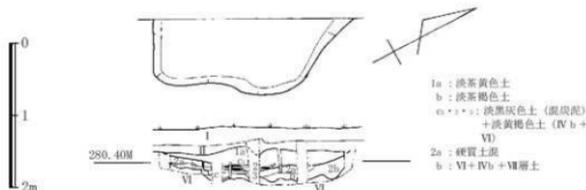


第 41 図 SA-22 遺構実測図

SA-22 (第41図) 長径10.88m・短径8.08mの不整楕円形プランで北西部に長さ60cm・東部に1m以上の明瞭な間仕切りがある。北端の2×1.2mほどと南端の4.5×1.3mは、深さ2～5cmで拡張区の可能性がある。深さ8～14cmほどでやや硬い床面になり、直径3.7m・深さ20～27cmの内区がある。底面南半部は火処となり、1c層がある。柱穴は4基検出したが、主柱穴は、内区肩部にあるP1とP2である。柱穴P4の1.1m北西に、直径30cmの火処があり、外縁が焼土化している。貼床は厚さ10～24cmで、内区は2～3層で硬く締められている。

出土遺物は小片が少量(第72・123図)で、弥生終末～古墳前期の壺甕類と磁石(1465、1466)、編物石(1468)がある。

SA-23 (第42図) II区の西端、SA-10と接し、SA-09の2.5m南に位置する。長さ2.5m・幅1.05mを確認した。検出面から4～17cmで床面になり、中央部は7cm掘り下げられ、3次にわたる床面と火処(1c層相当)を確認した。貼床は全面に15～24cm施されている。位置的に、SA-09の一部の可能性もある。



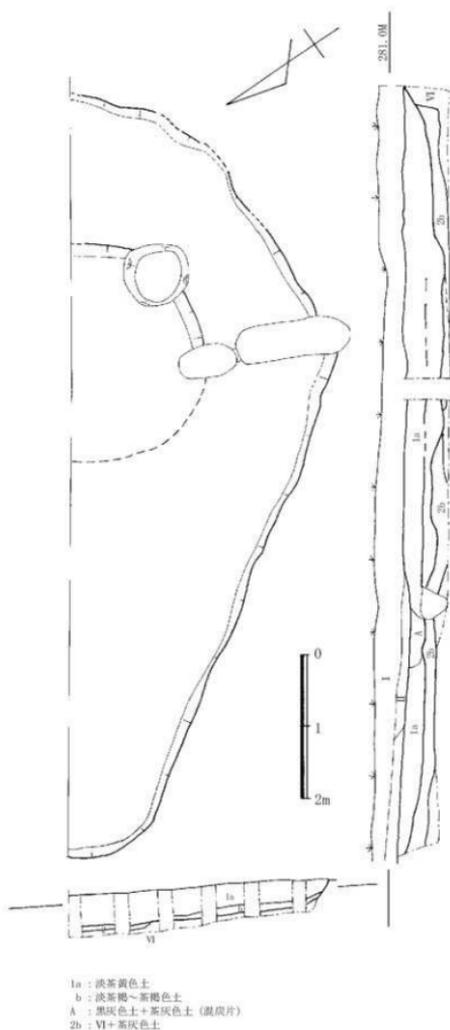
第42図 SA-23 遺構実測図

1c層を水洗選別したところ、鍛造剥片状の2片(2～3mm)を採取した。

SA-24 (第43図) 長径10.5m・短径3.65mを検出した。深さ36～45cmでやや硬い床面になり、やや東寄りに直径3.06m・深さ10～13cmの内区がある。火処と柱穴は未確認である。貼床は厚さ8～20cm施される。

出土遺物はやや多く(第74・75図)、甕(396・397)や壺(402・405)・高坏(427)から、古墳前期末～中期初頭と思われる。又、逆刺先端の無い小型の三角形鉄鏃1点(1381)が出土している。

SA-25 (第44図) 東西10.2m以上・南北9.7mの不整形なプランであるが、8×8.3mほどの隅丸方形の3ヶ所に、長さ0.9・1.9・2.5mの間仕切りがあり、東部の1区画が東へ2mほど突出し、西南部がSA-26に切られている状態である。深さ10～15cmでやや硬い床面になり、内側3.7×4.6mの略楕円形は37cm前後低くなり、火処となっている。P6北接の区画はほぼ貼床面で、内区側60cmから内区全面は被熱している。上面は厚さ1cmの焼土となっているが、柱穴を検出した所は被熱が無く、内区底面の湿気抜きをした後に柱穴を掘削したことがわかる。柱穴は6基で、深さ28～55cmを測りP1とP4は柱抜取穴が並掘している。貼床は10～24cm施されている。出土遺



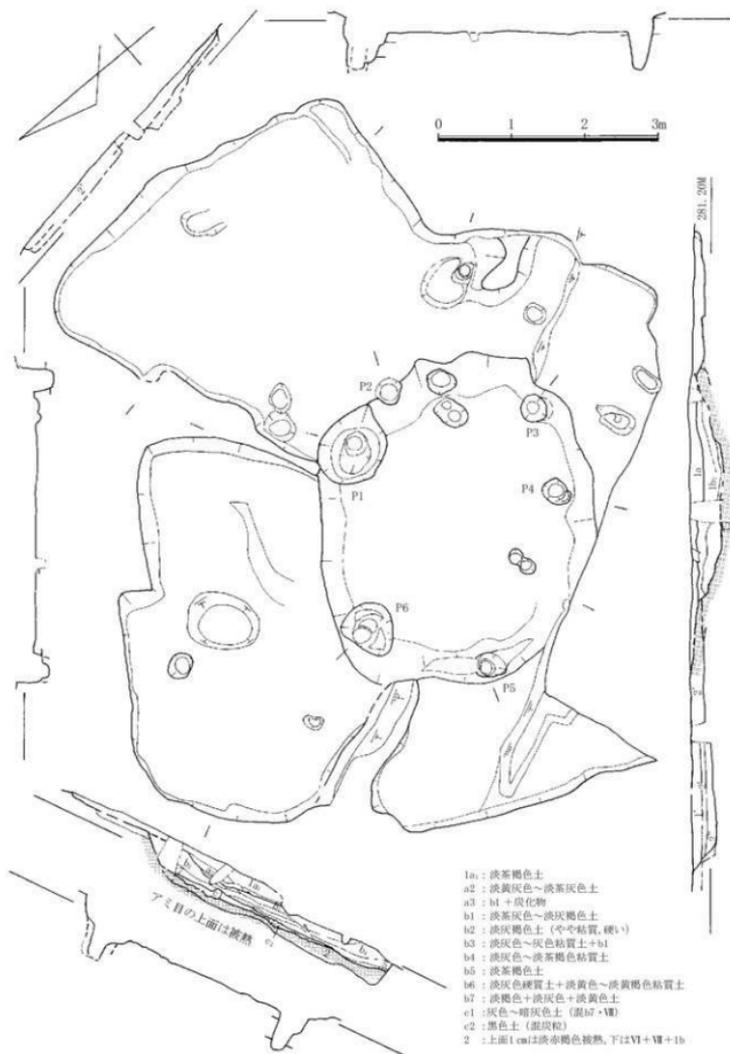
第43図 SA-24 遺構実測図

物は、壺甕類の破片（第76図）がやや多く、前期前半と推定される。丹塗り土器片（456）は混入の可能性もある。（457）は、被熱していないが、専用羽口の可能性を考えている。なお、I c層を水洗選別・着磁により砂鉄大匙1（7g）を採取し、さらに冬期の霜柱で持ち上がった表面の土壌を土囊袋2袋分、水洗選別したところ、砂鉄を大匙8（80g）採取した。

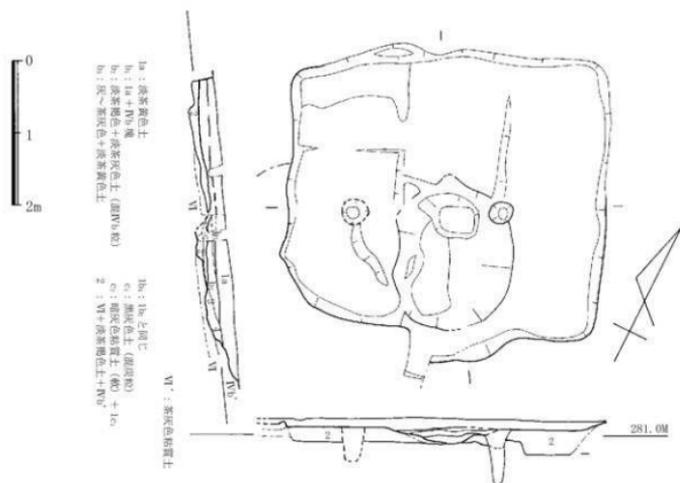
SA-26（第45図） SA-25と27を切る、東西4.38m・南北3.86～3.90mの方形プランの南辺中央部が40cm突出し、4.32mを測る。深さ10～26cmでやや硬い床面になり、中央～南壁にかけて、長さ1.88m・幅1.58mの楕円形を呈する深さ20cmの土坑を有し、底面の北半分には黒灰色土があり、中央付近の幅60cmは、さらに20cm掘り込まれ、初期の火処となっている。主柱穴は、芯々2.1mの2本で、貼床後に掘り込まれている。貼床は厚さ10～36cmあり、東側が深い。

出土遺物は少ない（第77図）が、甕（458）と壺（466）等から古墳前期後半と推定される。

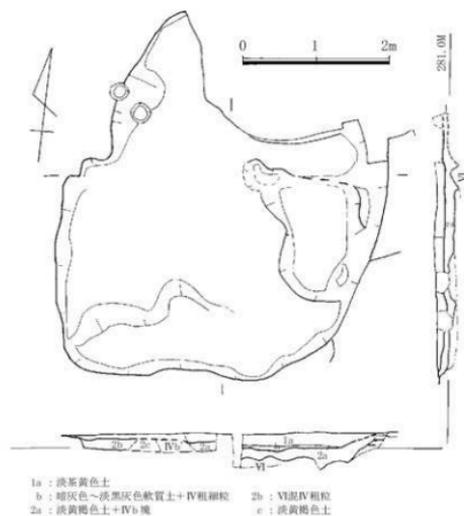
SA-27（第46図） 長径5.0m以上・短径4.30mの略楕円形を呈し、10～20cmでやや硬い



第44図 SA-25 遺構実測図



第45図 SA-26 遺構実測図



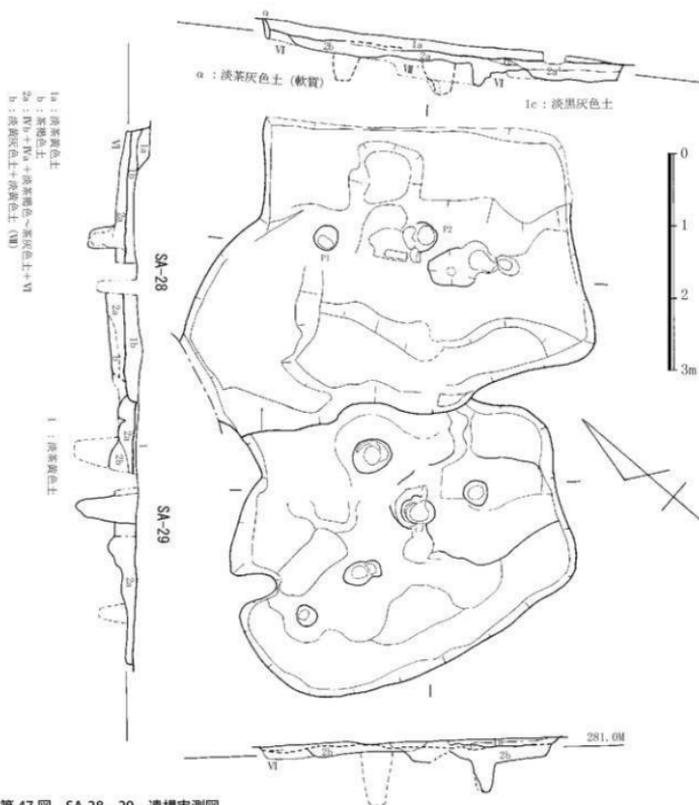
第46図 SA-27 遺構実測図

床面になり、西壁寄りには、長さ1.7m・幅1.2～1.3mの不整形で深さ5～8cmを測る土坑がある。火処と主柱穴は未検出で、貼床は10～20cm施される。

出土遺物は少なく(第77図)、古墳前期と思われる。

SA-28(第47図)長さ4.0～5.7m・幅3.2～4.33mの略台形を呈し、北西端部以外は、上部10cm以上を消失している。深さ28cmでやや硬い床面に達する。主柱穴は中央やや北東寄りのP1とP2と思われる。貼床は10～26cmの厚さがある。

出土遺物の大型破片は北半部



第47図 SA-28、29 遺構実測図

に多く (第77～79図)、甕3 (478・479・492) と壺 (493)・高坏 (490・491)・鉢 (485) は一括性があり、古墳中期前半と考えられる。二重口縁壺の外面上には籠目の陽焼けしていない部分があり、葛か藤ツルの編籠に入っていたものと推定される。鉄器は、小型三角形の長頭鎌1 (1382)、石器は大型の砥石 (1499) が出土している。

SA-29 (第47図) 長さ4.7m・幅2.6～3.88mの、半円半方形崩れのプランで、北西部に長さ60cmの間仕切りがある。中央から東側短辺中央にかけて、長径2.1m・短径1.5m・深さ5～10cmの浅い土坑がありP4～P5上面に火処があり、P4とP5は本遺構とは関係ないことがわかる。

SA-30 (第48・49図) 長径11.6m・短径10m以上の、半円半方形を基調とし、南北中央と東側に間仕切りを有する。北東縁と西縁は後世に消削されており、元の短径は11.0m前後と推定され

る。深さ 32 ～ 40 cm でやや硬い床面になり、南寄りの直径 4.8 m が 10 ～ 30 cm 下がる内区で、中央付近に直径 1 m ほどの火処がある。主柱穴は 4 本と思われるが、北西部が未検出である。貼床は 10 ～ 33 cm の厚さで、特に内区は硬く締まり、上部 4 ～ 8 cm は硬めの土の割合が多い。

出土遺物は西半分が多く、その北半部に土器（第 80 ～ 86 図）が集中廃棄され南半部に編物石と鉄器が集中する。甕は、ミニチュアから大型まで様々な形のものも多く、壺や高坏も小型やミニチュアを含み、相当量出土している。壺（591）は、口縁～頸部を直径 18 cm に打ち欠いて甕として転用している。（656）は壺の底部を転用し、ツマミを付けて打ち欠き整形したもので、被熱と弾けがみられることから、取瓶の可能性が高い。（655）は甕片であるが、全面被熱発砲している。南西部において、L 字状に編物石が点在する中に大型の圭頭織（1383）が、その南側には鑄造鉄斧（1385）が出土した。錆膨れが著しいが、長さ 94 mm、幅 48 mm、高さ 10 ～ 14 mm、厚さ 3 ～ 4 mm で、上面と側面の半分程度および刃部が切断されている。A 面右上に袋部端面が残っているように見える。背面下半には、長軸方向と斜め方向の木質が錆着している。両側面は不整形で、雑な截断である。編物石は 17 個出土し、最多である。稜の殆どは磨滅・磨耗している。北中央部の 1 c 層を水洗選別すると、砂鉄を大匙 1（8 g）ほか微砂～粗砂、炭粒を採取した。自然遺物として、炭化シイ類 1 と炭化クリ 2 がある。主として古墳時代前期末か。

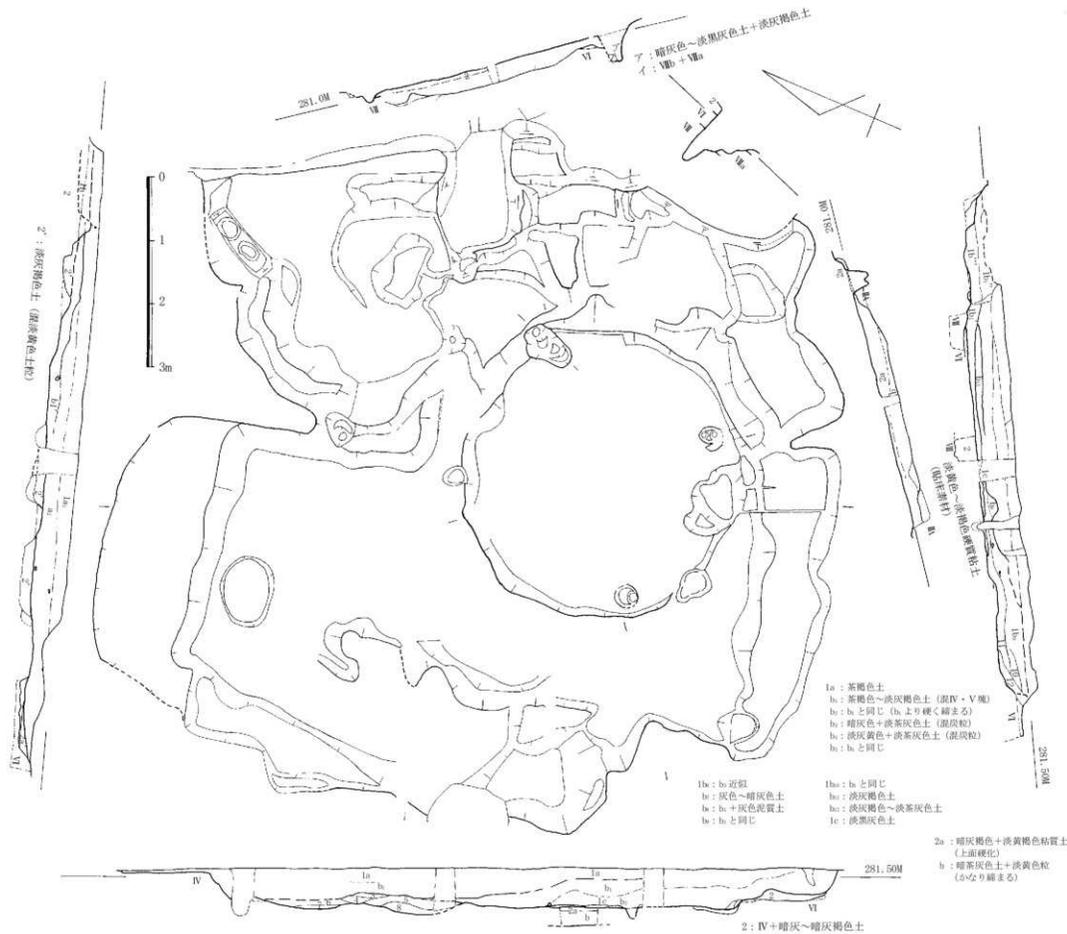
SA-31（第 50 図） 長さ 8 m ほど、幅 7.6 m ほどの方形基調で、南西部に突出部が、東中央部に間仕切りがあるが、2/3 以上が削平され、攪乱によって南東部の形状が不詳である。中央付近に殆ど掘り込みのない直径 1 m 程度の火処がある。柱穴は不詳、貼床は 8 ～ 18 cm の厚さがあるが、火処部分の上層はかなり硬質である。古墳時代前期後半の土器（第 86・87 図）のほか、鉄鏃 2（1387・1388）、大小の器面調整具（1532・1536）などが出土している。

SA-32（第 51 図） 長径 8 m 以上・短径 7.4 m 以上であるが、SA-31 と 34 に切られ、東側は後世の削平を受けており、原形不詳であるが、西南部に長さ 1.3 m の間仕切りがある。深さ 10 ～ 13 cm でやや硬い床面になり、南半部は幅 1.1 ～ 1.6 m の不整形な外区が残り、内区は 20 cm 低くなる。長軸中央部には形状・大きさの異なる 3ヶ所の火処がある。北西端の火処 C は直径 1.4 m ほどに黒灰色土と焼土が広がり、底面も相当被熱している。中央部の火処 B は長径 1.7 m、東南部の火処 A は長径 1.6 m あり、それぞれ黒灰色土が覆う。主柱穴は不明で、深めの柱穴 P1 と P2 は火処と重複しており、同時性は薄い。

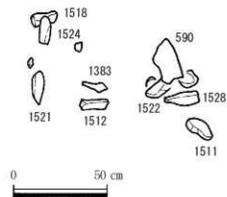
古墳時代前期末～中期初頭の土師器（第 87 ～ 89 図）の中には、波状文のある二重口縁壺（721）や、硬く焼き締まった分厚い器壁の大型土器片（714・715）、埴（736）などが混じる。この他、曲面で一部を折り曲げている鉄片 2（1389・1390）、器面調整具（1543）、砥石（1542）、敲磨石（1544・1545）などが出土している。

火処 A の 1 c 層の水洗選別においては砂鉄を大匙 3（30 g）、火処 B からは長さ 2 ～ 10 mm の鍛造剥片 30 片、鉄滓 1、砂鉄大匙 2（17 g）を、火処 C からは砂鉄小匙 1（5 g）を採取した。

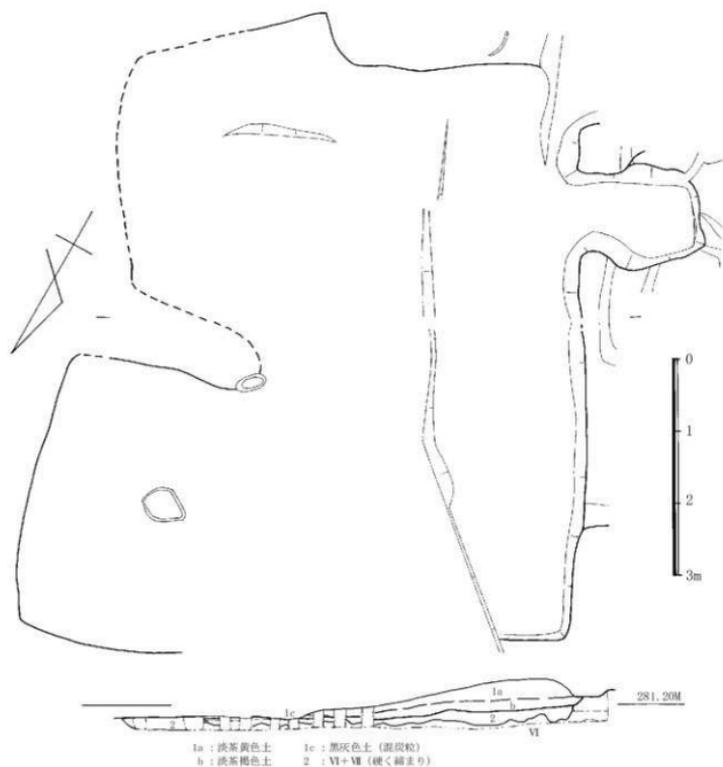
SA-33（第 52 図） 長さ 10.8 m 以上、幅 9.9 m 以上の歪な隅丸長方形を基調とするプランと思わ



第48図 SA-30 遺構実測図



第49図 SA-30 南東部遺物出土状態

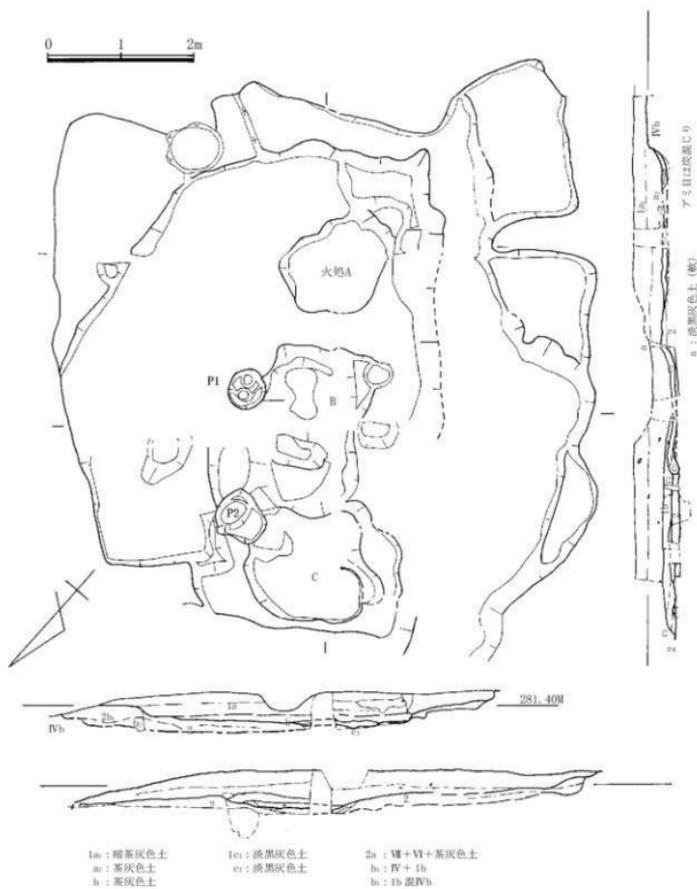


第50図 SA-31 遺構実測図

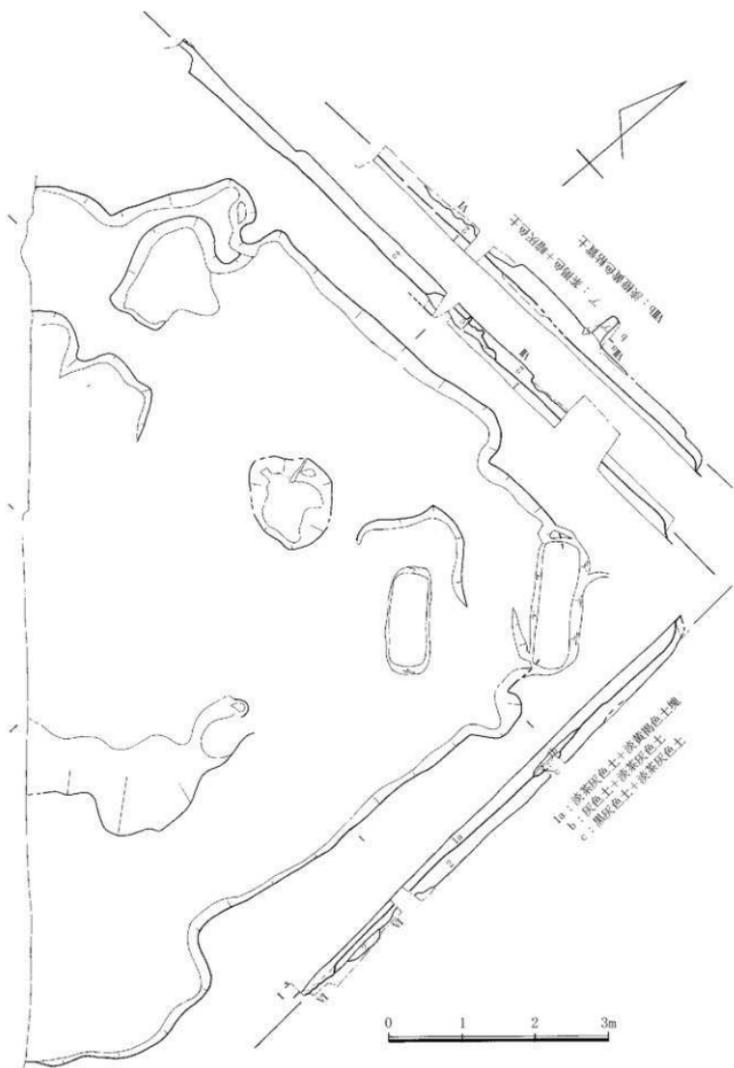
れる。深さ10～16cmでやや硬い床面になる。所々若干の凹凸があるが、明瞭ではない。主柱穴も不詳であるが、中央東寄りで深さ40cmの小穴を検出した。火処は中央北寄りに位置する長径1.4m・短径1.16m・深さ10～15cmの不整楕円形土坑である。古墳時代中期初頭頃の土師器(第89図)のほか、根挟み部に木質痕付着の三角形鉄鏃(1391)、刀子(1386)、両面に未貫通の孔を有する圭頭織模倣石製品(先刃)(1547)、刀子状鉄器(1392)、器面調整具(1549～1551)、光沢のある用途不明品(1555)などが出土している。

火処1c層の水洗選別においては、砂粒のほか砂鉄を大匙8(84g)採取した。

SA-34(第53図) 北壁中央～東南部にかけては旧状をとどめないが、長さ10.0m・幅8.0～9.7



第 51 図 SA-32 遺構実測図



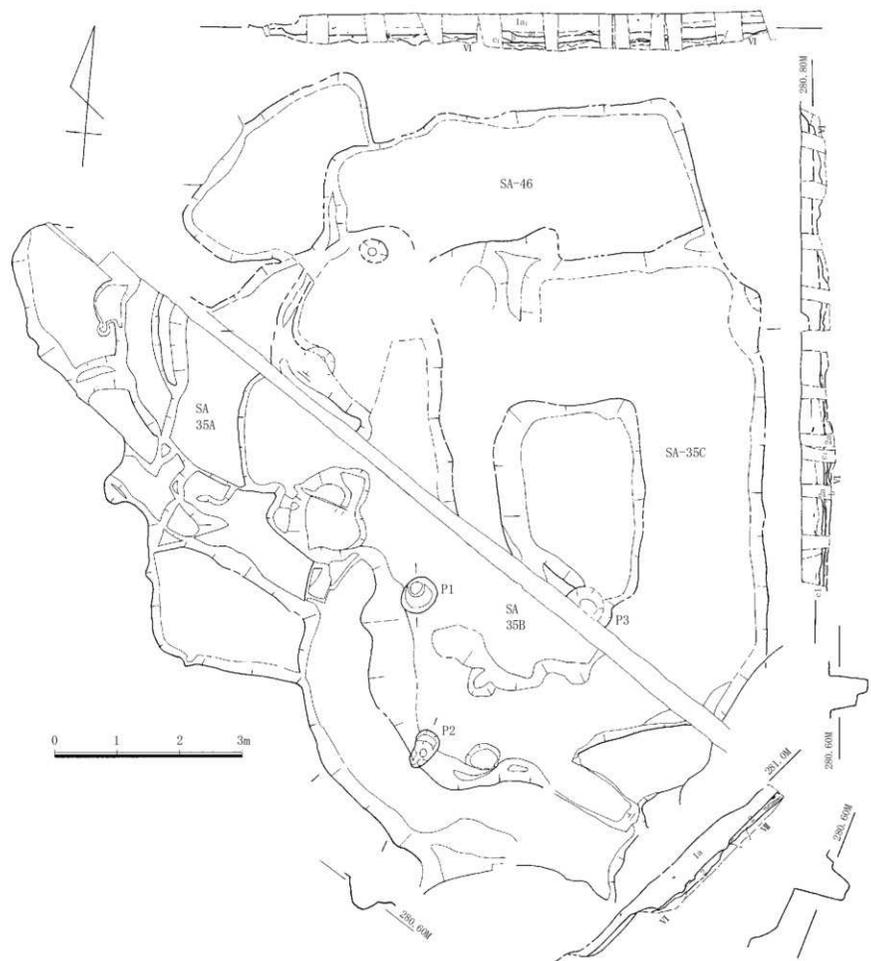
第52図 SA-33 遺構実測図



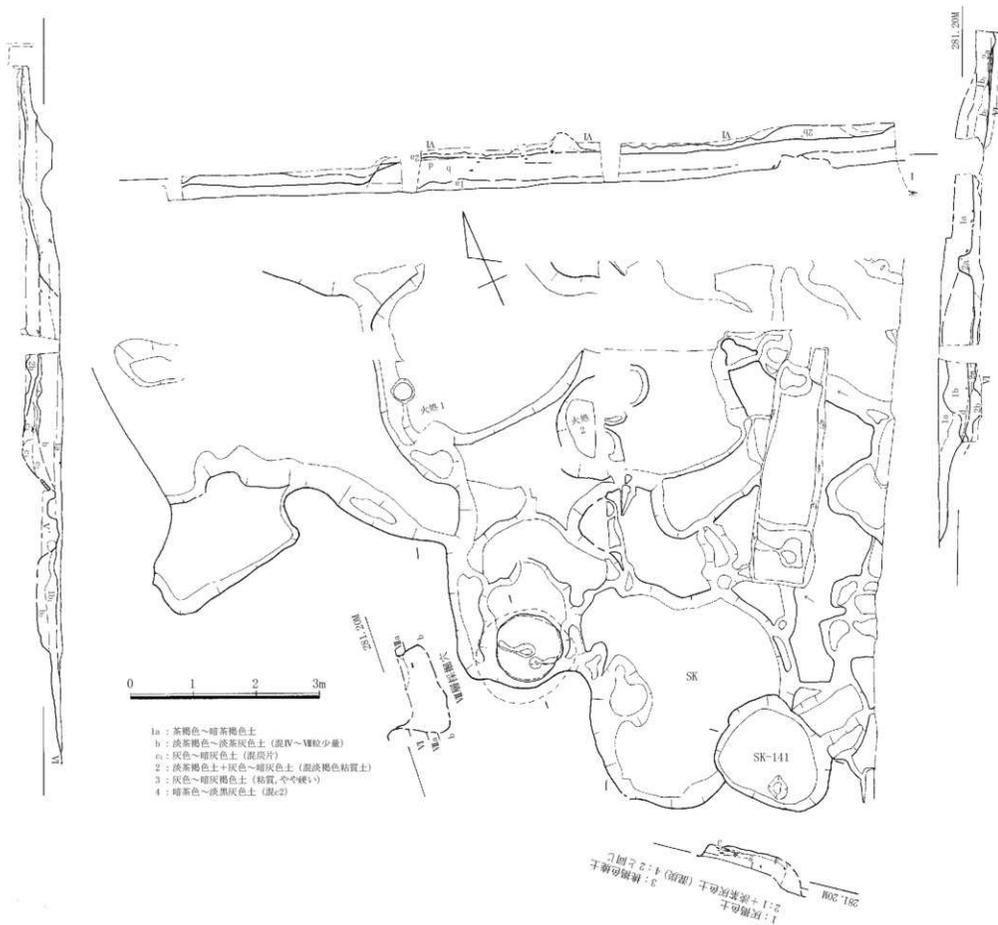
- 1a: 茶灰色土
- m: 淡茶灰色~淡黄灰色土
- b: 淡黄灰色~淡黄褐色土
- c: 暗灰色~黑灰色土(泥質)
- 2a: 暗灰色+淡黄色(IVa)+黄褐色土(IVb)
- b: VI+VII+IV



第 53 图 SA-34 遺構実測図



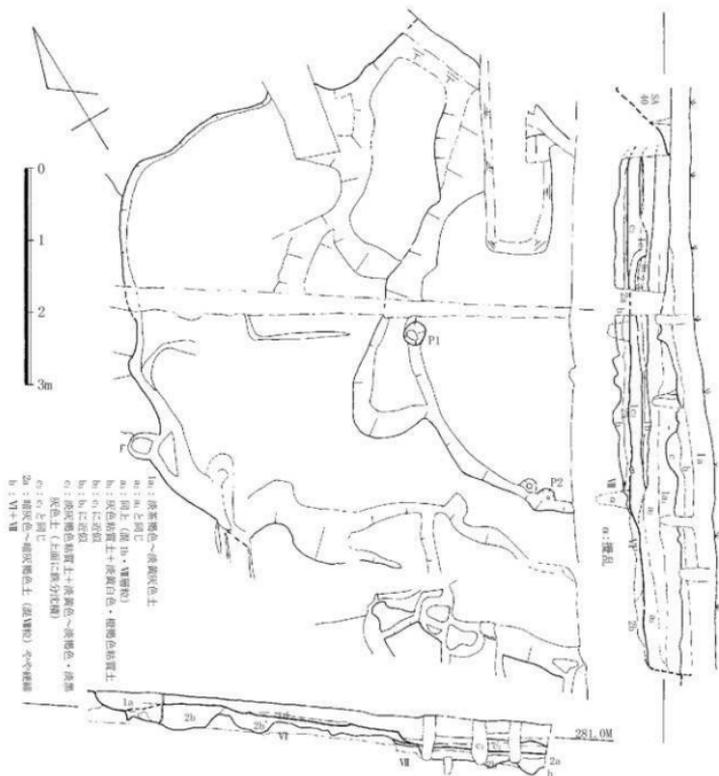
第 54 図 SA-35、46 遺構実測図



第55图 SA-36 遺構実測図

m以上を測る。歪な長五角形の北中央に長さ1.4 mの突出部が付き、北東部と西南部に短い間仕切りがある。深さ22～35 cmでやや硬い床面になり、中央やや北寄りの、直径3.6 mほどが20～24 cm掘り下げられて内区・火処となり、全面に黒灰色土が広がっている。主柱穴は不詳であるが、南東部に直径40 cm・深さ30 cmの柱穴状小穴がある。貼床の厚さは5～20 cmあるが、内区の上半部は硬い塊を混せており、硬く縮まっている。

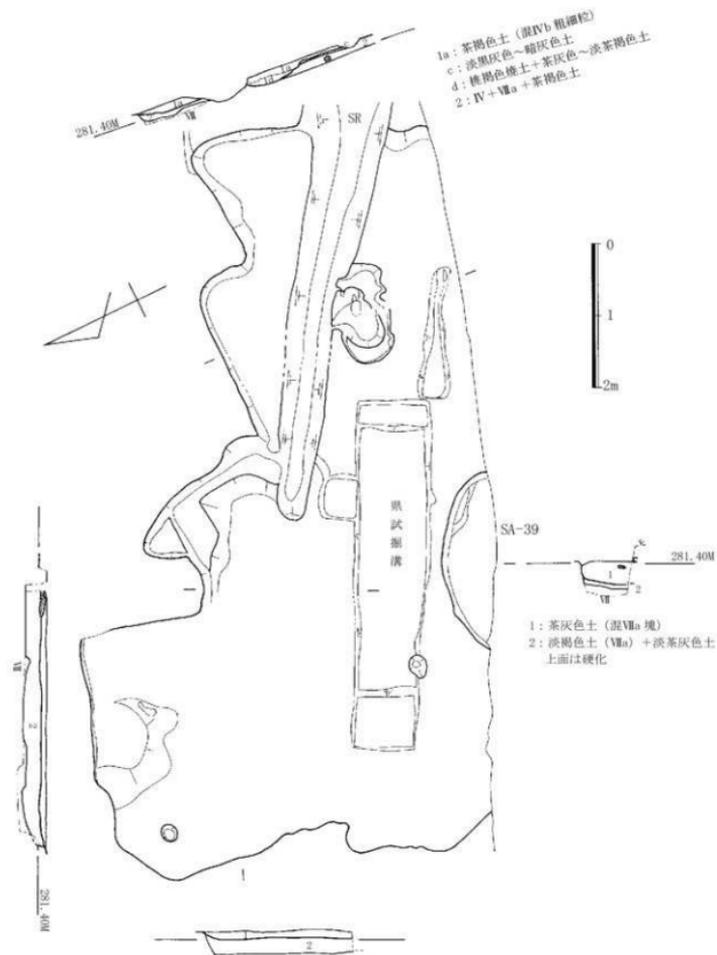
図化できた土器はやや多く、古墳時代前期末前後の土師器（第89～91図）のほか、小鉄片2、金属用砥石（1572）、光沢のある小型砥石（1561）、敲磨石などの石器が出土している。火処Aの1 c層水洗選別においては、砂粒・炭片と砂鉄大匙18（173 g）が、火処Bからは砂鉄大匙6（62 g）



第56図 SA-37 遺構実測図

が採取できた。

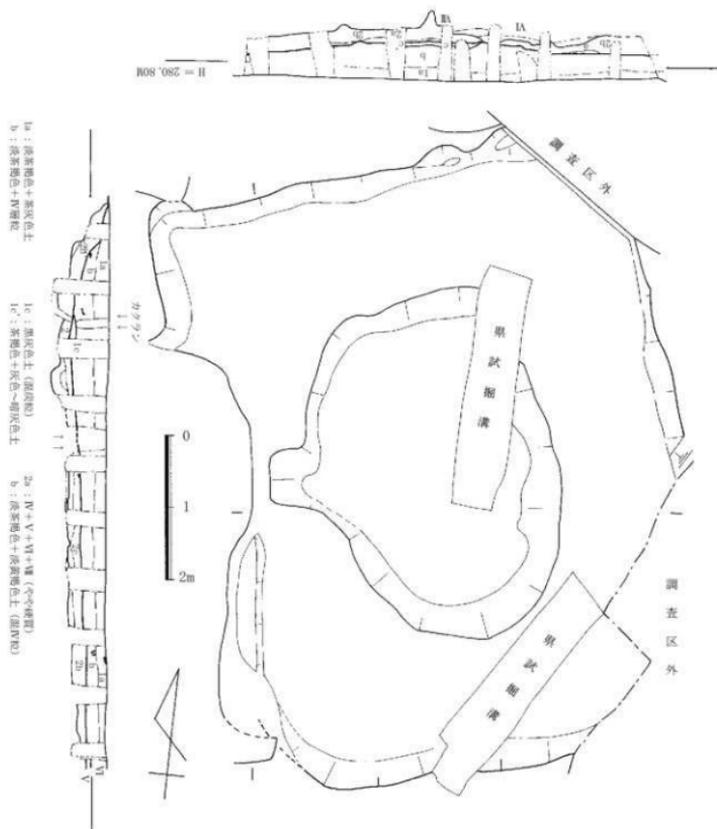
SA-35 (第54図) 3~4棟が重複している状態であるが、西側を34 A、東南部を35 B、北部を46、東部を35 Cとして報告する。



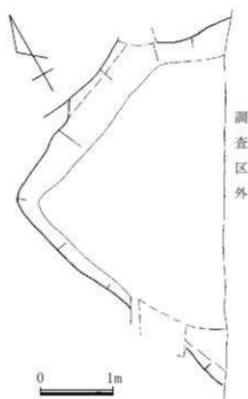
第57図 SA-38、39 遺構実測図

35 Aは、南北9.4 mで北西部に間仕切りを有する堅穴建物で、東西3 mほどしか遺存していない。西端付近には、幅70 cm・外径2.6 mで長さ2.5 mほど続く溝状掘込みがある。

35 Bは直径6.5 mほどの円形基調タイプである。深さ26～32 cmでやや硬い床面になり、内区はさらに24 cm下がって硬い床面になる。主柱穴は3 (P 1～3) で、南東部の柱穴が未検出である。P 1～P 2間は2.60 m、P 1～P 3間は2.70 mである。P 1は深さ60 cm、P 2は76 cmあるが、P 3は25 cmしかない。



第58図 SA-40 遺構実測図



第59図 SA-41 遺構実測図

35 Cは、東西6.25 m以上、南北8.1 m以上の隅丸長方形を基調とするプランである。深さ32～40 cmでかなり硬い床面になり、中央部3.2×2.2 mの隅丸長方形の内区は5～12 cm下がり、硬い床面になり、火処となって黒灰色土が広がっている。貼床は、6～13 cmの厚さがある。

出土遺物はA・Bが少し混在しているが、古墳前期後半の土器(第92～95図)、鉄鏃茎部2(1395・1397)・刀子1(1396)、大小様々な砥石(1578・1589)がある。1584は光沢があり、極部研磨砥石と推定する。台石2点(1596・1597)は、調査区内最大である。

35 Aの1 c層水洗選別では、砂粒、炭粒のほか砂鉄大匙3(27 g)が採取できた。35 Cの1 c層からは砂鉄大匙1(7 g)を採取、SA-35北西角の1 c層からは、ガラス粟玉2(1424・1425)と砂鉄を大匙4(35 g)採



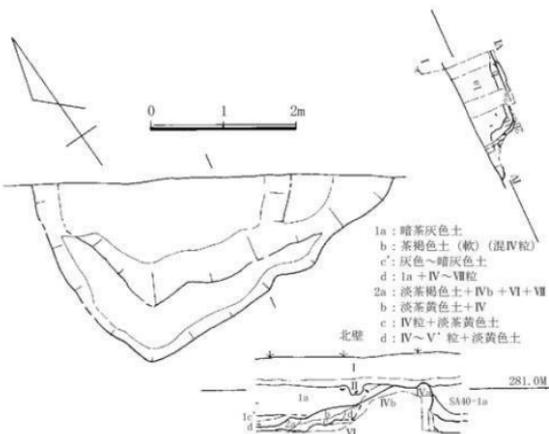
第60図 SA-42 遺構実測図

- 1a : 淡茶褐色+茶灰色土
- b : 淡茶褐色土+IV粒
- c : 黒灰色土(混炭粒)
- 2a : 暗灰色土(硬)+淡茶褐色土(混IV粒)
- b : 淡茶褐色土+淡黄褐色土(混IV粒)
- c : 淡黄褐色土塊+淡茶褐色土

取している。

SA-46 (第54図)

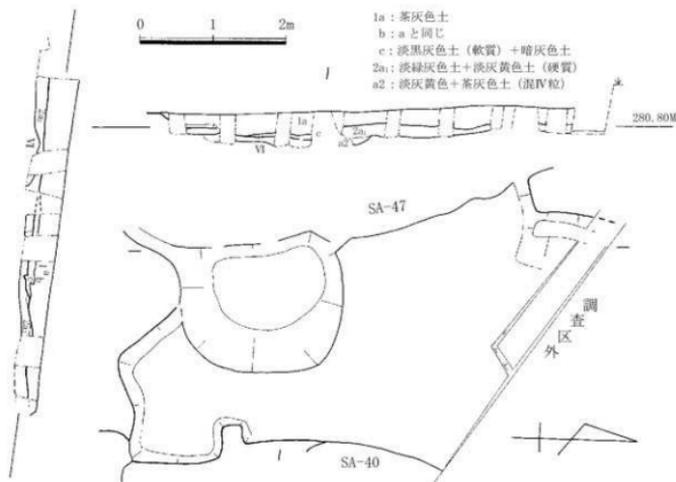
SA-35 Cに切られていると判断した。東西6m・南北2.2mが遺存する。深さ20cmでやや硬い床面になる。厚さ8～17cmの貼床がある。SA-35 Bの張り出し部であった可能性を残す。出土遺物は、SA-35 Cと混同し分離できない。



SA-36 (第55図)

東西10m以上・ **第61図 SA-43 遺構実測図**

南北7m以上であるが、南壁以外は不詳である。南東部のSK-141とそれに切られた大型土坑及び



第62図 SA-44 遺構実測図

県試掘溝以東が SA-36 から除外される。深さ 8~15 cm でやや硬い床面になり、中央付近の 3.2×3.7 m が 30 cm 深くなり、床は硬く締まる。底面北寄りの最下層は、厚さ 5 mm の炭片を含む。内区東南部の長径 1.6 m・短径 0.9 m・深さ 0.5 m の掘り込みに 1 c 層が溜まり、肩部で台石が出土した。

主柱穴は確認できていない。

南辺中央部においては、口径 1.1 m・底面 1.4×1.6 m・深さ 1.0~1.1 m・断面プラスチック型の、貯蔵穴を想定させる掘り込みがあったが、クサリ礫混じりの硬い VII b 層を 30 cm も探掘しており、探掘後すぐに埋め戻して床面にした状況がみられた。硬く締まった床面 2 a 層は、この VII b 層を混和させていることが証明された。貼床は、6~18 cm の厚さがある。

出土遺物は、古墳前期後半の土器（第 95・96 図）に手捏ね土器（959）や丹塗り（969）もあり、鉄製小型主頭鎌 2（1 点は清掃中に紛失）（1398）と小型刀子（1400）、挟入柱状片刃石斧（1598）等、少数の石器が混じる。又、火処 1 の 1 c 層水洗選別によってガラス小玉（1426）と砂鉄を大匙 12（124 g）、火処 2 では砂鉄大匙 6（63 g）を採取した。

SK-141（第 55 図） 調査区の東南端に位置した、長径 1.96 m・短径 1.56 m の倒卵型を呈し、深さ 30 cm を測る。土師器片と焼土が広がっていたが、床面は被熱していない。焼土混じりの土を水洗選別すると 2~14 mm の鍛造剥片 20 片と砂鉄大匙 13（129 g）を採取した。鍛冶具は出土していないが、ミニチュア刀子（1399）と切出型の小型刀子 1（1417）がある。

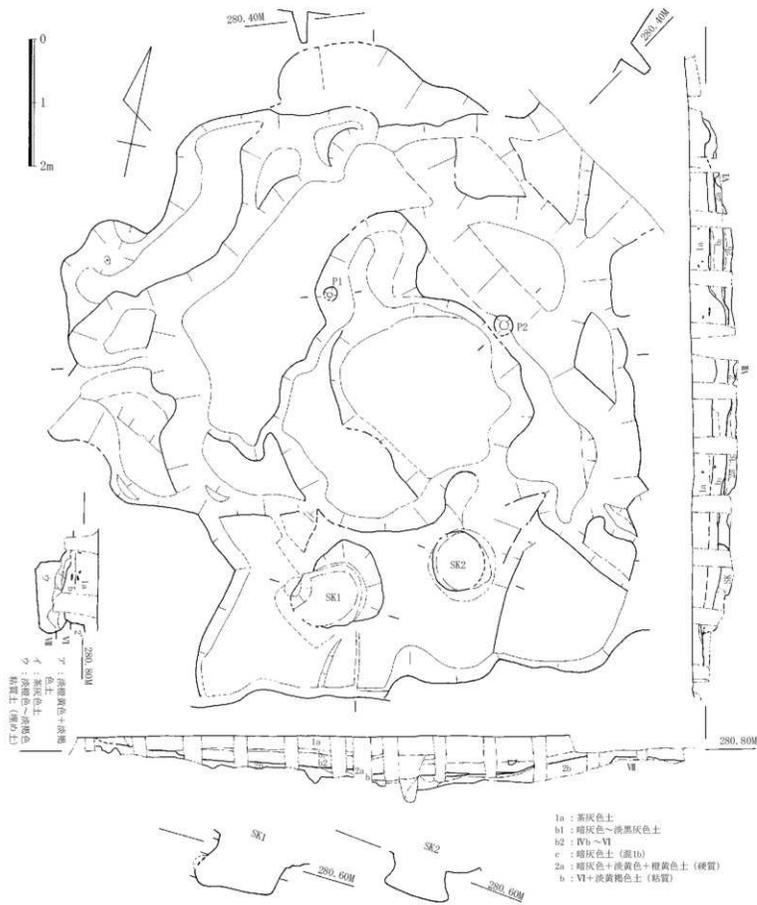
SA-37（第 56 図） 南北 9 m・東西 6 m 以上、推定直径 11~12 m と推定される大型の円形基調タイプの間仕切り住居である。北側に幅広い間仕切りがあるが、北東部にかけては消滅している。深さ 44~56 cm で床面（削平を受けている西半分は 8~20 cm 厚）に達し、直径 5.3 m・深さ 20 cm に掘り込まれた内区床面は硬く締まっている。主柱穴は東（P1, 床面-47 cm）と南（P2, 床面-48 cm）の 2 か所で検出した。柱間は 2.95 m である。貼床は上層（2a）6~9 cm に VII b 層混和土を敷き、2 b 層は 6~34 cm の厚さがある。

出土遺物としては、古墳前期後半の土器（第 97・98 図）と高坏転用輪の羽口（1016）、鉄鏃茎部 3（1401・1402）、鉄片 1（1403）、赤色顔料が付着した台石（1620）、敲磨石、様々なタイプの器面調整具（1608~1611）などがあり、1 c 層の水洗選別により、砂鉄大匙 3（26 g）を採取した。

SA-38（第 57 図） 長さ 10.0 m・幅 5.6 m 以上の、方形基調の間仕切り住居である。西側中央の長さ 40 cm ほどの間仕切りは、退化している。深さ 4~14 cm でやや硬い床面になる。調査範囲における底面の高低差はあまり無い。北東部においては幅 0.6~1.2 m の近代の農道跡があり、火処と重複する。長径 1.40 m・短径 0.8 m 強の火処は、深さ 11 cm で焼土を含み、底面も被熱・赤変している。なお、鉄鉾石製（？）の敲石が出土しているので、報告書『II』に掲載する。

出土遺物は少ないが、古墳前期後半の土器（第 98 図）、敲磨石等と石包丁（1623）などのほか、1 c 層水洗選別によって砂鉄大匙 5（50 g）を採取した。994 は、壺底部を皿状に加工している。

SA-39（第 57 図） SA-38 の南西部を切る。幅 2.28 m・長さ 0.74 m のみ検出した。現況地形は、南 2 m で急斜面であり、若干の浸蝕を考慮しても直径 3 m 程度が限界であろう。



第 63 图 SA-47 遺構実測図



第64図 SA-48 遺構実測図

深さ31cmで少し縮まった床面になり、厚さ5～7cmの貼床がある。出土遺物は少なく、壺の底部1点(1026)が図化できた。

SA-40(第58図) 東西4.6m・南北8.2～8.8mの隅丸長方形を呈する。北西角をSA-44に僅かに切られ、その1.6m南の上場は西へ湾曲して間仕切りの様相を呈する。深さ34～37cmで硬い床面に達し、内区は、長径5.2m・短径3.3mの楕円形の西側中央部に長さ45～60cm・幅80cmの突出部が付くプランで深さは10cmである。底面は硬く、中位～北側に1c層がある。支柱穴は、未検出である。貼床は10～30cmの厚さがある。

出土遺物は多く、古墳前期後半から中期前半(第98～100図)が主と思われるが、波状文を有する須恵器片(1079)があるので中期後半まで下がる可能性がある。このほか、鉄鏃茎部(1406)、小型矛頭鏃(1409)、小型刀子2(1407・1408)、紡錘車(1080)、編物石、大小様々な砥石、器面調整具などの石器(第137図)、管玉(1432)、1c層水洗選別においては、鍛造剥片状小片20と砂鉄大匙19(189g)を採取している。

SA-41(第59図) 方4.2m程度と推定される。深さは60cmほどでやや硬い床面になる。底面は歪な形で柱穴も火処も未検出である。

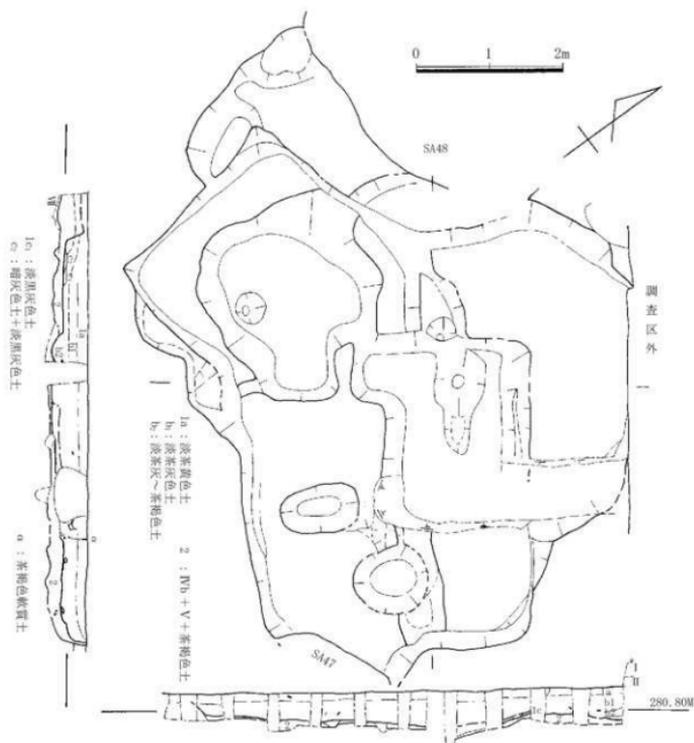
出土遺物は、古墳中期前半かと思われる土師器(第101・102図)と器面調整具(1648)等の石器のほか1c層水洗選別によって砂鉄大匙1(7g)を採取している。

SA-42 (第60図) 半円半方形を基調とし、南北7.1m・東西5m以上を測り、南と東南部に間仕切りを有する。深さ11cmでやや硬い床面になり、南北5mがさらに35cmほど下がる内区になる。底面の東側と南側に深さ10cmの土坑状掘込がある。主柱穴は不明である。南東部の1.90×1.28mの区画は深さ10cm程で床面になり、覆土に炭片がやや多くみられた。貼床は8～30cmあり、上層は硬い2a層である。

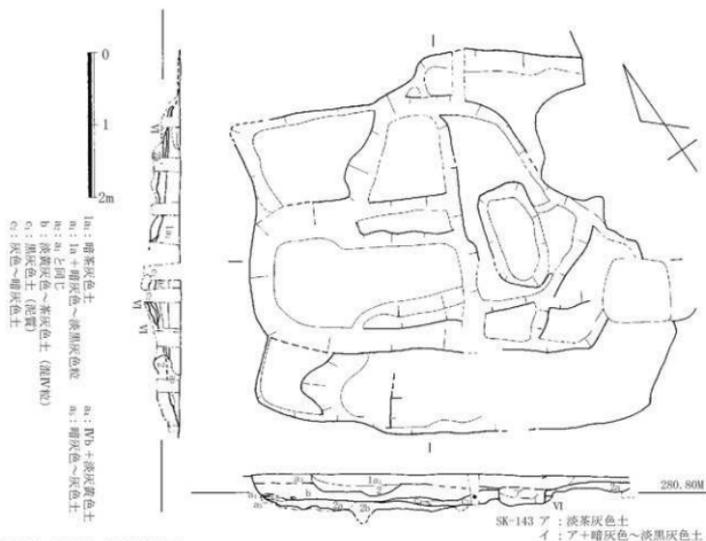
出土遺物は少なく、古墳前期後半の土器(第102図)と鉄鍬基部2(1410・1411)がある。

SA-43 (第61図) 東西4.2m以上、南北3m以上の方形基調を呈する。深さ10～14cmでやや硬い床面になり、20～60cm幅のテラスの内側は40cm低い内区になる。

出土遺物は少なく、古墳前期後半の土器(第102図)がある。



第65図 SA-49 遺構実測図



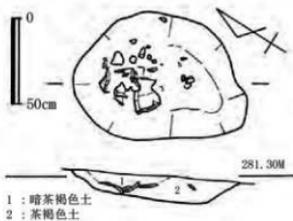
第66図 SA-50 遺構実測図

SA-44 (第62図) 東西3.5m以上・南北6.4m以上を測り、北端の間仕切りと南端のコーナー状の形状、長さ30cm・幅28cmの小型間仕切りを考慮すると、方形基調の間仕切りタイプが想定される。深さ15～32cmで床面になる。西南部は、2.15×1.8m・深さ0.2mの掘り込みで、1c層が覆う火処である。柱穴は未確認である。貼床は10～18cm厚である。

出土遺物は、古墳前期後半の土師器(第102・103図)と鉄片(1412)、器面調整具(1657)などがある。1c層水洗選別では、砂鉄大匙9(87g)を採取している。

SA-45 SA-40・42・44・46・47に挟まれた4×1.4～2.6mの範囲を想定していたが、遺構検出を2～3回繰り返すとIVa層が現れ、遺構ではないことが判明したが、このまま欠番とした。

SA-47(第63図) 東西9.0m以上・南北10.0mの不整形円形基調タイプで、西南部が内側に突出する。深さ45～55cmで硬い床面になり、中央部4×3.2mほどは10～14cm下がる内区・火処となり、1c層が底面東部を薄く覆う。北側には、柱間2.80mの柱穴(P1・P2)がある。P1は、直径22cm・深さ50cm、P2は、直径29×32cm・深さ48cmを測り、底面は貼床である。



第67図 SK-95 遺構実測図

南側では2基の土坑を検出した。SK-1は、長径1.52m・最大幅1.32mの倒卵型のプランで、深さ65～80cm、西奥はさらに7cm下がる。底面最大幅は1.30mで、西奥周辺は硬いVIIb層を掘り込んでいることから、VIIb層探掘穴と断定できる。従って、覆土は人為的埋め土であった。SK-2は、89×99cmの略円形プランで、深さ50cmの断面フラスコ型で、底面最大径は1.04～1.06mであり屋内貯蔵穴と推定する。貼床は10～23cmの厚さで、内区には硬い2a層が施されている。

出土遺物は多く、古墳中期の土器（第103～105図）と、編物石や砥石・大小様々な器面調整具（1666～1671）などが出土し、1c層水洗選別においては、砂鉄大匙15（148g）を採取している。

SA-48（第64図） 検出時は長径8.2mであったが、断面観察では、西端1.4m分が古段階もしくは建替であることがわかった（AとBに分別）。南北は、4.6mほどの略楕円形プランである。深さ40cmでやや硬い床面になり中央やや東側に、長径1.48m・最大幅1.2mの倒卵型で深さ6～10cmの火処がある。主柱穴は不詳である。貼床は10～17cmあり、西端のSA-48Bには硬い2a層が施されている。

トレンチャーに切り刻まれる中、奇跡的に一括土器が残っていた。2列に分断されていたが、甕・壺・高坏・鉢が入れ子状になっている部分もあり、埋没途中の一括廃棄と思われる。中には須恵器厩模倣品（1231）もあり、古墳時代中期後半の良好な一括資料となった。高坏（1253）は白色系で、搬入品の可能性がある。1c層水洗選別では、ガラス要玉1（1427）と滑石製白玉2（1428・1429）、砂鉄大匙10（105g）が採取された。この他、不明鉄器（1413）と刀子1（1414）と編物石等の大型石器が出土している。小型の壺1235は、破損後再加工されている。

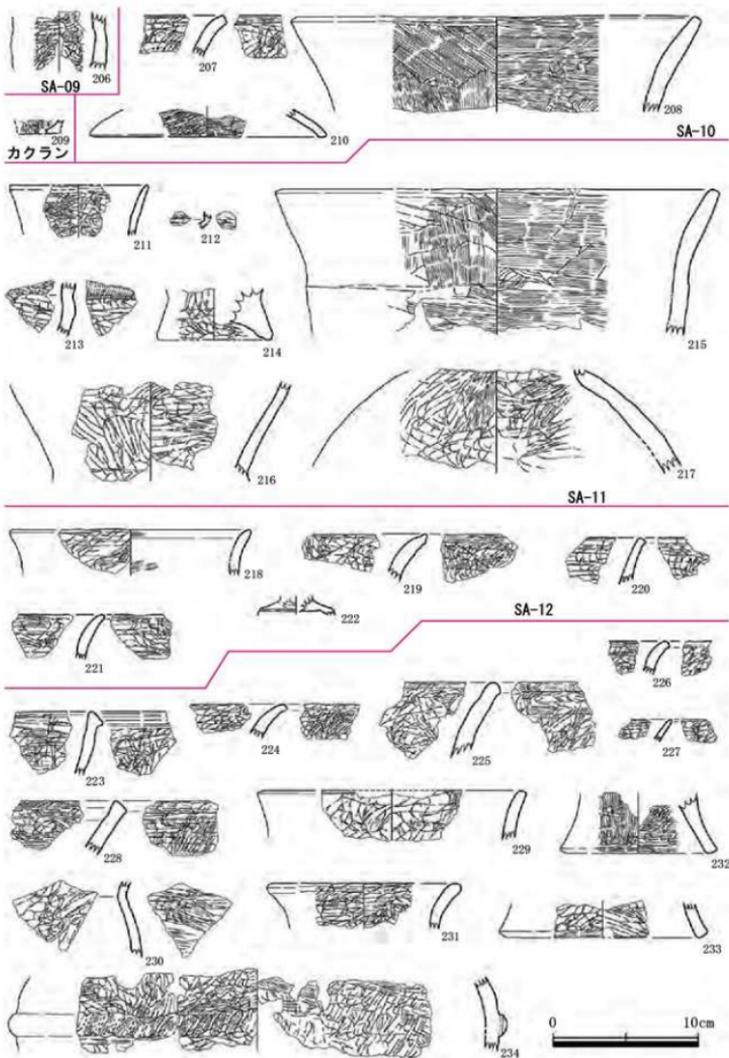
SA-49（第65図） 長径8.4m・短径7mほどの不整形プランである。深さ34～40cmでやや硬い床面になり、中央寄りには、さらに14～18cm下がる。火処は東部にあり、長径1.0m・短径0.9m・深さ13～20cmを測る。主柱穴は未検出である。

出土遺物は、古墳前期後半の土器（第112・113図）と小型刀子（1415）、磨製石鏃（1689）、編物石や鉄床石の可能性のあるもの（1691）、1c層水洗選別においては、長さ12mmの鉾滓と滑石製白玉1（1430）、砂鉄大匙4（42g）を採取した。

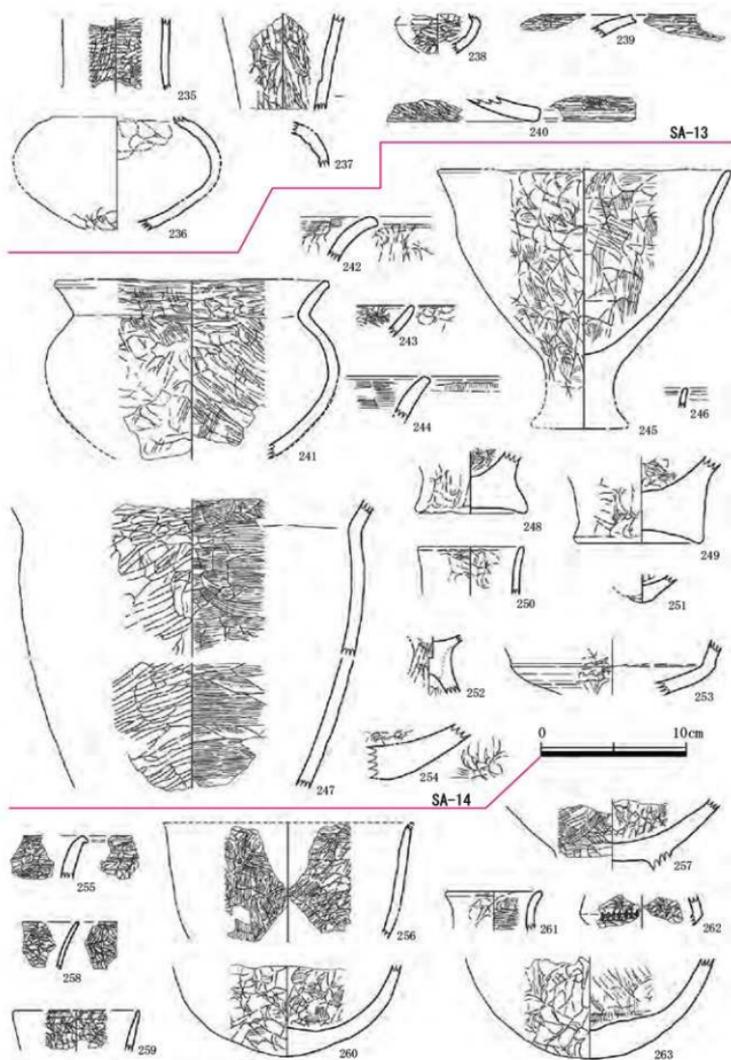
SA-50（第66図） 長さ5.8m・幅3.8～5.30mの不整形プランである。深さ8～18cmでやや硬い床面になり、中央部はさらに15～20cm下がり、火処となっている。柱穴は未検出で、貼床は厚さ6～16cmで、中心部のみ2a層が施されている。

出土遺物は古墳前期の土器（第114図）、1c層水洗選別では、砂鉄大匙9（87g）を採取した。

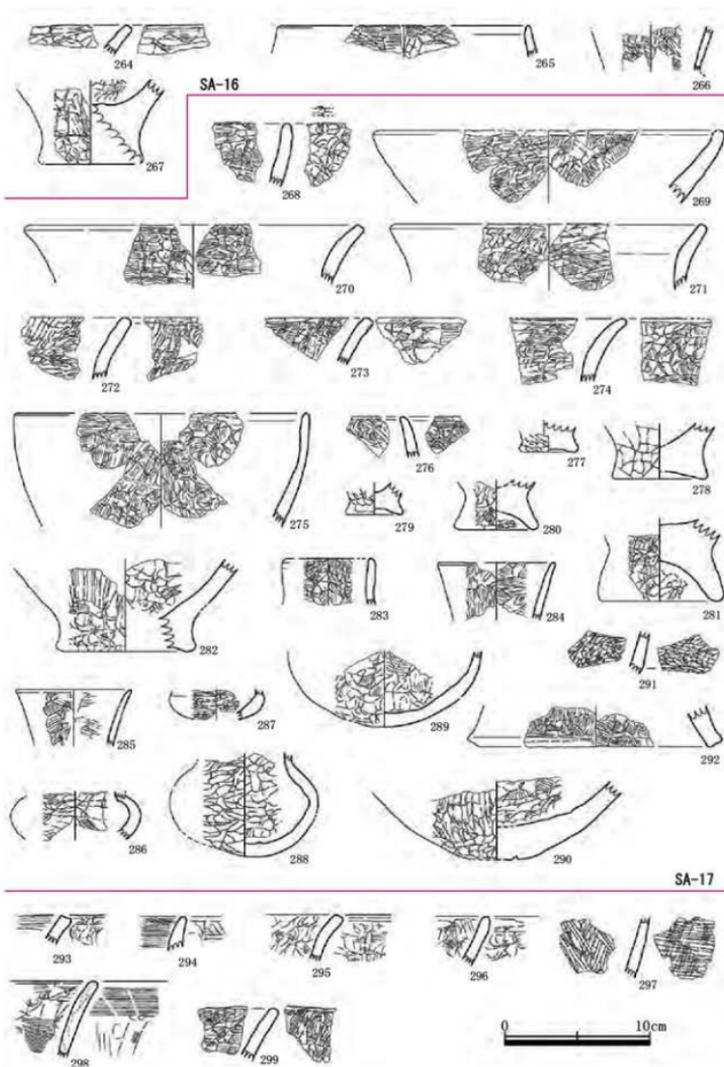
SA-51 SA-31に切られた、長さ・幅7～9mの不整形なプランで、貼床のみ遺存する。東部にも歪な形の張り出しがあり、別遺構が重複しているが、未確認である。



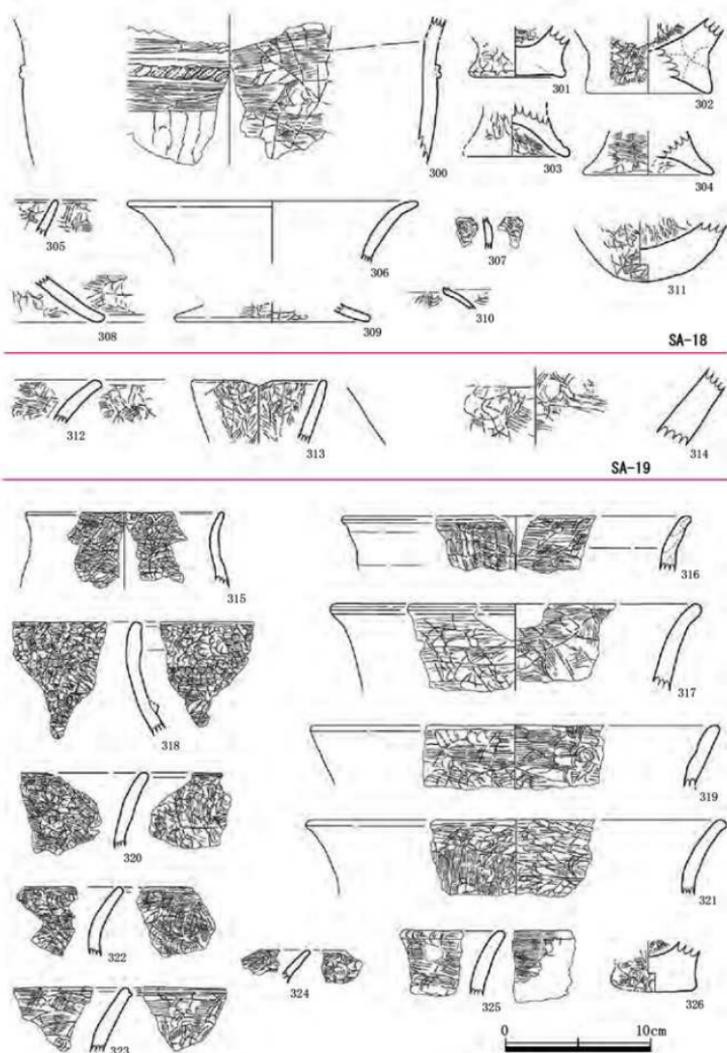
第68図 SA-09、10、11、12、13 出土土器 実測図 (209はカクラン)



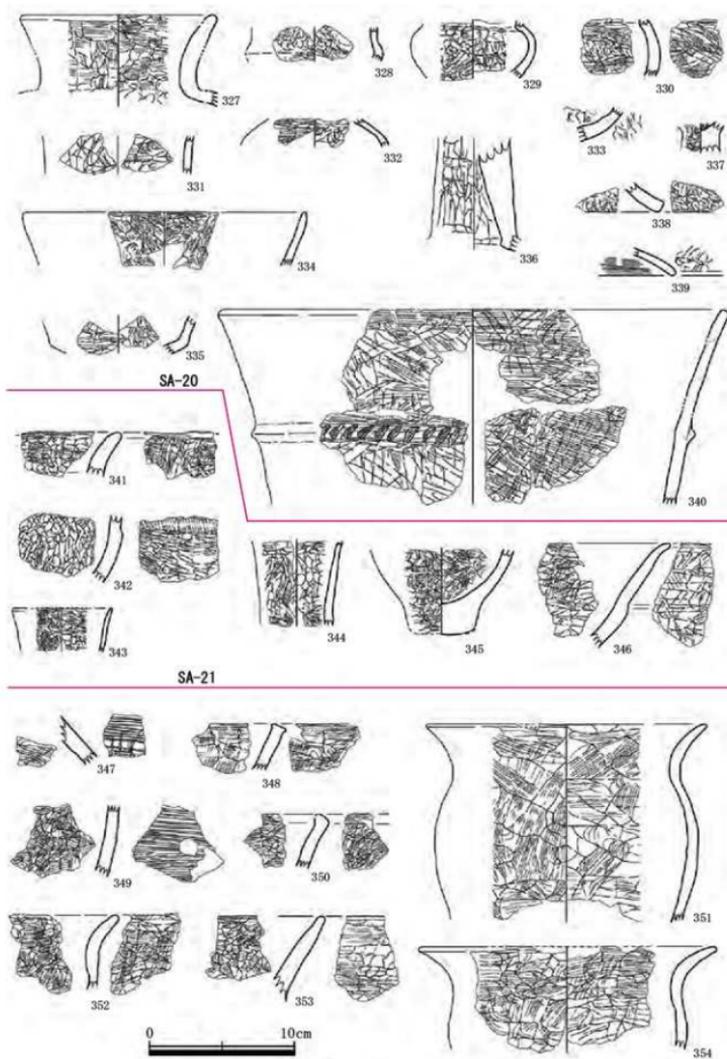
第 69 图 SA-13 出土土器 (2)、SA-14、15 出土土器 实测图



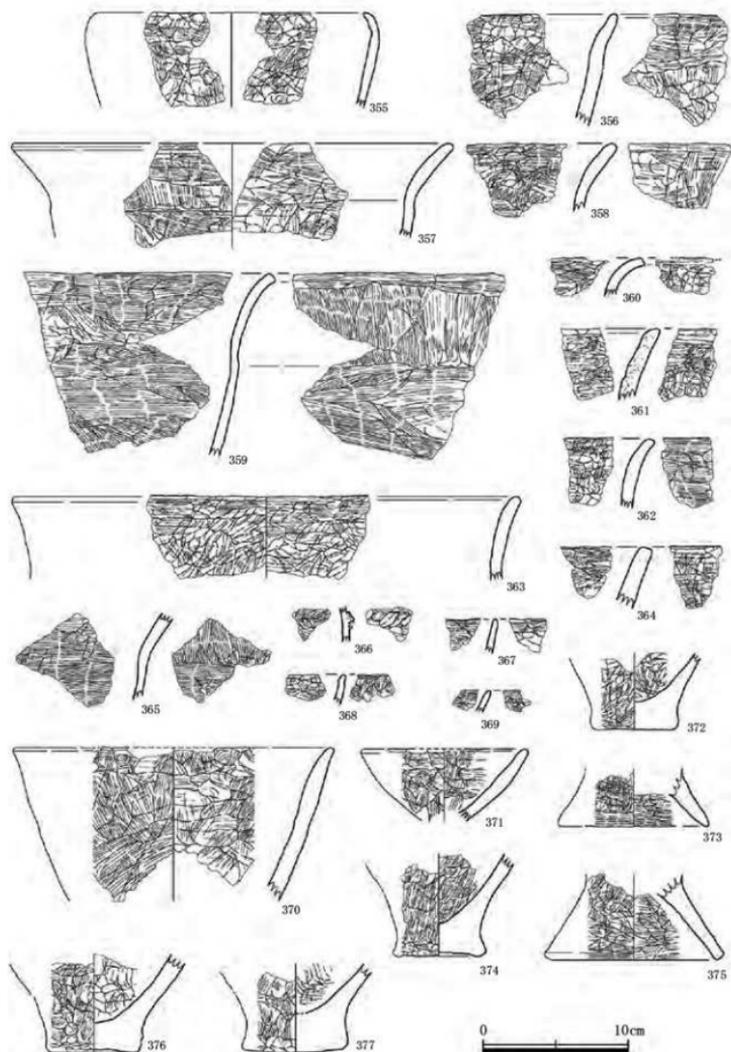
第70图 SA-16、17、18 出土土器 实测图(1)



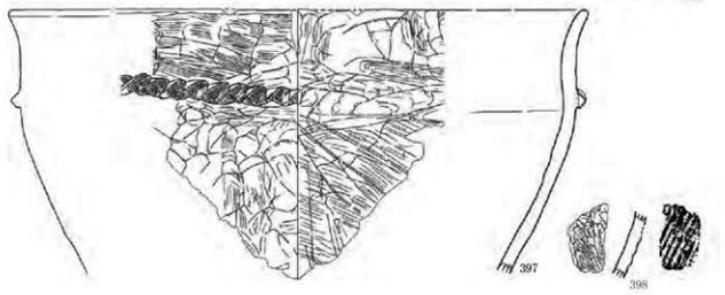
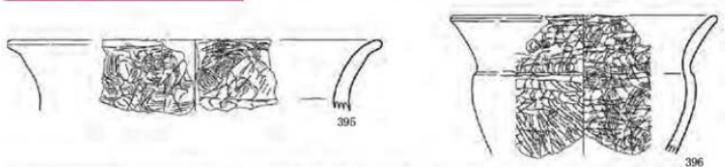
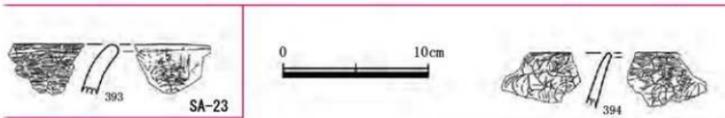
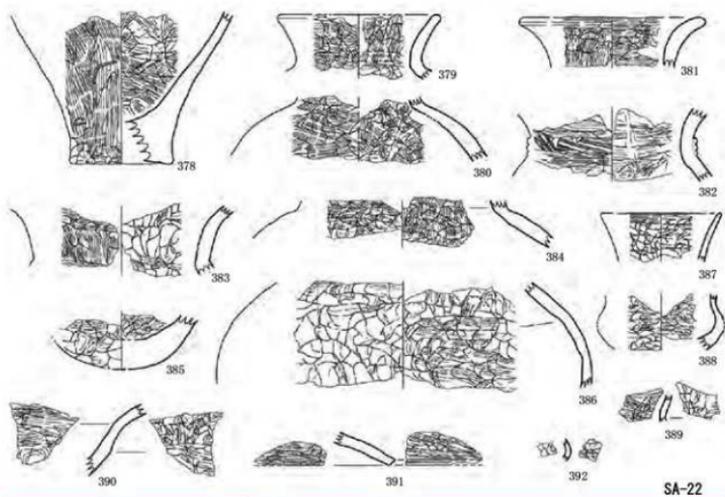
第71图 SA-18 出土土器(2)、SA-19、20 出土土器 实测图



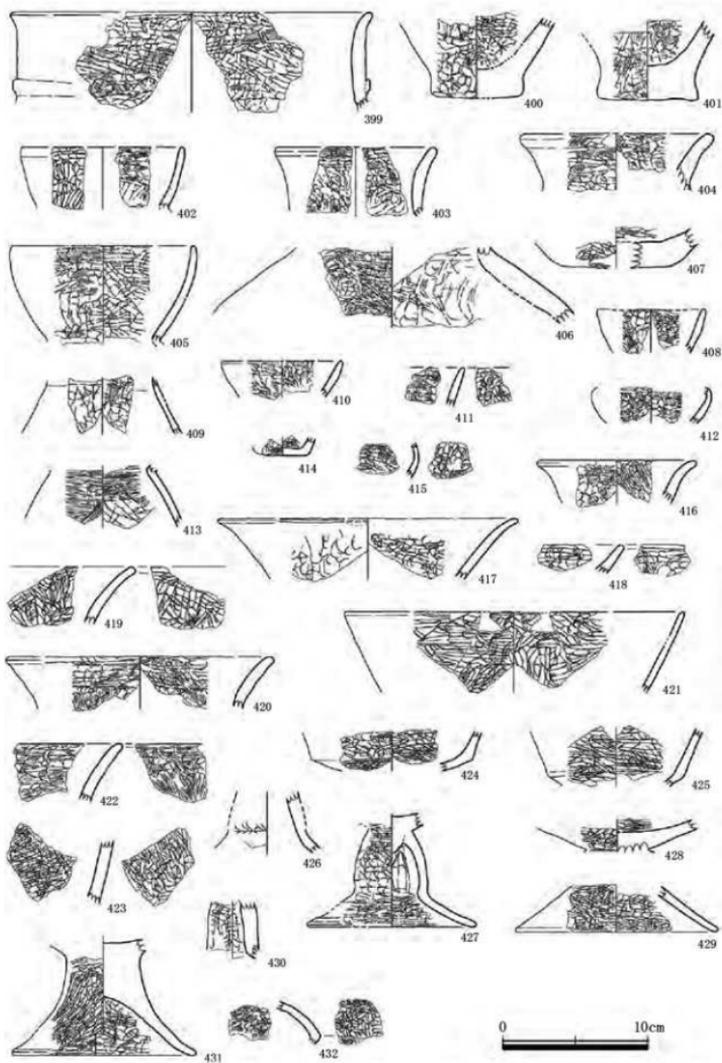
第72図 SA-20 出土土器(2)、SA-21、22 出土土器 実測図(1)



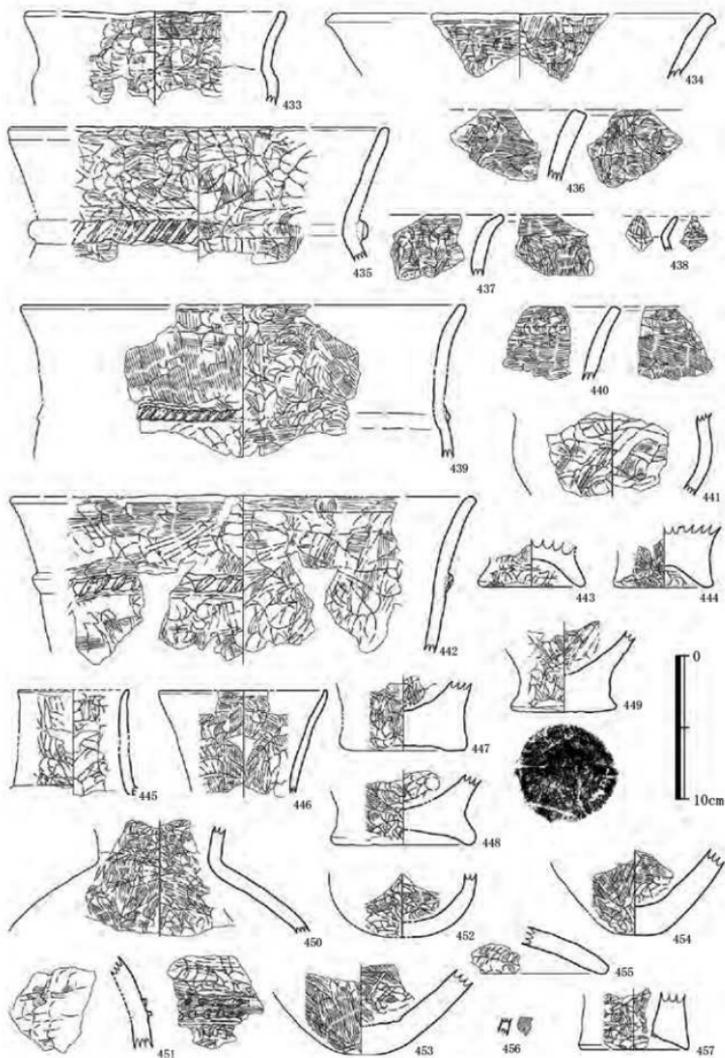
第 73 图 SA-22 出土土器实测图 (2)



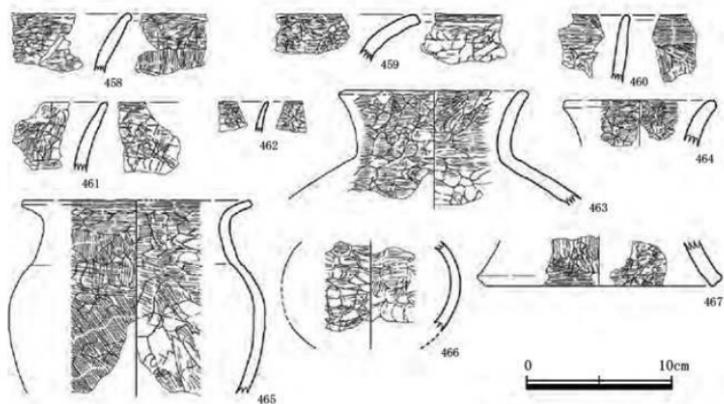
第74图 SA-22 出土土器(3) SA-23 出土土器 SA-24 出土土器 实测图(1)



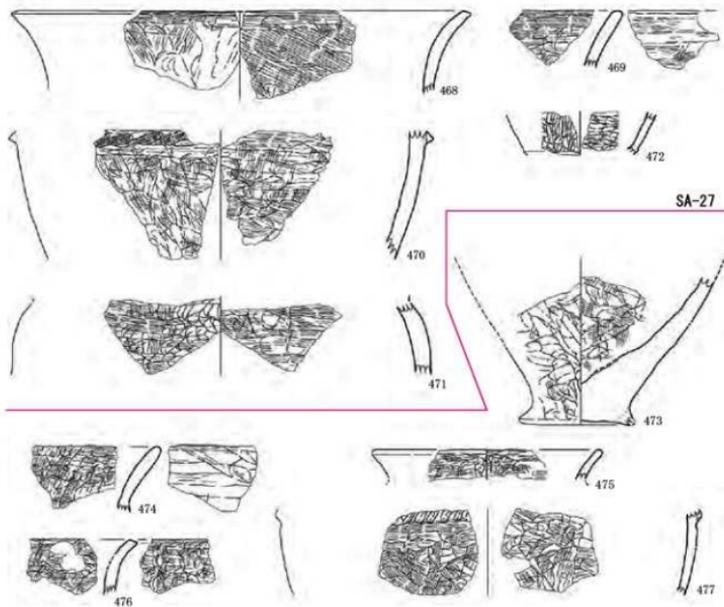
第75図 SA-24 出土土器 実測図(2)



第76图 SA-25 出土土器 实测图

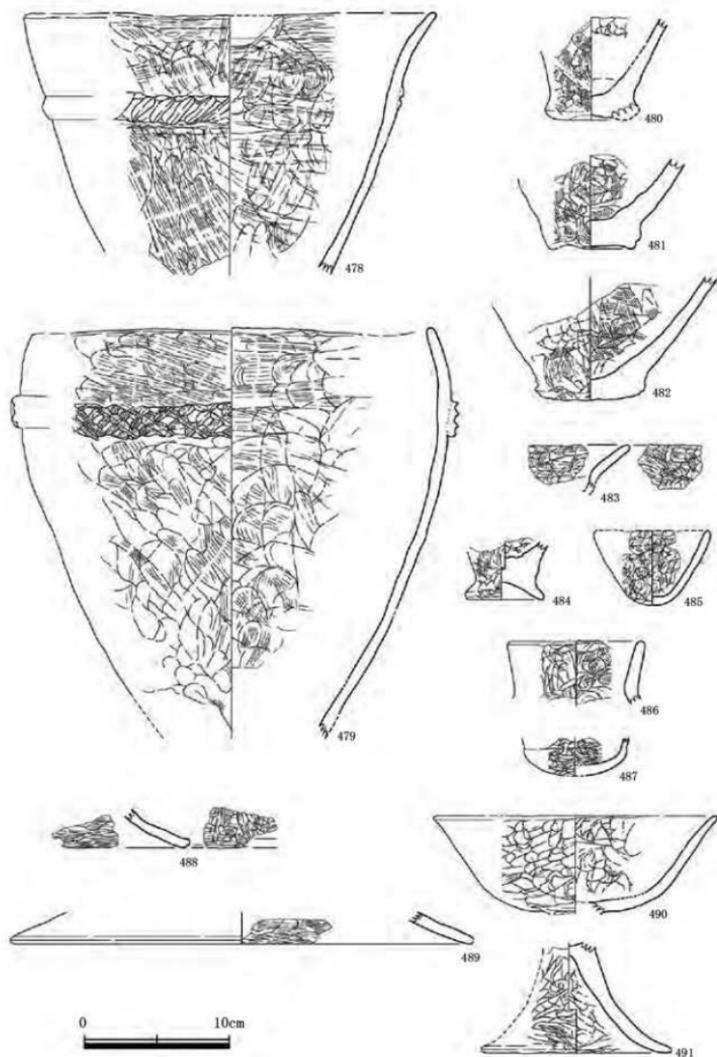


SA-26

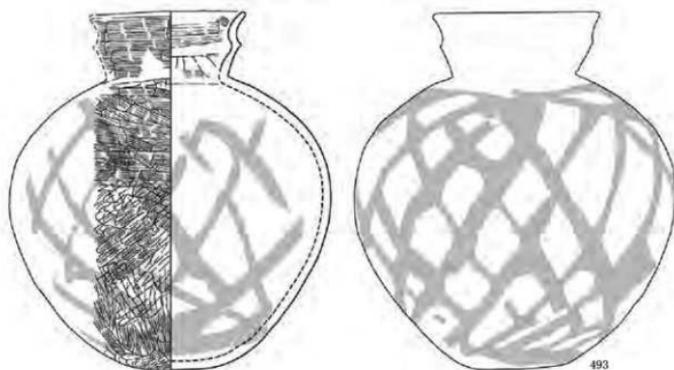
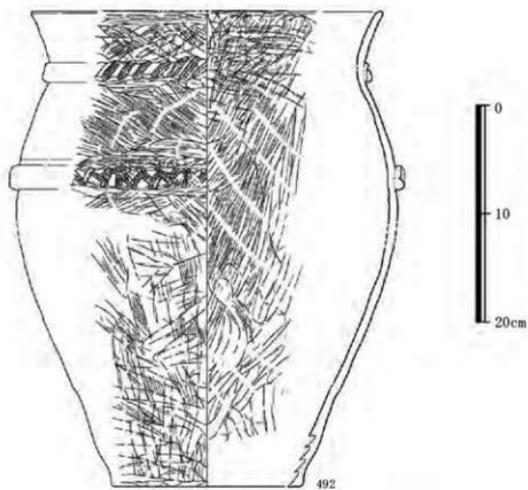


SA-27

第77図 SA-26、27、28 出土土器 実測図(1)



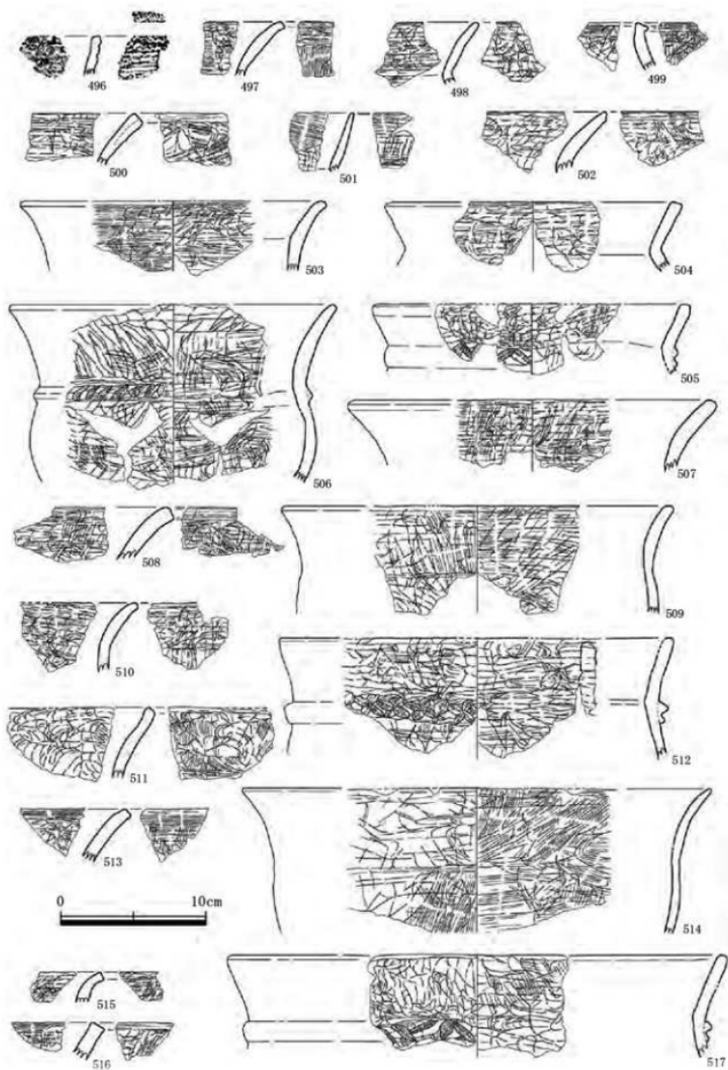
第78图 SA-28 出土土器 实测图(2)



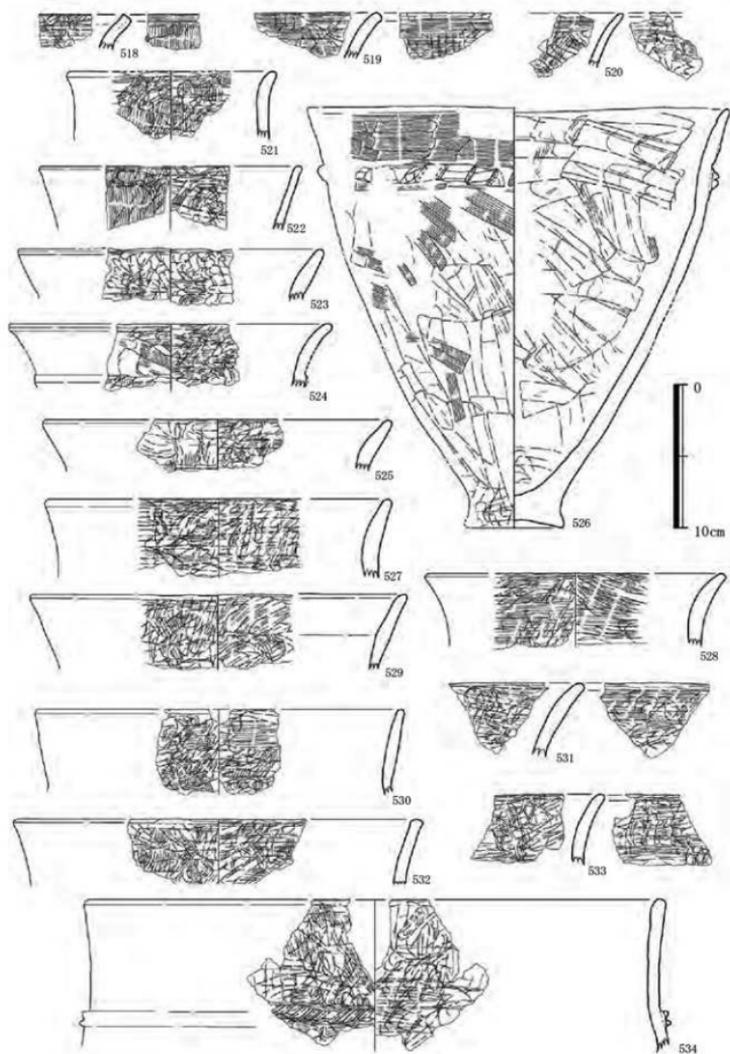
SA-28



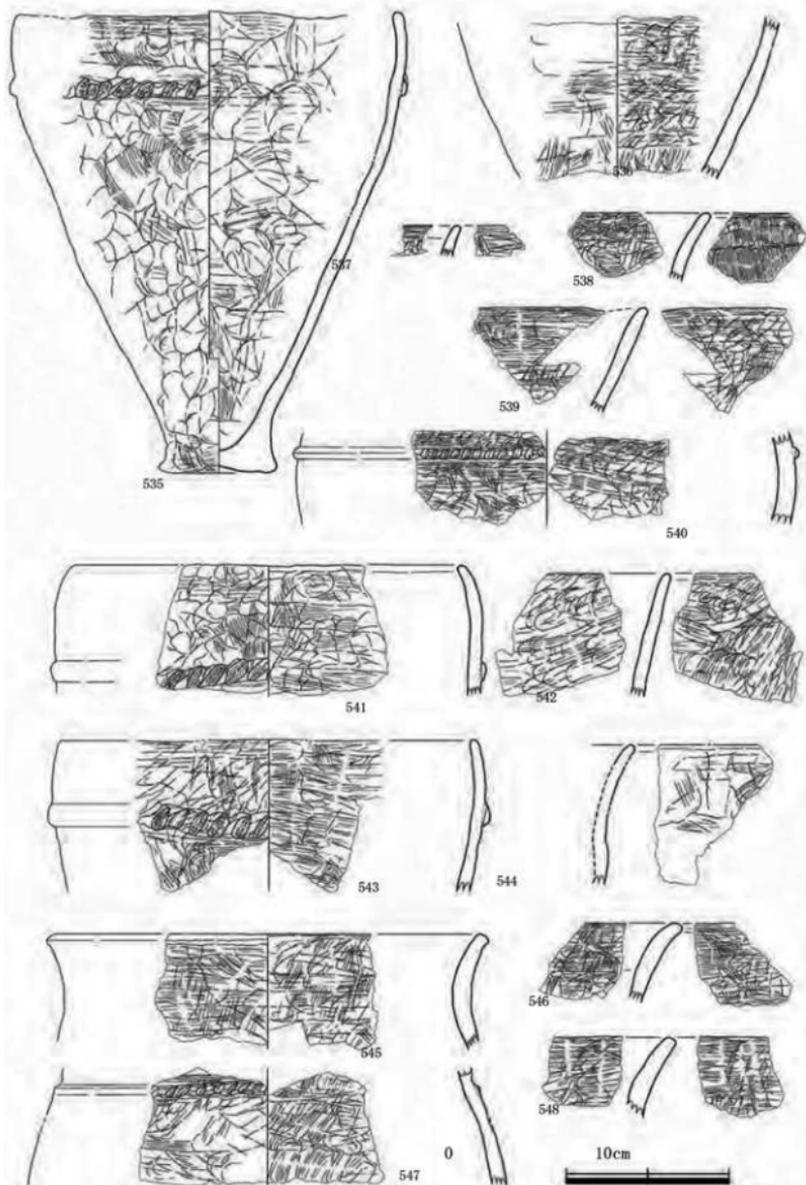
第79图 SA-28 出土土器(3)、SA-29 出土土器 实测图



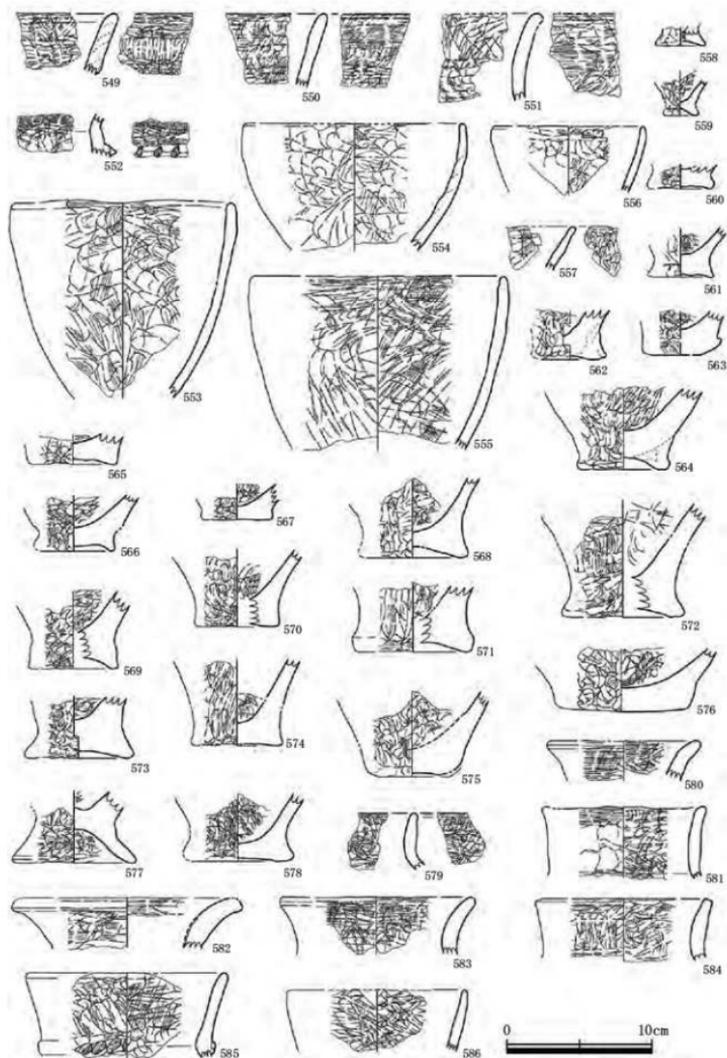
第80图 SA-30 出土土器 实测图(1)



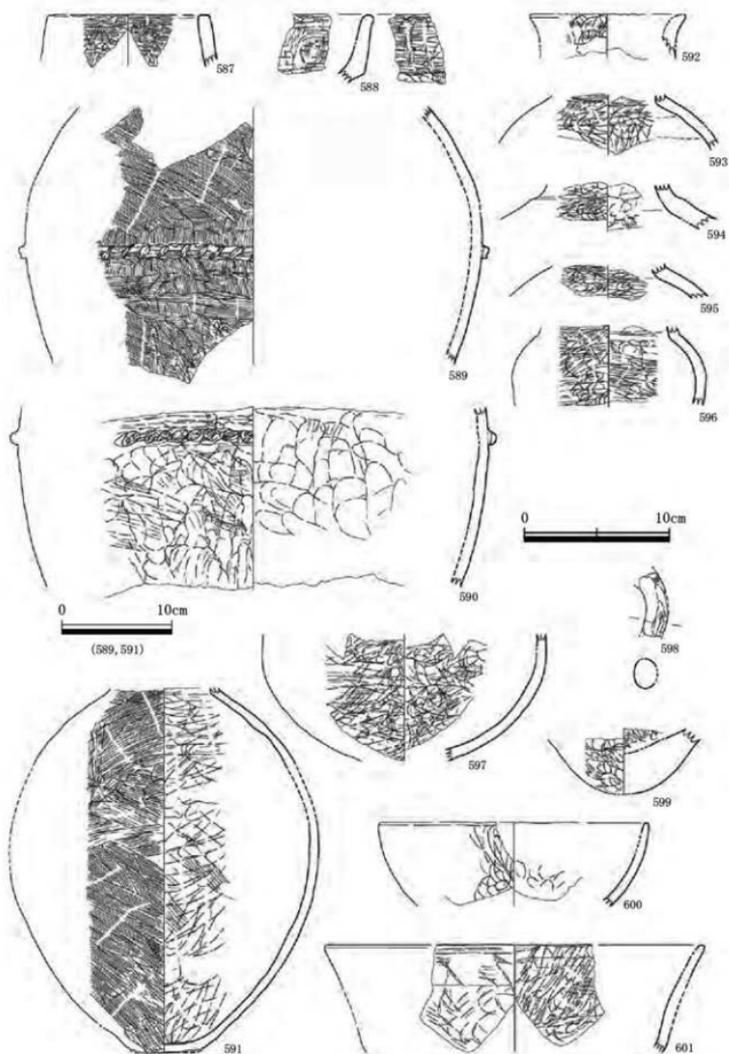
第 81 图 SA-30 出土土器 实测图 (2)



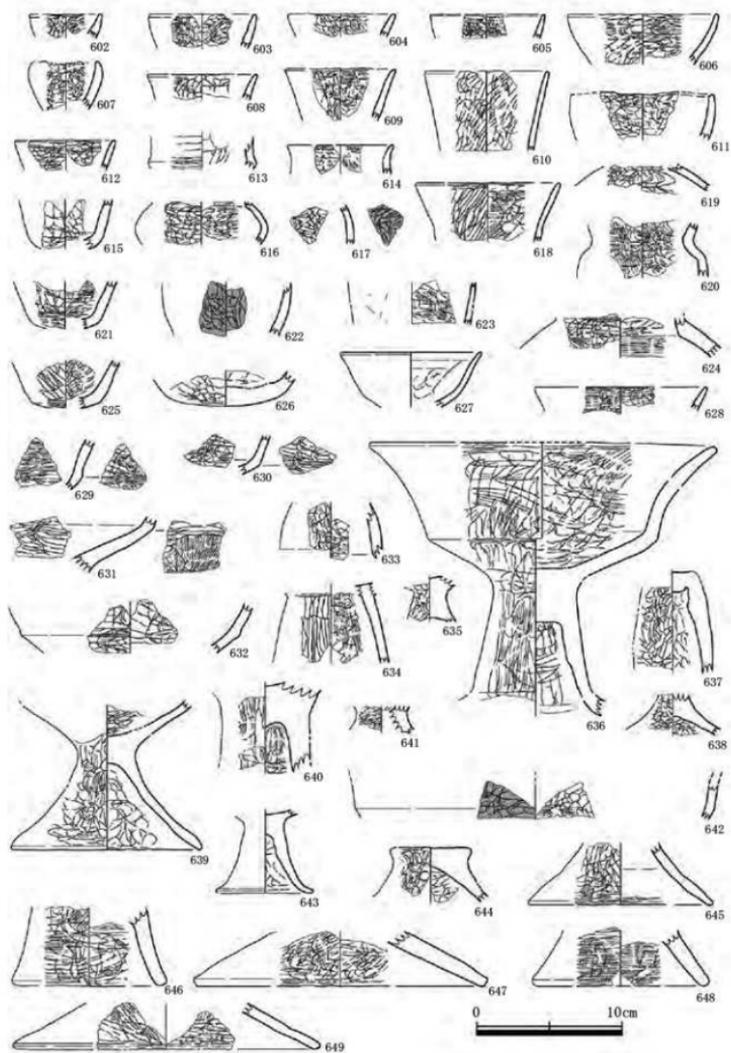
第 82 图 SA-30 出土土器实测图 (3) 535 は SA-48 出土



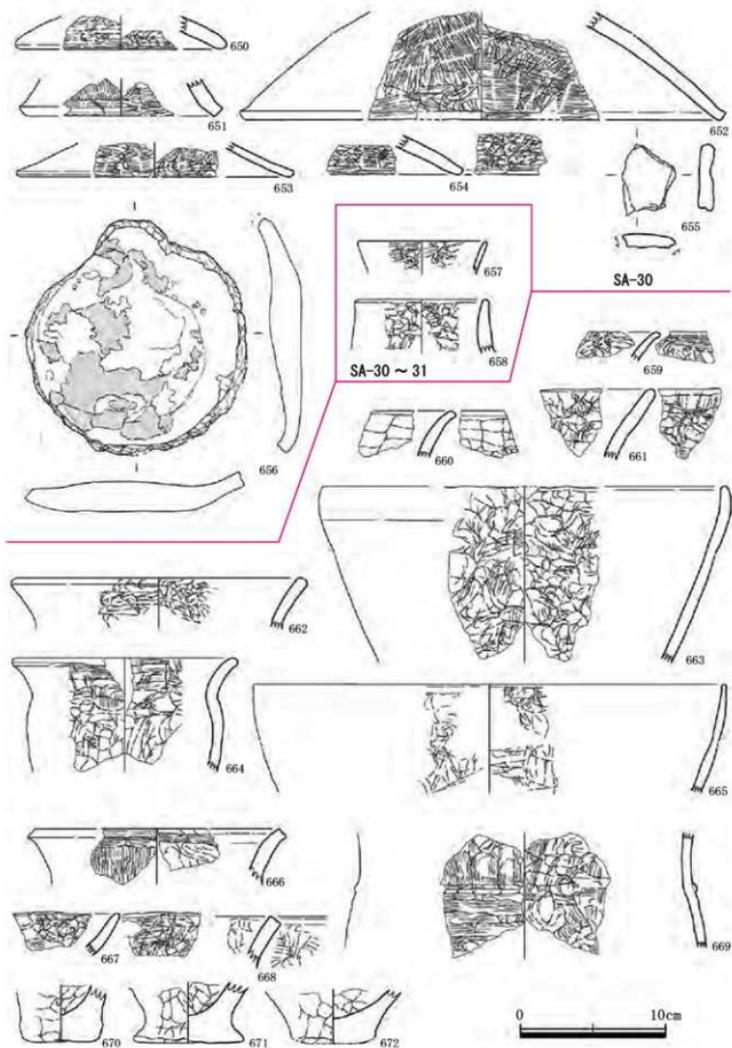
第 83 图 SA-30 出土土器 实测图 (4)



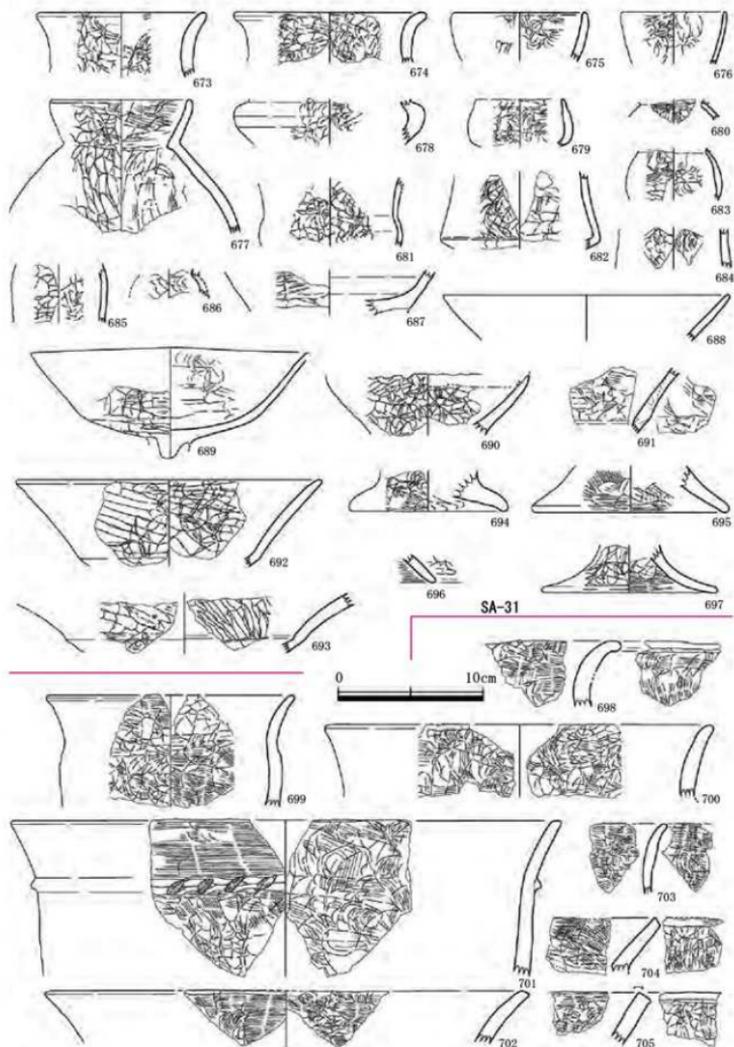
第84图 SA-30 出土土器 实测图(5)



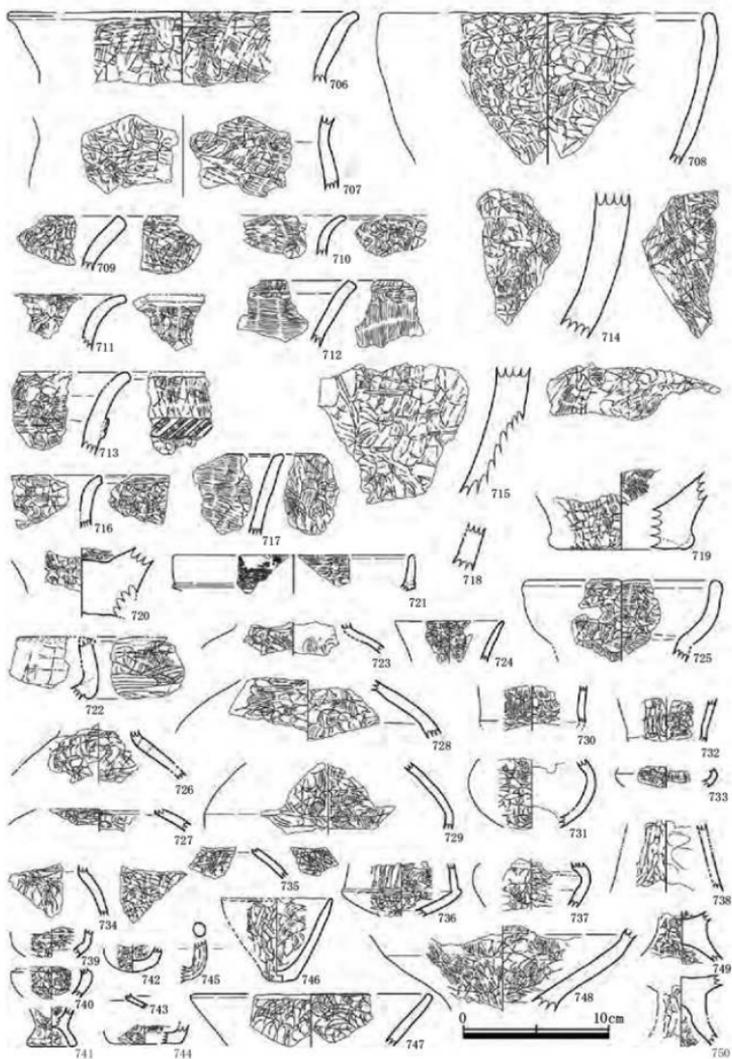
第 85 图 SA-30 出土土器 实测图 (6)



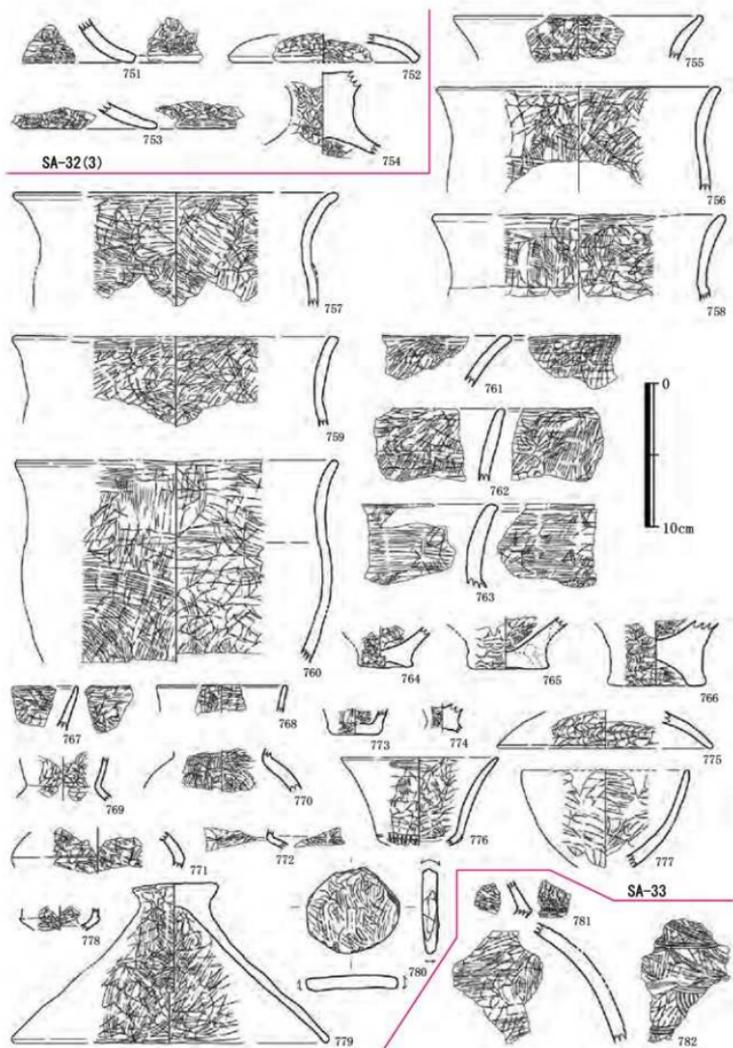
第86図 SA-30 出土土器(7)、SA-30~31 SA-31 出土土器 実測図(1)



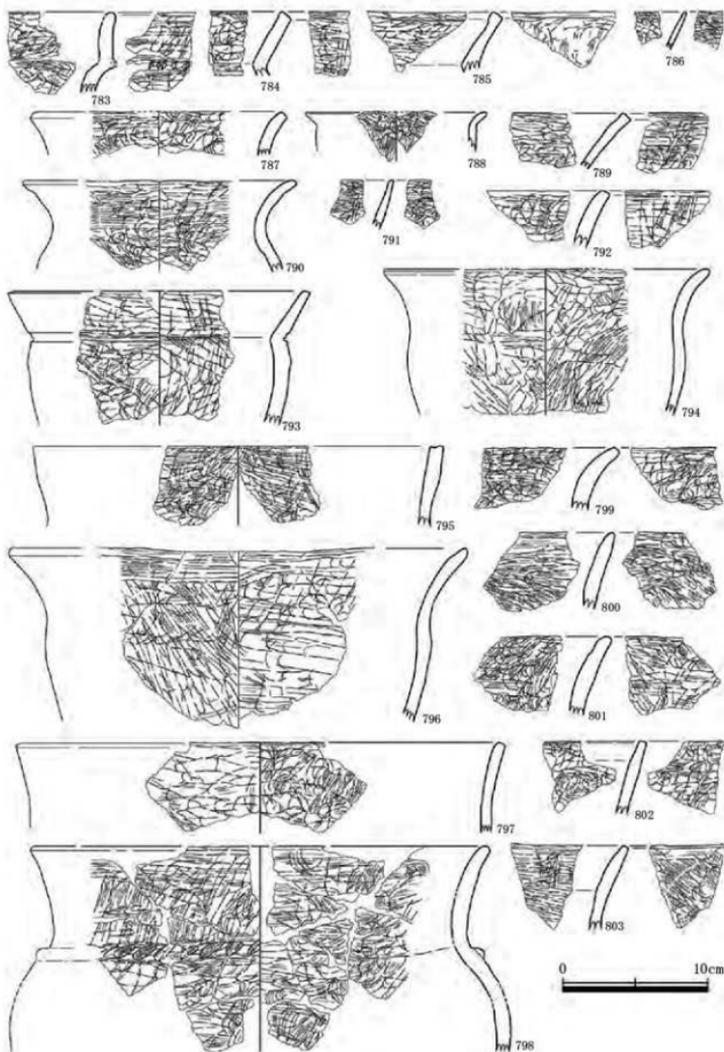
第 87 图 SA-31 出土土器 (2)、SA-32 出土土器 实测图 (1)



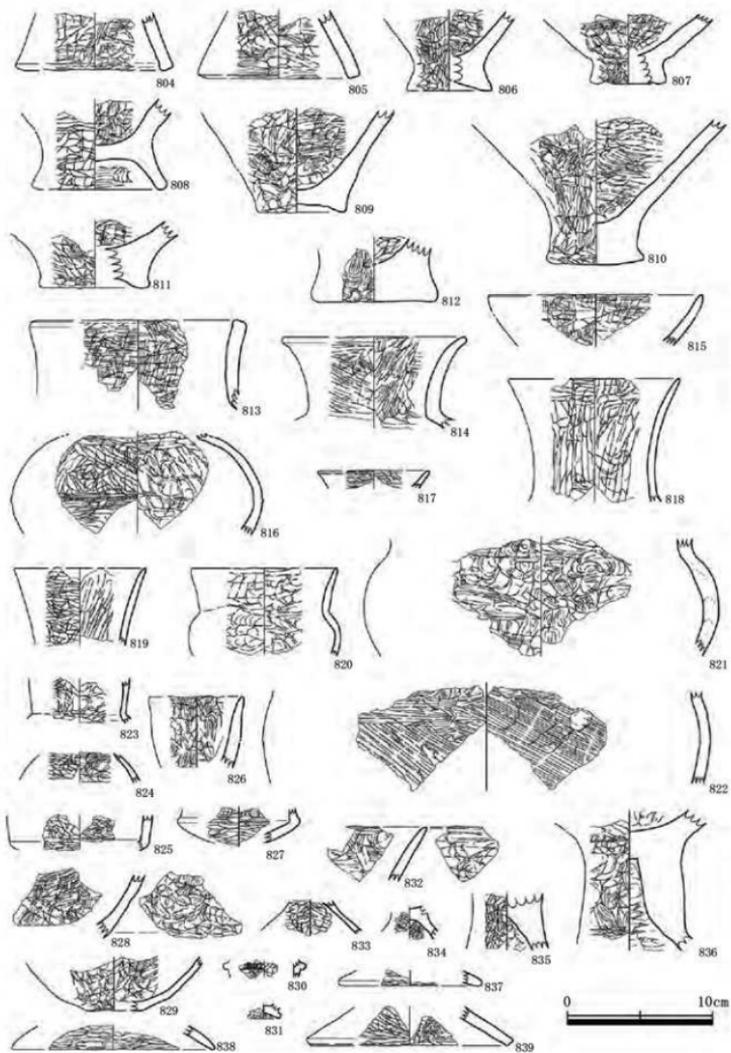
第88图 SA-32 出土土器 实测图(2)



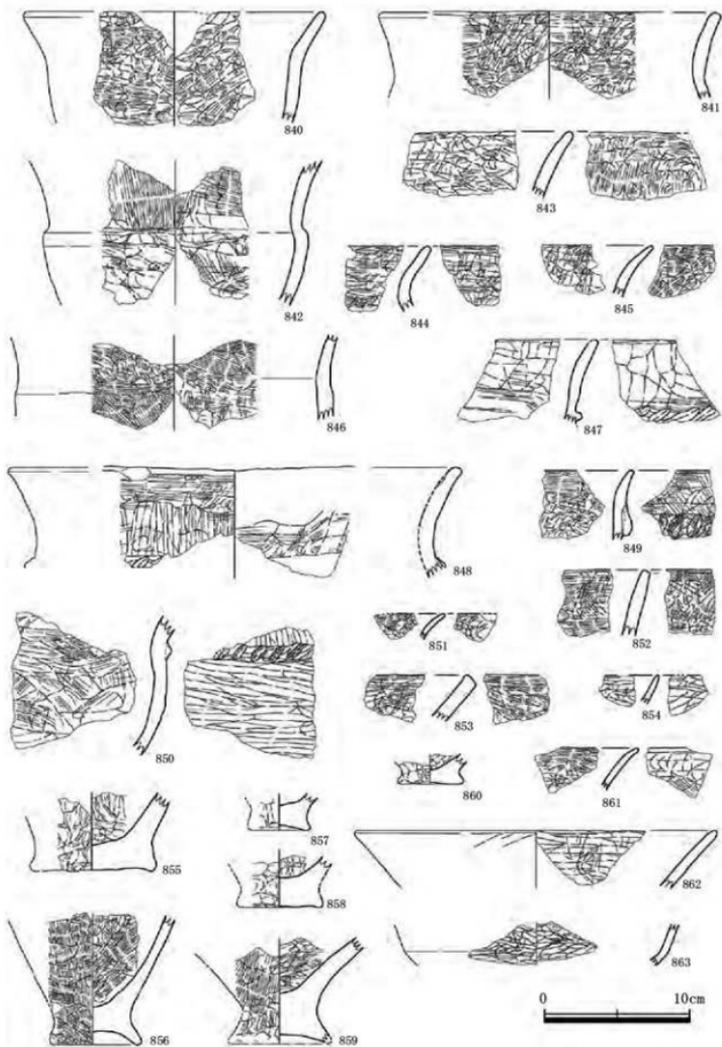
第89图 SA-32 出土土器(3)、SA-33、34 出土土器 实测图(1)



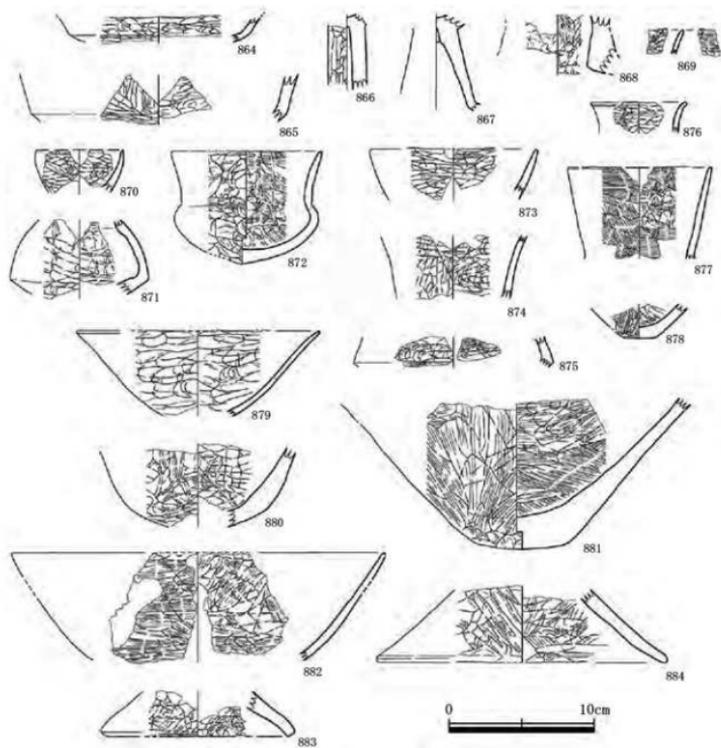
第90图 SA-34 出土土器 实测图(2)



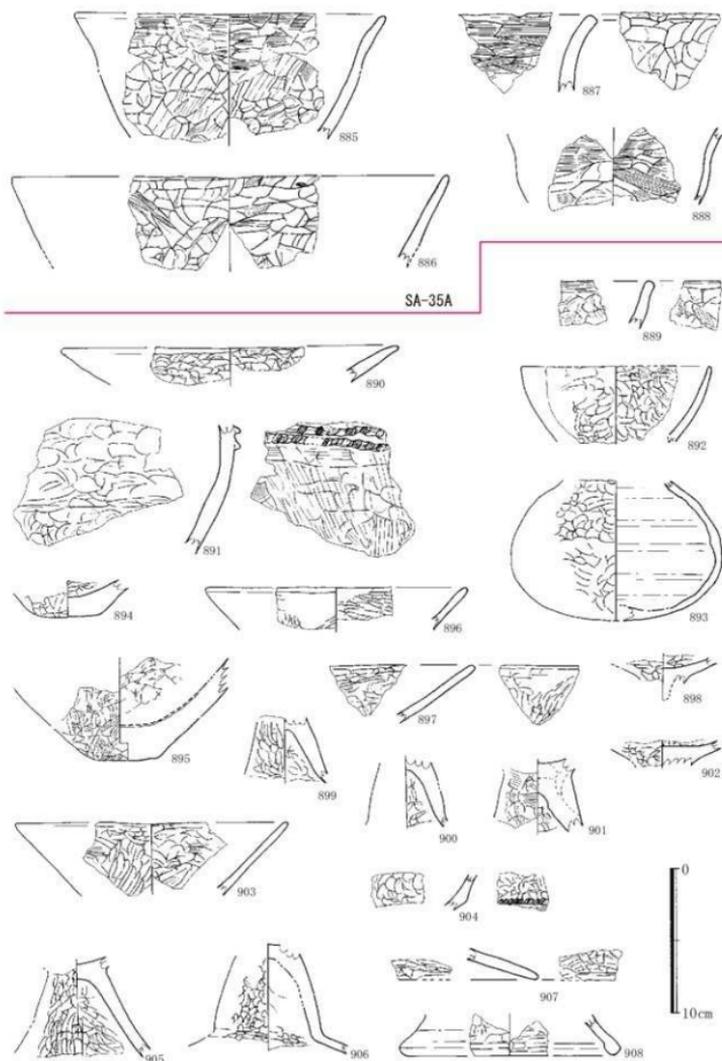
第91图 SA-34 出土土器 实测图(3)



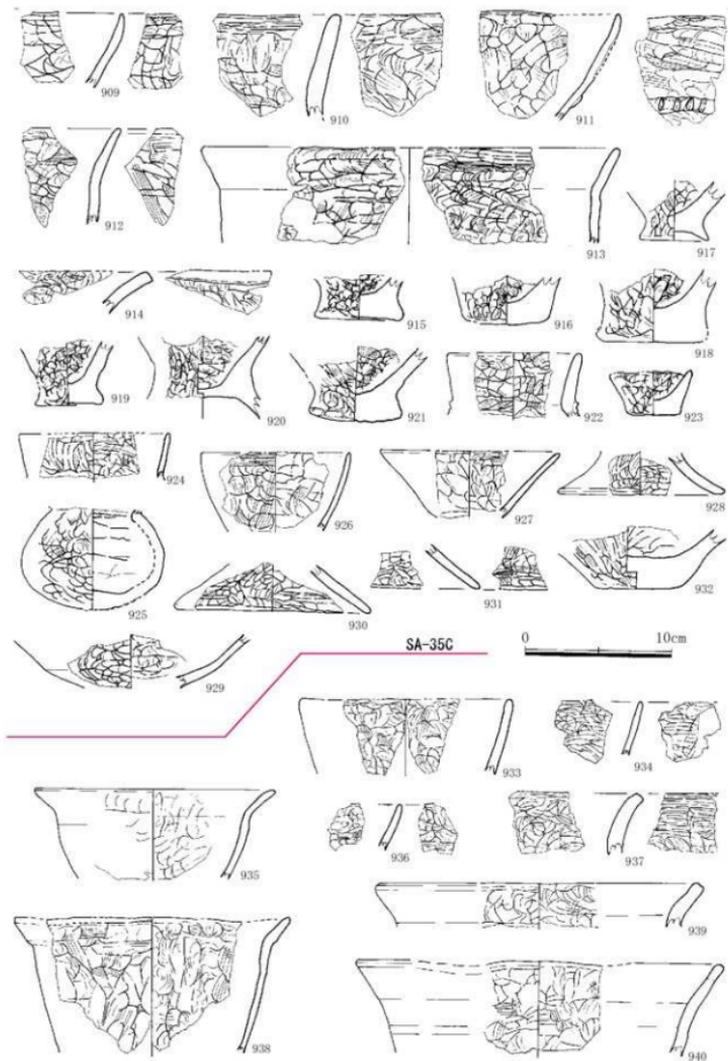
第92图 SA-35 出土土器实测图(1)



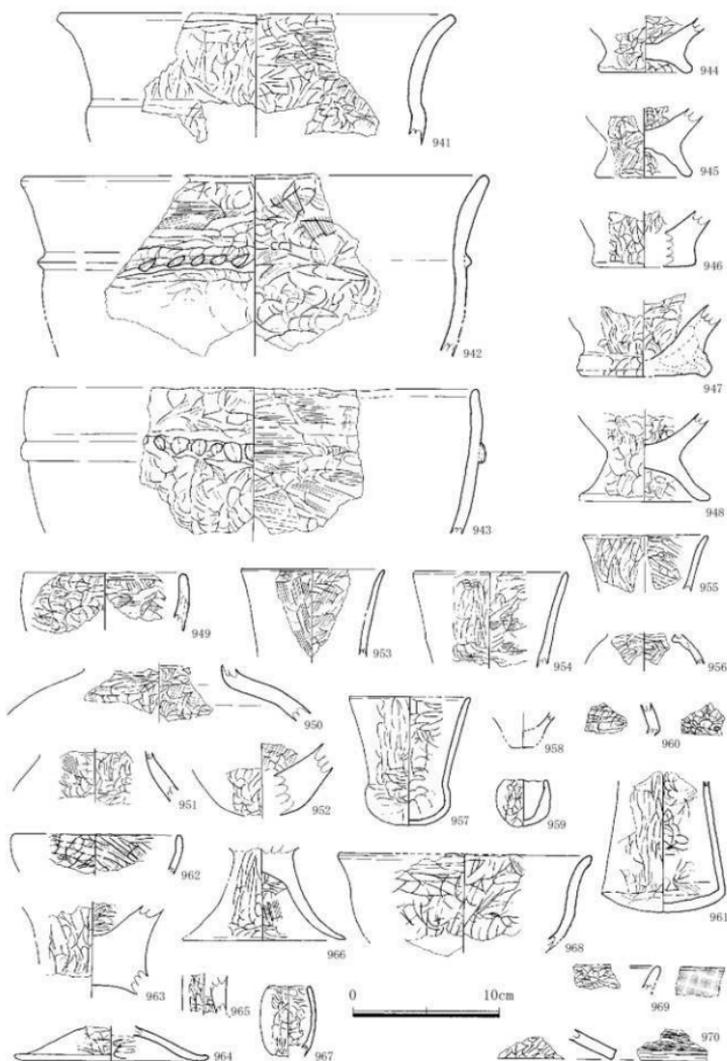
第 93 図 SA-35 出土土器 実測図 (2)



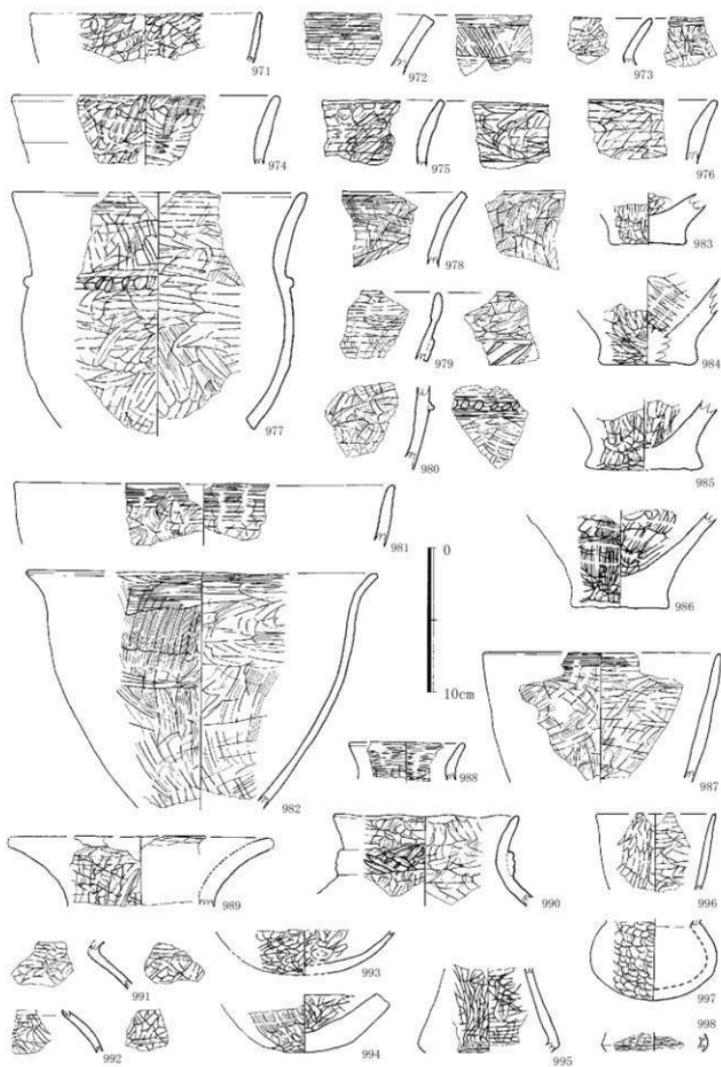
第94图 SA-35A、SA-35C 出土土器 实测图(1)



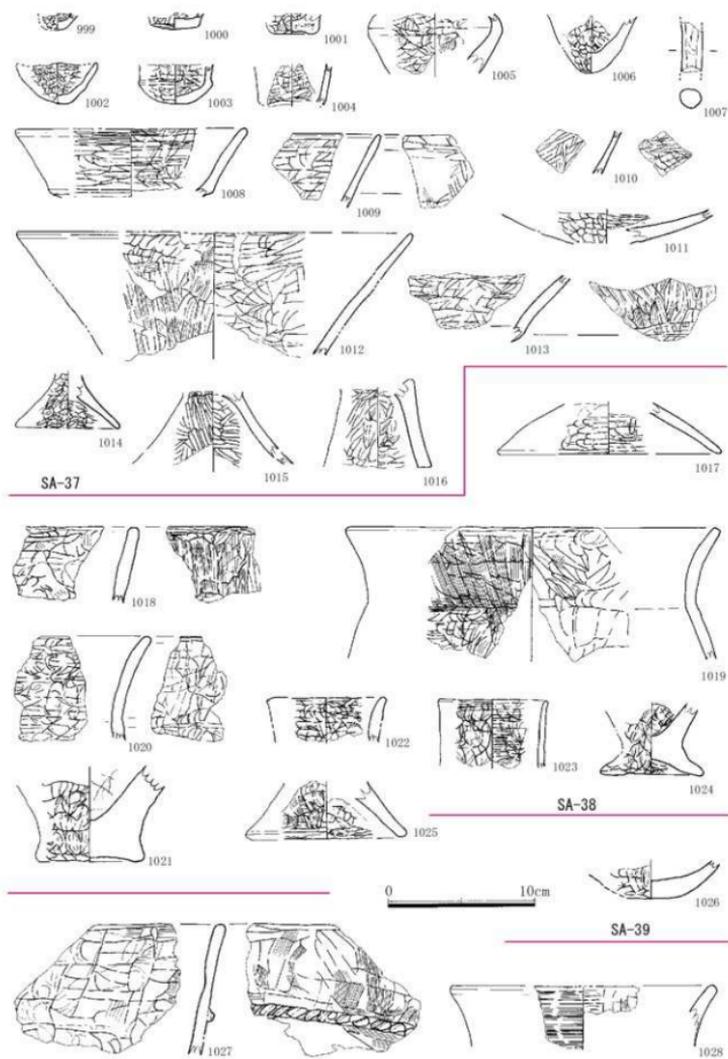
第95图 SA-35C出土土器(2)、SA-36出土土器 实测图(1)



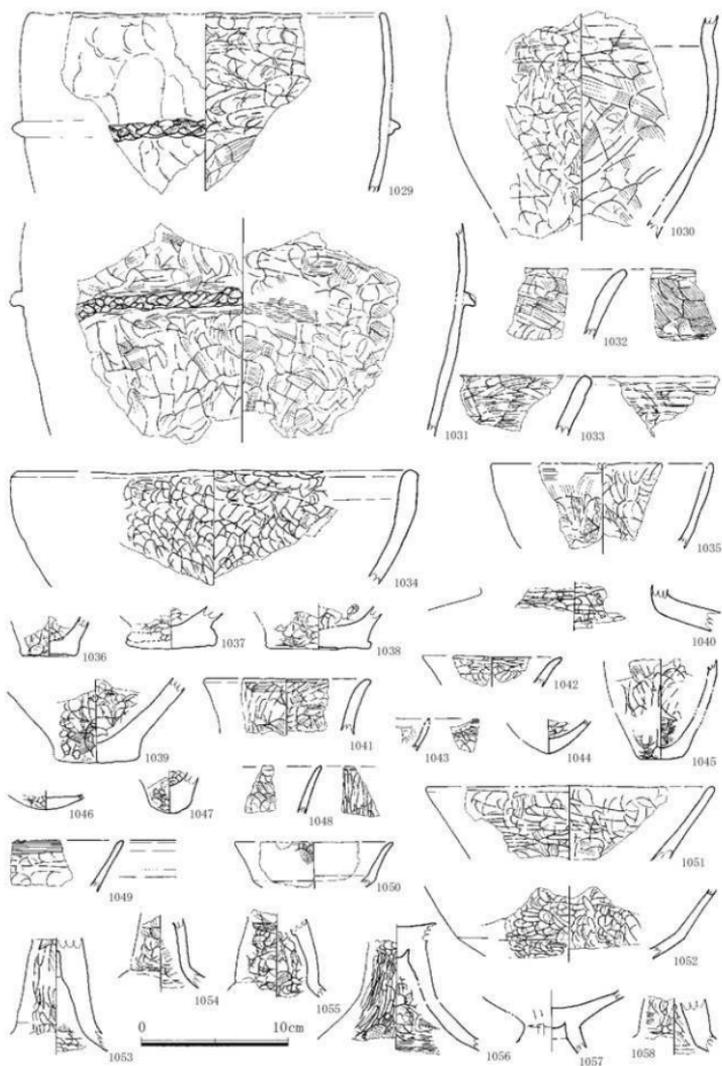
第96图 SA-36 出土土器 实测图(2)



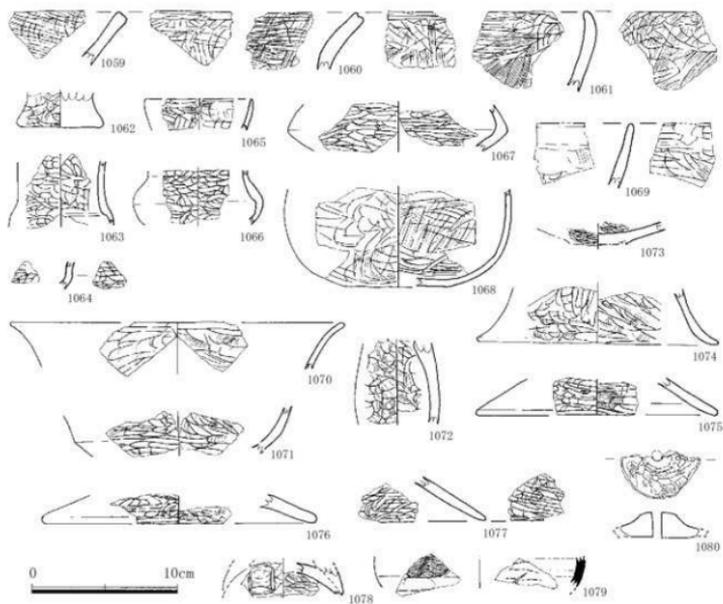
第97图 SA-37 出土土器 实测图(1)



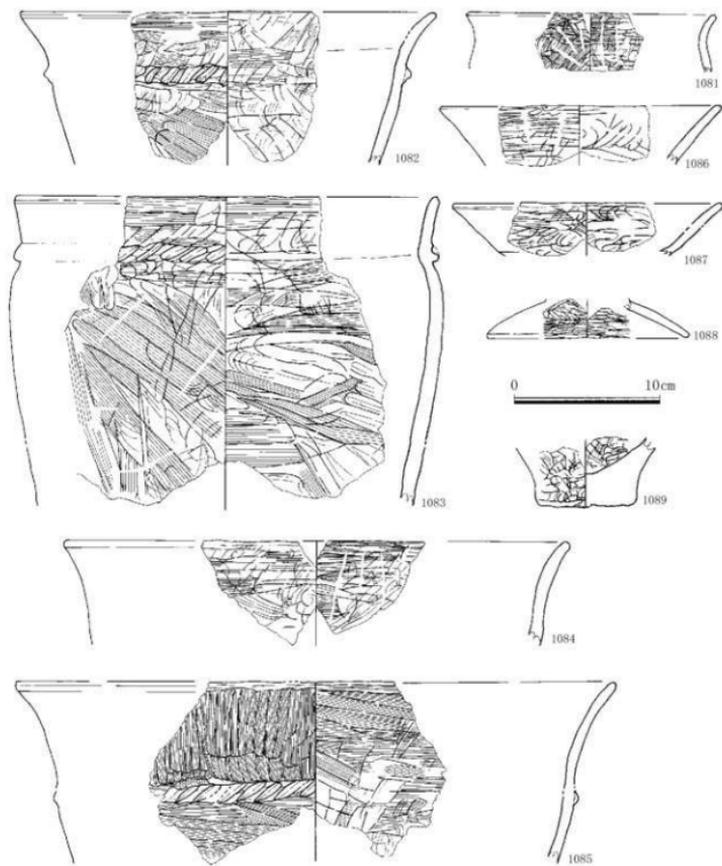
第98图 SA-37 出土土器实测图(2)、SA-38、39、40 出土土器实测图(1)



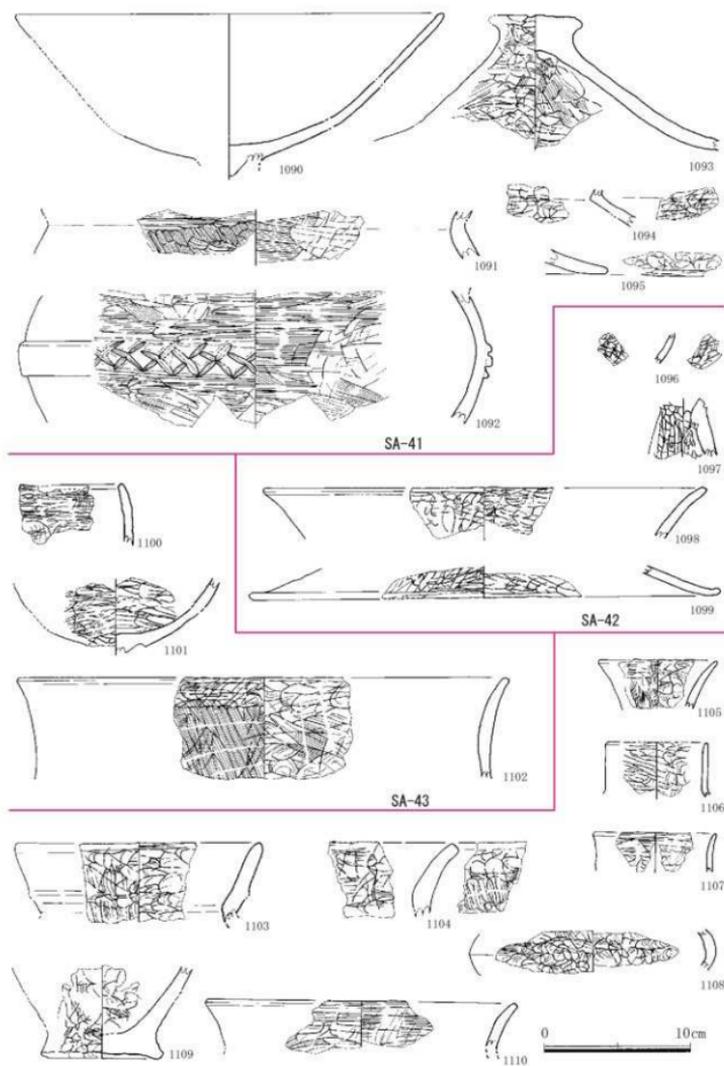
第99图 SA-40 出土土器 实测图(2)



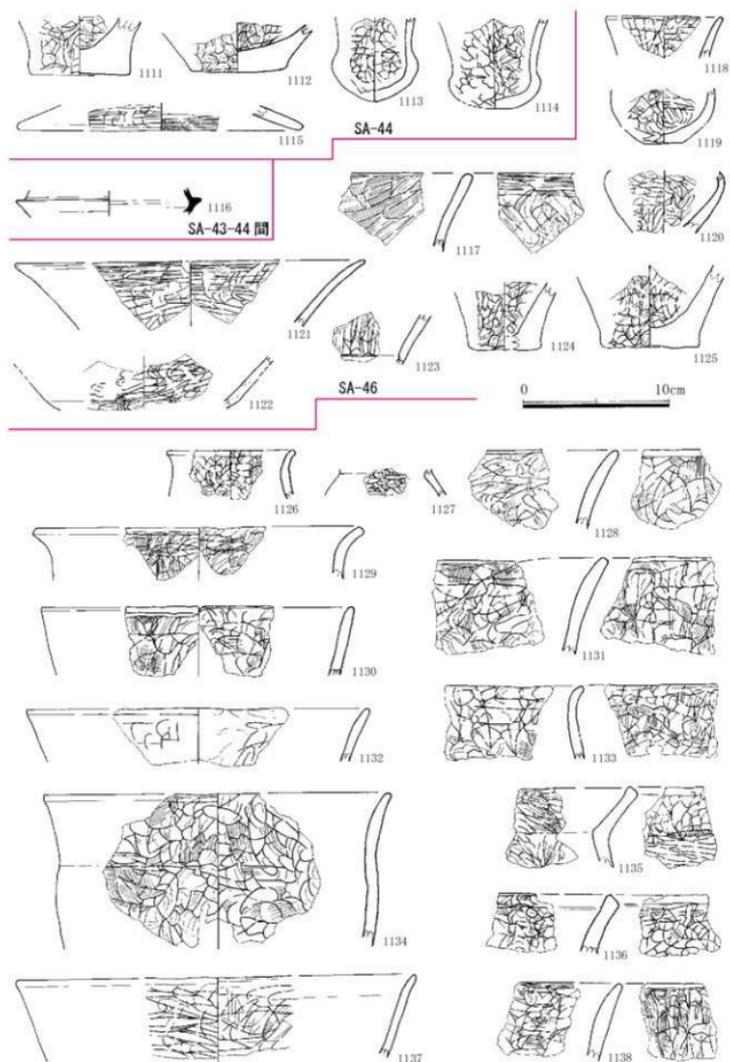
第100图 SA-40 出土土器 实测图(3)



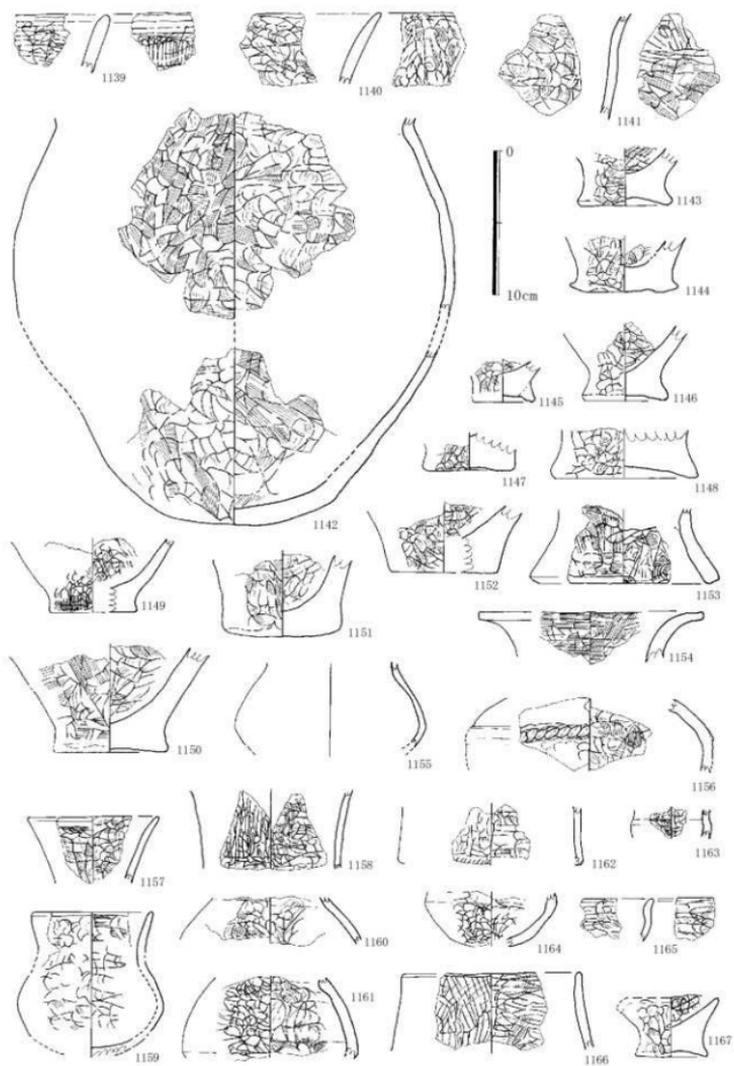
第 101 图 SA-41 出土土器 实测图 (1)



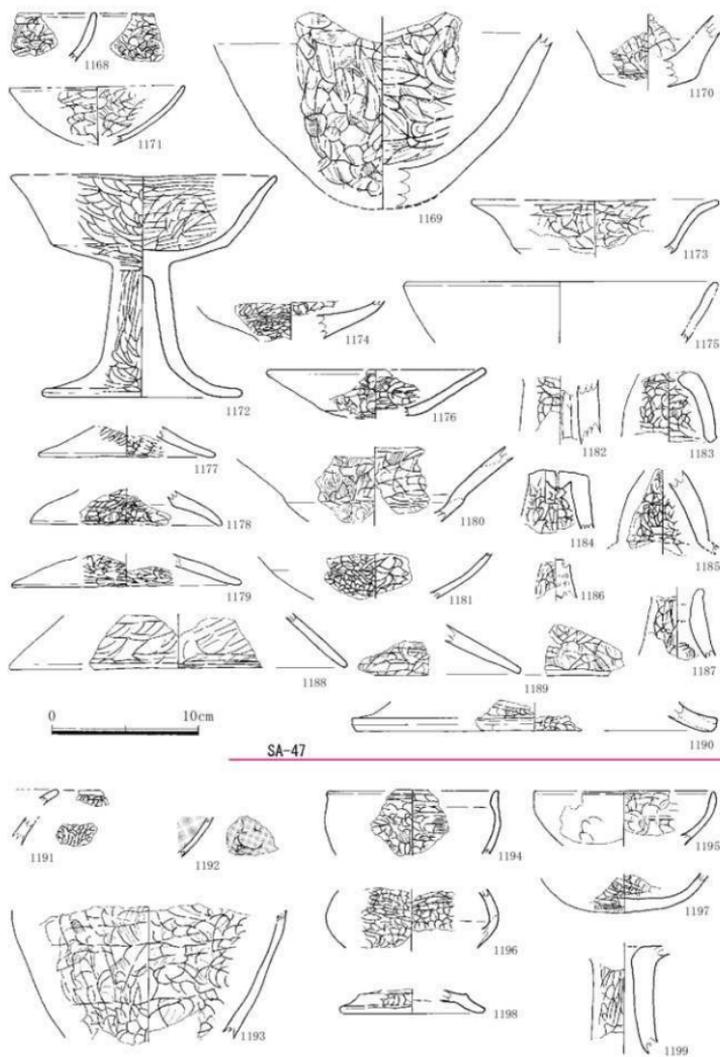
第102图 SA-41 出土土器(2)、SA-42、43、44 出土土器 实测图(1)



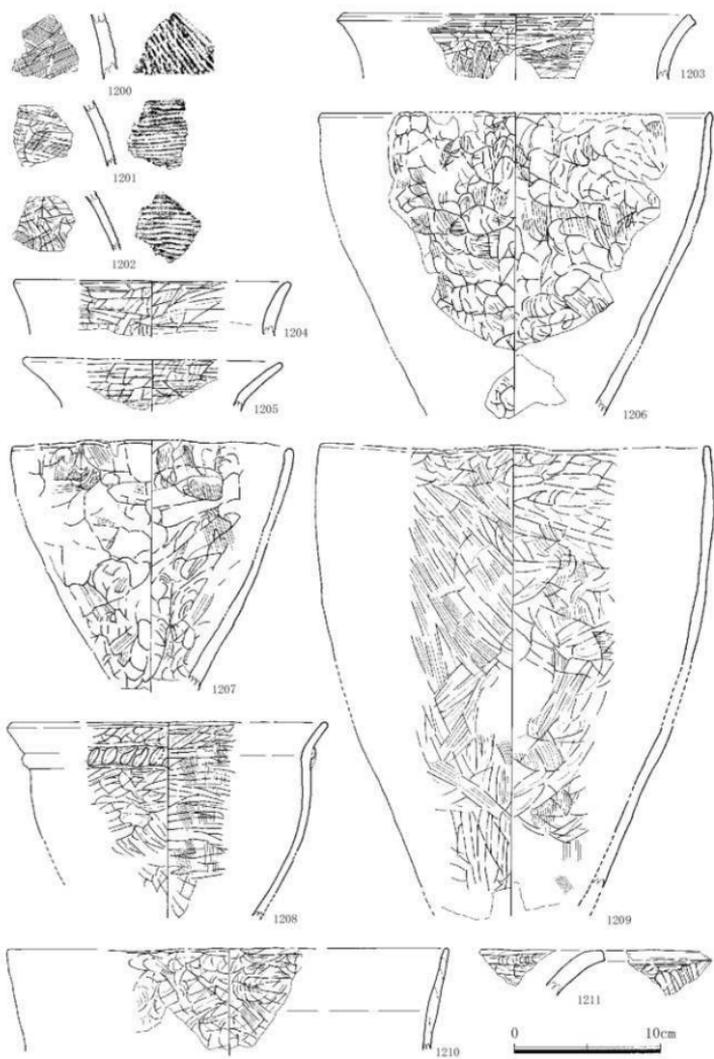
第 103 回 SA-44 出土土器 (2)、SA-43-44 間の須恵器、SA-46、47 出土土器 実測図 (1)



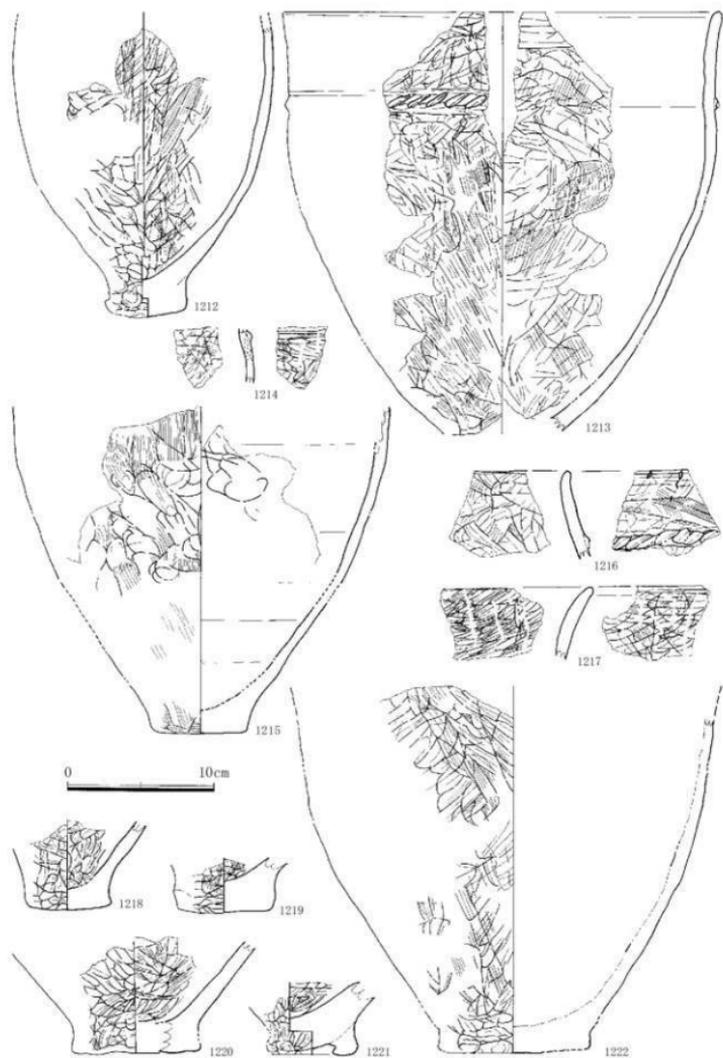
第 104 图 SA-47 出土土器 实测图 (2)



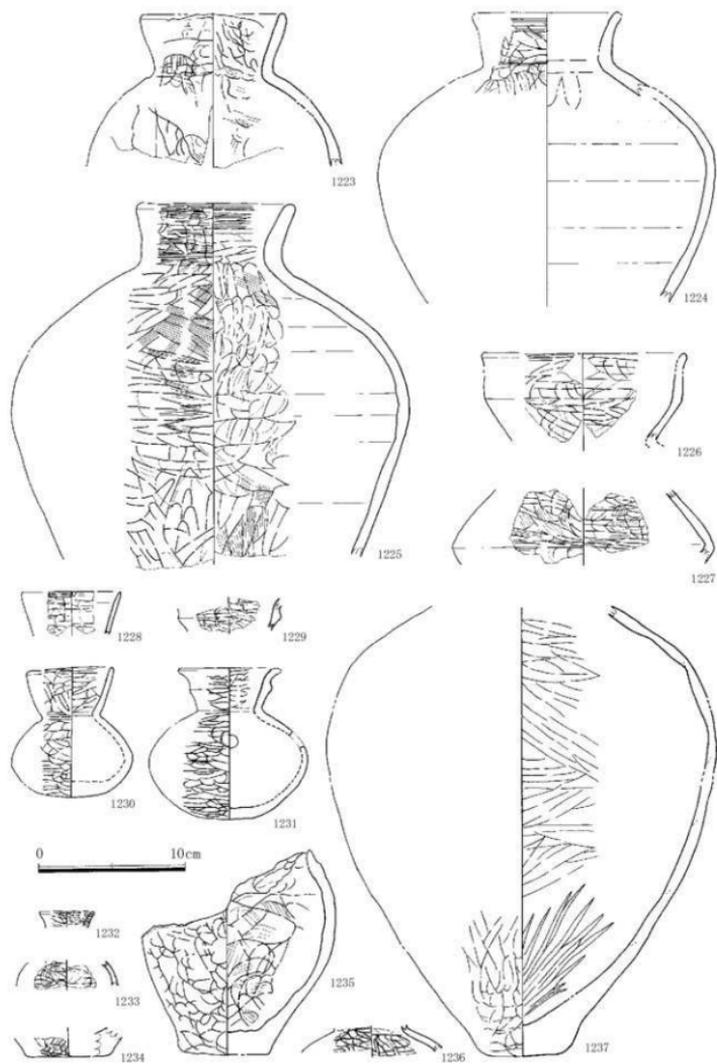
第 105 图 SA-47 出土土器实测图 (3)、SA-47 内 SK-2 出土土器 实测图



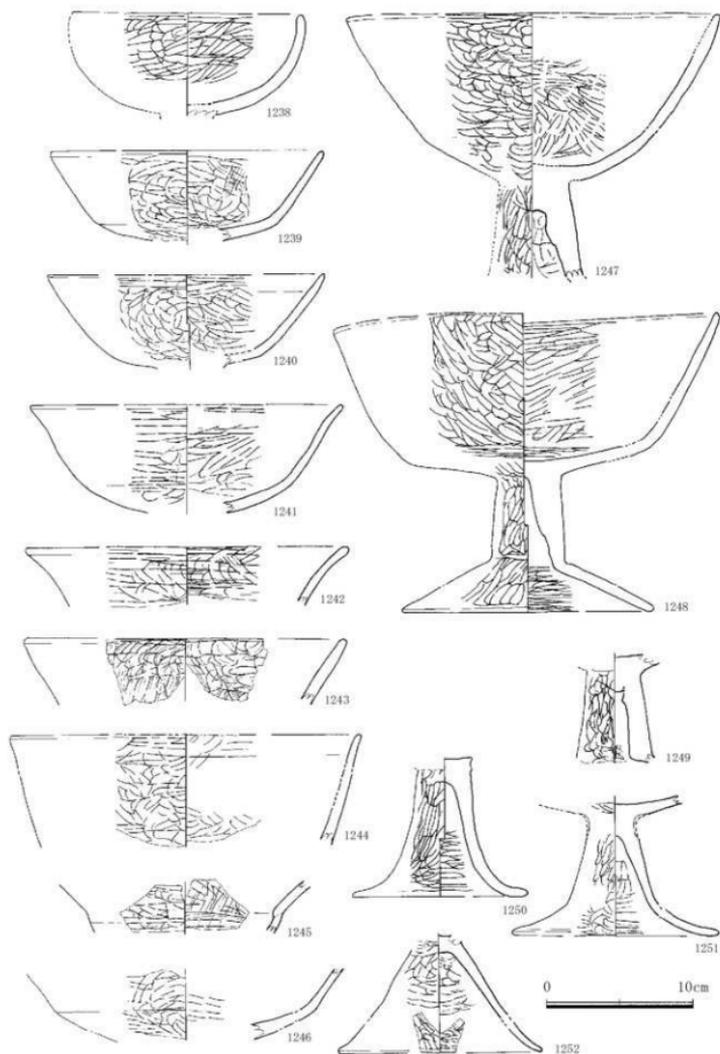
第106图 SA-48 出土土器 实测图(1)



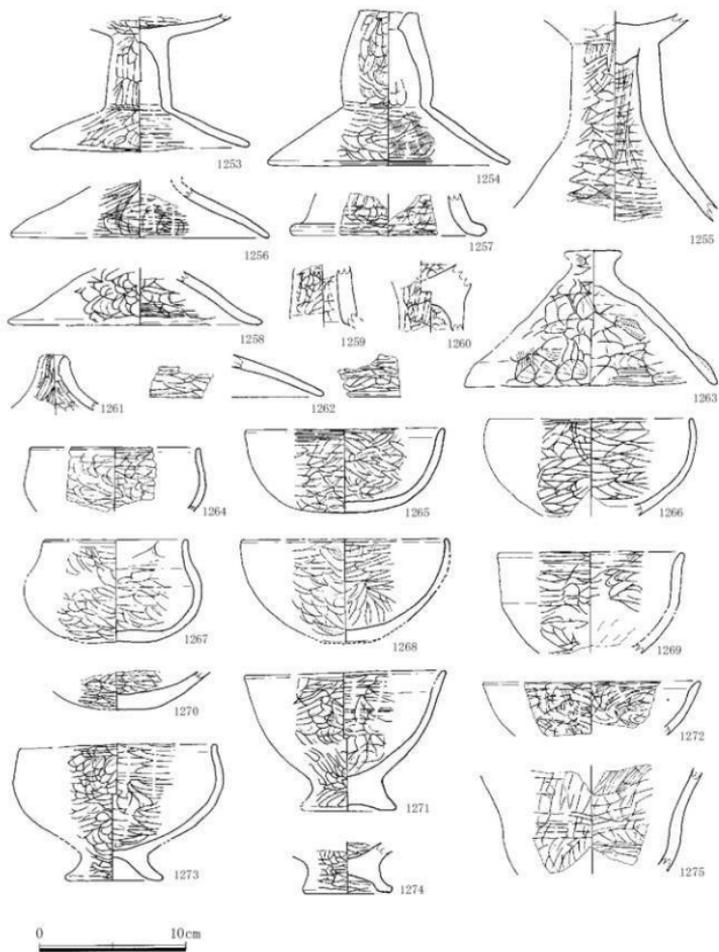
第 107 图 SA-48 出土土器 实测图 (2)



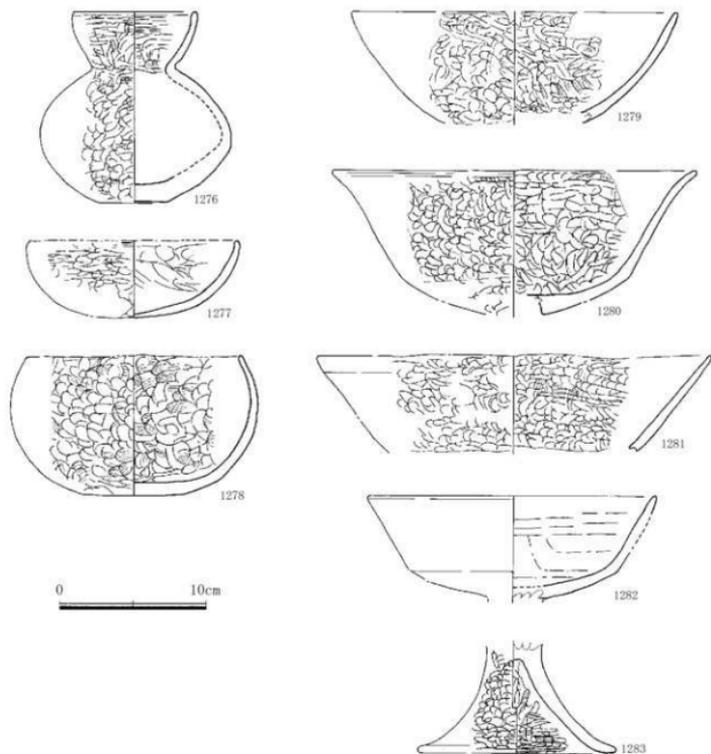
第108图 SA-48 出土土器 实测图(3)



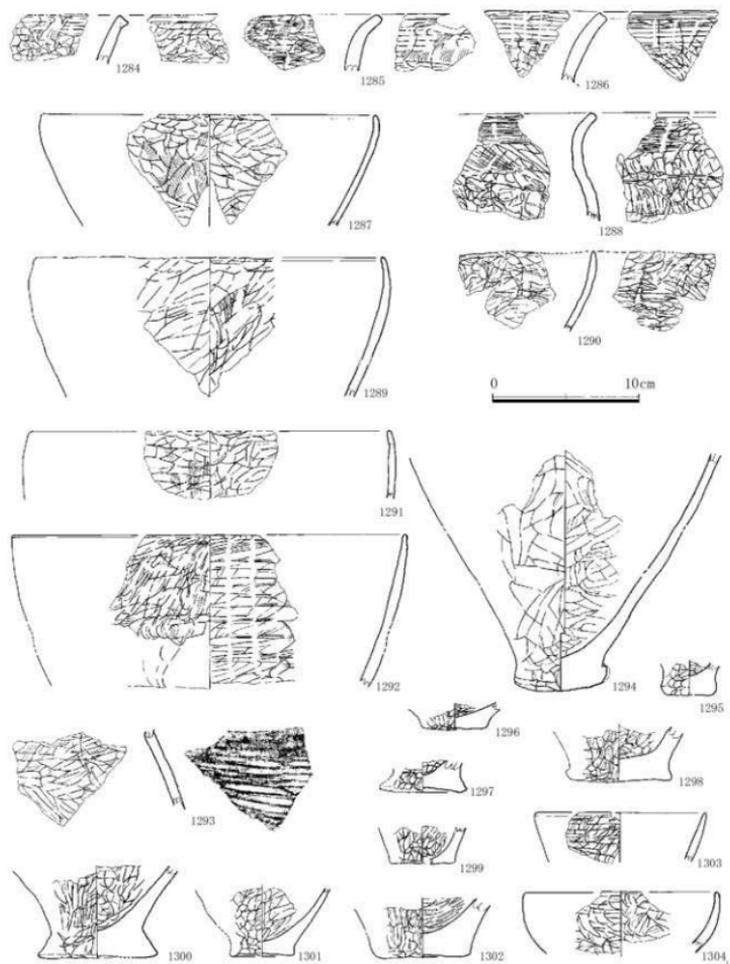
第 109 回 SA-48 出土土器 実測図 (4)



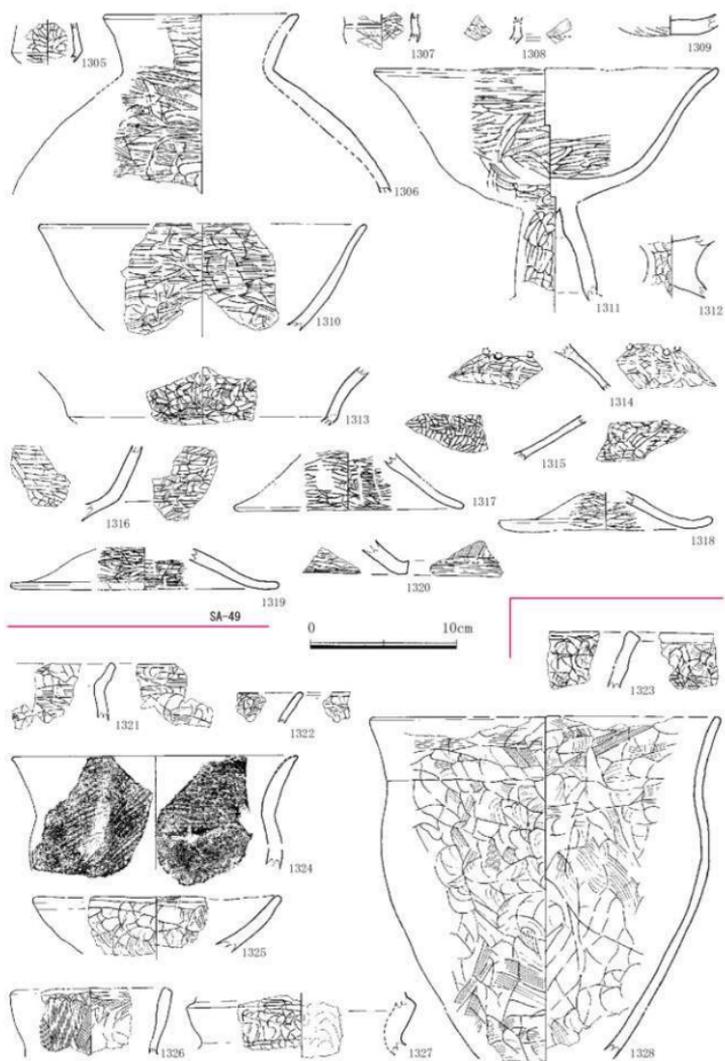
第 110 图 SA-48 出土土器 实测图 (5)



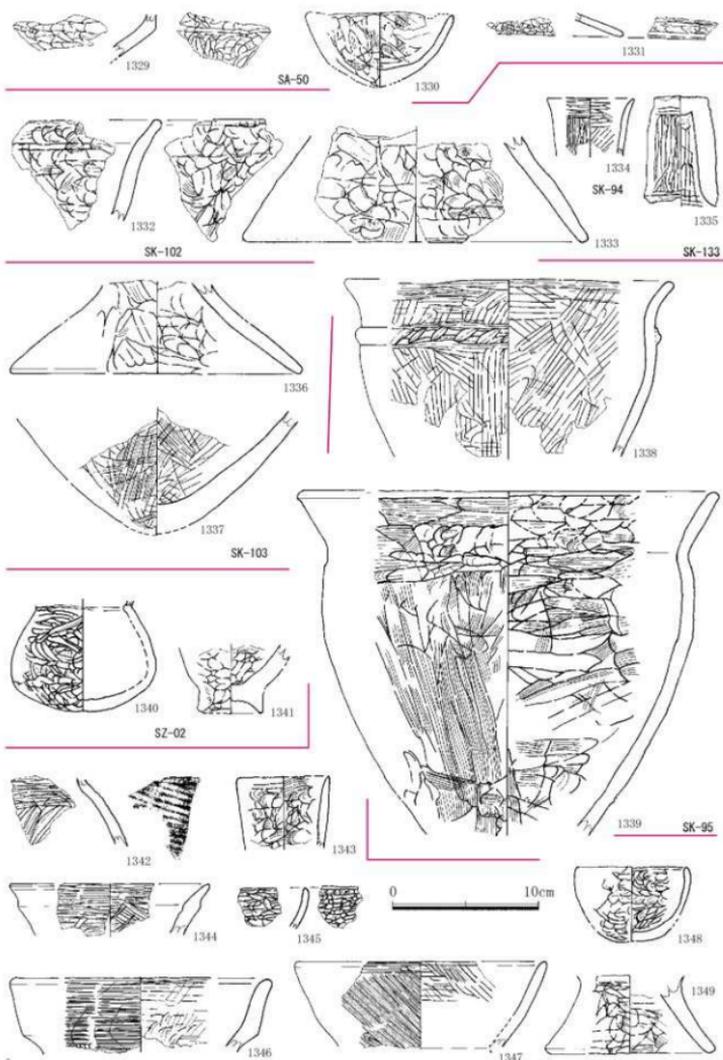
第 111 图 SA-48 出土土器 实测图 (6)



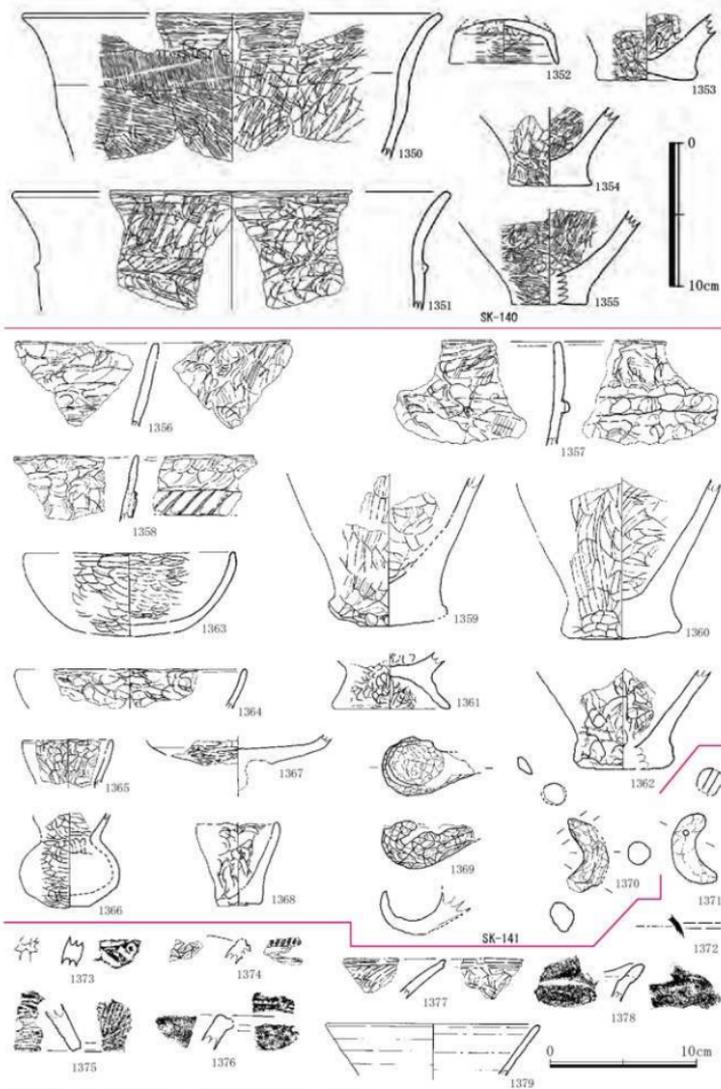
第 112 图 SA-49 出土土器实测图 (1)



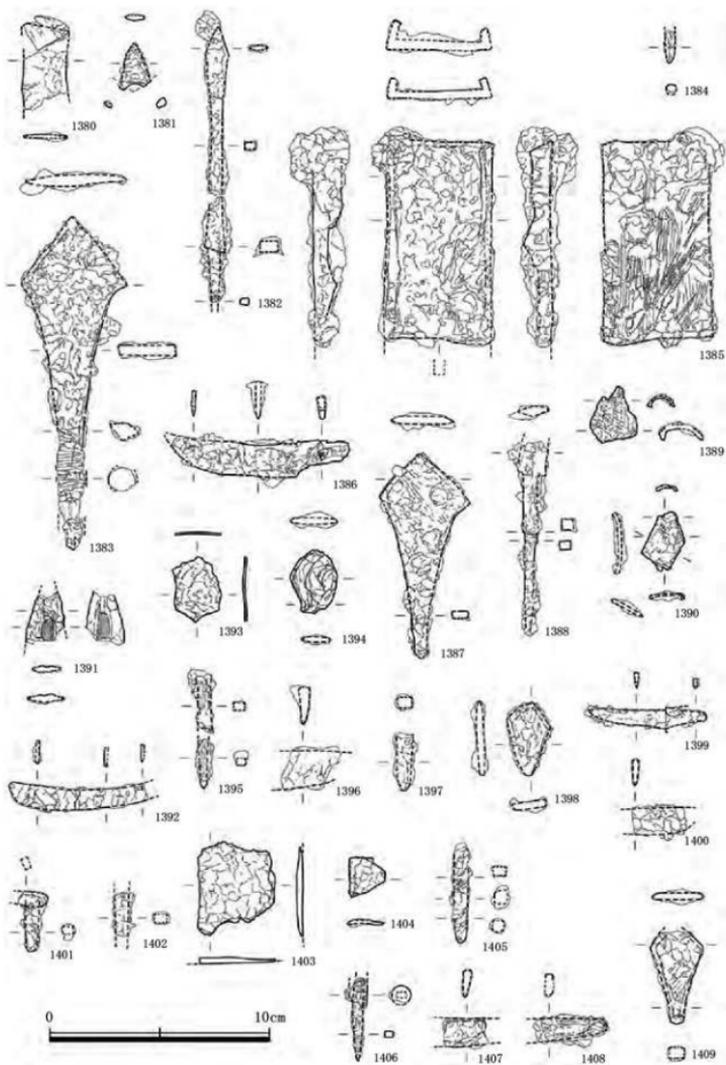
第 113 图 SA-49 出土土器 (2)、SA-50 出土土器 实测图 (1)



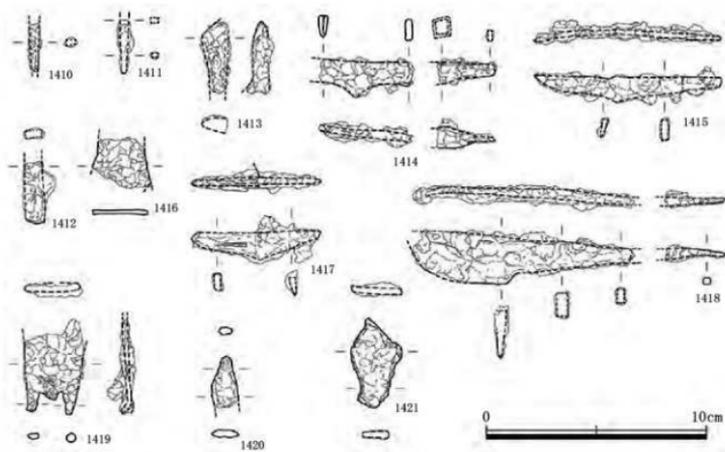
第114图 SA-50 出土土器(2)、SK-102、103他、SZ-02、II~III層、攪乱 出土土器 実測図



第 115 回 SK-140、141 他 出土土器・土製品 実測図



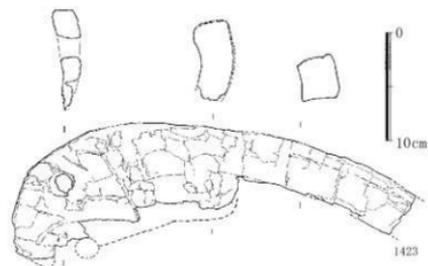
第116图 II~III区 出土铁器 实测图(1)



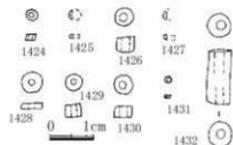
第117図 II～III区出土鉄器実測図(2)



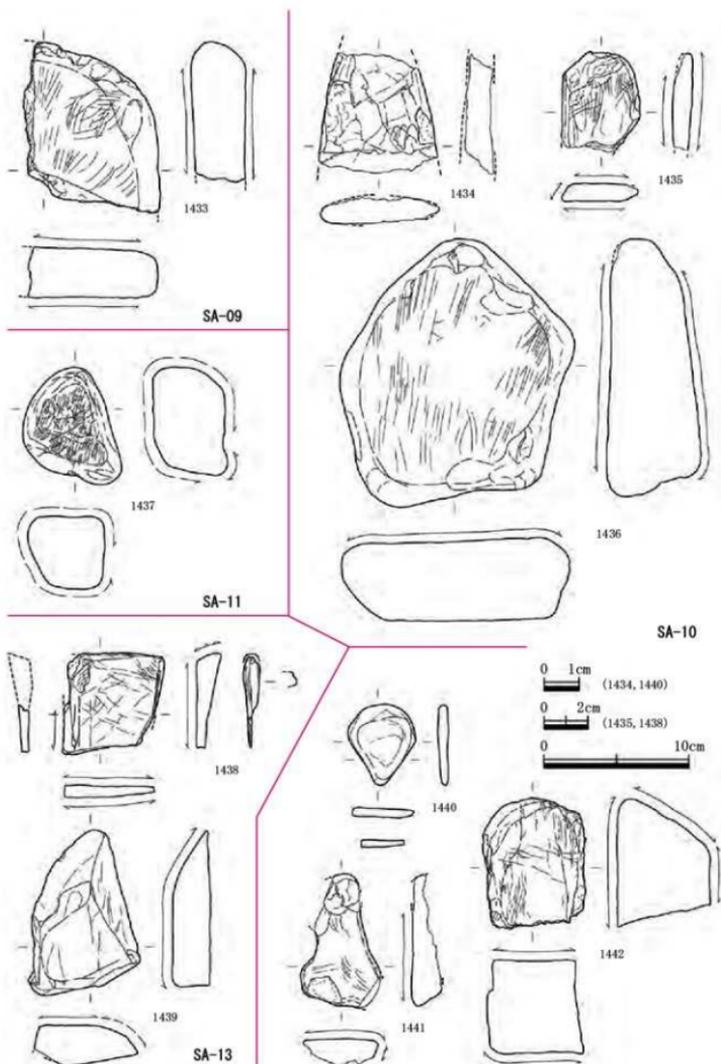
第118図 SA-33内サブトレVI層出土縄文土器実測図



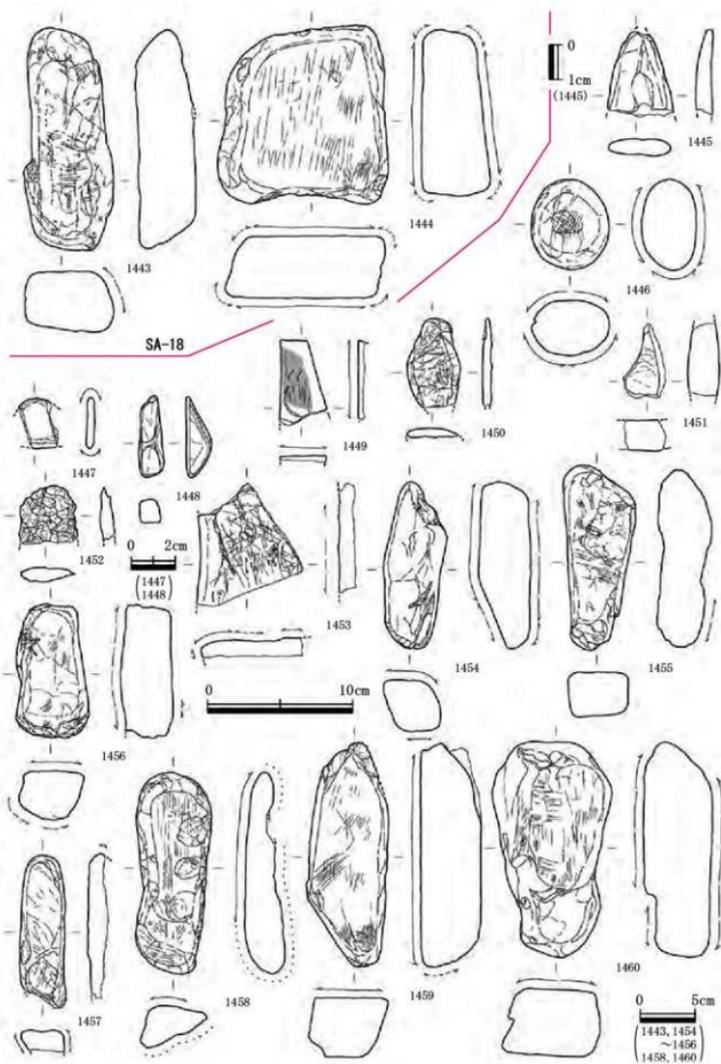
第119図 SA-17内5K出土炭化木器実測図



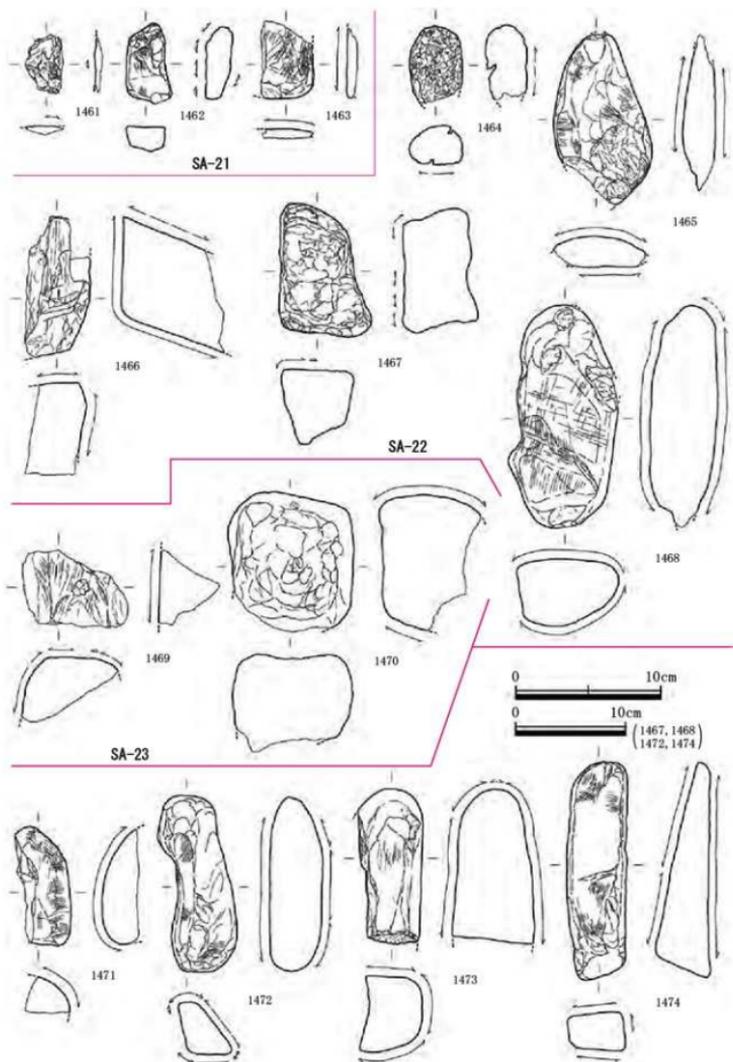
第120図 ガラス小玉、白玉、管玉 実測図



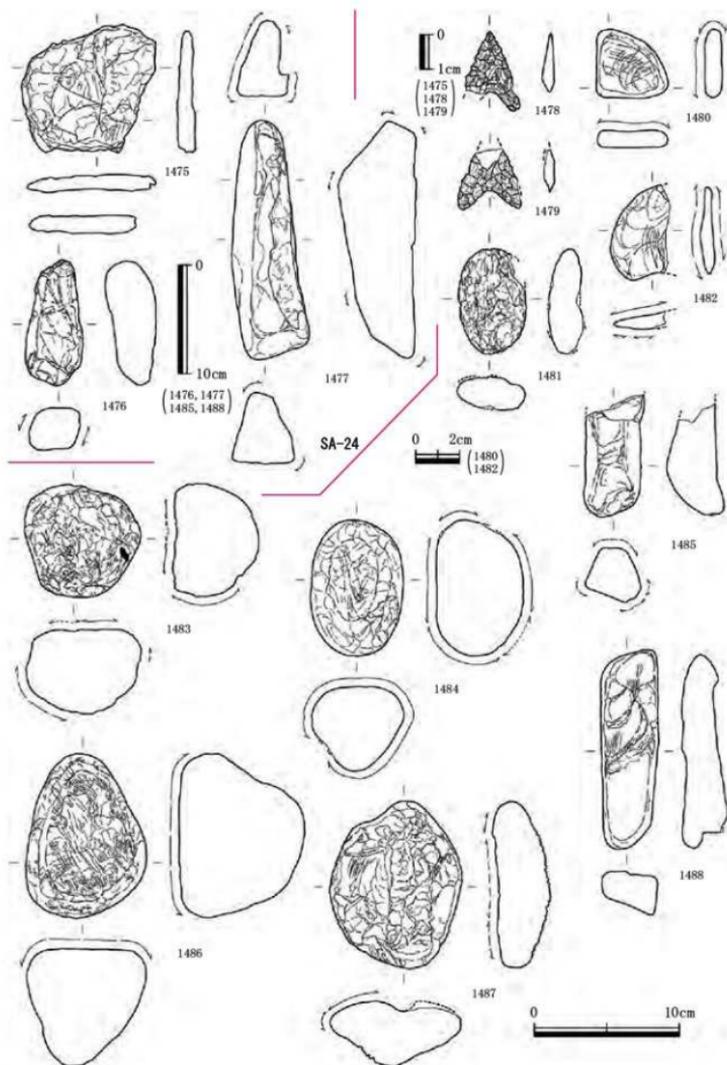
第 121 图 SA-09、10、11、13、14 出土石器 实测图



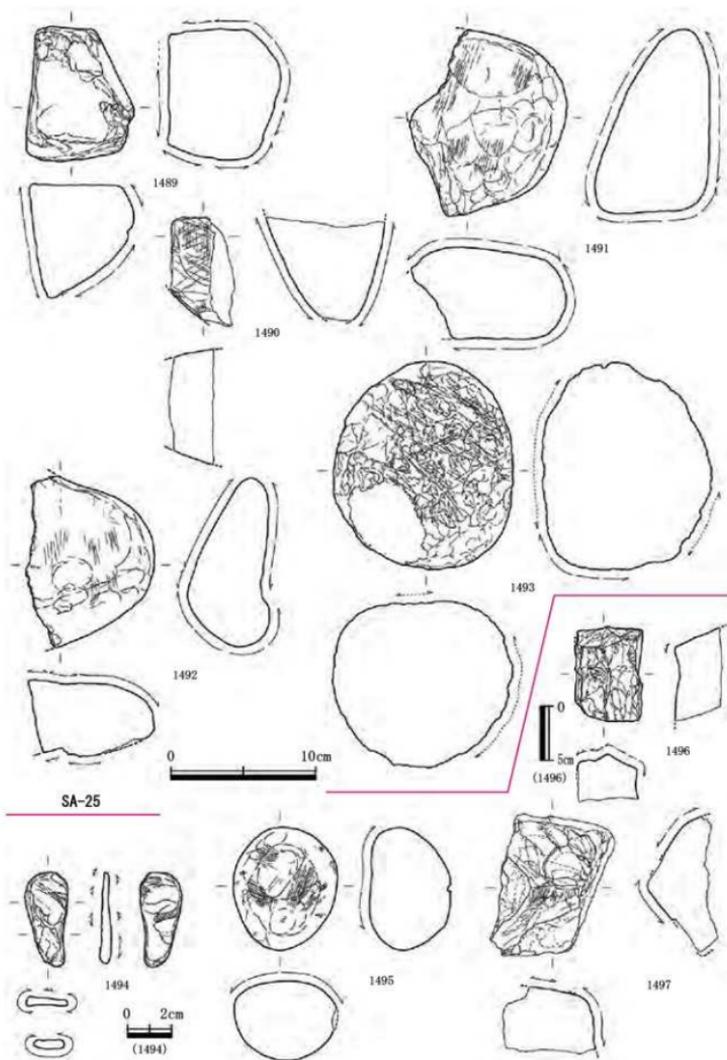
第 122 图 SA-18、20 出土石器 实测图



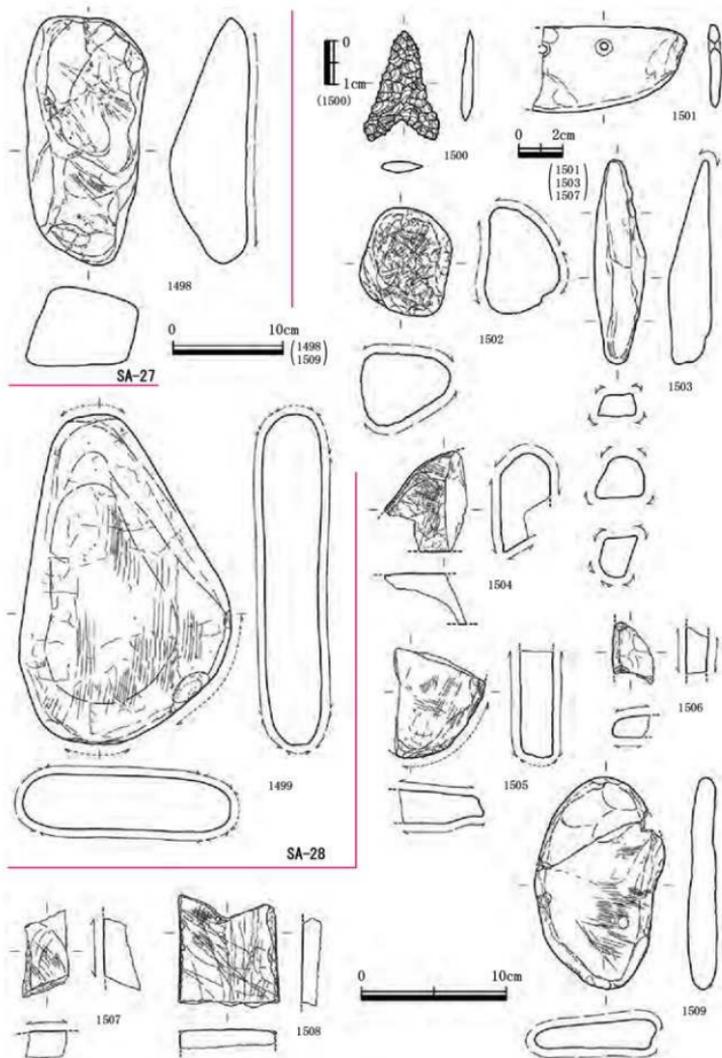
第123图 SA-21、22、23、24 出土石器 实测图(1)



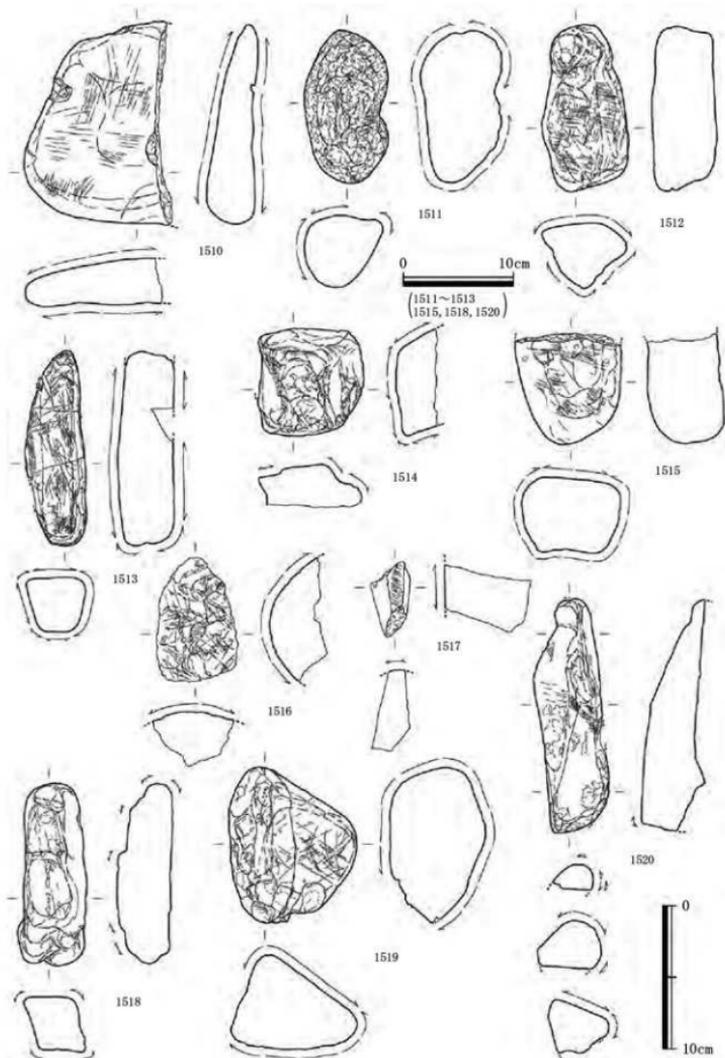
第124回 SA-24 出土石器(2)、SA-25 出土石器 実測図(1)



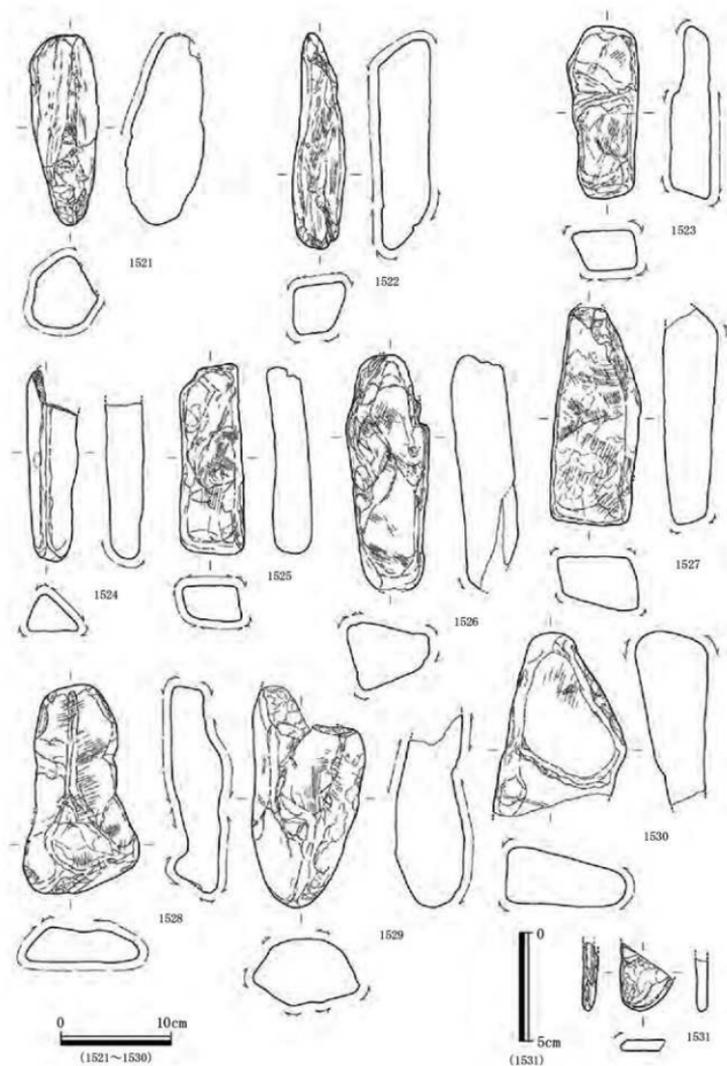
第125图 SA-25 出土石器(2)、SA-27 出土石器 实测图(1)



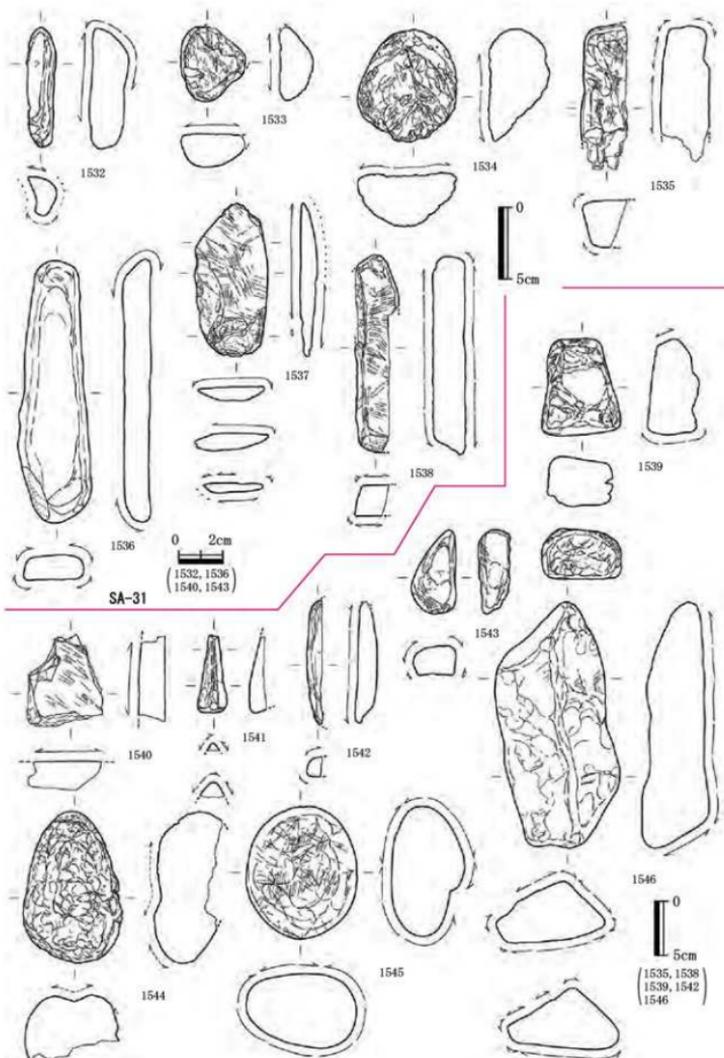
第 126 回 SA-27 出土石器 (2)、SA-28-30 出土石器 実測図 (1)



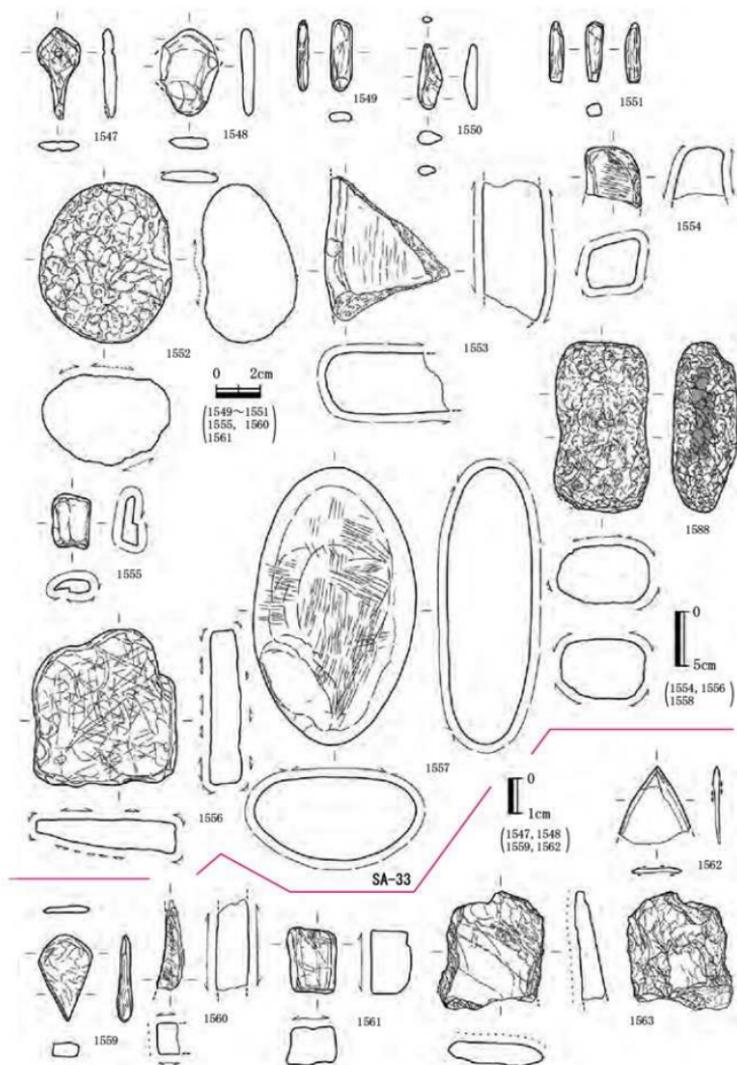
第 127 图 SA-30 出土石器 实测图 (2)



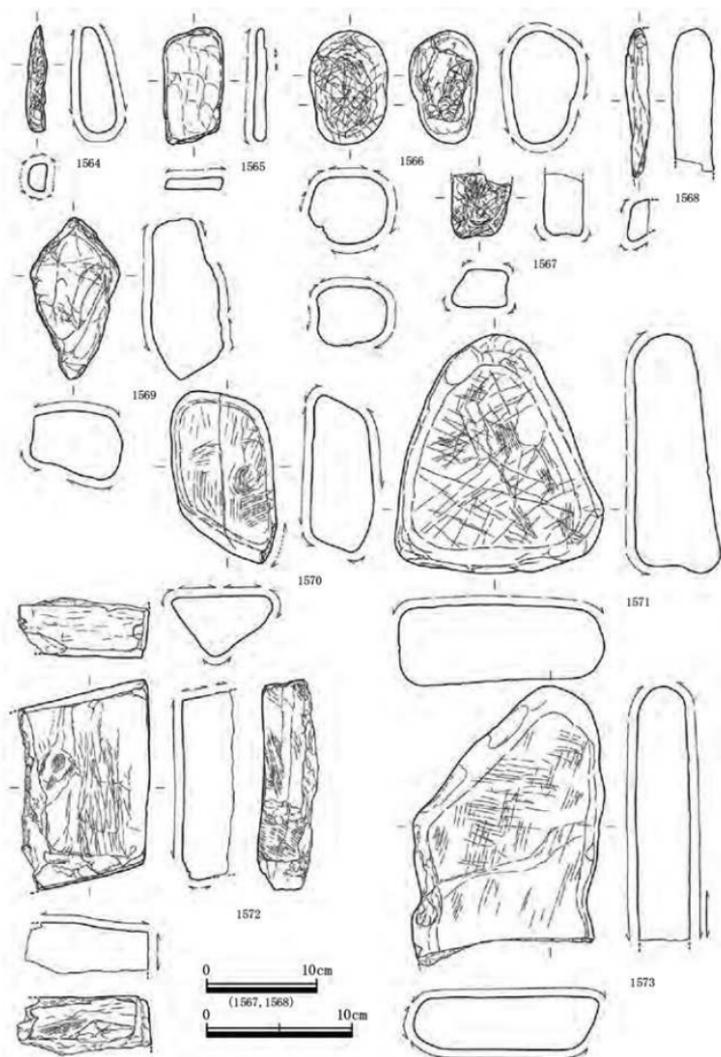
第 128 图 SA-30 出土石器 实测图 (3)



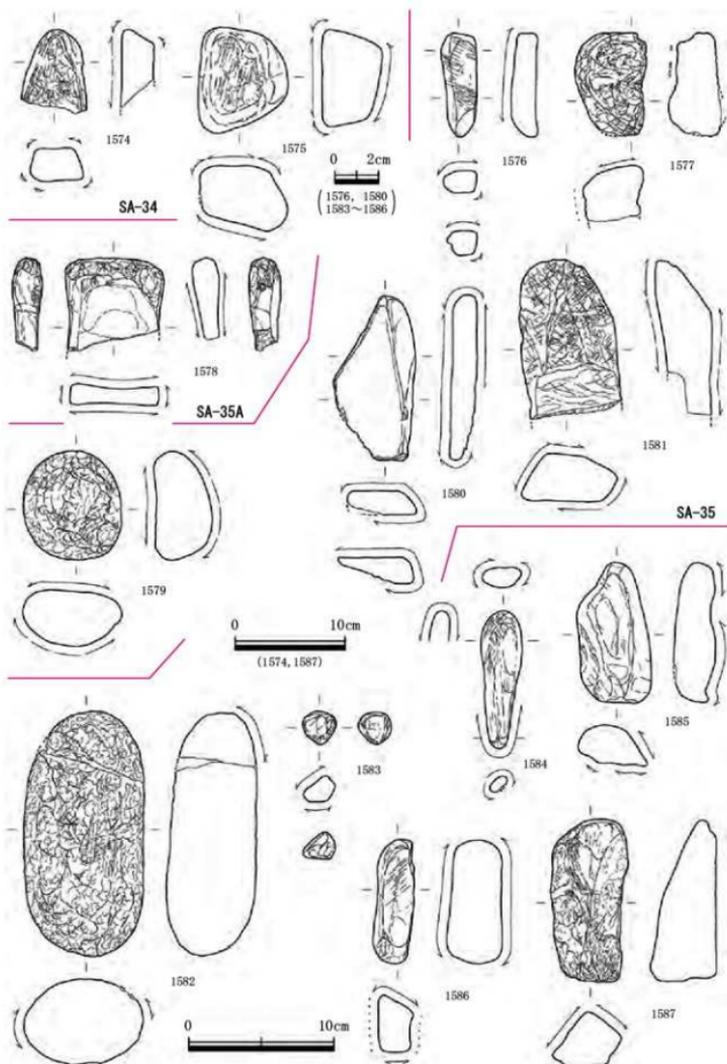
第129图 SA-31、32 出土石器 实测图



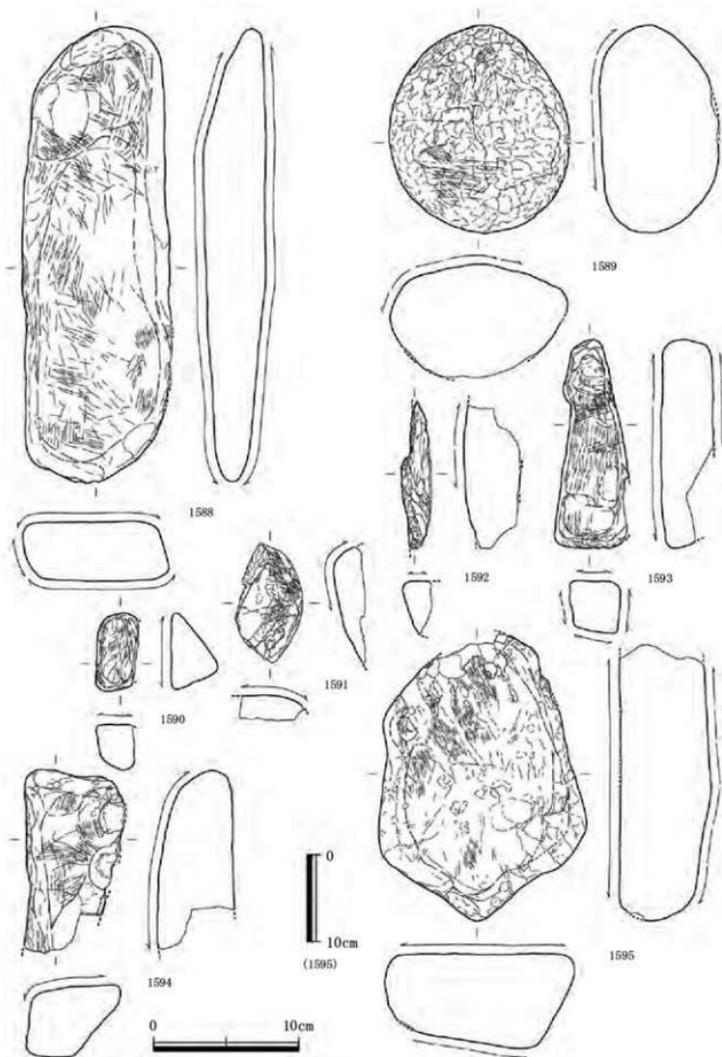
第130回 SA-33、SA-33・34間、SA-34 出土石器 実測図(1)



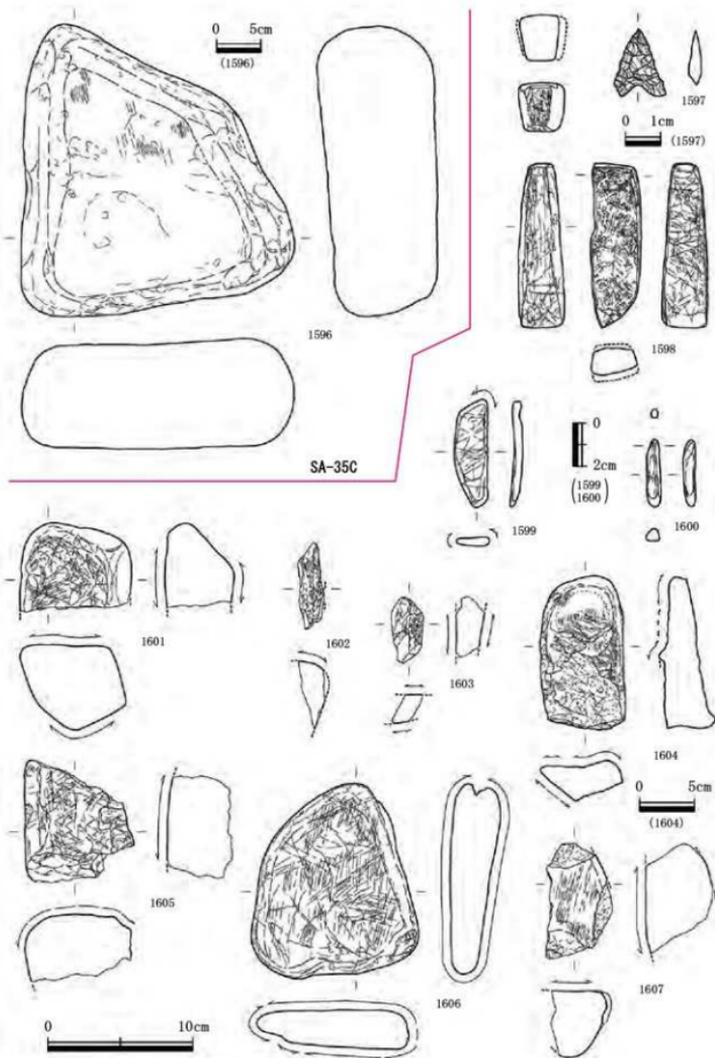
第 131 图 SA-34 出土石器 实测图 (2)



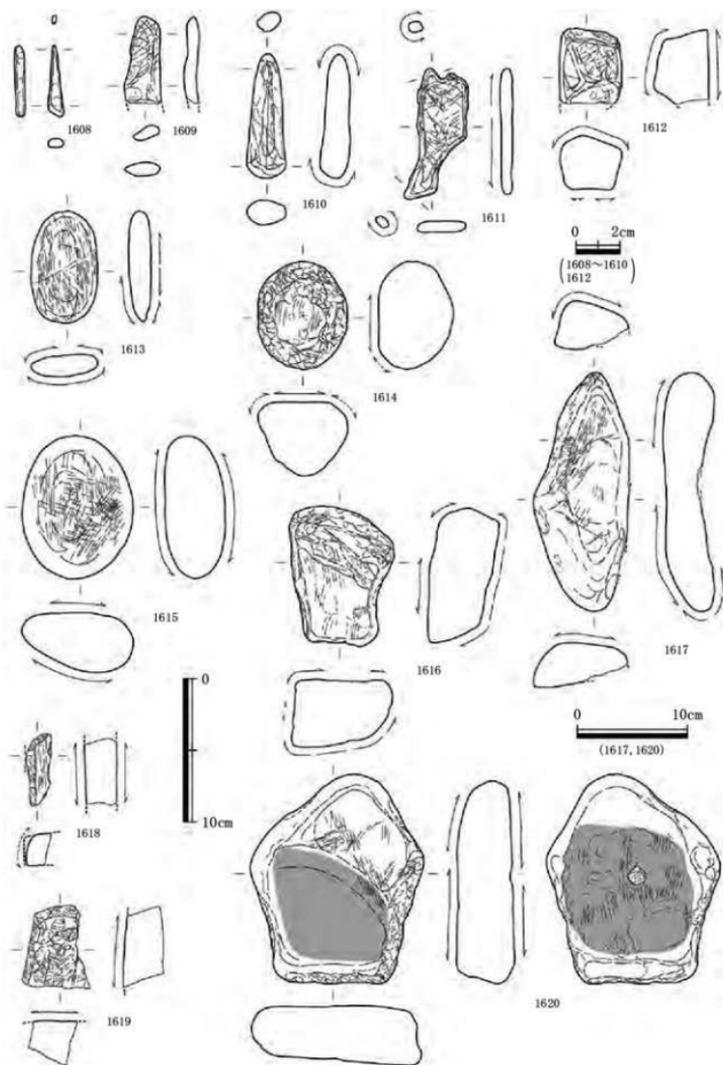
第 132 图 SA-34 出土石器 实测图 (3)、SA-35、35A・SA-35C (1) 出土石器 实测图



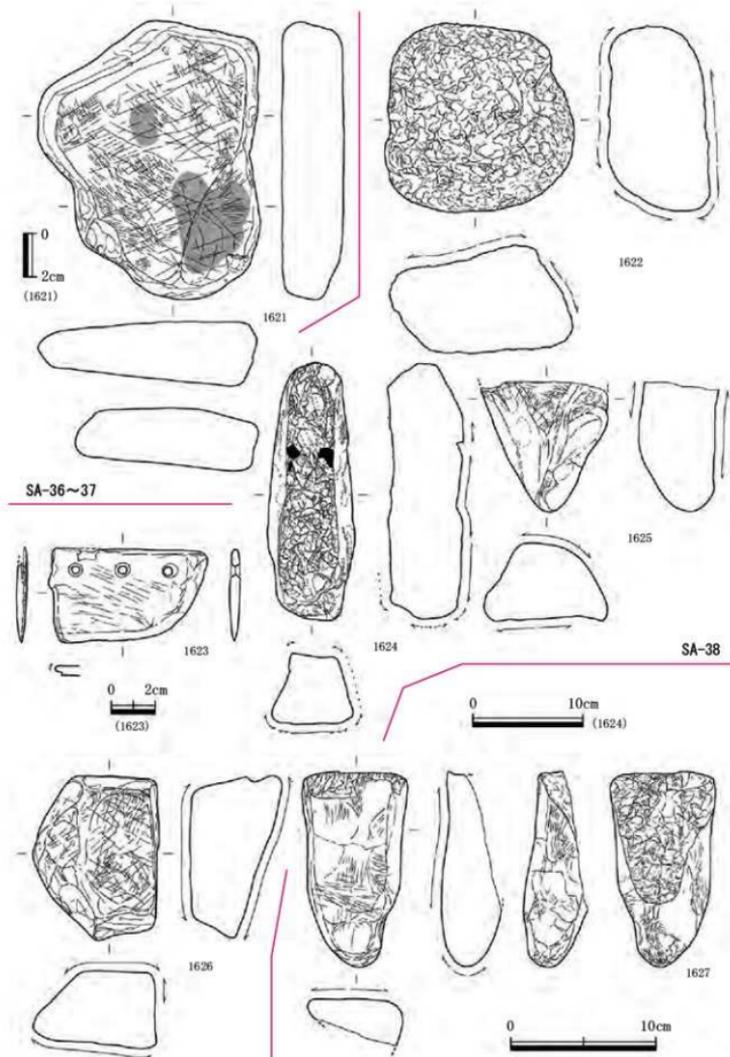
第133图 SA-35 C 出土石器 实测图(2)



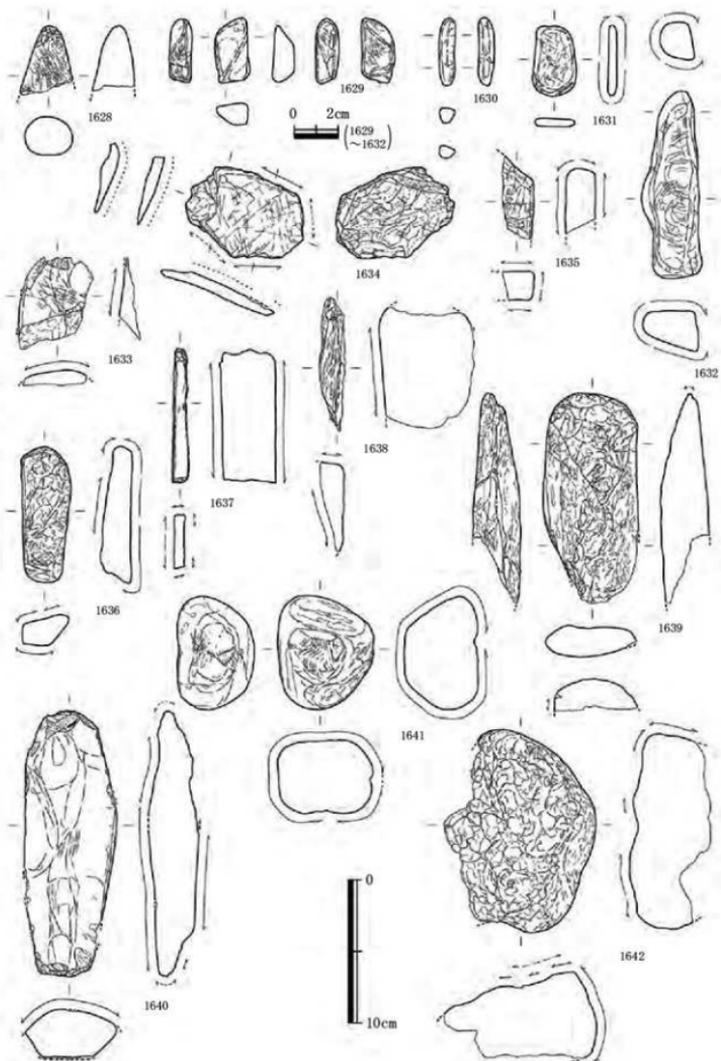
第 134 图 SA-35 C 出土石器 (2)、SA-36 出土石器 实测图



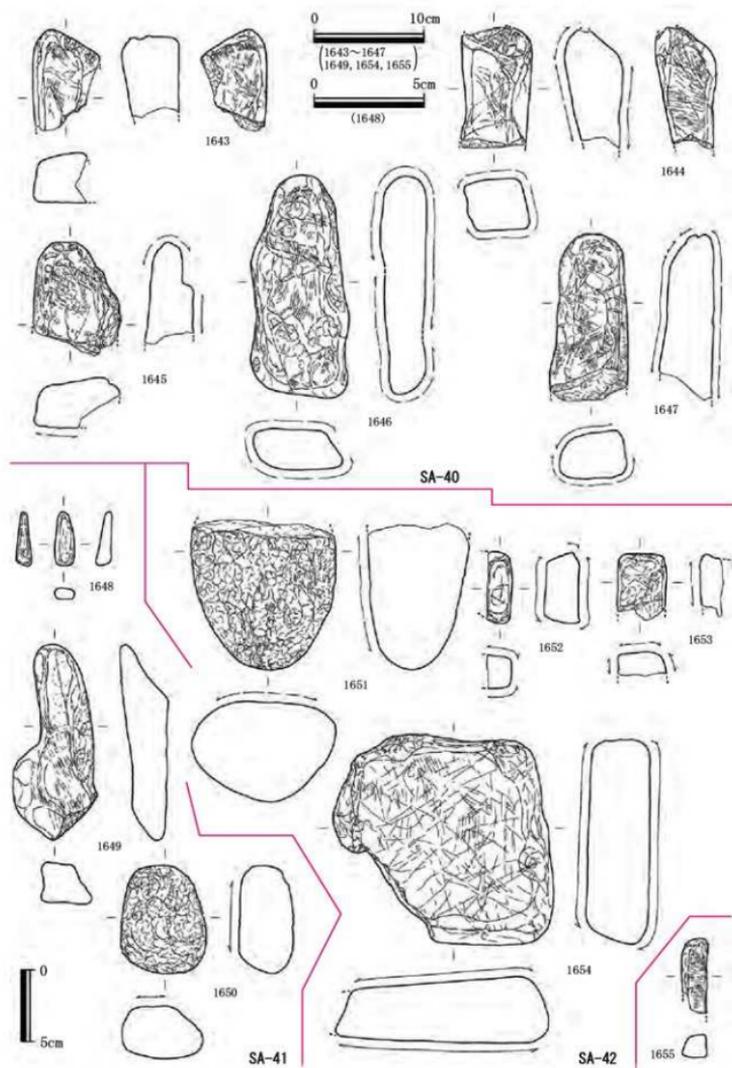
第 135 图 SA-37 出土石器 实测图



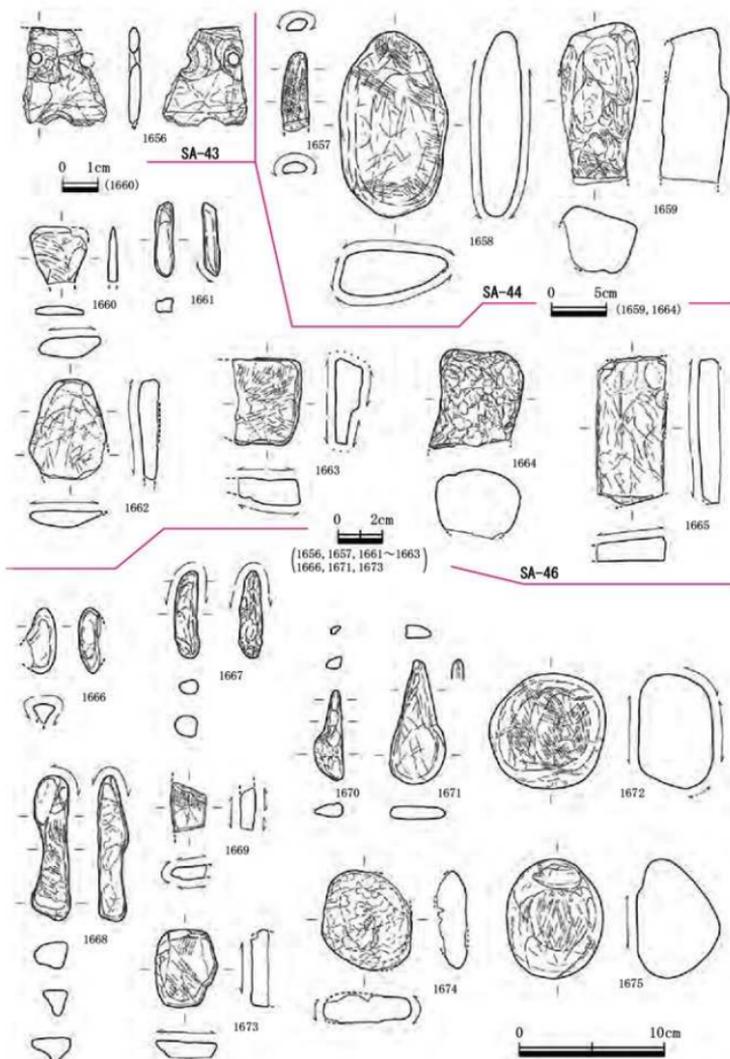
第136图 SA-36~37、SA-38-40 出土石器 实测图(1)



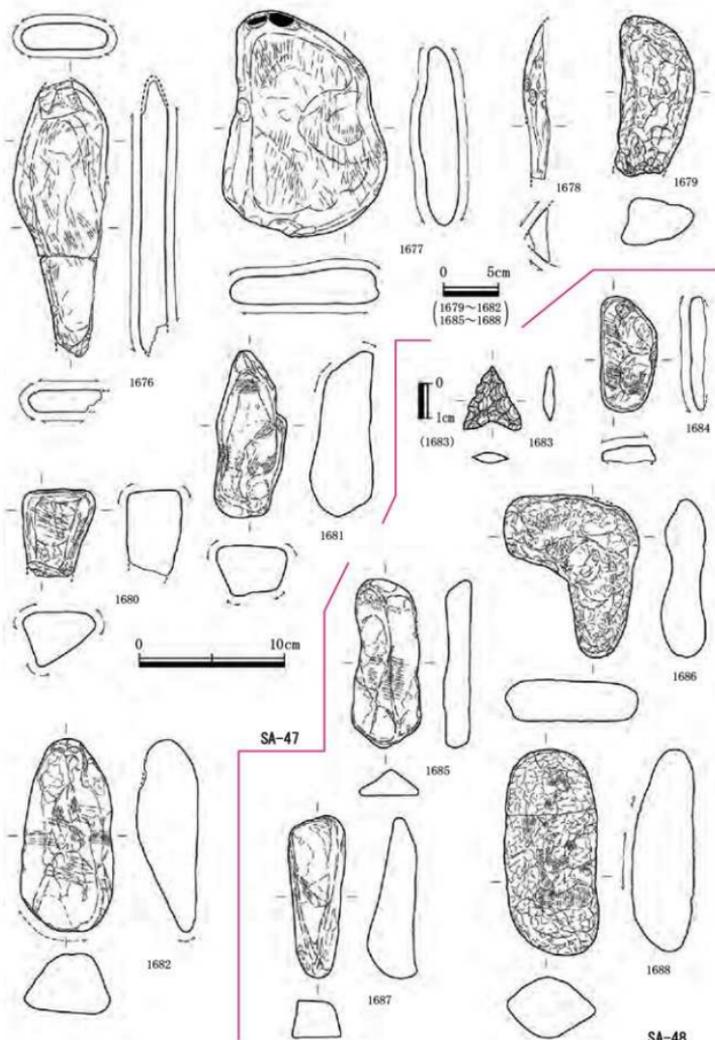
第 137 图 SA-40 出土石器 实测图 (2)



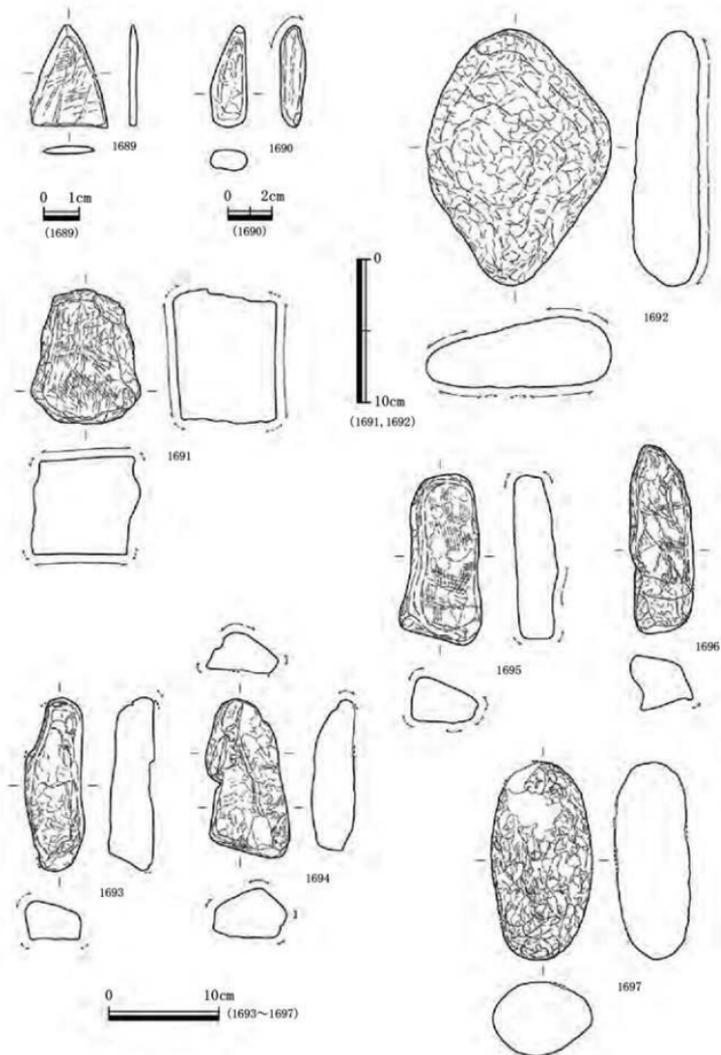
第 138 图 SA-40 出土石器 (3)、SA-41·42·43 (1) 出土石器 实测图



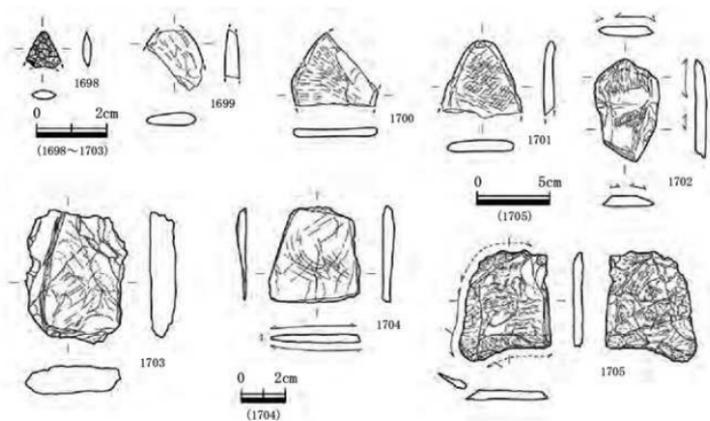
第139图 SA-43 (2)、44、46、47 出土石器 实测图 (1)



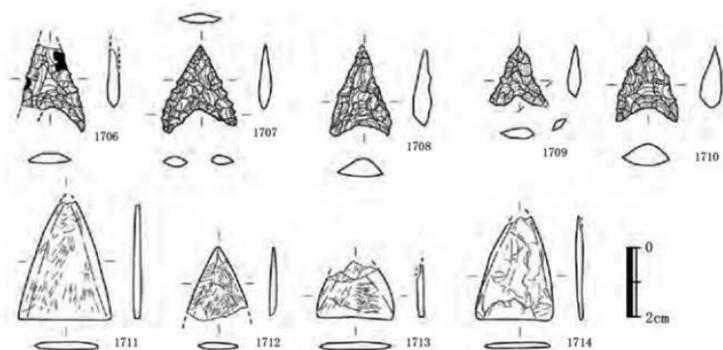
第 140 回 SA-47 出土石器 (2)、SA-48 出土石器 実測図



第 141 图 SA-49 出土石器 实测图



第 142 图 II~IV a·V 层出土石器 实测图



第 143 图 I 区 SK-55、IV a 层出土石器实测图

表1 I区出土土器観察表(1)

No.	出土地	種類・ 図柄	法量 (mm)			調整		胎土・高土層化 白・白灰 赤・赤褐色粒	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1	SA-01	浅鉢	—	—	—	丁摩ノミナ	丁摩ノミナ	良	良	褐色灰～褐色	褐色灰～褐色灰	
2	SA-01	甕	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	良	良好	褐色灰～褐色	褐色灰～褐色灰	
3	SA-01	壺	104	—	—	工具ナゾ	ハク	赤・白・赤	良	褐色	褐色	
4	SA-01	壺	214	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少・黄褐色・良	良	褐色	褐色	縦筋被熱
5	SA-01	浅鉢小	—	—	—	工具ナゾ	—	微砂・少・黄褐色・少	中々よい	良	褐色	
6	SA-01	鉢小	82	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・少・白・少	良好	褐色	褐色	
7	SA-02	2層	鉢小	100	—	ハク	丁摩ノミナナゾ	良	良	褐色	褐色	
8	SA-02	壺	209	60	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	良	— (ス)	褐色	赤・ススや赤
9	SA-02	鉢小	—	—	—	ナゾ・工具ナゾ	工具ナゾ	赤・少	良	褐色	褐色	
10	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・白・微	中々よい	良	褐色	
11	SA-02	壺	177	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・少	良	褐色	灰～褐色
12	SA-02	壺	168	66	—	—	工具ナゾ	粗ノミナナゾ	赤・少・白・微	良	褐色	褐色
13	SA-02	壺	282	—	—	ハク	ハク	赤・赤土・赤・微・白・少	良	褐色	褐色	
14	SA-02	壺	257	—	—	ハク	ハク	赤・微・白・少	良	褐色	褐色	
15	SA-02	壺	292	—	—	ハク	ハク・工具ナゾ	白・少・褐色	良好	褐色	褐色	赤・スス
16	SA-02	壺	350	102	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	白・少	良好	褐色	褐色
17	SA-02	壺	300	—	—	ハク	工具ナゾ	赤・少・白・微	良	褐色	褐色	
18	SA-02	壺	—	—	—	ハク	ハク	白・少	良	褐色	褐色	
19	SA-02	壺	—	—	—	粗ノミナ	粗ノミナ	赤・少・褐色	良	褐色	褐色	断面径 250
20	SA-02	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	良	良	褐色	褐色	実径 800 × 150
21	SA-02	2層	壺	—	—	胎土	胎土	角閃石・微	良	褐色	褐色	実径 900
22	SA-02	壺	—	—	—	ハク	ハク	白・少・赤	良好	褐色	褐色	
23	SA-02	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・微	良	褐色	褐色	
24	SA-02	2層	壺	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・少・白・微	良	褐色	褐色	内・セコク少
25	SA-02	壺	—	—	—	ハク	ハク	微砂・赤・赤土・赤・微・少	中々よい	良	褐色	
26	SA-02	2層	壺	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・微・白・少	中々よい	良	褐色	
27	SA-02	壺	800	—	—	ハク	工具ナゾ	赤・少	中々よい	良	褐色	
28	SA-02	小壺	69	—	—	丁摩ノミナ	丁摩ノミナ	良	良	褐色	褐色	
29	SA-02	小壺	82	—	—	—	工具ナゾ	白・微	中々よい	良	褐色	
30	SA-02	小壺	—	—	—	丁摩ノミナ	ハク	良	良	褐色	褐色	
31	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・白・微	中々よい	良	褐色	断面径 130, 高 60
32	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	粗ノミナ	赤・少・赤	中々よい	良	褐色	
33	SA-02	壺	72	45	130	—	工具ナゾ	良	良	褐色	褐色	
34	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	ハク	精良	中々よい	良	褐色	
35	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	ナゾ・工具ナゾ	赤・赤・白・微	中々よい	良	褐色	最大径 110
36	SA-02	小壺	—	—	—	ハク	ハク	良	中々よい	良	褐色	内下部に赤色粒
37	SA-02	小壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	赤・微・白・微	良	褐色	褐色	
38	SA-02	壺	—	—	—	丁摩ノミナ	工具ナゾ	精良	良	褐色	褐色	
39	SA-03	壺	—	—	—	赤ノミナ	赤ノミナ	微砂・少・黄褐色・良	良	褐色	褐色	胎・黒
40	SA-03	壺	295	—	—	ハク	ナゾ	微砂・赤・赤土	良好	良	褐色	赤・スス少
41	SA-03	壺	190	—	—	ナゾ	ハク	良	良	褐色	褐色	赤・スス少
42	SA-03	壺	—	—	—	ハク	ハク	良	良	褐色	褐色	
43	SA-03	壺	283	—	—	多少赤土	多少赤土	微砂・少・赤・少・白・少	中々よい	良	褐色	
44	SA-03	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少	中々よい	良	褐色	
45	SA-03	壺	293	—	—	ハク	ハク	微砂・少	良	褐色	褐色	
46	SA-03	壺	150	—	—	ハク	ハク	微砂・少	良	褐色	褐色	
47	SA-03	壺	250	—	—	粗ノミナ	粗ノミナ	良	中々よい	良	褐色	
48	SA-03	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・微	良	褐色	褐色	
49	SA-03	壺	257	680	1271	ハク	ハク	微砂・少・白・少	良	褐色	褐色	
50	SA-03	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少	良	褐色	褐色	
51	SA-03	鉢	—	—	—	工具ナゾ	ナゾ	赤・赤	中々よい	良	褐色	
52	SA-03	壺	240	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少・赤・少	中々よい	良	褐色	
53	SA-03	壺	254	—	—	ハク	ハク	赤・赤	良	褐色	褐色	
54	SA-03	片鉢	122	109	101	ハク	ハク	赤・少・白・赤	良好	良	褐色	
55	SA-03	小壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	白・少	良	褐色	褐色	
56	SA-03	片鉢小	—	—	—	丁摩ノミナ	ナゾ	良	良	褐色	褐色	
57	SA-04	壺	171	—	—	ハク	ハク	微砂・少	中々よい	良	褐色	
58	SA-04	壺	279	—	—	ハク	ハク	微砂・少	良	褐色	褐色	
59	SA-04	壺	306	—	—	ハク	ハク	微砂・少	中々よい	良	褐色	
60	SA-04	壺	330	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	白・微	良	褐色	褐色	
61	SA-04	壺	197	—	—	ハク	ハク	微砂・少	良	褐色	褐色	
62	SA-04	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少	中々よい	良	褐色	
63	SA-04	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少	良	褐色	褐色	
64	SA-04	壺	806	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少・白・少	良	褐色	褐色	
65	SA-04	壺	—	—	—	工具ナゾ	工具ナゾ	微砂・少	良好	良	褐色	
66	SA-04	壺	—	—	—	粗ノミナ	粗ノミナ	微砂・少・赤・微・白・微	良	褐色	褐色	
67	SA-04	壺	—	—	—	粗ノミナ	ハク	微砂・少・赤・微	良	褐色	褐色	
68	SA-04	壺	57	—	—	粗ノミナ	ハク	微砂・赤・赤	良	褐色	褐色	
69	SA-04	壺	70	—	—	ハク	ハク	微砂・少・白・少	良	褐色	褐色	
70	SA-04	壺	82	× 75	—	粗ノミナ	ハク	微砂・少・赤・微	中々よい	良	褐色	
71	SA-04	壺	—	—	—	粗ノミナ	ハク	微砂・微・赤・微	良	褐色	褐色	

表2 I区出土土器観察表(2)

No.	出土層	種類・形制	法量 (mm)		測器		胎土	施文	色調		備考
			口徑	底徑	高さ	内径			外面	内面	
72	5A-61	壺	—	64	—	瓶ノ口ノ下	ハク	白・少	良	淡緑・淡黄・淡赤	淡黄
73	5A-61	壺	—	63	—	ハク	ハク	靑緑・中々多	中々多	淡赤・淡黄	淡赤・淡黄
74	5A-61	壺	118	—	—	ハク	工器ノ下ノナリ	赤・少	良	淡黄・淡赤・淡黄	淡赤・淡黄
75	5A-61	高杯	300	—	—	ハク	ハク	靑・少	良	淡黄・淡赤	淡黄・淡赤
76	5A-61	小壺	—	—	—	瓶ノ口ノ下	工器ノ下	良	良	淡黄・淡赤	淡赤・淡黄
77	5A-61	小壺	78	—	—	ハク	工器ノ下	靑緑・少	中々多	淡赤	79上同一個体
78	5A-61	小壺	—	—	—	ハクノ上ノナリ	工器ノ下ノナリ	靑	良	淡黄	淡赤・淡黄
79	5A-61	小壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑緑・少	中々多	淡赤・淡黄	77上同一個体
80	5A-61	壺	—	—	133	ハク	(薄底)	靑緑・白・中々多	良	淡赤・淡黄	淡黄
81	5A-61	壺	—	—	—	瓶ノ口ノ下	丁器ノ上ノ下	赤・中々多	中々多	淡赤	淡黄
82	5A-61	鉢	10	—	—	瓶ノ口ノ下	工器ノ下	靑緑・中々多	良好	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
83	5A-61	壺	—	92	—	工器ノ下	丁器ノ上ノ下	靑緑・中々多	良	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
84	5A-61	鉢	192	60 × 63	143	ハク	ハク	靑緑・白・中々多	良	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
85	5A-61	壺	200	96	118	瓶ノ口ノ下ノナリ	ハク	赤・靑・白・少	良	淡黄・淡赤	淡黄・淡赤
86	5A-61	壺	200	—	—	ハク	ハク	靑緑・中々多・白・少	良	淡赤・淡黄	淡赤・淡黄
87	5A-61	壺	—	91 × 33	—	—	—	靑緑・多・赤・少	中々多	淡赤	79上同一個体
88	5A-65	壺	200	—	—	ハク・工器ノ下	ハク・工器ノ下	靑・少・白・靑	良	淡赤	淡黄
89	5A-65	壺	180 × 60	—	—	ハク	ハク	赤・白・少	良	淡黄	淡黄
90	5A-65	壺	200 × 60	—	—	工器ノ下	ハク	靑緑・赤・少・少	良好	淡赤	淡黄・淡赤
91	5A-65	高杯	—	—	—	ハク	工器ノ下	赤・白・靑	中々多	淡赤	淡黄
92	5A-65	鉢	250	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良	淡黄	淡黄
93	5A-65	小壺	103	—	—	工器ノ下	ハク	赤・少	中々多	淡赤	79上同一個体
94	5A-65	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	中々多	淡赤	淡黄
95	5A-65	壺	—	—	—	工器ノ下	ハク	赤・少	中々多	淡赤	79上同一個体
96	5A-65	小壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良好	淡赤	淡黄
97	5A-66	壺	237	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	中々多	淡赤	淡黄
98	5A-66	壺	319	—	—	工器ノ下	工器ノ下	白・少	中々多	淡赤	淡黄
99	5A-66	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良好	淡赤	淡黄
100	5A-66	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	中々多	淡赤	淡黄
101	5A-66	壺	—	—	—	工器ノ下	丁器ノ上ノ下	靑・靑	中々多	淡赤	淡黄
102	5A-67	鉢	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
103	5A-67	鉢	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
104	5A-67	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少	良	淡赤	淡黄
105	5A-67	壺	318	—	—	工器ノ下	丁器ノ上ノ下	靑・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
106	5A-67	鉢	24	—	—	丁器ノ上ノ下	丁器ノ上ノ下	靑	良好	淡赤	淡黄
107	5A-67	壺	266	—	—	ハク	ハクノ上ノ下ノナリ	赤・少・白・中々多	良	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
108	5A-67	壺	308	—	—	ナリノハク	ハクノ上ノ下ノナリ	赤・白・中々多	中々多	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
109	5A-67	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少	良好	淡赤・淡黄	淡黄
110	5A-67	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良好	淡赤	淡黄
111	5A-67	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良	淡赤	淡黄
112	5A-67	壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良	淡赤	淡黄
113	5A-67	壺	—	—	—	ハク	工器ノ下	靑・靑・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
114	5A-67	工器ノ下	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少・靑・靑	良	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
115	5A-68	壺	—	—	—	工器ノ下	瓶ノ口ノ下ノナリ	赤・少	良好	淡赤・淡黄	淡黄
116	5A-68	工器ノ下	—	—	—	—	—	靑・白・少	良	淡赤	淡黄
117	IV a	深鉢	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
118	IV a	高杯	120	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良好	淡赤・淡黄	淡黄・淡赤
119	IV a	小壺	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	赤・白・少	良	淡赤	淡黄
120	IV a	壺	—	—	—	工器ノ下	丁器ノ上ノ下	靑・少・靑・中々多	良	淡赤・淡黄	淡黄
121	IV a	高杯	121 × 102	—	—	瓶ノ口ノ下	瓶ノ口ノ下	靑	良	淡赤・淡黄	淡黄
122	IV a	高杯	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	赤・白・少	中々多	淡赤・淡黄	淡黄
123	IV a	壺	—	43	—	工器ノ下	瓶ノ口ノ下ノナリ	赤・少・白・靑	良	淡赤・淡黄	淡黄
124	IV a	壺	—	90	—	ハクノ上ノ下ノナリ	ナリノハク	靑・少・白・靑	良好	淡赤・淡黄	淡黄
125	5A-65	付丸鉢	97 × 79 × 95	110	110	ハクノ上ノ下ノナリ	ハクノ上ノ下ノナリ	白・中々多・赤・少	中々多	淡赤・淡黄	淡黄
126	5A-63	壺	203 × 108	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	瓶ノ口ノ下ノナリ	白・靑・赤・少	良	淡赤・淡黄	淡黄
127	5A-61	壺	300 × 102	—	—	丁器ノ上ノ下	丁器ノ上ノ下	靑	良	淡赤	淡黄
128	IV a	深鉢	250	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	丁器ノ上ノ下	靑・少	良	淡赤	淡黄
129	IV a	深鉢	—	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	工器ノ下	靑・少	良好	淡赤	淡黄
130	IV a	深鉢	—	—	—	丁器ノ上ノ下	赤	靑・少	良	淡赤	淡黄
131	IV a	深鉢	600	—	—	工器ノ下	工器ノ下	白・靑	良	淡赤・淡黄	淡黄
132	IV a	深鉢	—	—	—	工器ノ下	丁器ノ上ノ下	靑・少	良	淡赤	淡黄
133	IV a	深鉢	—	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	瓶ノ口ノ下ノナリ	赤・少	良	淡赤	淡黄
134	25	深鉢	—	111	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	—	靑・中々多	良	淡赤	淡黄
135	19	深鉢	—	81	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	瓶ノ口ノ下ノナリ	白・中々多	良	淡赤	淡黄
136	IV a	深鉢	600	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	瓶ノ口ノ下ノナリ	靑・少	良	淡赤	淡黄
137	IV a	深鉢	—	—	—	瓶ノ口ノ下ノナリ	瓶ノ口ノ下ノナリ	靑・赤・靑	良好	淡赤・淡黄	淡黄
138	北朝遺物	土器ノ下	—	—	—	工器ノ下	工器ノ下	靑	良好	淡赤	淡黄
139	IV a	土器ノ下	—	—	—	丁器ノ上ノ下	工器ノ下	靑・少	良	淡赤	淡黄
140	IV a	壺	311	—	—	ナリ	ナリノ上ノ下ノナリ	赤・靑	良	淡赤	淡黄

表3 I区出土土器観察表(3)

No.	出土地	種類・器	法量 (mm)			調整		胎土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
141	IV-a層	甕	325	—	—	ナデ	上土ナデ	白・赤・黒線粒・少	良	淡黄褐色	内面	口唇・唇基部
142	IV-a層	甕	245	—	—	上土ナデ	丁部ハナ	黒線粒・中々多	良	黄褐色	外面	口唇・唇基部・底面外・スス
143	IV-a層	甕	203	—	—	ハナ	上土ナデ	黒線粒・中々多・赤・黒	良好	黄褐色	外面	口唇・唇基部
144	IV-a層	甕	—	—	—	ハナ	上土ナデ	黒線粒・少・黄褐色・赤	良	黄緑・淡黄褐色	唇基部・淡黄褐色	径: 200位
145	IV-a層	小甕	—	—	—	丁部上土ナデ	瓶上土ナデ	赤・黒	良	淡黄褐色・黒褐色	内面	内面
146	IV-a層	甕	200位	—	—	ナデ	上土ナデ	白・赤・少・小黒・黒	良	淡褐色	淡黄褐色・淡褐色	淡黄褐色
147	IV-a層	小甕	—	—	—	上土ナデ	ナデ	上土ナデ	良	淡褐色	淡黄褐色	径: 52
148	甕	青丸甕	200位	—	—	—	—	乳白	—	—	—	注: 前二層部 底面 (16.5単位)

表4 I区出土土器観察表

No.	出土地	器種	法量 (mm)			重量 (g)	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
149	SA-01	磁石	112	51	2~3	260	磁石	欠損地調整
150	SA-01	磁石	75	55~13	3~11	200	磁石	I層面中心より平準
151	SA-01	打石	284	207	2~12	6000	磁石	表面不定方向調整
152	SA-01	磁器石	140	118	8~18	1838	磁石	中央部のみ平準。裏面に 凹凸あり
153	SA-02	磁器石	26	24	2.5	17	磁石	内部平準途中
154	SA-02	磁石	81	53	15~18	135	磁石	
155	SA-02	磁石	73	15	2~12	27	磁石	
156	SA-02	磁石	80	72	118	—	磁石	2面使用
157	SA-02	磁石	48	48	2~18	20	磁石	使用後不詳
158	SA-02	磁石	115	56	4~10	630	磁石	表面平準。表面に黄 褐色
159	SA-03	不織	12	10	2	3	磁石	
160	SA-03	不織	15	12	4	0.5	磁石	
161	SA-03	打製石	15	12	2	0.3	磁石	
162	SA-03	不織	18	13	3	0.4	磁石	(平準済)
163	SA-03	磁器石	27	21	2	1.6	磁石	
164	SA-03	磁石	71	3~18	36	327	磁石	再平準
165	SA-03	磁石	69	49	26	400	磁石	使用後不詳
166	SA-03	磁石	50	27	15~13	13	磁石	
167	SA-03	磁器石	104	50	28	420	磁石	使用後不明
168	SA-03	用途不明 石片	104	105	6~10	129	磁石	A層I路分ナデ着
169	SA-03	磁石	125	120	6~10	550	磁石	磁石
170	SA-03	磁石	78	44	25	21	磁石	
171	SA-03	磁石	72	63	28	300	磁石	表面平準。表面使用・健全で平準し
172	SA-03	磁石	141	89	25~12	140	磁石	表面のみ調整
173	SA-03	鉄灰石	138	107	7~10	360	磁石	表面のみ調整 (砕石)
174	SA-03	磁石	102	55	2~17	200	磁石	表面のみ調整
175	SA-04	磁石	262	46	10~18	940	磁石	調整済・鉄灰
176	SA-04	磁器石	125	82	38	750	磁石	表面は全て調整済
177	SA-05	瓦 横石	24.4	3.6	11~14	1.6	磁石	孔無し
178	SA-06	不織	16	13	3	0.4	チャーム	
179	SA-07	石鏡	149	18	4	1.0	玉鏡	
180	SA-07	磁器石	19	14	2	0.6	磁石	
181	SA-07	磁器石	28	22	2.5	2.1	磁石	

表5 II~III区出土土器観察表(1)

No.	出土地	種類・器	法量 (mm)			調整		胎土	焼成	色調		備考	
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面		
206	SA-09	小甕	—	—	—	—	上土ナデ	黒粒・少	良	淡黄褐色	内面	口唇・唇基部	
207	SA-10	甕	280位	—	—	—	ハナ	上土ナデ	良	赤・白・黄	淡黄褐色	淡黄褐色	
208	SA-10	甕	272	—	—	—	ナデ	上土ナデ	良好	黄褐色	淡黄褐色	唇基部・淡黄褐色	
209	II区	小甕	—	27	—	—	上土ナデ	丁部上土ナデ	良	赤・黄	赤・黄	赤・黄	
210	SA-10	高杯	18	152	—	—	上土ナデ	上土ナデ	良	淡褐色	淡褐色	淡褐色	
211	SA-11	小甕	92	—	—	—	ハナ	上土ナデ	良	中々赤い	淡褐色	淡褐色	
212	SA-11	小甕	—	—	—	—	上土ナデ	上土ナデ	良	中々赤い	淡褐色	径: 250位	
213	SA-11	甕	—	—	—	—	ハナ	上土ナデ	赤・少	良	淡褐色	淡褐色	
214	SA-11	甕	—	71	—	—	上土ナデ	瓶上土ナデ	黒線粒・中々多	良	淡黄褐色	増反	
215	SA-11	甕	294	—	—	—	ナデ	上土ナデ	赤・少	良	黄褐色	淡黄褐色・黄褐色	
216	SA-11	甕	—	—	—	—	上土ナデ	上土ナデ	赤・少	中々赤い	淡褐色	淡褐色	
217	SA-11	甕	—	—	—	—	丁部上土ナデ	丁部上土ナデ	黒線粒・中々多	良	淡黄褐色	増反	
218	SA-12	甕	160	—	—	—	上土ナデ	ハナ	黒粒・少	中々赤い	淡褐色	赤・中々赤い・赤・黒	
219	SA-12	甕	800位	—	—	—	ハナ	上土ナデ	良	黄褐色	淡黄褐色	口唇部: スス	
220	SA-12	甕	108~68	—	—	—	上土ナデ	蓋付	良	淡褐色	淡褐色	赤・スス	
221	SA-12	甕	800位	—	—	—	上土ナデ	黒線粒・少	良	黄褐色	淡黄褐色	赤・スス・赤・中々赤	
222	SA-12	甕	—	—	—	—	上土ナデ	瓶上土ナデ	良	淡褐色	淡黄褐色	淡黄褐色	
223	SA-13	内鉢	600位	—	—	—	瓶上土ナデ	上土ナデ	良	黄褐色	淡黄褐色	口唇部: 淡黄褐色	
224	SA-13	甕	300位	—	—	—	上土ナデ	上土ナデ	黒粒・赤・黒	中々赤い	淡褐色	赤・スス・赤・スス	
225	SA-13	甕	430位	—	—	—	上土ナデ	ハナ	上土ナデ	白・赤・少・黒線粒・中々多	良	淡黄褐色	口唇部: スス

表6 II-Ⅲ区出土土器観察表(2)

No.	出土層	種類・形制	法量 (㎖)		調製		胎土	焼成	色調		備考
			口徑	底径	高さ	内面			外面	内面	
226	5A-13	壺	200	—	—	—	—	—	—	—	—
227	5A-13	壺	120	—	—	—	—	—	—	—	—
228	5A-13	壺	400	—	—	—	—	—	—	—	—
229	5A-13	壺	175	—	—	—	—	—	—	—	—
230	5A-13	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
231	5A-13	壺	136	—	—	—	—	—	—	—	—
232	5A-13	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
233	5A-13	器付付	—	—	131	—	—	—	—	—	—
234	5A-13	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
235	5A-13	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
236	5A-13	甕	400	—	—	—	—	—	—	—	—
237	5A-13	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
238	5A-13	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
239	5A-13	高砂	80・60	—	—	—	—	—	—	—	—
240	5A-13	壺	400	—	—	—	—	—	—	—	—
241	5A-14	壺	164	—	—	—	—	—	—	—	—
242	5A-14	壺	330	—	—	—	—	—	—	—	—
243	5A-14	壺	250	—	—	—	—	—	—	—	—
244	5A-14	壺	400	—	—	—	—	—	—	—	—
245	5A-14	壺	201	86	160	—	—	—	—	—	—
246	5A-14	鉢	200	—	—	—	—	—	—	—	—
247	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
248	5A-14	壺	68・76	—	—	—	—	—	—	—	—
249	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
250	5A-14	小壺	70	—	—	—	—	—	—	—	—
251	5A-14	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
252	5A-14	高砂	—	—	—	—	—	—	—	—	—
253	5A-14	高砂	—	—	—	—	—	—	—	—	—
254	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
255	5A-14	壺	400	—	—	—	—	—	—	—	—
256	5A-14	壺	169	—	—	—	—	—	—	—	—
257	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
258	5A-14	壺	150	—	—	—	—	—	—	—	—
259	5A-14	小壺	84	—	—	—	—	—	—	—	—
260	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
261	5A-14	小壺	63	—	—	—	—	—	—	—	—
262	5A-14	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
263	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
264	5A-14	壺	450	—	—	—	—	—	—	—	—
265	5A-14	鉢	169	—	—	—	—	—	—	—	—
266	5A-14	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
267	5A-14	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
268	5A-17	壺	300	—	—	—	—	—	—	—	—
269	5A-17	鉢	223	—	—	—	—	—	—	—	—
270	5A-17	壺	231	—	—	—	—	—	—	—	—
271	5A-17	壺	200	—	—	—	—	—	—	—	—
272	5A-17	壺	300・300	—	—	—	—	—	—	—	—
273	5A-17	壺	400	—	—	—	—	—	—	—	—
274	5A-17	壺	300	—	—	—	—	—	—	—	—
275	5A-17	壺	197	—	—	—	—	—	—	—	—
276	5A-17	壺	450	—	—	—	—	—	—	—	—
277	5A-17	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
278	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
279	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
280	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
281	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
282	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
283	5A-17	壺	32	—	—	—	—	—	—	—	—
284	5A-17	小壺	78	—	—	—	—	—	—	—	—
285	5A-17	小壺	17	—	—	—	—	—	—	—	—
286	5A-17	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
287	5A-17	小壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
288	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
289	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
290	5A-17	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
291	5A-17	高砂	—	—	—	—	—	—	—	—	—
292	5A-17	器付付	—	—	136	—	—	—	—	—	—
293	5A-18	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—
294	5A-18	壺	60	—	—	—	—	—	—	—	—
295	5A-18	壺	60	—	—	—	—	—	—	—	—
296	5A-18	壺	250	—	—	—	—	—	—	—	—

表7 II～III区出土土器観察表(3)

No.	出土地	種類・図	法量 (mm)			観察		胎土	技法	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
297	SA-18	甕	—	—	—	タタキ・工土ナゾ	タタキ・工土ナゾ	微砂・赤・黄	良好	緑茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
298	SA-18	甕	200	—	—	ハクテ・工土ナゾ	工土ナゾ・ハクテ	微砂・白・赤・黄	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
299	SA-18	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黄・黒	良好	黒区～黒	黒区	口縁部: スス
300	SA-18	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・白・少	中々あまじい	黒区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
301	SA-18	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	2×5×7×13の上層片	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
302	SA-18	甕	60	—	—	工土ナゾ・ハクテ	工土ナゾ	微砂・少	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
303	SA-18	甕	65	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ・ハクテ	微砂・白・少	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
304	SA-18	甕	—	—	—	ハクテ	工土ナゾ	粗砂・赤・黒・少	良	緑茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
305	SA-18	小壺	110	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・少	良好	赤茶区	赤茶区	外: スス少
306	SA-18	甕	195	—	—	工土ナゾ	ハクテ	白・少・粗砂・中々多	中々あまじい	赤茶区～黒区	赤茶区	外: スス少
307	SA-18	甕	—	—	—	工土ナゾ	ハクテ	微砂・赤・黒	良好	赤茶区～黒区	赤茶区	外: スス少
308	SA-18	甕	220	—	—	工土ナゾ・ハクテ	—	微砂・少	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
309	SA-18	高坪か	—	130	—	工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黒	良好	赤茶区	赤茶区	外: スス少
310	SA-18	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	緑・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
311	SA-18	甕	—	—	—	ハクテ	ハクテ	赤・黒・少	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
312	SA-18	甕	250	—	—	ハクテ	ハクテ	赤・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
313	SA-18	小壺	88	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・少	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
314	SA-19	甕	—	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・少・白・中々多	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
315	SA-20	甕	132	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	粗砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
316	SA-20	甕	235	—	—	工土ナゾ・ハクテ	工土ナゾ	赤・少	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
317	SA-20	甕	241	—	—	ハクテ	ハクテ	白・粗砂・中々多	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
318	SA-20	甕	400	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黒・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
319	SA-20	甕	274	—	—	ハクテ・工土ナゾ	ハクテ	微砂・白・赤・少	良	赤茶区～赤茶区	赤茶区	外: スス少
320	SA-20	甕	400	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黒	良好	赤茶区	赤茶区	外: スス少
321	SA-20	甕	278	—	—	ハクテ	工土ナゾ	赤・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
322	SA-20	甕	200	—	—	ハクテ	工土ナゾ	微砂・白・赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
323	SA-20	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
324	SA-20	甕	250	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
325	SA-20	甕	430	—	—	ハクテ	ハクテ	粗砂・赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
326	SA-20	甕	—	48	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・白・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
327	SA-20	甕	129	—	—	工土ナゾ	ハクテ	微砂・白・少	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
328	SA-20	小壺	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・中々多・白・少	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
329	SA-20	小壺	—	—	—	サマシ・工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
330	SA-20	小壺	—	—	—	工土ナゾ	ハクテ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
331	SA-20	甕	—	—	—	ミダシ	工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
332	SA-20	小壺	—	—	—	龍ノ目	工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
333	SA-20	小壺	—	—	—	龍ノ目	工土ナゾ	白・少・粗砂・赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
334	SA-20	高坪か	191	—	—	—	—	白・黄	あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
335	SA-20	小壺	—	—	—	工土ナゾ	ハクテ	良	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
336	SA-20	高坪	—	—	—	龍ノ目	ハクテ・工土ナゾ	微砂・白・赤・黄	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
337	SA-20	高坪	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・少・白・赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
338	SA-20	甕	400	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
339	SA-20	高坪	—	—	—	龍ノ目	ハクテ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
340	SA-20	甕	342	—	—	龍ノ目	ハクテ・工土ナゾ	微砂・赤・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
341	SA-21	甕	250	—	—	ハクテ	龍ノ目	微砂・赤・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
342	SA-21	甕	—	—	—	ハクテ	工土ナゾ	白・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
343	SA-21	小壺	66	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	白・黄	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
344	SA-21	小壺	—	—	—	サミダシ	サミダシ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
345	SA-21	甕	—	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
346	SA-21	鉢	300	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・白・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
347	SA-22	小壺	—	—	—	龍ノ目	工土ナゾ	白・黄	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
348	SA-22	甕	400	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
349	SA-22	甕	—	—	—	タタキ	工土ナゾ	赤・黒・黄・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
350	SA-22	甕	150	—	—	工土ナゾ	ハクテ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
351	SA-22	甕	192	—	—	工土ナゾ	ハクテ・工土ナゾ	微砂・少・白・中々多	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
352	SA-22	甕	250	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
353	SA-22	甕	300	—	—	ナゾ	工土ナゾ	白・黄	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
354	SA-22	甕	198	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・白・黄	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
355	SA-22	甕	180	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ・ハクテ	粗砂・赤	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
356	SA-22	甕	209	—	—	ハクテ	ナゾ	赤・少・白・黄	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
357	SA-22	甕	200	—	—	ハクテ	ハクテ	赤・少・白・黄	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
358	SA-22	甕	450	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	白・赤・黒	中々あまじい	赤茶区	赤茶区	外: スス少
359	SA-22	甕	400	—	—	ハクテ	ハクテ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
360	SA-22	高坪	250	—	—	サミダシ	工土ナゾ	白・赤・黒	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
361	SA-22	甕	188	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
362	SA-22	甕	400	—	—	ハクテ	工土ナゾ	微砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
363	SA-22	甕	430	—	—	工土ナゾ	ハクテ・工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
364	SA-22	甕	180	—	—	工土ナゾ	工土ナゾ	微砂・白・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
365	SA-22	甕	—	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・赤・黒・小壺	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
366	SA-22	甕	—	—	—	ハクテ	ハクテ	微砂・少	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少
367	SA-22	鉢	250	—	—	ミダシ	ハクテ・工土ナゾ	良	良	赤茶区	赤茶区	外: スス少

表8 II-Ⅲ区出土土器観察表(4)

No.	出土層	器種・形状	法庫 (cm)		調物		胎土		施文	色調		備考
			口徑	底径	高さ	内高	外面	内面		外面	内面	
308	5A-22	鉢	409	—	—	工具ナダ	ハタ	黒	黒	—	褐色	褐色-赤系陶
309	5A-22	鉢	150	—	—	丁窯工具ナダ	ハタ<工具ナダ>	黒	黒	—	褐色	褐色-赤系陶
310	5A-22	壺	215	—	—	丁窯工具ナダ	ハタ<工具ナダ>	粗織紗・多	黒	褐色陶・緑系陶・黒系陶	褐色・赤系陶	褐色-赤系陶
311	5A-22	鉢	109	—	—	龍工具ナダ	龍工具ナダ	粗織紗・少	黒	褐色	褐色 (淡褐色) 赤系陶	
312	5A-22	壺	50	—	—	工具ナダ	工具ナダ	織紗・白・少	黒	褐色<淡褐色>・褐色	褐色系<淡褐色>	
313	5A-22	壺	98	—	—	ハタ	工具ナダ	白・赤・織	黒	褐色	褐色陶	
314	5A-22	壺	54	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・少・白<中多>	黒	褐色<淡褐色>	褐色陶	
315	5A-22	壺	112	—	—	龍工具ナダ	丁窯工具ナダ	白・織紗・少	黒	褐色<淡褐色>	褐色陶	輸入品? 外・スス少
316	5A-22	壺	56	—	—	龍工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・中<多>・白・織	中<赤土>	淡褐色<淡褐色>	褐色陶	
317	5A-22	壺	64	—	—	工具ナダ	龍ハタ	粗織紗・中<多>	黒	褐色陶<赤系陶>	褐色陶	内・オコダケ 外・スス 又は 黒黒
318	5A-22	壺	62	—	—	龍工具ナダ	工具ナダ	織紗・系・少・白・織	黒	褐色<淡褐色>	褐色陶<淡褐色陶>	内・オコダケ少
319	5A-22	壺	106	—	—	ハタ	ハタ	粗織紗・白・系・少	黒	褐色<淡褐色>	褐色陶<淡褐色陶>	206号と同一体
320	5A-22	壺	106	—	—	ハタ	ハタ	粗織紗・白・系・少	黒	褐色<淡褐色>	褐色陶<淡褐色陶>	219号と同一体
381	5A-22	壺	122	—	—	ナダ<ハタ>	ハタ	織紗・少	黒	系陶・黒系	緑系陶	
382	5A-22	壺	—	—	—	ハタ<工具ナダ>	工具ナダ	白・織	中<赤土>	淡褐色<淡褐色陶>	褐色<黒土> 褐色<黒土>	内・腐滅
383	5A-22	壺	—	—	—	ミダケ	ミダケ・工具ナダ	粗織紗・系・少・白・織	黒	赤系陶	褐色陶<褐色陶>	
384	5A-22	壺	—	—	—	工具ナダ<龍ハタ>	龍工具ナダ	白・系・織	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	
385	5A-22	壺	—	—	—	工具ナダ	龍ハタ	粗織紗・白・少	中<赤土>	淡褐色<赤系陶>	褐色<淡褐色陶>	
386	5A-22	壺	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	織紗・中<多>	中<赤土>	淡褐色<淡褐色陶>	褐色<淡褐色陶>	
387	5A-22	小壺	80	—	—	ハタ<ミダケ>	丁窯工具ナダ	白	中<赤土>	褐色	褐色	
388	5A-22	小壺	—	—	—	工具ナダ	龍ハタ<工具ナダ>	系・織	黒	褐色<緑系陶>・褐色	淡褐色陶	
389	5A-22	小壺	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	黒	黒	淡褐色	淡褐色陶	断面径: 100位
390	5A-22	高杯	—	—	—	ハタ	ハタ	粗織紗・中<多>・白・織	中<赤土>	淡褐色陶	褐色陶	内・中<腐滅>
391	5A-22	壺	400	位	—	工具ナダ	工具ナダ	黒	黒	淡褐色<淡褐色陶>	褐色陶	内・腐滅
392	5A-22	小壺	—	—	—	ミダケ	ナダ	白・系・織	黒	系陶<増系陶>	淡褐色陶	最大径: 150位
393	5A-22	壺	250	位	—	ミダケ	ミダケ	粗織紗・少	黒	淡褐色陶	褐色陶<褐色陶>	
394	5A-22	壺	300	位	—	工具ナダ	中<多>	粗織紗・系・少	黒	褐色	褐色	
395	5A-22	壺	258	—	—	工具ナダ	ハタ	粗織紗・少	黒	褐色	褐色陶	
396	5A-21	壺	178	—	—	上工具ナダ<ハタ>	下工具ナダ<ハタ>	粗織紗・多	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色<淡褐色陶>	内・スス
397	5A-21	壺	300	—	—	龍ハタ	ハタ	粗織紗・系・少	黒	小壺・褐色<系陶>	褐色<淡褐色陶>	断面径分: 着目 内・スス少
398	5A-21	壺	71	—	—	タタケ	工具ナダ	系・少	黒	スス	褐色<淡褐色陶>	乳白
399	5A-21	壺	241	—	—	工具ナダ	工具ナダ	白・織・粗織紗・系・少	黒	褐色陶	淡褐色<淡褐色陶>	断面径分: スス黒 白織紗・スス少
400	5A-21	壺	—	62×65	—	龍工具ナダ	丁窯工具ナダ	粗織紗・少	黒	系陶<増系陶>	淡褐色陶<褐色陶>	断面径: 100位
401	5A-21	壺	—	—	—	龍工具ナダ	龍工具ナダ	粗織紗・白・少・系・織	黒	褐色<淡褐色陶>	淡黄白	内径: 4×10位の 筒状
402	5A-21	小壺	108	—	—	ミダケ	丁窯工具ナダ	系・織	黒	褐色陶<褐色陶>	褐色陶	
403	5A-21	壺	104	—	—	丁窯工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・少	黒	系陶	褐色	
404	5A-21	壺	123	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・中<多>	黒	系陶<増系陶>	淡褐色陶	
405	5A-21	壺	122	—	—	工具ナダ	ナダ<工具ナダ>	黒	中<赤土>	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	
406	5A-21	壺	—	—	—	丁窯工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・少	黒	系陶	褐色	
407	5A-21	壺	—	71	—	工具ナダ	ミダケ	粗織紗・系・白・織	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	内・中<赤土>
408	5A-21	小壺	71	—	—	龍工具ナダ	龍工具ナダ	粗織紗・少	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	
409	5A-21	壺	—	—	—	龍工具ナダ	工具ナダ	黒	黒	淡黄白	淡褐色<系陶>	乳白
410	5A-21	小壺	81	—	—	工具ナダ	丁窯工具ナダ	白・織	中<赤土>	淡褐色陶	緑系陶	内・中<腐滅>
411	5A-21	小壺	130	位	—	工具ナダ	丁窯工具ナダ	赤・少	黒	褐色陶	褐色	
412	5A-21	小壺	—	—	—	丁窯工具ナダ	丁窯工具ナダ	白	黒	淡褐色<淡褐色陶>	褐色	
413	5A-21	小壺	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	褐色<淡褐色陶>	赤土	中<赤土>	褐色	内・中<腐滅>
414	5A-21	小壺	—	—	—	丁窯工具ナダ	龍工具ナダ	黒	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色<淡褐色陶>	内・中<腐滅>
415	5A-21	壺	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	黒	中<赤土>	褐色<淡褐色陶>	褐色<淡褐色陶>	断面径大径: 200位
416	5A-21	小壺	101	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・白・少	黒	褐色<淡褐色陶>	淡褐色陶	
417	5A-21	高杯	200	—	—	ミダケ	ミダケ	黒	中<赤土>	淡褐色陶	褐色<系陶>・褐色	内・口部腐滅
418	5A-21	高杯	250	位	—	ミダケ	ミダケ	粗織紗・黒	中<赤土>	系陶<淡褐色陶>	系陶<淡褐色陶>	
419	5A-21	高杯	—	—	—	ミダケ	ミダケ	淡褐色	黒	褐色陶	褐色陶	断面径: 100位 内・腐滅 スス少
420	5A-21	壺	178	—	—	丁窯ハタ	丁窯工具ナダ	粗織紗・少	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	
421	5A-21	高杯	230	—	—	ミダケ	ミダケ	白	赤土	褐色<淡褐色陶>	褐色系<褐色系陶>	内面・焼熱
422	5A-21	壺	300	位	—	工具ナダ	丁窯工具ナダ<ハタ>	白	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	外・スス少
423	5A-21	高杯	—	—	—	丁窯ミダケ	丁窯ミダケ	粗織紗・小壺・織	黒	系陶	系	
424	5A-21	高杯	—	—	—	ミダケ	ミダケ	白・系・織	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	内・小壺
425	5A-21	高杯	—	—	—	龍工具ナダ<ミダケ>	龍工具ナダ	織紗・少	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	
426	5A-21	高杯	—	—	—	ミダケ	ミダケ	白・中<多>	赤土	褐色<淡褐色陶>	淡褐色陶	全面腐滅
427	5A-21	高杯	—	110	—	ナダ<龍ナダ>	内丁窯工具ナダ	系・白・少	赤土	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	断面径: 100位 内・口部腐
428	5A-21	高杯	—	—	—	龍工具ナダ	丁窯ミダケ	白・系・少	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	
429	5A-21	壺	131	—	—	工具ナダ	龍工具ナダ	粗織紗・白・少	中<赤土>	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	
430	5A-21	壺	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	白	黒	褐色陶<褐色陶>	褐色陶<淡褐色陶>	内・中<腐滅>
431	5A-21	壺	—	120	—	ミダケ	工具ナダ<中多>	白・織	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	内・口部腐滅 外・焼熱 スス少
432	5A-21-2層	小壺	—	—	—	ミダケ	工具ナダ	黒	中<赤土>	淡褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	最大径: 150位
433	5A-25	壺	172	—	—	工具ナダ	工具ナダ	系・織	中<赤土>	褐色<増系陶>	褐色<増系陶>	内径: 110位 110内
434	5A-25	壺	254	—	—	工具ナダ	丁窯工具ナダ	粗紗・織	中<赤土>	褐色<増系陶>	淡黄白	焼熱
435	5A-25	壺	236	—	—	工具ナダ	工具ナダ	白・中<多>	赤土	褐色<淡褐色陶>	褐色<淡褐色陶>	外・スス少
436	5A-25	壺	450	—	—	ハタ	ハタ	織紗・白・少	中<赤土>	褐色<淡褐色陶>	褐色系<淡褐色陶>	内・口部腐滅
437	5A-25	壺	350	位	—	工具ナダ	工具ナダ	白・系・織	黒	褐色<淡褐色陶>	褐色陶	内・口部腐滅 外・スス少
438	5A-25	小壺	100	位	—	工具ナダ	工具ナダ	粗織紗・少	中<赤土>	淡褐色陶	褐色系<淡褐色陶>	

表9 II～III区出土土器観察表(5)

No.	出土地	種類・図	法量 (mm)			観察		胎土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
439	SA-25	甕	298	—	—	ハタケ・土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	中やあま	緑赤系・緑系・緑系	洗滌前・緑系系	洗滌・灰・スス少 内・スス少
440	SA-25	甕	300	—	—	土具ナゲ・ハタケ	ハタケ	赤・白・赤	良	緑系系・黄・黄・黄	洗滌前	洗滌
441	SA-25	甕	—	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	良	洗滌前	洗滌	洗滌
442	SA-25	甕	312	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少・白・赤	良	緑系系→洗滌前	洗滌前→洗滌	洗滌
443	SA-25	甕	—	65	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・少	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
444	SA-25	甕	—	60	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	中やあま	洗滌前・洗滌	洗滌	洗滌
445	SA-25	小形埴	74	—	—	ミガサ	土具ナゲ	黄	あま	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
446	SA-25	小形埴	112	—	—	土具ナゲ・ハタケ	土具ナゲ	白・少	あま	洗滌前	洗滌	洗滌
447	SA-25	甕	78	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・赤・少	中やあま	洗滌前・洗滌	洗滌	洗滌
448	SA-25	甕	—	82	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・赤	中やあま	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
449	SA-25	甕	—	60	—	土具ナゲ	ナゲ・土具ナゲ	白・黄	中やあま	緑系系→洗滌前・洗滌	洗滌前→洗滌	洗滌
450	SA-25	甕	—	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・少	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
451	SA-25	甕	—	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・赤・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
452	SA-25	甕	—	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄	良	緑系系→洗滌前	洗滌前	洗滌
453	SA-25	甕	—	21 × 27	—	ハタケ	ハタケ→土具ナゲ	黄緑砂・白・少	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
454	SA-25	甕	—	80 × 80	—	ハタケ・土具ナゲ	ハタケ・土具ナゲ	黄・黄	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
455	SA-25	甕	800	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
456	SA-25	鉢	—	—	—	ミガサ	土具ナゲ	黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
457	SA-25	樽形埴	—	70	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	良	洗滌前・洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
458	SA-26	甕	800 → 450	—	—	強い土具ナゲ (赤・白・赤)	土具ナゲ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
459	SA-26	甕	450	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良	洗滌前・洗滌	洗滌	洗滌
460	SA-26	甕	300	—	—	ハタケ・土具ナゲ	ハタケ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
461	SA-26	甕	250	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・赤・黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
462	SA-26	小形埴	121	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
463	SA-26	甕	130	—	—	ハタケ	ハタケ→土具ナゲ	赤・白・少	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
464	SA-26	甕	190	—	—	ハタケ	ハタケ	白・少	中やあま	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
465	SA-26	甕	154	—	—	ハタケ	土具ナゲ→土具ナゲ	黄緑砂・少	良好	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
466	SA-26	小形埴	—	—	—	土具ナゲ・非土器	土具ナゲ	黄	中やあま	洗滌・洗滌	洗滌	洗滌
467	SA-26	鉢	—	151	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
468	SA-27	甕	303	—	—	ハタケ・土具ナゲ	ハタケ・土具ナゲ	赤・黄	良	緑系系	洗滌	洗滌
469	SA-27	甕	280	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
470	SA-27	甕	—	—	—	土具ナゲ・ハタケ	土具ナゲ→洗滌前	黄	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
471	SA-27	甕	—	—	—	ミガサ	土具ナゲ	白・黄	良	緑系系→洗滌	洗滌	洗滌
472	SA-27	甕	—	—	—	ミガサ	土具ナゲ	黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
473	SA-28	甕	—	70	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・白・少・赤・黄	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
474	SA-28	甕	800	—	—	ハタケ	ハタケ	黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
475	SA-28	甕	153	—	—	土具ナゲ	ハタケ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
476	SA-28	甕	800	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
477	SA-28	甕	—	—	—	ハタケ	土具ナゲ	白・赤・黄	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
478	SA-28	甕	227 × 287	—	—	強い土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少・赤・黄	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
479	SA-28	甕	251 × 273	—	—	ハタケ・土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・赤・白・少	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
480	SA-29	甕	—	45	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・赤・黄	あま	洗滌・洗滌	洗滌	洗滌
481	SA-29	甕	—	55	—	土具ナゲ→洗滌前	土具ナゲ	白・赤・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
482	SA-29	甕	—	65	—	土具ナゲ	ハタケ	白・少	良	洗滌・洗滌	洗滌	洗滌
483	SA-29	甕	250	—	—	土具ナゲ	ハタケ	白・黄	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
484	SA-29	甕	—	48	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
485	SA-29	小形埴	75	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄・白・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
486	SA-29	甕	87	—	—	ミガサ	土具ナゲ	白・赤・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
487	SA-29	小形埴	—	—	—	ミガサ	土具ナゲ	赤・黄	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
488	SA-29	甕	350	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良好	洗滌	洗滌	洗滌
489	SA-29	甕	310	—	—	ハタケ	—	白・黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
490	SA-29	甕	300	—	—	ミガサ	土具ナゲ	赤・少	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
491	SA-29	甕	—	124	—	ミガサ	土具ナゲ	白・少	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
492	SA-29	甕	318	169	438	土具ナゲ	土具ナゲ	白・黄	良	洗滌→洗滌	洗滌	洗滌
493	SA-29	甕	108	42	148	ナゲ・非土器	—	白・赤・黄	中やあま	洗滌	洗滌	洗滌
494	SA-29	甕	—	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・白・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
495	SA-29	甕	—	80 × 80	—	土具ナゲ	ハタケ	黄緑砂・白・少	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
496	SA-30	片割埴	—	—	—	洗滌前	土具ナゲ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
497	SA-30	甕	300	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	赤・黄	良	洗滌前→洗滌	洗滌	洗滌
498	SA-30	甕	300	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	赤・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
499	SA-30	甕	400	—	—	ハタケ	土具ナゲ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
500	SA-30	甕	850	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
501	SA-30	甕	140	—	—	ミガサ	土具ナゲ	白・赤・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
502	SA-30	甕	504	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	白・赤・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
503	SA-30	甕	202	—	—	ハタケ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
504	SA-30	甕	199	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良好	洗滌	洗滌	洗滌
505	SA-30	広口壺	206	—	—	ミガサ	非土器→土具ナゲ	白・黄緑砂・少・赤・黄	良	洗滌	洗滌	洗滌
506	SA-30	甕	210	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
507	SA-30	甕	249	—	—	ハタケ・土具ナゲ	ハタケ・土具ナゲ	白・赤・少	良	洗滌	洗滌	洗滌
508	SA-30	甕	28 × 28	—	—	土具ナゲ	土具ナゲ	黄緑砂・赤・黄	良好	洗滌	洗滌	洗滌
509	SA-30	甕	262	—	—	土具ナゲ	ハタケ→土具ナゲ	黄緑砂・少	良好	洗滌	洗滌	洗滌

表 10 II～Ⅲ区出土土器観察表(6)

No.	出土層	期・層別	法庫 (m)		調査	調査		内面	胎土	施文	色調		備考
			口徑	底径		外面	内面				外面	内面	
510	5A-30	甕	350	—	—	Ⅰ	Ⅰ	ハケ+Ⅰ	赤土	良	— [1] [2]	淡褐色	外: スス
511	5A-30	甕	200	—	—	Ⅰ	Ⅰ	ハケ+Ⅰ	良	良	暗→暗灰	淡黄→暗灰	外: スス
512	5A-30	甕	206	—	—	Ⅰ	Ⅰ	平土	良	良	暗茶→淡褐色	淡褐色→淡茶	外: スス
513	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	ハケ+平土	良	良好	淡褐色→淡褐色	淡褐色→淡茶	口内縁: ハケ
514	5A-30	甕	317	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良好	淡褐色→淡褐色	淡褐色→淡茶	内: スス+中多
515	5A-30	甕	400	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡灰→灰	灰→淡黄褐色	内: スス
516	5A-30	甕	400	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良好	淡灰	淡灰→淡黄褐色	内: スス
517	5A-30	甕	352	—	—	Ⅰ	Ⅰ	平土	良	良	淡褐色	淡褐色→淡黄褐色	外: スス少
518	5A-30	甕	300	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色→暗茶	外: スス少
519	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良好	淡褐色	淡褐色	内: スス
520	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
521	5A-30	甕	138	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
522	5A-30	甕	115	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
523	5A-30	甕	203	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
524	5A-30	甕	234	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
525	5A-30	甕	216	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
526	5A-30	甕	278	42	240	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス+中多
527	5A-30	甕	229	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス+中多
528	5A-30	甕	200	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
529	5A-30	甕	251	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
530	5A-30	甕	247	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
531	5A-30	甕	147	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
532	5A-30	甕	220	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
533	5A-30	甕	350	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
534	5A-30	甕	348	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
535	5A-48	甕	243	40	282	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
536	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
537	5A-30	甕	350	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
538	5A-30	甕	450	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
539	5A-30	甕	320	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
540	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
541	5A-30	甕	234	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
542	5A-30	甕	400	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
543	5A-30	甕	230	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
544	5A-30	甕	258	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
545	5A-30	甕	200	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
546	5A-30	甕	300	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
547	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
548	5A-30	甕	400	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
549	5A-30	甕	250	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
550	5A-30	甕	350	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
551	5A-30	甕	400	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
552	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
553	5A-30	甕	190	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
554	5A-30	甕	190	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
555	5A-30	甕	170	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
556	5A-30	甕	100	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
557	5A-30	鉢	100	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
558	5A-30	小壺	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
559	5A-30	小壺	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
560	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
561	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
562	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
563	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
564	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
565	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
566	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
567	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
568	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
569	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
570	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
571	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
572	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
573	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
574	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
575	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
576	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
577	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
578	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
579	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス
580	5A-30	甕	—	—	—	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	良	良	淡褐色	淡褐色	内: スス

表 12 II～Ⅲ区出土土器観察表 (8)

No.	出土層	種類・目録	法量 (mm)		調物		胎土	技法	色調		備考	
			口徑	底徑	高さ	内径			外径	内胎		外胎
632	5A-30	蓋	323	—	—	手くぎキ	手くぎキ	黒褐色；少	良	高胎	基胎・増系胎	内内；スス (龍口龍口)
633	5A-30	蓋	184	—	—	工具ナゲ+ハナテ	丁撃工具ナゲ	黒砂・小砂・白；微	中々よい	洗滌胎	増系胎・洗滌胎	
634	5A-30	蓋	409位	—	—	工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎；少	良	高胎	増系胎	内内；スス
635	5A-30	鉢	200	—	—	—	—	—	—	洗滌+増系胎	増系胎・洗滌胎	内内；高胎 土質 土質
636	5A-30	散飯	—	96	—	龍口龍口+工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	洗滌胎	増系胎・洗滌胎	内内；スス
637	5A-30-21	小壺	87	—	—	丁撃工具ナゲ	工具ナゲ	高；微	良	洗滌胎	洗滌胎	
638	5A-30-21	壺	86	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎	
639	5A-30	壺	350位	—	—	ハナテ	工具ナゲ	粗砂；少	中々よい	増系胎	洗滌胎・洗滌胎	
640	5A-30	壺	250位	—	—	龍口龍口+手くぎキ	ハナテ+手くぎキ	高；微砂；微	良	洗滌胎	洗滌胎	
641	5A-30	壺	350位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良好	増系胎+高胎	高胎	内内；龍口龍口 (土質)
642	5A-30	壺	192	—	—	タテナゲ+工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	高；微	良好	洗滌胎	洗滌胎	
643	5A-30	壺	273	—	—	工具ナゲ+ハナテ	龍口龍口	洗滌胎；中々多	良	増系胎+洗滌胎	高胎+増系胎	内内；スス
644	5A-30	壺	190	—	—	ハナテ+龍口龍口	ハナテ+龍口龍口	洗滌胎；少	良	洗滌胎・高胎・洗滌胎	洗滌胎	
645	5A-30	壺	320	—	—	工具ナゲ	高；微	中々よい	良	洗滌胎+増系胎	洗滌胎	内内；龍口龍口 洗滌胎
646	5A-30	壺	165	—	—	ハナテ	ナゲ+ハナテ+ナゲ	良	良好	洗滌胎+洗滌胎	増系胎	
647	5A-30	壺	86~87	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ+ 龍口龍口	高；白；少	良	高胎	洗滌胎	中々よい
648	5A-30	壺	409位	—	—	タテナゲ+洗滌胎	工具ナゲ	洗滌胎；微	良	高胎	洗滌胎	
649	5A-30	壺	—	—	—	ハナテ	工具ナゲ+ 龍口龍口	洗滌胎；少	良	増系胎+高胎・洗滌胎	増系胎+高胎	
650	5A-30	壺	—	26	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗砂；中々多	良	洗滌胎+増系胎	増系胎	
651	5A-30	壺	—	72	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	増系胎+高胎・洗滌胎	洗滌胎	
652	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎；中々多	良	洗滌胎+洗滌胎	高胎	
653	5A-30	壺	111	—	—	工具ナゲ+手くぎキ	工具ナゲ	粗砂；白；中々多	良	高胎+洗滌胎	高胎	内内；中々多
654	5A-30	壺	126	—	—	ハナテ	工具ナゲ	白；微	良	洗滌胎+増系胎	洗滌胎	内内；中々多
655	5A-30	小壺	88	—	—	工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎+増系胎	内内；増系胎
656	5A-30	小壺	69	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	内内；中々多
657	5A-30	壺	93	—	—	工具ナゲ	ナゲ+龍口龍口	粗砂；白；高；少	良	高胎+洗滌胎・洗滌胎	洗滌胎	
658	5A-30	小壺	—	—	—	龍口龍口	丁撃工具ナゲ	良	良好	洗滌胎+洗滌胎	洗滌胎	
659	5A-30	手付鉢	59	—	—	龍口龍口	龍口龍口	高；少	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	
660	5A-30	小壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	洗滌胎+洗滌胎	洗滌胎	
661	5A-30	小壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	洗滌胎	洗滌胎	
662	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白；微	良	高胎+洗滌胎	洗滌胎	内内；増系胎
663	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	龍口龍口+龍口龍口	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	龍口龍口；109
664	5A-30	小壺	—	—	—	工具ナゲ	龍口龍口	白；微	良	洗滌胎+洗滌胎	高胎	
665	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	手くぎキ	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	
666	5A-30	小壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	高；少	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	
667	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	
668	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	
669	5A-30	壺	198	—	—	龍口龍口	工具ナゲ	高；微；白；中々多	中々よい	高胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；増系胎
670	5A-30	壺	191	—	—	龍口龍口	工具ナゲ	高；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	内内；増系胎
671	5A-30	壺	—	—	—	丁撃工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	粗砂；微	良好	高胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；洗滌胎 土質
672	5A-30	壺	—	—	—	ハナテ	丁撃工具ナゲ	良	中々よい	洗滌胎+増系胎	洗滌胎	内内；中々多
673	5A-30	壺	210	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	高胎+増系胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；土質 洗滌胎
674	5A-30	壺	—	—	—	龍口龍口	工具ナゲ	良	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
675	5A-30	手付鉢	—	103	—	工具ナゲ	龍口龍口	白；高；少	良	洗滌胎	洗滌胎+洗滌胎	
676	5A-30	鉢	—	129	—	ハナテ	工具ナゲ	良	良	高胎	高胎	
677	5A-30	蓋	—	200位	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	高胎	洗滌胎	
678	5A-30	蓋	115	—	—	龍口龍口	ハナテ	白；少	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	内内；増系胎
679	5A-30	壺	409位	—	—	ハナテ	工具ナゲ	白；高；少	中々よい	洗滌胎	増系胎+洗滌胎	内内；スス
680	5A-30	壺	196	—	—	工具ナゲ	ナゲ+丁撃ナゲ	粗砂；中々多	良	高胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；中々多
681	5A-30	壺	256	—	—	ハナテ	龍口龍口	洗滌胎；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
682	5A-30	壺	371	—	—	ハナテ+丁撃ナゲ	丁撃工具ナゲ	粗砂；白；少	良	洗滌胎	洗滌胎+増系胎	内内；スス
683	5A-30	壺	321	—	—	丁撃ハナテ	工具ナゲ	粗砂；少	良	増系胎+高胎	高胎	内内；スス
684	5A-30	壺	350位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
685	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ+ハナテ	良	良	洗滌胎	増系胎+洗滌胎	内内；スス
686	5A-30	壺	320	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
687	5A-30	壺	—	—	—	タテナゲ	龍口龍口	粗砂；洗滌胎；微	良	高胎+洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
688	5A-30	壺	—	—	—	龍口龍口	工具ナゲ+タテナゲ	高；少	良	増系胎+増系胎	洗滌胎	内内；スス
689	5A-30	鉢	220	—	—	工具ナゲ	龍口龍口+手くぎキ	粗砂；少	良好	洗滌胎+高胎	洗滌胎	内内；龍口龍口 洗滌胎
690	5A-30	壺	350位	—	—	タテナゲ+工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	良	良好	増系胎+高胎	洗滌胎	内内；スス
691	5A-30	壺	300位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗砂；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
692	5A-30	壺	300位	—	—	丁撃工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；スス
693	5A-30	壺	300位	—	—	タテナゲ	工具ナゲ	高；微	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
694	5A-30	壺	300位	—	—	ハナテ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
695	5A-30	壺	—	—	—	ハナテ	丁撃工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎+洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
696	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎+増系胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
697	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
698	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
699	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
700	5A-30	壺	196	—	—	ハナテ	龍口龍口	粗砂；中々多	良	高胎	洗滌胎	内内；スス
701	5A-30	壺	371	—	—	ハナテ+丁撃ナゲ	丁撃工具ナゲ	粗砂；白；少	良	洗滌胎	洗滌胎+増系胎	内内；スス
702	5A-30	壺	321	—	—	丁撃ハナテ	工具ナゲ	粗砂；少	良	増系胎+高胎	高胎	内内；スス
703	5A-30	壺	350位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
704	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ+ハナテ	良	良	洗滌胎	増系胎+洗滌胎	内内；スス
705	5A-30	壺	320	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
706	5A-30	壺	—	—	—	タテナゲ	龍口龍口	粗砂；洗滌胎；微	良	高胎+洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
707	5A-30	壺	—	—	—	龍口龍口	工具ナゲ+タテナゲ	高；少	良	増系胎+増系胎	洗滌胎	内内；スス
708	5A-30	鉢	220	—	—	工具ナゲ	龍口龍口+手くぎキ	粗砂；少	良好	洗滌胎+高胎	洗滌胎	内内；龍口龍口 洗滌胎
709	5A-30	壺	350位	—	—	タテナゲ+工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	良	良好	増系胎+高胎	洗滌胎	内内；スス
710	5A-30	壺	300位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗砂；少	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
711	5A-30	壺	350位	—	—	丁撃工具ナゲ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎+洗滌胎	内内；スス
712	5A-30	壺	300位	—	—	タテナゲ	工具ナゲ	高；微	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
713	5A-30	壺	300位	—	—	ハナテ	丁撃工具ナゲ	洗滌胎	良好	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
714	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎+洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
715	5A-30	壺	—	—	—	龍口龍口	工具ナゲ	白；高；少	良	洗滌胎+増系胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
716	5A-30	壺	409位	—	—	丁撃工具ナゲ	ナゲ+工具ナゲ	良	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	内内；洗滌胎
717	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	ハナテ	粗砂；白；高；微	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
718	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	高；微	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
719	5A-30	壺	—	81	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗砂；白；微	中々よい	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
720	5A-30	壺	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗砂；高；微	良	洗滌胎	洗滌胎	内内；スス
721	5A-30	複合 口縁	143	—	—	龍口龍口	ハナテ	粗砂；少	良	洗滌胎	洗滌胎	
722	5A-30	複合 口縁	209位	—	—	ハナテ+工具ナゲ	ナゲ	良	良	増系胎	洗滌胎	

表 13 II～III区出土土器観察表(9)

No.	出土地	種別・図	法量 (mm)			観察		胎土	技法	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
723	SA-32	壺	—	—	—	腹・口	土	良	中々よい	淡灰陶	淡黄白	
724	SA-32	小壺	73	—	—	下腹・口	土	良	中々よい	淡灰陶	淡黄白	
725	SA-32	壺	129	—	—	ハケ	黄砂・灰・赤・黒	良	淡黄・淡灰陶	褐色・淡黄		
726	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄	穿孔1; 径9	
727	SA-32	壺	—	—	—	口	土	中々よい	淡黄・淡灰陶	淡黄		
728	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
729	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
730	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
731	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
732	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
733	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
734	SA-32	壺	200	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
735	SA-32	壺	150	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
736	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
737	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
738	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
739	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
740	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
741	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
742	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
743	SA-32	壺	100	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
744	SA-32	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
745	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
746	SA-32	小壺	74	58	15	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
747	SA-32	壺	159	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
748	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
749	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
750	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
751	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
752	SA-32	壺	123	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
753	SA-32	壺	800	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
754	SA-32	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
755	SA-33	壺	160	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
756	SA-33	壺	180	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
757	SA-33	壺	220	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
758	SA-33	壺	190	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
759	SA-33	壺	213	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
760	SA-33	壺	218	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
761	SA-33	壺	800	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
762	SA-33	壺	800	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
763	SA-33	壺	800	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
764	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
765	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
766	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
767	SA-33	小壺	150	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
768	SA-33	小壺	87	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
769	SA-33	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
770	SA-33	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
771	SA-33	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
772	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
773	SA-33	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
774	SA-33	小壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
775	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
776	SA-33	壺	106	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
777	SA-33	小壺	112	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
778	SA-33	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
779	SA-33	壺	213	58	111	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
780	SA-33	土器群	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
781	SA-34	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
782	SA-34	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
783	SA-34	壺	250	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
784	SA-34	壺	350	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
785	SA-34	壺	—	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
786	SA-34	小壺	130	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
787	SA-34	壺	166	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
788	SA-34	壺	123	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
789	SA-34	壺	800	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
790	SA-34	壺	187	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
791	SA-34	壺	200	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
792	SA-34	壺	302	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		
793	SA-34	壺	197	—	—	口	土	良	淡黄・淡灰陶	淡黄		

表 14 II～Ⅲ区出土土器観察表 (10)

No.	出土層	器種・形状	法庫 (cm)			調物		胎土	焼成	色調		備考	
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面		
794	5A-24	甕	218	—	—	—	工具ナゲ	ハケ・工具ナゲ	白・やや多	やや多	緑茶色・緑褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・緑褐色・緑褐色	内：スス、やや多
795	5A-24	甕	210	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	緑茶色・淡黄褐色	緑茶色・緑褐色	内：焼物
796	5A-24	甕	300	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	茶・少	やや多	緑茶色	淡黄褐色	内：スス少 内：口縁部茶褐色
797	5A-24	甕	327	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・少、白・やや多	やや多	淡黄褐色	緑褐色・緑褐色	内：摩滅
798	5A-24	甕	309	—	—	—	ハケ・工具ナゲ ハケ・工具ナゲ	ハケ・工具ナゲ	白・少、黒線砂・赤・藍	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス
799	5A-24	甕	350	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・少	良好	緑茶色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス少
800	5A-24	甕	300	位	—	—	ハケ・工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・少	良好	淡赤茶・淡黄褐色	淡赤茶・淡黄褐色	内：スス少
801	5A-24	甕	350	位	—	—	工具ナゲ・ハケ	ハケ・工具ナゲ	黒線砂・白・少	良好	緑茶色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス少
802	5A-24	甕	400	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	茶褐色	緑茶色・淡黄褐色	内：スス多
803	5A-24	甕	430	位	—	—	工具ナゲ	ハケ	良	良好	茶褐色	淡黄褐色	内：スス
804	5A-24	甕	—	90	—	—	工具ナゲ・ナゲ	工具ナゲ	良	良	淡黄褐色・緑褐色	淡黄褐色	
805	5A-24	甕	—	90	—	—	工具ナゲ	丁鍬工具ナゲ	茶・少	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	
806	5A-24	甕	—	12	—	—	ハケ・工具ナゲ	工具ナゲ	白・茶・藍	良	淡黄褐色・緑褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	
807	5A-24	甕	—	32	—	—	黒線砂・少	工具ナゲ	黒線砂・少	良	淡黄褐色・淡黄褐色	緑茶色・淡黄褐色	内：緑褐色・黒線
808	5A-24	甕	—	82	—	—	黒線砂・やや多	工具ナゲ	良	淡黄褐色・淡黄褐色	緑茶色	内：スス多	
809	5A-24	甕	—	80	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・藍	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：オコウ少
810	5A-24	甕	—	62×65	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・茶・藍	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	
811	5A-24	甕	—	65	—	—	工具ナゲ	丁鍬工具ナゲ	黒線砂・やや多、茶・少	良	緑茶色	淡黄褐色	内：15×10以上の土層片1枚付
812	5A-24	甕	—	76	—	—	黒線砂・少	工具ナゲ	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色		
813	5A-24	甕	123	—	—	—	工具ナゲ	丁鍬工具ナゲ	良	良	淡黄褐色	淡黄褐色	内：一部摩滅
814	5A-24	甕	121	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・藍	やや多	緑褐色	緑褐色	内：内・摩滅
815	5A-24	鉢	111	—	—	—	ハケ・工具ナゲ	工具ナゲ	白・藍	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
816	5A-24	甕	—	—	—	—	工具ナゲ	丁鍬工具ナゲ	良	やや多	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	
817	5A-24	小形甕	74	—	—	—	ハケ	工具ナゲ	良	やや多	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	
818	5A-24	小形甕	116	—	—	—	ミガキ	ミガキ・ミガキ	白・やや多	あまり	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：やや摩滅
819	5A-24	小形甕	99	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤・少、白・藍	あまり	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：やや摩滅
820	5A-24	小形甕	66	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	あまり	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：内・摩滅
821	5A-24	甕	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス
822	5A-24	甕	—	—	—	—	黒ハケ	工具ナゲ	赤・藍	やや多	茶褐色	淡黄褐色	内：オコウ少
823	5A-24	小形甕	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
824	5A-24	小形甕	—	—	—	—	ミガキ	李ミガキ	良	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
825	5A-24	小形鉢	—	—	—	—	工具ナゲ・ミガキ	黒線砂・少	良	良	淡黄褐色	淡黄褐色	
826	5A-24	小形鉢	63	—	—	—	黒線砂・少	工具ナゲ	白・赤・藍	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
827	5A-24	鉢	—	—	—	—	やや多	黒線砂・少	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色		
828	5A-24	鉢	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・藍	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	断面図：82
829	5A-24	鉢	—	—	—	—	工具ナゲ	黒線砂・少	良	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	断面図：90位少
830	5A-24	小形甕	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	やや多	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	
831	5A-24	小形鉢	—	20	—	—	工具ナゲ	黒線砂・少	白・藍	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
832	5A-24	高小鉢	400	—	—	—	丁鍬工具ナゲ	ミガキ	良	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	断面図：101(口縁部)
833	5A-24	高小鉢	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	淡黄褐色	淡黄褐色	
834	5A-24	小形高鉢	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	やや多	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	
835	5A-24	高鉢	—	—	—	—	李ミガキ	内：黒線砂・少	白・赤・少	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	内：摩滅
836	5A-24	高鉢	—	—	—	—	ミガキ・ハケ	内：工具ナゲ	茶・多、白・藍	あまり	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：やや摩滅
837	5A-24	付付鉢	—	90	—	—	ミガキ	内：工具ナゲ	白・赤・少	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
838	5A-24	高鉢	—	130	—	—	工具ナゲ・ミガキ	工具ナゲ・ミガキ	良	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	断面図：上部 下部不安
839	5A-24	甕	—	132	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・藍・茶・少	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	内：やや摩滅
840	5A-24	甕	200	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	
841	5A-24	甕	236	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス少
842	5A-24	甕	—	—	—	—	ハケ・工具ナゲ	丁鍬	黒線砂・少	良好	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス少
843	5A-24	甕	400	位	—	—	ハケ	ハケ	黒線砂・多	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス
844	5A-24	甕	300	位	—	—	ハケ	ハケ	黒線砂・少、赤・藍	良	茶褐色	淡黄褐色	内：スス
845	5A-24	甕	300	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	良	淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス
846	5A-24	甕	—	—	—	—	工具ナゲ・ハケ	ハケ・工具ナゲ	良	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス多
847	5A-24	甕	400	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・少、白・茶・少	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	やや摩滅
848	5A-24	甕	300	位	—	—	ハケ	ハケ	黒線砂・少	良	淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス
849	5A-24	甕	400	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・藍	良好	淡黄褐色	淡黄褐色	内：スス
850	5A-24	甕	—	—	—	—	黒ハケ・工具ナゲ	黒線砂・多	やや多	茶褐色	淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス
851	5A-24	甕	160	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少	あまり	茶褐色	淡黄褐色	
852	5A-24	甕	500	位	—	—	工具ナゲ	ハケ	良	良	茶褐色・淡黄褐色	茶褐色・淡黄褐色	内：15×10(断面図)
853	5A-24	甕	350	位	—	—	工具ナゲ	李ミガキ	良好	淡黄褐色	淡黄褐色	淡黄褐色	
854	5A-24	甕	300	位	—	—	ミガキ	ミガキ	良	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	内：15×10(断面図)
855	5A-24	甕	—	25×70	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	茶・少	良	淡黄褐色	淡黄褐色	内：やや摩滅
856	5A-24	甕	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・やや多、茶・少	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：スス
857	5A-24	小形鉢	—	—	—	—	黒線砂・少	工具ナゲ	白・少	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
858	5A-24	甕	—	—	—	—	黒線砂・少	工具ナゲ	白・赤・少	やや多	淡黄褐色	淡黄褐色	
859	5A-24	甕	—	—	—	—	黒ハケ	工具ナゲ	黒線砂・赤・少	良	淡黄褐色・淡黄褐色	淡黄褐色・淡黄褐色	内：摩滅
860	5A-24	甕	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	黒線砂・やや多	良	茶褐色・淡黄褐色	淡黄褐色	
861	5A-24	高鉢	400	位	—	—	ミガキ	赤・藍	良	淡黄褐色	淡黄褐色	淡黄褐色	内：摩滅
862	5A-24	高鉢	243	—	—	—	李ミガキ	工具ナゲ	良	やや多	緑褐色	茶褐色	内：摩滅
863	5A-24	高鉢	—	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	やや多	淡黄褐色	茶褐色・淡黄褐色	内：やや摩滅
864	5A-24	高鉢	—	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまり	淡黄褐色	淡黄褐色・茶褐色	内：やや摩滅 内：摩滅

表 15 II～III区出土土器観察表(11)

No.	出土地	期・区	法量 (mm)			調整		胎土	技法	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
865	SA-35	高坪	—	—	—	土器片	土器片	赤・黒	良	洗練黄	洗練粉	
866	SA-35	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・少	中々よい	黒～洗練	洗練粉	調整上: 22 × 25
867	SA-35	高坪	—	—	—	土器片	土器片	赤・黒	中々よい	洗練黄～洗練	洗練粉・洗練	調整上: 磨盤
868	SA-35	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・少	良	洗練粉	洗練粉	
869	SA-35	小形遺小	104	—	—	赤土器片	土器片	良	良	洗練粉～洗練	洗練粉	
870	SA-35	小形遺小	88	—	—	土器片	土器片	白・洗練・赤	良	洗練粉	洗練粉	
871	SA-35	小形遺小	—	—	—	土器片	ナブ	白・洗練・少	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 中々磨減
872	SA-35	小形遺小	101	—	78	土器片	ハケナブ	赤・洗練・少	中々よい	洗練粉～洗練・赤	洗練粉・洗練	
873	SA-35	小形遺小	113	—	—	土器片	土器片	白・赤・洗練	中々よい	洗練	洗練	
874	SA-35	小形遺小	—	—	—	土器片	土器片	赤・少	中々よい	洗練	洗練	
875	SA-35	小形遺小	—	—	—	土器片	土器片	赤・洗練	良	洗練粉～洗練	洗練粉	
876	SA-35	小形遺小	93	—	—	土器片	土器片	良	良	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	
877	SA-35	小形遺小	67	—	—	ハケ	土器片ナブハナブ	白・洗練	良	洗練粉	洗練粉	
878	SA-35	壺	—	20 × 22	—	土器片	土器片	良	良	洗練白～洗練・洗練	洗練～洗練粉	
879	SA-35	高坪	166	—	—	土器片ナブ・赤土器片	赤土器片	良	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 中々磨減
880	SA-35	壺	—	—	—	土器片	土器片	白・赤・少	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉	2片目(口縁部)
881	SA-35	壺	—	87 × 62	—	土器片	土器片	洗練粉・洗練	良	洗練粉～洗練	洗練粉	1片目(口縁部)
882	SA-35	鉢	251	—	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・白・少	良	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	
883	SA-35	鉢	—	123	—	土器片	土器片	洗練粉・白・少	中々よい	洗練粉・洗練	洗練粉	内: 縁部程度洗練黄色
884	SA-35	壺	195	—	—	土器片ナブ・赤土器片	ハケ	小磨減	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	
885	SA-35A	壺	210	—	—	土器片	ハケナブ土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
886	SA-35A	壺	295	—	—	土器片	土器片	洗練粉・白・少	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉	
887	SA-35	壺	—	—	—	土器片	ハケ	洗練粉・白・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
888	SA-35	付片鉢	—	—	—	土器片	土器片	良	良	洗練粉～洗練	洗練粉	内: エス多
889	SA-35B	壺	200	—	—	土器片	土器片	洗練粉・赤	良	洗練粉	洗練粉	内: エス多
890	SA-35B	壺	325	—	—	土器片	土器片	洗練粉	中々多	洗練粉	洗練粉	
891	SA-35B	壺	—	—	—	ハケ	土器片	白・洗練・赤	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: エス
892	SA-35B	壺	138	—	—	土器片	土器片	白・洗練・赤	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 口縁部
893	SA-35B	壺	—	—	—	土器片	—	白・洗練・赤・少	あまり	洗練粉	洗練粉	内: 中々磨減
894	SA-35B	壺	—	—	—	土器片	土器片	良	良	洗練粉	洗練粉	
895	SA-35B	壺	—	69	—	土器片	土器片	赤・白・少・小磨減	良	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 口縁部
896	SA-35B	高坪	175	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 中々磨減
897	SA-35B	高坪	200	—	—	土器片ナブ・土器片	土器片	良	良	洗練粉	洗練粉	
898	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 口縁部
899	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	ナブ土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	
900	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・赤・少	良	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 磨盤
901	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・洗練	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 磨盤
902	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・洗練・赤・少	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 磨盤
903	SA-35B	高坪	182	—	—	土器片	土器片	赤・洗練	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 磨盤
904	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	調整上: 20位
905	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	白・洗練・赤・少	良	洗練粉～洗練	洗練粉	内: 洗練
906	SA-35B	高坪	—	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 洗練
907	SA-35B	高坪	—	130位	—	土器片	土器片	良	良	洗練粉～洗練(黒)	洗練粉～洗練(黒)	内: 中々磨減
908	SA-35B	磨台	—	142	—	ナブ	土器片	良	良	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	
909	SA-35C	壺	160位	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 磨盤
910	SA-35C	壺	600位	—	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	
911	SA-35C	壺	650位	—	—	土器片	土器片	白・赤・洗練	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 調整・エス
912	SA-35C	壺	650位	—	—	ハケ	ハケ	白・赤・洗練	良	洗練粉	洗練粉	内: エス・磨盤
913	SA-35C	壺	294	—	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	内: エス
914	SA-35C	壺	—	—	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	内: エス少
915	SA-35C	壺	—	54	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良好	洗練粉	洗練粉	
916	SA-35C	壺	—	60	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
917	SA-35C	小形遺小	—	86	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	
918	SA-35C	壺	—	79	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	内: 調整部ナブ
919	SA-35C	壺	—	43	—	土器片	土器片	赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
920	SA-35C	壺	—	—	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	内: エス
921	SA-35C	壺	—	62	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
922	SA-35C	壺	—	80	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・洗練	良	洗練粉	洗練粉	
923	SA-35C	小形遺小	94	25 × 30	21	土器片	土器片	洗練粉・赤・少	良	洗練粉	洗練粉	
924	SA-35C	壺	—	102	—	赤土器片	土器片	良	良	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	内: 調整
925	SA-35C	小形遺小	—	—	—	土器片	—	白・洗練・少	中々よい	洗練粉	洗練粉	調整上: 赤・洗練
926	SA-35C	小形遺小	100	—	—	土器片	ナブ土器片	赤・少	中々よい	洗練粉	洗練粉	
927	SA-35C	高坪	122	—	—	赤土器片	土器片ナブ土器片	洗練粉・赤・中々多	あまり	洗練粉	洗練粉	内: 中々磨減
928	SA-35C	高坪	—	102	—	赤土器片	土器片	良	良	洗練粉	洗練粉	
929	SA-35C	高坪	—	—	—	土器片	土器片	赤・洗練	あまり	洗練粉	洗練粉	
930	SA-35C	高坪	132	—	—	土器片	土器片	洗練粉・赤・洗練	良	洗練粉	洗練粉	
931	SA-35C	高坪	—	—	—	土器片	土器片	良	中々よい	洗練粉	洗練粉	内: 調整・洗練
932	SA-35C	壺	—	—	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	
933	SA-35C	壺	142	—	—	土器片	土器片	白・洗練・赤	良	洗練粉	洗練粉	
934	SA-35C	壺	—	80	—	土器片	土器片	洗練粉・少	良	洗練粉	洗練粉	
935	SA-35C	鉢	164	—	—	土器片	土器片	良	あまり	洗練粉～洗練	洗練粉～洗練	内: 洗練

表 16 II～Ⅲ区出土土器観察表(12)

No.	出土層	器名・目録	法重 (g)		調物		胎土	技法	色調		備考
			口徑	底径	高さ	内径			外面	内面	
930	SA-36	甕	270	—	—	—	土器	良	良	赤褐色	内面・外底面
937	SA-36	甕	260	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
938	SA-36	甕	198	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
939	SA-36	甕	247	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
940	SA-36	鉢	217	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
941	SA-36	甕	265	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
942	SA-36	甕	315	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
943	SA-36	甕	303	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
944	SA-36	甕	—	64	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
945	SA-36	鉢	—	40	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
946	SA-36	甕	—	45	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
947	SA-36	甕	—	82	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
948	SA-36	鉢	—	84	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
949	SA-36	甕	107	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
950	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
951	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
952	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
953	SA-36	甕	98	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
954	SA-36	甕	108	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
955	SA-36	小鉢	83	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
956	SA-36	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
957	SA-36	小鉢	82	—	89	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
958	SA-36	小鉢	—	14	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
959	SA-36	小鉢	28×28	—	32	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
960	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
961	SA-36	甕	—	65	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
962	SA-36	甕	113	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
963	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
964	SA-36	甕	—	133	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
965	SA-36	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
966	SA-36	甕	—	112	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
967	SA-36	小鉢	26	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
968	SA-36	鉢	173	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
969	SA-36	鉢	300	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
970	SA-36	甕	330	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
971	SA-37	甕	190	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
972	SA-37	甕	450	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
973	SA-37	甕	170	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
974	SA-37	甕	139	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
975	SA-37	甕	300	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
976	SA-37	甕	250	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
977	SA-37	甕	197	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
978	SA-37	甕	350	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
979	SA-37	甕	490～590	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
980	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
981	SA-37	甕	249	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
982	SA-37	甕	42	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
983	SA-37	甕	—	88	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
984	SA-37	甕	—	88	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
985	SA-37	甕	—	80	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
986	SA-37	甕	—	62	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
987	SA-37	甕	160	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
988	SA-37	小鉢	77	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
989	SA-37	甕	136	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
990	SA-37	甕	136	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
991	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
992	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
993	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
994	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
995	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
996	SA-37	小鉢	81	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
997	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
998	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
999	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1000	SA-37	甕	—	33	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1001	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1002	SA-37	小鉢	51	—	29	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1003	SA-37	小鉢	—	17	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1004	SA-37	甕	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1005	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面
1006	SA-37	小鉢	—	—	—	—	土器	良好	良好	赤褐色	内面・外底面

表 17 II-Ⅲ区出土土器観察表 (13)

No.	出土地	種別・図	法量 (mm)			観察		胎土	焼成	色調		備考
			口徑	底徑	高さ	外面	内面			外面	内面	
1007	SA-37	肥子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1008	SA-37	高平	153	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1009	SA-37	高平	300位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1010	SA-37	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1011	SA-37	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1012	SA-37	鉢	270	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1013	SA-37	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1014	SA-37	小型 直筒形	—	72	—	—	—	—	—	—	—	—
1015	SA-37	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1016	SA-37	高平直筒 輪口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1017	SA-37-11	高平	—	150	—	—	—	—	—	—	—	—
1018	SA-38	壺	80+68	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1019	SA-38	壺	250	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1020	SA-38	壺	350位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1021	SA-38	壺	—	68	—	—	—	—	—	—	—	—
1022	SA-38	壺	82	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1023	SA-38	壺	74	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1024	SA-38	鉢	—	71	—	—	—	—	—	—	—	—
1025	SA-38	壺	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—
1026	SA-39	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1027	SA-40	壺	450位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1028	SA-40	壺	178	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1029	SA-40	壺	242	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1030	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1031	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1032	SA-40	壺	450位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1033	SA-40	壺	600位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1034	SA-40	鉢	250	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1035	SA-40	鉢	170	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1036	SA-40	小型壺	—	36	—	—	—	—	—	—	—	—
1037	SA-40	壺	—	68	—	—	—	—	—	—	—	—
1038	SA-40	壺	—	68	—	—	—	—	—	—	—	—
1039	SA-40	壺	—	54	—	—	—	—	—	—	—	—
1040	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1041	SA-40	壺	—	110	—	—	—	—	—	—	—	—
1042	SA-40	壺	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1043	SA-40	小型壺	90位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1044	SA-40	小型壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1045	SA-40	小型壺	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—
1046	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1047	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1048	SA-40	小型壺	70位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1049	SA-40	高平	250位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1050	SA-40	高平	109	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1051	SA-40	高平	193	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1052	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1053	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1054	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1055	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1056	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1057	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1058	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1059	SA-40	壺	500位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1060	SA-40	壺	600位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1061	SA-40	鉢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1062	SA-40	壺	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—
1063	SA-40	小型壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1064	SA-40	鉢	250位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1065	SA-40	小型壺	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1066	SA-40	小型壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1067	SA-40	壺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1068	SA-40	鉢	—	65	—	—	—	—	—	—	—	—
1069	SA-40	鉢	220位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1070	SA-40	高平	255	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1071	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1072	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1073	SA-40	高平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1074	SA-40	高平	—	160	—	—	—	—	—	—	—	—
1075	SA-40	高平	—	160	—	—	—	—	—	—	—	—
1076	SA-40	壺	181	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1077	SA-40	壺	250位	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表 18 II～III区出土土器観察表 (14)

No.	出土地	期・相	法量 (mm)			調物		胎土	技法	色調		備考
			口徑	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1078	SA-80	灰土行 器	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	あま	赤褐色	% 1312と同型
1079	SA-80	瓶口	—	—	—	—	横紋ノズルナゲ	ナゲ	良	あま	赤褐色	
1080	SA-80	器蓋	—	—	—	—	横紋ノズルナゲ	ナゲ	良	あま	赤褐色	
1081	SA-81	壺	192	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良好・白・黄	良	暗褐色	暗褐色
1082	SA-81	壺	247	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・白・少	良	茶褐色	暗褐色
1083	SA-81	壺	282	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲノハナ	白・少・茶・黄	良	暗褐色	赤褐色
1084	SA-81	壺	347	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	白・少	良	暗褐色	赤褐色
1085	SA-81	壺	410	—	—	—	丁摩ハナ	ハナケノ工具ナゲ	白・赤・少	良	暗褐色	赤褐色
1086	SA-81	高杯	181	—	—	—	工具ナゲノミダケ	ミダケ	赤・少	中々	暗褐色	茶褐色
1087	SA-81	高杯	193	—	—	—	ミダケ	ミダケ	良	あま	赤褐色	赤褐色
1088	SA-81	高杯	—	128	—	—	ミダケ	工具ナゲ	良	良	赤褐色	赤褐色
1089	SA-81	壺	403	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・中々多	良	暗褐色	暗褐色
1090	SA-81	高杯	290	—	—	—	ミダケ	ミダケ	良	あま	赤褐色	赤褐色
1091	SA-81	広口壺	—	—	—	—	工具ナゲノハナ	ナゲ	白・黄・赤・少	良	赤褐色	赤褐色
1092	SA-81	広口壺	—	—	—	—	工具ナゲ	ハナケノ工具ナゲ	白・黄・赤・中々多	中々	赤褐色	赤褐色
1093	SA-81	壺	—	63	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・少・白・中々多	中々	暗褐色	暗褐色
1094	SA-81	壺	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1095	SA-81	壺	300	位	—	—	粗織紗	工具ナゲ	中々	良	暗褐色	暗褐色
1096	SA-82	鉢口	—	—	—	—	粗織紗	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1097	SA-82	高杯	—	—	—	—	ミダケ	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1098	SA-82	高杯	304	—	—	—	ミダケ	李ミダケ	白・少・赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1099	SA-82	高杯	321	—	—	—	ミダケ	工具ナゲノミダケ	白・少・赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1100	SA-83	高杯	—	—	—	—	ハナ	—	白・少・茶・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1102	SA-83	壺	838	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1103	SA-83	壺	894	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	白・黄・赤・少	良	赤褐色	赤褐色
1104	SA-83	壺	196	—	—	—	ハナ	粗ハナ	黄・少	良	暗褐色	暗褐色
1104	SA-83	壺	490	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	良	良好	暗褐色	暗褐色
1105	SA-83	小中壺	78	—	—	—	李ミダケ	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1106	SA-81	壺	68	—	—	—	ミダケ	工具ナゲ	良	良	赤褐色	赤褐色
1107	SA-81	小中壺	83	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲノナゲ	白・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1108	SA-81	壺	—	—	—	—	工具ナゲ	ナゲ	茶・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1109	SA-84	壺	—	83	—	—	粗織紗	工具ナゲ	粗織紗・少・茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1110	SA-81	壺	209	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	白・黄・赤	良	暗褐色	暗褐色
1111	SA-81	壺	65	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1112	SA-81	鉢	—	64	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・黄	良	暗褐色	暗褐色
1113	SA-81	小中壺	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1114	SA-81	小中壺	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1115	SA-81	壺	190	—	—	—	工具ナゲノ粗ミダケ	工具ナゲノ李ミダケ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1116	SA-43 44の地点	片埴	—	—	—	—	ナゲ	ナゲ	良	暗褐色	暗褐色	
1117	SA-85	壺	450	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・中々多・白・黄	良	暗褐色	暗褐色
1118	SA-86	小中壺	78	—	—	—	ミダケ	工具ナゲ	白・少	中々	赤褐色	赤褐色
1119	SA-86	小中壺	—	25	—	—	ミダケ	工具ナゲ	白・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1120	SA-86	小中壺	—	—	—	—	ミダケ	工具ナゲ	良	良	赤褐色	赤褐色
1121	SA-86	高杯	235	—	—	—	工具ナゲノミダケ	ミダケ	白・赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1122	SA-86	高杯	—	—	—	—	ミダケ	ミダケ	赤・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1123	SA-86	高杯	—	—	—	—	工具ナゲ	ミダケ	白・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1124	SA-86	壺	—	50	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・少・茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1125	SA-87	壺	—	61	—	—	粗織紗	工具ナゲ	白・少・茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1126	SA-87	壺	85	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・白・少・茶・黄	中々	赤褐色	赤褐色
1127	SA-87	小中壺	—	—	—	—	ミダケ	工具ナゲ	良	中々	赤褐色	赤褐色
1128	SA-87	壺	490	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	暗褐色	暗褐色
1129	SA-87	壺	220	—	—	—	ハナ	工具ナゲ	粗織紗・少	良	暗褐色	暗褐色
1130	SA-87	壺	211	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	暗褐色	暗褐色
1131	SA-87	壺	490	位	—	—	ハナ	工具ナゲ	粗織紗・茶・少・白・黄	良	暗褐色	暗褐色
1132	SA-87	壺	292	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・粗織紗・赤・赤・少	中々	赤褐色	赤褐色
1133	SA-87	壺	490	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・中々多・粗織紗・少	中々	赤褐色	赤褐色
1134	SA-87	壺	325	—	—	—	工具ナゲノミダケ	ミダケ	良	良	暗褐色	暗褐色
1135	SA-87	壺	350	位	—	—	工具ナゲノナゲ	ナゲ	良	良	暗褐色	暗褐色
1136	SA-87	壺	250	—	—	—	ナゲノナゲノ洗し	工具ナゲ	良	良好	暗褐色	暗褐色
1137	SA-87	壺	270	—	—	—	粗織紗	工具ナゲ	白・黄・茶・少	中々	赤褐色	赤褐色
1138	SA-87	壺	490	位	—	—	非ミダケ	工具ナゲ	良	良	暗褐色	暗褐色
1139	SA-87	壺	208	位	—	—	ナゲノ工具ナゲノ洗し	工具ナゲ	良	良好	暗褐色	暗褐色
1140	SA-87	壺	490	位	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗織紗・白・黄	良	暗褐色	暗褐色
1141	SA-87	壺	—	—	—	—	ハナ	ハナケノ工具ナゲ	白・黄	良	暗褐色	暗褐色
1142	SA-87	壺	—	—	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白・茶・中々多	良	暗褐色	暗褐色
1143	SA-87	壺	—	53	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良	良	暗褐色	暗褐色
1144	SA-87	壺	—	75	—	—	工具ナゲノハナ	工具ナゲノハナ	白・少	良	暗褐色	暗褐色
1145	SA-87	壺	—	44	—	—	粗織紗	工具ナゲ	粗織紗・中々多・茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1146	SA-87	壺	—	80	—	—	粗織紗	工具ナゲ	粗織紗・少・白・茶・黄	良	暗褐色	暗褐色
1147	SA-87	壺	—	50	—	—	工具ナゲ	—	粗織紗・少	良	暗褐色	暗褐色
1148	SA-87	壺	—	90	—	—	工具ナゲ	—	白・茶・少	良	暗褐色	暗褐色

表 19 II～III区出土土器観察表 (15)

No.	出土地	種別・図	法量 (mm)		観察		胎土	施法	色調		備考	
			口径	底径	高さ	外面			内面	外面		内面
1119	SA-47	甕	—	50	—	上土ナゲ・ハタ	粗土ナゲ	白・黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗粉系・洗黄白	
1120	SA-47	甕	—	39	—	上土ナゲ・ハタ	上土ナゲ・ハタ	白・赤・黄	黄	洗粉・洗灰	増基系・洗灰	外土部: オコグサ
1121	SA-47	甕	—	82	—	巻いた上土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・白・少・黄	黄	洗粉系・洗灰	増基系・洗灰	
1122	SA-47	甕	—	71	—	ハタ・上土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・少	黄	洗灰・増基系	洗粉系・増基	
1123	SA-47	甕	—	115	—	ハタ・上土ナゲ	上土ナゲ	小織・白・赤・黄	黄	洗粉	洗粉系・洗灰	洗粉
1124	SA-47	甕	154	—	—	草七草	上土ナゲ・洗灰	黄	黄	増基系・洗粉	口縁: 磨熟, スズ	
1125	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	あまい	洗粉系・洗灰	洗灰・洗黄	頸部: 大径: 131
1126	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・少	中やあまい	洗粉	洗粉	外: 中やあまい
1127	SA-47	小壺	90	—	—	下土ナゲ	下土ナゲ	白・黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗灰	外: 中やあまい
1128	SA-47	小壺	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	あまい	洗粉	洗粉	外: 中やあまい
1129	SA-47	甕	79	—	1100	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	あまい	洗粉系・洗灰	洗灰	外下: 中やあまい
1130	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	下土ナゲ	白・赤・少	あまい	洗粉系	洗粉系	内外: 摩熟
1131	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	下土ナゲ	赤・少	中やあまい	増基系	洗粉系	腹面: 径: 123
1132	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	下土ナゲ	赤・黄	中やあまい	洗粉	洗粉系	外下: 山部: 摩熟
1133	SA-47	小壺	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗灰系・灰	頸部: 大径: 55
1134	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	中やあまい	洗粉系	洗粉系	腹面: 径: 91
1135	SA-47	鉢	90	50	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・少	黄	洗粉系・洗灰	洗粉系・洗黄	
1136	SA-47	鉢	120	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	黄	洗灰系・洗黄	洗灰	
1137	SA-47	小壺	60	30	42	巻いた上土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・赤・少	黄	洗粉	洗粉系	丹白か
1138	SA-47	鉢	200	—	—	上土ナゲ	草七草	白・赤・黄	あまい	洗粉	洗粉	
1139	SA-47	甕	—	—	—	粗土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・白・少	黄	洗粉系・洗灰 (底面)	洗粉	
1140	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・中やあまい	中やあまい	洗粉系・増基系・洗粉	洗粉	
1141	SA-47	杯	117	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・中やあまい	あまい	粗織	粗織系・洗粉	内外: 摩熟
1142	SA-47	甕	181	127	150	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗粉系・洗灰	内外: 洗粉系・洗黄
1143	SA-47	高杯	170	—	—	上土ナゲ	—	赤・中やあまい	あまい	粗織	粗織系・黄	内外: 摩熟
1144	SA-47	高杯	—	—	—	上土ナゲ	—	中やあまい	あまい	洗粉	洗粉系・灰	内外: 摩熟
1145	SA-47	高杯	212	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・中やあまい	あまい	洗粉	洗粉	内外: 摩熟
1146	SA-47	高杯	151	—	—	上土ナゲ・粗土ナゲ	下土ナゲ	粗織紗・白・黄	黄	洗粉系	洗粉	
1147	SA-47	高杯	—	121	—	上土ナゲ	上土ナゲ	上土ナゲ	中やあまい	洗粉	増基系	内外: 摩熟
1148	SA-47	高杯	—	150	—	粗土ナゲ	上土ナゲ	黄	黄	洗粉	洗粉系	
1149	SA-47	高杯	—	158	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・少	中やあまい	洗粉系・洗灰 (口部)	洗粉系・洗灰	
1150	SA-47	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・少・赤・黄	黄	増基系・洗粉	洗粉系・灰	腹面: 径: 122
1151	SA-47	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	中やあまい	洗粉	洗粉系・増基系	内外: 中やあまい
1152	SA-47	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	黄	洗粉	洗粉	
1153	SA-47	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	中やあまい	洗粉系	洗粉系	丹白: 摩熟, 粗織
1154	SA-47	高脚鉢	—	—	—	下土ナゲ	上土ナゲ	白・黄・赤・少	黄	洗粉	洗粉	丹白: 摩熟, 粗織
1155	SA-47	高脚鉢	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・少	中やあまい	洗粉系・洗粉	洗粉系	丹白: 摩熟, 粗織
1156	SA-47	小壺	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・少	中やあまい	洗粉	洗粉	
1157	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	あまい	洗粉系	粗織	内外: 摩熟
1158	SA-47	甕	231	—	—	—	—	赤・少	あまい	増基系・洗粉	増基系	内外: 洗粉系・洗灰
1159	SA-47	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	粗織紗・少・赤・黄	黄	洗灰	増基系	
1160	SA-47	甕	—	214	—	下土ナゲ	上土ナゲ	白・黄	黄	洗灰系・洗灰	洗灰系・洗灰	
1161	Ⅱ区内132	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄・赤・少	中やあまい	洗粉系 (丹白)	洗粉系	
1162	Ⅱ区内132	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・少	あまい	洗粉 (丹)	洗粉	
1163	Ⅱ区内132	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・少	黄	増基系・洗灰	洗粉系・洗灰	内外: 摩熟
1164	Ⅱ区内132	杯	115	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄・赤・少	中やあまい	洗粉系	洗粉系	
1165	Ⅱ区内132	杯	121	—	—	草七草	上土ナゲ	赤・少	中やあまい	洗粉 (丹)	洗粉系	内外: 摩熟
1166	Ⅱ区内132	小壺	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗灰	洗粉
1167	Ⅱ区内132	鉢	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗灰	洗粉
1168	Ⅱ区内132	高杯	—	100	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・中やあまい	あまい	洗粉系 (丹)	洗粉系	内外: 摩熟
1169	Ⅱ区内132	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・中やあまい	中やあまい	洗粉系 (丹)	洗粉系	内外: 摩熟
1170	Ⅱ区内132	高杯	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	赤・中やあまい	中やあまい	洗粉系 (丹)	洗粉系	内外: 摩熟
1201	SA-48	甕	—	—	—	草七草	下土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1202	SA-48	甕	—	—	—	草七草	下土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1203	SA-48	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1204	SA-48	甕	236	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1205	SA-48	甕	186	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1206	SA-48	甕	171	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1207	SA-48	甕	295	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1208	SA-48	甕	193	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1209	SA-48	甕	101	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1210	SA-48	甕	20	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1211	SA-48	甕	30	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	黄	良好	増基系	洗粉系	径: 200位
1212	SA-48	甕	400	—	—	ハタ・上土ナゲ	上土ナゲ	赤・黄・洗灰	良好	洗粉系	洗粉系	径: 200位
1213	SA-48	甕	—	8×42	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・赤・黄	黄	増基系・洗粉	洗粉系・洗灰	外土部: 洗粉系・洗灰
1214	SA-48	甕	—	—	—	下土ナゲ	上土ナゲ	白・粗織紗・少	黄	洗粉系・洗灰	洗粉系・洗灰	外: スズ
1215	SA-48	甕	—	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・少	中やあまい	増基系・洗粉系	洗粉系	外: スズ
1216	SA-48	甕	—	62	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄	中やあまい	増基系・洗粉系	洗粉系・洗灰	外: スズ
1217	SA-48	甕	90	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄	中やあまい	増基系・洗粉系	洗粉系・洗灰	外: スズ
1218	SA-48	甕	450	—	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・黄	中やあまい	増基系・洗粉系	洗粉系・洗灰	外: スズ
1219	SA-48	甕	—	59	—	粗土ナゲ	粗土ナゲ	粗織紗・中やあまい	中やあまい	洗粉系・洗灰	洗粉系・洗灰	外: スズ
1220	SA-48	甕	—	63	—	上土ナゲ	上土ナゲ	白・少	中やあまい	増基系・洗粉系	洗粉系	外: スズ

表 20 II～Ⅲ区出土土器観察表(16)

No.	出土層	器種	法量 (㎖)			測器		胎土	施文	色調		備考
			口徑	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1220	5A-08	甕	—	80	—	11.5×11.5×14	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・赤多、白・少	貝	淡黄～淡黄	淡黄～淡黄	
1221	5A-08	甕	—	63	—	縦Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ+ハット	赤・少、白・黄	貝	淡黄～淡黄	淡黄～淡黄	
1222	5A-08	甕	—	82×103	—	7.5×11.5×14	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・赤・白・赤多	中々赤土、淡黄赤～淡黄	淡黄	淡黄	内、割傷
1223	5A-08	甕	90	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	緑黄	淡黄赤～淡黄	
1224	5A-08	甕	95	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・黄	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	割傷大径=230 内、割傷
1225	5A-08	甕	103	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤土	中々赤土	淡黄赤～淡黄	淡黄	割傷大径=273
1226	5A-08	真鍮印付甕	138	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	赤土	淡黄	緑黄～淡黄	
1227	5A-08	小形甕	67	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	表面割傷=179
1228	5A-08	京原器 短頸甕	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・白・赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	
1229	5A-08	小形甕	58	25	90	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤土	中々赤土	淡黄～淡黄(淡黄)	淡黄	外底に、黒染
1230	5A-08	京原器 短頸甕	71	21×35	105	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・中々赤、白・少	中々赤土	淡黄～淡黄～黄	淡黄	底面割傷あり 内、割傷
1231	5A-08	小形甕	36	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	黄	淡黄	淡黄	割傷=中々割傷
1232	5A-08	内面赤染	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	中々赤土	赤染(内)	淡黄	内、割傷
1233	5A-08	甕	—	53	—	11.5×11.5×14	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・少、赤・黄	黄	淡黄～淡黄	淡黄	
1234	5A-08	甕	—	54×58	82-142	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・中々赤、赤・黄	黄	淡黄～淡黄～赤土	淡黄	打ち欠き割傷
1235	5A-08	甕	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	赤土	黄	淡黄	
1237	5A-08	甕	—	86	—	7.5×11.5×14	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	中々赤土	淡黄赤～淡黄	淡黄	内、割傷(長さ10×長さ1)
1238	5A-08	高杯	131	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄、赤・少	中々赤土	緑黄	淡黄	赤、黄、赤～赤黄
1239	5A-08	高杯	184	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・中々赤	中々赤土	淡黄	淡黄	赤赤～赤・淡黄～淡黄(内)割傷
1240	5A-08	高杯	186	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	赤土	赤黄	淡黄	割傷大径=180
1241	5A-08	高杯	211	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	中々赤土	淡黄赤～淡黄	淡黄～淡黄	淡黄、緑黄
1242	5A-08	高杯	216	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	緑、黄
1243	5A-08	甕	218	—	—	ハット	Ⅰ土器ナブ	白・赤	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	内、中々割傷
1244	5A-08	高杯	248	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷(長さ10×長さ1)
1245	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	中々赤土	淡黄	淡黄	赤赤～赤・淡黄～淡黄(内)割傷
1246	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	赤土	淡黄	淡黄	割傷大径=180
1247	5A-08	高杯	253	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄赤～淡黄	淡黄	割傷、黒染(内)、中々割傷
1248	5A-08	高杯	261-263	173	191	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄～淡黄～淡黄	淡黄～淡黄	割傷(淡黄、内)
1249	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、淡黄
1250	5A-08	高杯	—	120	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄、赤～赤・中々赤	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	内、淡黄、淡黄
1251	5A-08	高杯	—	143	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・少、赤・中々赤	赤土	淡黄	淡黄	割傷、淡黄～淡黄
1252	5A-08	高杯	—	111	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷、淡黄
1253	5A-08	高杯	—	165×155	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷、淡黄
1254	5A-08	高杯	—	167	166	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・少	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷(淡黄、淡黄)
1255	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	黄	淡黄	淡黄	割傷(淡黄、淡黄)
1256	5A-08	高杯	—	179	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷、淡黄
1257	5A-08	高杯	—	134	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・少、赤・黄	良好	淡黄～淡黄	淡黄	淡黄～淡黄
1258	5A-08	高杯	—	134	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	黄	淡黄	淡黄	淡黄～淡黄
1259	5A-08	高杯	—	125	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1260	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・少	黄	緑黄～淡黄	淡黄	割傷、淡黄
1261	5A-08	高杯	—	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	黄	淡黄～淡黄	淡黄	内、淡黄
1262	5A-08	甕	300	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1263	5A-08	甕	119	26	109	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	黄	淡黄～淡黄	淡黄	淡黄(長さ1)
1264	5A-08	鉢	135	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷(中々割傷)
1265	5A-08	鉢	135	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷(中々割傷)
1266	5A-08	鉢	139	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1267	5A-08	鉢	90×90	27	71	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1268	5A-08	鉢	111	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1269	5A-08	鉢	125	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄、赤・少	赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1270	5A-08	鉢	125	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1271	5A-08	鉢	125	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1272	5A-08	鉢	131	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1273	5A-08	鉢	131	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少、白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷
1274	5A-08	付付鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1275	5A-08	鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1276	5A-08	鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1277	5A-08	鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1278	5A-08	鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1279	5A-08	鉢	—	28×52	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	割傷
1280	5A-08	鉢	—	246	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤土	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1281	5A-08	鉢	267	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・赤・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1282	5A-08	鉢	266	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・少、赤・中々赤	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1283	5A-08	鉢	196	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・少	中々赤土	淡黄	淡黄	内、中々割傷
1284	5A-08	鉢	201	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	黄	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1285	5A-08	鉢	400	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・少	黄	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1286	5A-08	甕	400	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黄	黄	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1287	5A-08	甕	228	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・黄	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1288	5A-08	甕	232	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・黄	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1289	5A-08	甕	232	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・黄	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1290	5A-08	甕	232	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	黒褐色・白・黄	中々赤土	淡黄～淡黄	淡黄	外底に、赤染
1291	5A-08	鉢	30×30	—	—	Ⅰ土器ナブ	Ⅰ土器ナブ	白・黄	中々赤土	淡黄	淡黄	内、割傷(長さ1)

表 21 II～III区出土土器観察表 (17)

No.	出土地	種別・図	法量 (mm)			観察		胎土	焼成	色調		備考
			口徑	底徑	高さ	外面	内面			外面	内面	
1291	SA-49	甕	245	—	—	—	—	白・中々赤	中々赤い	淡黄緑～淡褐	基層～淡緑	
1292	SA-49	甕	267	—	—	—	—	黒線砂・白・白・黄	黒	淡黄緑・赤・赤黄	基層～淡緑	外：スス肌、擊滅
1293	SA-49	甕	—	—	—	—	—	黄	黄	淡黄緑	暗赤～暗赤黄	最大径：150位
1294	SA-49	甕	—	65 × 68	—	—	—	黒線砂・黄、白・白	中々赤い	淡黄緑	暗赤～暗赤・白	
1295	SA-49	小形甕	—	41	—	—	—	黄線砂・白・白・黄	中々赤い	暗黄緑	淡黄緑	
1296	SA-49	鉢	—	33	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑～淡赤	淡黄緑～基層	外：2層上～割石口内：黄・赤・白・黄
1297	SA-49	鉢	—	61	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	暗赤	
1298	SA-49	甕	—	69 × 72	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	
1299	SA-49	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1300	SA-49	甕	—	82	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1301	SA-49	小形甕	—	45	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	暗赤～暗赤	内：中々赤
1302	SA-49	甕	—	65	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑・暗赤	淡黄緑～淡黄緑	
1303	SA-49	甕	115	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	暗赤～暗赤	淡黄緑～基層	内：擊滅
1304	SA-49	甕	130	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑～淡黄緑	
1305	SA-49	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	最大径：49
1306	SA-49	甕	134	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	基層～少	淡黄緑	内：割石、黒い部分
1307	SA-49	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	中々赤い	淡黄緑～暗赤	外：擊滅
1308	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤 (内)	淡黄緑	割石最大径：32
1309	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	内：擊滅
1310	SA-49	高杯	221	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1311	SA-49	高杯	231	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：丹は薄い
1312	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	内：黄・白
1313	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	最大径：183
1314	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	3孔 (径4mm)
1315	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	
1316	SA-49	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1317	SA-49	高杯	—	159	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1318	SA-49	高杯	—	148	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	基つ
1319	SA-49	高杯	—	184	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	
1320	SA-49	鉢小形	—	89 × 50	—	—	—	工土ナダ	白・少	黄	暗赤 (白点)	口縁部：ハテ
1321	SA-50	甕	200位	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～中々赤	黄	
1322	SA-50	甕	200位	—	—	—	—	工土ナダ	黄	黄	暗赤～淡黄緑	
1323	SA-50	甕	350位	—	—	—	—	工土ナダ	黄	黄	暗赤～淡黄緑	外：スス肌
1324	SA-50	甕	197	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	黄	暗赤～淡黄緑	外：スス肌
1325	SA-50	鉢	164	—	—	—	—	工土ナダ	黄	黄	暗赤～淡黄緑	外：中々赤
1326	SA-50	甕	190	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～暗赤～淡黄緑	最大径：150
1327	SA-50	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～淡黄緑	淡赤	内：割石
1328	SA-50	甕	231	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	内：スス肌
1329	SA-50	高杯	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	内：スス肌
1330	SA-50	鉢	98 × 99	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	最大径：150
1331	SA-50	甕	400位	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	内口縁部、割石
1332	SK-102	甕	300位	—	—	—	—	工土ナダ	黄	基層～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：中々赤
1333	SK-102	甕	229	—	—	—	—	工土ナダ	黄	基層～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：中々赤
1334	SK-94	小形甕	58	—	—	—	—	工土ナダ	黄	淡黄緑	淡黄緑	外：中々赤
1335	SK-123	鉢小形	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	内：割石
1336	SK-91	甕	195	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	内：割石
1337	SK-103	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～暗赤	外：スス肌
1338	SK-95	甕	280	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1339	SK-95	甕	242	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1340	SK-95	甕	202	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1341	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	最大径：64 × 67
1342	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1343	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1344	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1345	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1346	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1347	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1348	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1349	SK-92	小形甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	黄	暗赤～基層	淡黄緑～淡黄緑	外：スス肌
1350	SK-180	甕	283	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1351	SK-180	甕	294	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1352	SK-180	甕	271	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1353	SK-180	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1354	SK-180	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1355	SK-180	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1356	SK-141	甕	200位	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1357	SK-141	甕	230位	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1358	SK-141	甕	430位	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1359	SK-141	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1360	SK-141	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌
1361	SK-141	甕	—	—	—	—	—	工土ナダ	中々赤い	淡黄緑	淡黄緑	外：スス肌

表 22 II～Ⅲ区出土土器観察表(18)

No.	出土地	期・季節	法量 (mm)			器型		胎土	構成	色調		備考
			口徑	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1362	SA-141	葉	142	69	—	1段+6-7段ナデ	土器ナデ	—	—	黄緑	—	—
1362	SA-141	葉	142	—	—	土器ナデ	土器ナデ	—	—	黄緑	—	—
1364	SA-141	鉢	155	—	—	—	土器ナデ	—	—	黄緑	—	—
1365	SA-141	小壺	60	—	—	—	土器ナデ	—	—	黄緑	—	—
1366	SA-141	小壺	—	23 × 29	—	1段+6-7段ナデ	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑帯・黄緑・黄緑	黄緑	—
1367	SA-141	高弁	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1368	SA-141	小壺	58	29	—	土器ナデ	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1369	SA-141	高弁	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1370	SA-141	肥子	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1371	SA-28	土器与玉	—	—	—	—	土器ナデ	—	—	黄緑	—	—
1372	藤沢 藤土	蓋	300	位	—	土器ナデ	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1373	SA-80	高弁	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1374	藤沢 藤土	蓋	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1375	藤沢 藤土	蓋	—	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1376	SA-103	高弁	300	位	—	土器ナデ	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1377	119 池田	高弁	350	位	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1378	119 池田	鉢	16 × 10	—	—	—	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—
1379	藤沢 藤土	葉	130	—	—	ナデ	土器ナデ	赤・黄	中々白土	黄緑	黄緑	—

表 23 鉄器観察表

No.	出土地	器種	法量 (mm)			備考
			長さ	幅	厚さ	
1380	SA-20	鉄刀	460	220	11.0	1416と同じ小
1381	SA-24	鉄鏃	22	14	3	—
1382	SA-28	鉄鏃	115	10	—	刃部長 1.3
1383	SA-30	鉄鏃	152	48	—	刃部長 1.32
1384	SA-30	鉄鏃	114	53	—	刃部長 1.32
1385	SA-30	鎌	93	47 × 61	7.5	赤錆・磨き
1386	SA-33	刀子	92	115	—	刃部長 1.51 厚削刃
1387	SA-31	鉄刀	91	79	—	刃部長 2.20
1388	SA-31	鉄刀	90	72	—	刃部長 1.93
1389	SA-32	小刀	25	21	—	鉄削刃
1390	SA-32	小刀	227	135	—	—
1391	SA-32	鉄鏃	124	117	—	柄部分あり
1392	SA-31	刀子	56.0	8 × 11	—	左側面に右側面に 1.5 × 20mm 欠損
1393	SA-34	鉄刀	—	—	—	27 × 12 × 22 × 0.8
1394	SA-34	鉄刀	29	21	3	—
1396	SA-35	鉄鏃	127	123	—	—
1396	SA-36	刀子	27	140	5	欠損
1397	SA-36	鉄鏃	261	163	—	欠損
1398	SA-36	鉄鏃	31	20	3	刃部長 1.13
1399	SK14	刀子	54	9	2	刃部長 1.35
1400	SA-36	刀子	253	13	5	刃部長 1.35

表 24 II～Ⅲ区出土土器観察表(19)

No.	出土地	期・季節	法量 (mm)			器型		胎土	構成	色調		備考
			口徑	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1422	102 藤子1 小川原 藤土	陶土器	294	—	—	白磁器	土器ナデナデ	粗磁粉・小礫・角礫	赤・少	黄緑帯・黄緑	黄緑帯・黄緑	—

表 25 玉類観察表

No.	出土遺構	種類	法量 (mm)			色調	
			長さ	径	厚さ		
1423	SA-33E	1C 磁	ガラス製玉	—	2.5	1.5	褐色
1425	SA-33E	1C 磁	ガラス製玉	—	2.5	0.8	褐色
1426	SA-36	1C 磁	ガラス製玉	—	1.3 × 1.6	3.4 × 2.7	褐色
1427	SA-40	1C 磁	ガラス製玉	—	2.5	1.0	赤緑・緑
1428	SA-46	漆器製玉	—	2.5	1.5	褐色	

表 26 II～Ⅲ区石器観察表(1)

No.	出土地	器種	法量 (mm)			器型	備考
			長さ	幅	厚さ		
1432	SA-69	石臼	1183	680	41 × 21	66	磁器製石臼
1434	SA-69	磁器製石臼	135	134	8	15	磁器製
1435	SA-10	磁石	1471	35	7 × 9	23	砂質磁石
1436	SA-10	石臼	190	148	3 × 41	2900	磁器製石臼
1437	SA-11	磁石	82	65	50	80	砂質磁石
1438	SA-13	磁石	1473	44	3 × 11	25	砂質磁石
1439	SA-13	磁石	115	75	2 × 25	32	高石
1440	SA-14	磁石	23	19	2 × 2	1.8	黄色磁石
1441	SA-14	磁石	82	150	20	82	磁石製
1442	SA-14	磁石	100	120	64	64	磁石製
1443	SA-18	磁石	298	81	41 × 15	1450	砂質磁石
1444	SA-18	磁石	123	118	4 × 7	1230	磁器製石臼

No.	出土遺構	種類	法量 (mm)			色調	
			長さ	幅	厚さ		
1429	SA-46	漆器製玉	—	4.4 × 4.5	0 × 3.2	褐色	
1430	SA-49	漆器製玉	—	4.4	2.8	褐色	
1431	SA-50	1C 磁	ガラス製玉	—	1.7	1.0	褐色
1432	SA-60	漆器製玉	13	5.3	—	褐色	

No.	出土地	器種	法量 (mm)			器型	備考
			長さ	幅	厚さ		
1445	SA-20	石臼	62	181	5	2.6	高石
1446	SA-20	磨石	24	32	36	183	砂質
1447	SA-20	磨石	23	173	1 × 1.5	2.3	黄色磁石
1448	SA-20	磨石	37	11	12	5.7	黄色磁石
1449	SA-20	磁石	159	50 × 40	44	12	黄色磁石
1450	SA-20	磁石	162	180	16	20	砂質
1451	SA-20	磁石	151	128	22	27	砂質
1452	SA-20	打割石	41	80	10	19	磁石製
1453	SA-20	磁石	165	170	13	80	磁石製
1454	SA-20	磁石	154	52	38 × 7	57	砂質磁石
1455	SA-20	磁石	171	64	38 × 7	75	砂質磁石
1456	SA-20	磁石	123	66	4 × 7	59	砂質

表 27 II-Ⅲ区石器観察表(2)

No.	出土地	群種	法量 (mm)	長さ (mm)	石材	備考		
1412	SA-20	礫石	65	40	51	砂質頁岩		
1413	SA-20	礫石	106	50	56	花崗岩		
1414	SA-20	礫石	136	80	56	花崗岩		
1415	SA-20	礫石	155	55	41	200	粗粒砂岩	
1416	SA-20	礫石	200	71	88	4000	砂質頁岩	
1417	SA-21	礫石	51(1)	20	17	41	黒色粘板岩	
1418	SA-21	礫石	70	20	17	41	砂質頁岩	
1419	SA-21	礫石	154(1)	120	17	21	砂岩	
1420	SA-22	礫石	153	36	20	17	砂岩	
1421	SA-22	礫石	111(1)	81	22	86	黒色粘板岩	
1422	SA-22	礫石	70(1)	63	33	33	粘板岩	
1423	SA-22	礫石	215	91	38	88	粗粒砂岩	
1424	SA-22	礫石	124	81	36	30	砂岩	
1425	SA-23	礫石	152(1)	17(1)	103	86	粗粒砂岩	
1426	SA-23	礫石	86	86	86	86	粗粒砂岩	
1427	SA-24	礫石	162(1)	130	103	103	砂岩	
1428	SA-24	礫石	163	60	40	63	黒色粘板岩	
1429	SA-24	礫石	168	63	40	63	砂岩	
1430	SA-24	礫石	202	80	52	68	74	粗粒砂岩
1431	SA-24	礫石	116	32	32	36	砂岩	
1432	SA-24	礫石	221	80	52	117(1)	砂岩	
1433	SA-25	礫石	113	113	3	6.7	黒曜石	
1434	SA-25	礫石	117	18	3	8	火山石	
1435	SA-25	礫石	32	32	8	153	粘板岩	
1436	SA-25	礫石	74	46	19	17	砂岩	
1437	SA-25	礫石	149	120	13	4	粗粒砂岩	
1438	SA-25	礫石	79	36	36	273	粗粒砂岩	
1439	SA-25	礫石	84	63	30	890	粗粒砂岩	
1440	SA-25	礫石	113(1)	153	10	270	砂岩	
1441	SA-25	礫石	114	82	80	900	粗粒砂岩	
1442	SA-25	礫石	116	80	42	360	赤石川沖積	
1443	SA-25	礫石	185	62	62	420	砂岩	
1444	SA-25	礫石	91	71	79	800	粗粒砂岩	
1445	SA-25	礫石	127(1)	103	103	300	砂岩	
1446	SA-25	礫石	130	140	74	1010	粗粒砂岩	
1447	SA-25	礫石	143	123	120	210	粗粒砂岩	
1448	SA-27	礫石	44	39	5	5.9	黒色粘板岩	
1449	SA-27	礫石	65	70	50	800	砂岩	
1450	SA-27	礫石	187(1)	160	143	300	粘板岩	
1451	SA-27	礫石	165	162	103	800	砂岩	
1452	SA-27	礫石	229	139	73	2550	砂岩	
1453	SA-28	礫石	229	143	15	2020	砂岩	
1454	SA-28	礫石	31	31	1.4	1.4	黒色石	
1455	SA-30	礫石	70	40	5	230	粘板岩	
1456	SA-30	礫石	116	59	50	260	粗粒砂岩	
1457	SA-30	礫石	95	24	19	49	砂岩	
1458	SA-30	礫石	160	153	103	103	砂岩	
1459	SA-30	礫石	161	120	165	800	粘板岩	
1460	SA-30	礫石	149	120	135	25	砂岩	
1461	SA-30	礫石	140	140	140	140	砂岩	
1462	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1463	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1464	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1465	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1466	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1467	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1468	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1469	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1470	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1471	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1472	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1473	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1474	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1475	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1476	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1477	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1478	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1479	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1480	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1481	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1482	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1483	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1484	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1485	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1486	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1487	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1488	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1489	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1490	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1491	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1492	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1493	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1494	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1495	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1496	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1497	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1498	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1499	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1500	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1501	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1502	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1503	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1504	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1505	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1506	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1507	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1508	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1509	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1510	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1511	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1512	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1513	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1514	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1515	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1516	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1517	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1518	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1519	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1520	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1521	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1522	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1523	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1524	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1525	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1526	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1527	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1528	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1529	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1530	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1531	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1532	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1533	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1534	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1535	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1536	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1537	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1538	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1539	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1540	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1541	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1542	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1543	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1544	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1545	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1546	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1547	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1548	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1549	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1550	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1551	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1552	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1553	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1554	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1555	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1556	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1557	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1558	SA-30	礫石	174	60	67	800	砂岩	
1559	SA-30	礫石	140	140	120	115	粗粒砂岩	
1560	SA-30	礫石	192	112	112	740	粗粒砂岩	
1561	SA-30	礫石	140	140	110	600	粗粒砂岩	
1562	SA-30	礫石	141	73	67	900	粗粒砂岩	
1563	SA-30	礫石	154	77	60	1000	砂岩	
1564	SA-30	礫石	181	54	65	280	砂岩	
1565	SA-30							

表 28 II～III区石器観察表(3)

No.	出土地	跡種	法量 (mm)			重さ (g)	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1599	SA-36	基面調整片	29	15	4	5.1	砂質頁岩	埋土・上面に光沢
1600	SA-36	基面調整片	31	7	6	1.5	板状石	下す光沢、全面磨蝕
1601	SA-36	板石	160(1)	17(1)	150(1)	38(1)	砂岩	
1602	SA-36	板石	60(1)	17(1)	113(1)	50	砂岩	横面磨蝕
1603	SA-36	板石	146(1)	122(1)	120(1)	17.5	砂質頁岩	上面平滑
1604	SA-36	返り割断片	142	76	8~15	600	砂岩	欠陥部一部調整
1605	SA-36	磨石	184(1)	172(1)	153(1)	291	磨蝕板状石	上下欠陥調整
1606	SA-36	打石	135	115	22	600	磨蝕板状石	断面に面状磨蝕
1607	SA-36	板石	190(1)	142(1)	190(1)	182	砂岩	横断面に磨蝕(表)
1608	SA-37	基面調整片	33	7	6	0.7	板状石	埋土・A面上・B面に光沢
1609	SA-37	基面調整片	130(1)	116(1)	10(1)	5.3	黒色頁岩	ほぼ全面光沢
1610	SA-37	基面調整片	56	18	8~13	16.4	砂岩	
1611	SA-37	板石	89	15~14	6	6~9	板状石	A面・突出部平滑
1612	SA-37	板石	136(1)	28	25	45.0	板状石	
1613	SA-37	板石	78	45	15	81	板状石	上面下部に最も平滑
1614	SA-37	磨石	75	61	31	275	磨蝕板状石	表面に磨蝕(裏面、下部磨蝕)
1615	SA-37	磨石	89	75	41	45	砂岩	A面磨蝕(裏面(板石の)
1616	SA-37	磨石	97	70	47	51	磨蝕板状石	下部磨蝕
1617	SA-37	返り割断片	221	76	8~18	2320	砂岩	A面・B面・C面・断面磨蝕
1618	SA-37	板石	150(1)	117(1)	122(1)	21	砂岩	上面に3方向磨蝕、少し磨蝕
1619	SA-37	板石	158(1)	145(1)	120(1)	92	砂岩	上面に面状磨蝕
1620	SA-37	打石	183	152	53	1000	磨蝕板状石	断面に赤色顔料
1621	SA-36 ~ 37	打石	322	230	76	9000	磨蝕板状石	表面に赤・黒・黄中央に赤色顔料
1622	SA-38	磨石	132	129	72	1090	磨蝕板状石	使用痕不明瞭
1623	SA-38	打石	73	44	5	21.4	板状石	断面に、縦断面に(湖灰色)
1624	SA-38	磨石	238	79	68	1890	砂岩	断面に磨蝕して使用痕に磨蝕、下部面に江崎産
1625	SA-38	板石	190(1)	196(1)	153(1)	138	砂岩	埋土に全て丸み
1626	SA-38	板石	114	96	35~9	830	砂岩	埋土に全て丸み
1627	SA-40	多面体磨石	135	72	100	438	砂岩	磨蝕片、板石(A面)、磨石(B磨石)、磨石
1628	SA-40	磨石	140(1)	134(1)	128(1)	50	砂岩	全面平滑
1629	SA-40	板石	30	15	10	7.3	板状石	全面平滑
1630	SA-40	基面調整片	31	6.5	7	2.3	黒色頁岩	上す光沢、下部中央光沢
1631	SA-40	基面調整片	32	29	4	36	黒色板状石	全面中央平ら
1632	SA-40	基面調整片	87	26	19	39	砂岩	上面平滑
1633	SA-40	磨石	162(1)	143(1)	111(1)	35	砂岩	
1634	SA-40	刀頭	81	60	10	54	板状石	A面上に断面に半円状角角
1635	SA-40	板石	127(1)	121(1)	30	30	赤色頁岩	両面平滑
1636	SA-40	板石	95	33	10~11	93	砂岩	上面中央平ら
1637	SA-40	板石	193(1)	180(1)	138(1)	63	砂岩	横断面調整
1638	SA-40	板石	191(1)	115(1)	112(1)	112	板状石(硬)	横断面も使用
1639	SA-40	多面体磨石	145(1)	141(1)	23	238	板状石	
1640	SA-40	板石	185	62	25~31	510	板状石	両面平滑・光沢
1641	SA-40	板石	79	65	50	38(1)	砂岩	少し使用
1642	SA-40	打石	114(1)	104(1)	130(1)	780	磨蝕板状石	右側面平滑、A面磨蝕
1643	SA-40	磨石	193(1)	180(1)	52	382	硬砂岩	埋土に丸み、前面磨蝕
1644	SA-40	返り割断片	111(1)	63	15(1)	600	砂岩	A面の丸み
1645	SA-40	返り割断片	106(1)	89	13(1)	880	砂岩	表面に磨蝕
1646	SA-40	磨石	207	65	8~12	1220	砂岩	
1647	SA-40	返り割断片	119(1)	171(1)	160(1)	810	砂岩	断面・先端平滑、埋土に丸み、下部欠陥調整
1648	SA-41	基面調整片	25	9	3~7	2.1	黒色板状石	
1649	SA-41	返り割断片	182	74	41	600	砂岩	
1650	SA-41	磨石	76	58	37	250	磨蝕板状石	断面に磨蝕
1651	SA-42	磨石	116(1)	98	69	730	磨蝕板状石	
1652	SA-42	板石	30	17(1)	23	40	黒色頁岩	両面光沢

No.	出土地	跡種	法量 (mm)			重さ (g)	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1653	SA-42	板石	146(1)	27	17(1)	20	板状石	
1654	SA-42	打石	292	193	45	2910	磨蝕板状石	
1655	SA-42	磨石	170	23	21	61	砂岩	前面に磨蝕
1656	SA-42 ~ 43 ~ 44	不明	415	128	5	15.9	板状石	
1657	SA-44	基面調整片	137(1)	113(1)	15(1)	15	砂岩	表面以外使用
1658	SA-44	板石	128	73	32	41	砂岩	全面使用
1659	SA-44	磨石	156(1)	89~136	58	960	砂岩	
1660	SA-46	磨石	163	16	2~3	0.9	板状石	
1661	SA-46	磨石	34	8	5~6	3.4	板状石	両端使用
1662	SA-46	板石	46	134(1)	6~9	20	砂岩	
1663	SA-46	板石	41	121(1)	12	25	板状石	
1664	SA-46	磨石	191(1)	175(1)	8(1)	620	磨蝕板状石	
1665	SA-46	板石	103(1)	101~18	137	砂岩		
1666	SA-47	磨石	30	114	19	4	黒色頁岩	ほぼ全面光沢
1667	SA-47	基面調整片	49	7~8	1~1.5	6.3	砂質頁岩	上平ら中央平ら
1668	SA-47	基面調整片	67	8~10	10~13	18	砂岩	埋土に全て丸み
1669	SA-47	板石	123(1)	110(1)	17(1)	37	板状石	
1670	SA-47	基面調整片	42	1~1.5	4~4	4.2	板状石	上面のみ使用
1671	SA-47	磨石	58	24	6	12	板状石	上面以外全面使用
1672	SA-47	磨石	80	78	50	500	砂岩	
1673	SA-47	板石	36	27	8(1)	3.8	板状石	
1674	SA-47	磨石	67	60	120(1)	173	磨石	
1675	SA-47	磨石	83	65	56	425	砂岩	A面上に右側面に主要面
1676	SA-47	板石	119(1)	163(1)	8~10	298	磨蝕片	中央平ら
1677	SA-47	板石	156	112	28	690	砂質頁岩	
1678	SA-47	板石	116(8)	120(1)	12(1)	63	砂岩	断面に磨蝕
1679	SA-47	磨石	114(1)	65	14	52	磨蝕板状石	
1680	SA-47	磨石	182(1)	163(1)	50	340	砂岩	段状磨蝕
1681	SA-47	磨石	154	64	11~2	75	砂岩	埋土に全て磨蝕
1682	SA-47	磨石	178	84	56	1090	砂岩	
1683	SA-48	石製平盤	18	16	3	7	木製	断面調整なし
1684	SA-48	板石	80	38	11~12	59	砂岩	断面に磨蝕調整
1685	SA-49	磨石	156	25~10	11~2	620	砂岩	埋土に全て丸み
1686	SA-49	磨石	156	121	25~8	680	磨蝕板状石	埋土に断面に全て丸み
1687	SA-49	磨石	150	38~11	28~12	420	砂岩	埋土に全て丸み
1688	SA-49	磨石	191	83	56	1060	磨蝕板状石	全面磨蝕
1689	SA-49	磨石	203	21	2	1.7	板状石	
1690	SA-49	磨石	47	16	11	11.4	板状石	
1691	SA-49	打石(板状石) 磨石(石)	191(1)	175(1)	15~17	820	磨蝕板状石	
1692	SA-49	磨石	178	120	18	1120	磨蝕板状石(砂岩)	
1693	SA-49	磨石	169	11	25~30	330	砂岩	断面に磨蝕も使用
1694	SA-49	磨石	146	72	15~8	590	砂質頁岩	
1695	SA-49	磨石	158	75	11	700	砂岩	埋土に磨蝕、磨蝕
1696	SA-49	磨石	174	57	50	700	砂岩	埋土に丸み、前面磨蝕
1697	SA-49	磨石	183	91	68	1320	磨蝕板状石	
1698	SA-50	石製平盤	110(1)	100	3	0.2	黒色石	
1699	SA-50	磨石	118(1)	18(1)	15(1)	1.2	黒色板状石	中央丸み(石)
1700	SA-50	磨石	121(1)	21(1)	2.1~2.7	1.8	板状石	中央丸み(石)
1701	SA-50	磨石	122(1)	23	2.1~2.7	2	板状石	中央丸み、磨蝕(表)
1702	SA-51	打石	29	19	9	2.3	板状石	先丸み、右上・基部磨蝕
1703	SA-51	磨石	36	27	6~8	11.4	板状石(板状石)	磨蝕痕あり
1704	SA-51	打石	89	28~11	1~5	13.5	砂質頁岩	断面に左側面に使用、中央のみ平滑
1705	SA-51	打石	76	62	6~7	42	板状石	上面に半円状、右側面に丸み、磨蝕板状石の石核あり

第4章 柗野第1遺跡出土品の自然科学分析報告

株式会社古環境研究所

I. 蛍光X線分析（非破壊）

1. はじめに

えびの市大字東長江浦字中原に所在する柗野第1遺跡より出土した遺物について、蛍光X線分析による元素分析を行い、材質の検討を行った。

2. 試料と方法

分析対象は、住居跡より出土した6点の遺物である（表1、図版1）。分析No.1は、14号住居より出土した鍛冶炉内の灰色付着物である。分析No.2、3は、17号住居および31号住居より出土した鉋滓である。分析No.4～6は、34号住居、35B号住居、49号住居より出土した小玉である。各遺物について、非破壊で蛍光X線分析を行った。なお、分析No.1の鍛冶炉内の灰色付着物については、比較対象として、周囲の褐色土も測定した。

表1 分析対象一覧

No.	出土遺構	遺物番号	分類	備考
1	14号住居	Z-246	鍛冶炉内灰色付着物	周囲の褐色土と比較
2	17号住居	Z-243	鉋滓	磁着あり
3	31号住居	Z-400	鉋滓	磁着あり
4	34号住居	Z-545	小玉	褐色
5	35B号住居	Z-656	小玉	赤色
6	49号住居	Z-674	小玉	黒灰色

分析装置は、分析No.1については株式会社堀場製作所製分析顕微鏡 XGT-5000Type II を、分析No.2～6についてはエスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計 SEA1200VX を使用した。分析No.1の測定条件は、管電圧 50kV、管電流自動設定、照射径 100 μm に設定し、試料室内雰囲気は大気である。分析No.2、3の測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが 15kV（一次フィルタ無し）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の計3条件で、測定時間は各条件 500～1000s、管電流自動設定、照射径 8mm、試料室内雰囲気真空に設定した。分析No.4～6の測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが 15kV（一次フィルタ無し）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の計3条件で、測定時間は各条件 500～1500s、管電流自動設定、照射径 1mm、試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は、いずれの試料も酸化物の形で算出し、ノンスタンダード FP 法による半定量分析を行った。

3. 分析結果

蛍光X線分析により得られた半定量値を表2に示す。分析の結果、ナトリウム (Na₂O)、マグネシウム (MgO)、アルミニウム (Al₂O₃)、ケイ素 (SiO₂)、リン (P₂O₅)、硫黄 (SO₂)、カリウム (K₂O)、カルシウム (CaO)、チタン (TiO₂)、クロム (Cr₂O₃)、マンガン (MnO)、鉄 (Fe₂O₃)、銅 (CuO)、亜鉛 (ZnO)、

ヒ素 (As_2O_3)、ルビジウム (Rb_2O)、ストロンチウム (SrO)、イットリウム (Y_2O_3)、ジルコニウム (ZrO_2)、モリブデン (MoO_3)、スズ (SnO_2)、バリウム (BaO)、鉛 (PbO) の合計 23 元素が検出された。

表2 半定量分析結果 (mass%)

No.	分類	Na ₂ O	K ₂ O	Al ₂ O ₃	SiO ₂	Fe ₂ O ₃	CaO	TiO ₂	Cr ₂ O ₃	BaO	Fe ₃ O ₄	ZnO	ZrO ₂	As ₂ O ₃	Rb ₂ O	SrO	Y ₂ O ₃	ZrO ₂	MoO ₃	SnO ₂	PbO	P ₂ O ₅	
1	灰色部	—	—	28.98	48.16	—	0.94	2.51	1.60	0.25	15.45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	褐色土	—	—	25.44	44.11	—	1.36	1.13	1.79	—	0.47	17.76	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	鉛滓	—	0.37	6.65	16.65	0.37	0.28	0.42	0.55	0.01	0.05	96.60	—	—	—	0.01	—	0.01	0.01	—	—	0.02	
4	鐵	—	0.35	12.16	13.91	0.53	0.35	0.35	0.31	0.33	—	0.04	71.82	0.01	0.01	—	—	—	—	—	—	—	
5	小玉	—	0.52	19.61	27.82	0.77	0.44	0.96	0.54	0.53	0.04	0.05	46.87	0.02	0.02	0.63	0.01	0.01	0.01	0.02	—	0.03	0.06
6	炭灰	2.98	0.44	9.01	72.02	0.41	0.23	2.26	1.94	0.69	—	0.18	2.97	0.34	0.04	—	0.01	0.07	0.01	0.26	—	0.29	0.45
6	炭灰	24.90	24.87	21.99	0.59	0.10	0.08	0.43	0.92	—	0.53	15.45	—	0.04	—	—	0.01	0.01	0.07	—	—	—	

4. 考察

(1) 分析No.1 鍛冶炉内灰色付着物

灰色付着物は、比較対象として測定した褐色土とよく似た化学組成で、それほど大きな差はみられず、材質の特定ができなかった。ただ、若干ではあるが灰色付着物の方がカルシウム (CaO) の含有量が多く、灰に由来する可能性がある。

(2) 分析No.2、3 鉛滓

いずれも鉄が酸化物 (Fe_2O_3) 換算で70%以上と高い割合で検出された。非破壊のため鉱物組織は不明だが、チタン (TiO_2) の含有量は少なく、鍛錬鉛滓である可能性が考えられる。

(3) 分析No.4～6 小玉

分析No.4の褐色の小玉は、その外観から土製品の可能性が考えられたが、分析の結果、鉄 (Fe_2O_3) の含有量がかなり多く、典型的な土製品の化学組成とは異なっていた。実体顕微鏡で観察すると、表面状態が悪く明瞭ではないが、小口面は比較的平坦であるものの、端部から側面はやや丸みを持ち、厚さに偏りがある。これらの特徴は、石製品のような硬質の物質の整形というよりも、ガラス製品の製作技法による整形のように思われる。

分析No.5の赤色の小玉は、不透明で内部は観察できないが、孔に対して平行な筋状の模様を観察された。ガラス製品である。ガラスを管状に引き伸ばした後、管を切って製作する引き伸ばし法(管切り法)により製作されたと考えられる。分析の結果、アルミニウム (Al_2O_3) の量がガラス製品にしては多く、カルシウム (CaO) をある程度含有し、ルビジウム (Rb_2O) が少なく、ストロンチウム (SrO) とジルコニウム (ZrO_2) が比較的多いなどの特徴により、基礎ガラスはアルミナソーダ石灰ガラス ($Na_2O-Al_2O_3-CaO-SiO_2$ 系) に属すると考えられる。なお、主成分のひとつであるナトリウム (Na_2O) は、分析結果では含有量がそれほど多くなかったが、風化の影響を受けやすい元素である点や、蛍光X線での感度の悪い元素である点を考慮して、上述の他の元素の組成よりアルミナソーダ石灰ガラスと判断した。また、銅 (CuO) が比較的多く検出された。古代ガラスの着色は、遷移金属イオンによる着色が多いが、分析No.5のような赤色不透明の着色は、いわゆる銅赤と呼ば

れる、金属銅 (Cu) あるいは酸化第一銅 (Cu_2O) がガラス中にコロイド状態となって分散することで発色している。

分析No.6 の黒灰色の小玉は、外形が直線的であり、研磨により整形された石製品である。マグネシウム (MgO) が多く、滑石や蛇紋岩の類と考えられる。

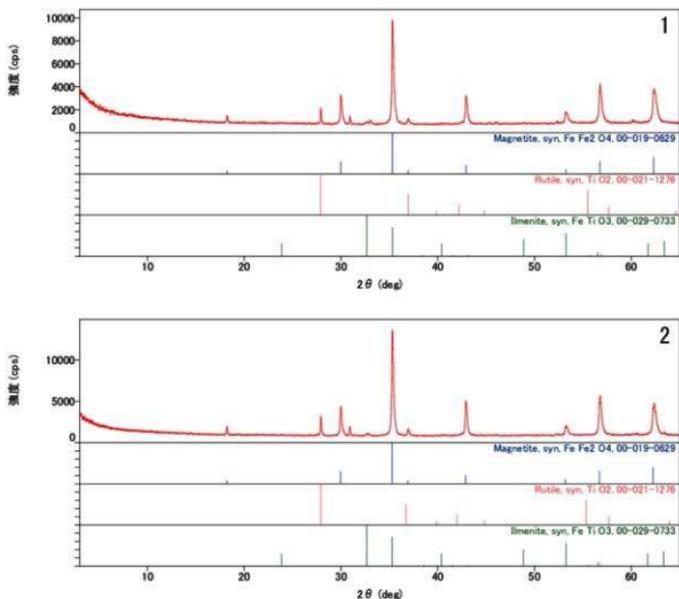


図1 X線回折分析結果 (右上数字は分析No.)

II. 蛍光X線分析・X線回折分析

1. はじめに

えびの市大宇東長江浦宇中原に所在する柵野第1遺跡より出土した黒色物について、成分分析を行った。

2. 試料と方法

分析対象は、住居跡の火処より出土した黒色物2点である(表1、図版1)。

磁着のある砂状の黒色物で、砂鉄や鉄屑の可能性が考えられている。実体顕

微鏡による観察の後、蛍光X線分析とX線回折分析を実施した。

表1 分析対象

No	出土遺構	遺物番号	層位	備考
1	40号住居火処	Z-649	黒色塵土	磁着のある黒色物
2	47号住居火処	Z-665	黒色塵土	磁着のある黒色物

1) 蛍光X線分析

蛍光X線分析は、マイラーフィルムを張った試料ホルダに試料を入れて測定した。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製エネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置は、X線管が最大50kV、1000 μ Aのロジウム(Rh)ターゲット、X線照射径が8mmまたは1mm、X線検出器はSDD検出器(VorteX)である。この装置は、複数の一次フィルタが内蔵されており、適宜選択、挿入することでS/N比の改善が図れる。検出可能元素はナトリウム(Na)～ウラン(U)であるが、蛍光X線分析装置の性質上、軽元素の感度が若干低く、特に定量分析におけるナトリウムの測定精度は低い。測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが15kV(一次フィルタ無し・Cl測定用)・50kV(一次フィルタPb測定用・Cd測定用)の4条件で、測定時間は各条件500～1000s、管電流自動設定、照射径8mm、試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は、酸化物の形で算出し、ノンスタンダードFP法による半定量分析を行った。

2) X線回折分析

X線回折分析は、少量採取してメノウ乳鉢でよく粉砕した試料を、無反射試料板に充填し、不定方位試料として測定した。

分析装置は、株式会社リガク製X線回折装置MiniFlex600を使用した。装置は、X線管が銅(Cu)ターゲット、検出器が一次元半導体検出器(D/teX Ultra)を使用している。測定条件は、40kV、15mA、走査速度2deg/min、ステップ幅0.02deg、走査範囲3～65deg、蛍光X線軽減モードに設定し、回転試料台で試料を回転させつつ測定した。

3. 結果

1) 蛍光 X 線分析

蛍光 X 線分析により得られた半定量分析結果を表 2 に示す。

分析の結果、いずれの試料もマグネシウム (MgO)、アルミニウム (Al₂O₃)、ケイ素 (SiO₂)、リン (P₂O₅)、硫黄 (SO₃)、カリウム (K₂O)、カルシウム (CaO)、チタン (TiO₂)、クロム (Cr₂O₃)、マンガン (MnO)、鉄 (Fe₂O₃)、亜鉛 (ZnO)、ジルコニウム (ZrO₂) の 13 元素が検出された。

表 2 蛍光 X 線半定量分析結果 (mass%)

No.	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	SO ₃	K ₂ O	CaO	TiO ₂	Cr ₂ O ₃	MnO	Fe ₂ O ₃	ZnO	ZrO ₂
1	1.62	5.36	9.95	0.38	0.16	0.12	0.35	7.30	0.11	0.47	74.08	0.09	0.01
2	1.41	5.87	8.86	0.41	0.16	0.14	0.37	7.46	0.12	0.50	74.60	0.08	0.01

2) X 線回折分析

X 線回折分析により得られた回折パターンを図 1 に、
検出された鉱物を表 3 に示す。

分析の結果、いずれの試料も磁鉄鉱 (Magnetite、
Fe₃O₄) のピークが極めて明瞭に検出され、ほかにル
チル (Rutile、TiO₂)、イルメナイト (Ilmenite、FeTiO₃) とみられるピークが検出された。

表 3 X 線回折分析による検出鉱物一覧

No.	磁鉄鉱	ルチル	イルメナイト
1	◎	△	△
2	◎	△	△

◎：よく一致するピークを検出 △：自顕性低い

4. 考察

実体顕微鏡観察では、黒色物は不定形粒子であったが、一部結晶面を持つ黒色粒子も観察された。蛍光 X 線分析では鉄 (Fe₂O₃)、チタン (TiO₂) が多く検出され、X 線回折でも磁鉄鉱やチタンを含む鉱物が検出された。

以上の特徴は、鉄錆とは明らかに異なる特徴であり、これらの黒色物は砂鉄である。

III. 放射性炭素年代測定

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (¹⁴C) の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約 5 万年前までの年代測定が可能である (中村, 2003)。

ここでは、終野第 1 遺跡で出土した遺構の構築年代を明らかにする目的で放射性炭素年代測定を行った。

2. 試料と方法

測定試料は、14号住居で出土した土師器甕の外面上に付着した炭化物（スス）1点である。表1に、測定試料の詳細と前処理・調整法および測定法を示す。

1) 化学処理

試料の付着物を取り除いた後、酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1mol/l (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と結果表に記載する。

化学処理後の試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO₂) を発生させ、真空ラインで二酸化炭素を精製する。精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

2) 測定方法

加速器をベースとした ¹⁴C-AMS 専用装置を使用し、¹⁴C の計数、¹³C 濃度 (¹³C/¹²C)、¹⁴C 濃度 (¹⁴C/¹²C) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。δ ¹³C は、試料炭素の ¹³C 濃度 (¹³C/¹²C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である。

表1 測定試料及び処理

試料番号	試料の詳細	試料	前処理・調整	測定法
No.1	14号住居・B-256	炭化物	酸-アルカリ-酸処理 (AaA)	AMS

※ AMS (Accelerator Mass Spectrometry) は加速器質量分析法

3. 結果

加速器質量分析法 (AMS: Accelerator Mass Spectrometry) によって得られた ¹⁴C 濃度について同位体分別効果の補正を行い、放射性炭素 (¹⁴C) 年代および暦年代 (較正年代) を算出した。表2にこれらの結果を示し、図1に暦年較正結果 (較正曲線) を示す。

¹⁴C 年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中 ¹⁴C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach, 1977)。¹⁴C 年代は δ ¹³C によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を結果表に示す。¹⁴C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、¹⁴C 年代の誤差 (±1σ) は、試料の ¹⁴C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。

暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ¹⁴C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ¹⁴C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、¹⁴C 年代に対応

する校正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma = 68.3\%$) あるいは2 標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年校正年代を表す。暦年校正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、校正曲線および校正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年校正年代の計算に、IntCal20 データベース (Reimer et al., 2020) を使い、OxCalv4.4 校正プログラム (Bronk Ramsey, 2009) を使用する。暦年校正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて校正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」・「cal BP」という単位で表される。

表2 測定結果

試料番号	測定% (1AAA-)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年校正用年代 (年BP)	^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 (西暦)	
					1 σ (68.3%確率)	2 σ (95.4%確率)
No.1	201473	-26.64 \pm 0.21	1781 \pm 24	1780 \pm 20	240 calAD-255 calAD (18.1%) 286 calAD-325 calAD (50.2%)	220 calAD-263 calAD (30.0%) 276 calAD-344 calAD (65.5%)

BP: Before Physics (Present), AD: 紀元

4. 所見

柵野第1遺跡で出土した14号住居の構築年代を検討する目的で、出土した土師器甕の外面に付着した炭化物 (スス) を対象として加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定を行った。測定の結果、補正 ^{14}C 年代は1780 \pm 20年BP、2 σ の暦年補正値は220 calAD-263 calAD (30.0%)、276 calAD-344 calAD (65.5%) であった。

参考文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51 (1), 337-360
- Reimer, P.J. et al. 2020 The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP), *Radiocarbon* 62 (4), 725-757
- Sakamoto, M., Imamura, M., van der Plicht, J., Mitsutani, T., Sahara, M.: Radiocarbon calibration for Japanese wood samples. *Radiocarbon*, 45 (1), 81-89, 200a.
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19 (3), 355-

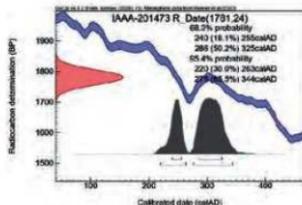
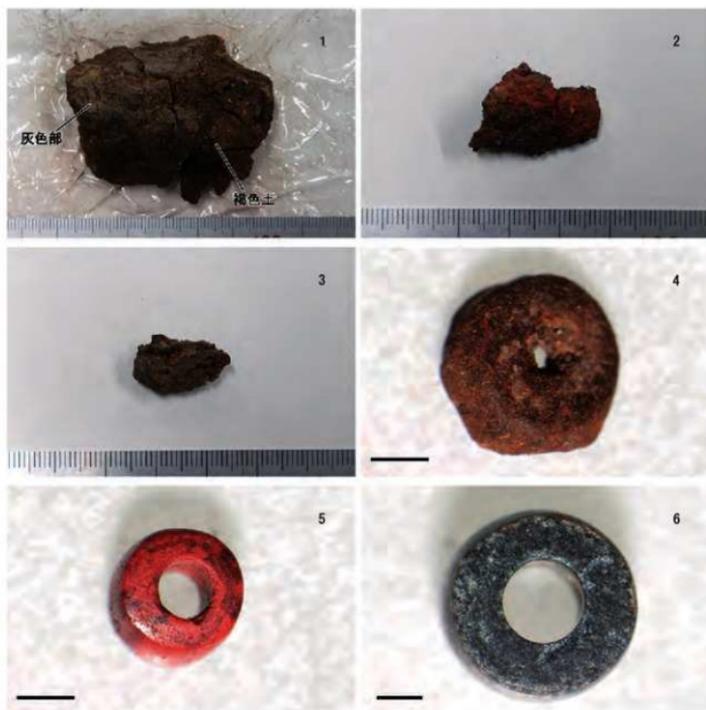
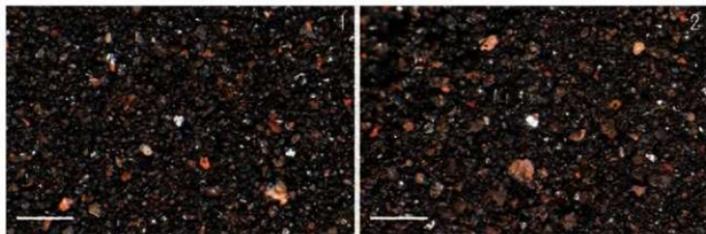


図1 暦年校正図



図版 1 分析対象遺物（右上数字は分析No、分析No.4～6のスケールは1mm）



図版 2 分析対象の実体顕微鏡写真（右上数字は分析No、スケールは1mm）

第5章 まとめ

縄文早期、Ⅲ区で土器や石鏃が出土したが、遺構は未検出である。中期から晩期にかけて、少量の土器片が出土したが、実体は不明である。

弥生中期、須久式の赤彩土器を伴う溝状遺構1条を検出。中期後半、黒髮式土器を伴う時期の竪穴建物(SA-01・07)は市内初である。この他は、古墳前期が主で、Ⅲ区では、中期後半まで続く集落であり、小木原地下式横穴墓群の初源期から中期まで(木棺墓・木蓋土壇墓・横口式土壇墓・板石積石棺墓および竪坑閉塞タイプの地下式横穴墓)営んだ人々の拠点であったことが判明した。

以下、遺構・遺物についてまとめる。

竪穴建物 弥生終末～古墳前期(庄内式並行)が最も多く、規模が大きい。長径8～10mのものも多く、深い。SA-14は鍛冶炉を伴う工房であるが、実体は不明である。鍛冶炉は前期後半であり、県内最古級の遺構である。SA-25の内区は柱穴を掘る前に床面が焼かれており、湿気対策と推定されるが、工房を想定させる遺物は敲石しかない。SA-36と47には、堅緻な貼土するためのクサリ礫塊を採掘した土坑を有する(採掘後に埋め戻している)。覆土は堅く、流入遺物も少ない遺構が多く、床直の良好な一括遺物は無いが、埋没途中の一括として捉えられるのは04・28・30・48号の4基である。

地下式土壇墓 Ⅰ区の北東部で検出した、竪坑が円形で、羨道は無く、いわゆる小型形式の地下式横穴墓と呼称するには違和感があり、近世～近代の可能性もあり、地下式土壇墓として扱う。

土坑 弥生後期～古墳中期の土坑は、Ⅰ区のSA-03周辺以外は散在して検出され、その殆どは不要物廃棄坑と思われる。

縄文土器 SA-30内のサブトレンチVI層から出土した当遺跡最古の前平式土器1と、後晩期の土器片が僅かに出土している。小型の打製石鏃は早期主体で、少量の打製石斧は後晩期である。

弥生土器 Ⅰ区で中期後半・須久式の赤彩文磨研土器や黒髮式土器が出土し、小規模な定住が始まる。終末から古墳中期にかけて成川系の中津野式～東原式土器が主体となる。

土師器 古墳時代前期後半以降、小型壺や埴、ミニチュアが伴い、中期以降ミガキ調整になり、微量の丹塗土器が出土する。

須恵器 市内遺跡と共通し、古墳後期前半までの須恵器は極く少量しか出土しない。

鉄器 (第116・117図) 1419は清掃時の出土で帰属遺構は不明であるが、古墳前期の無茎長三角形鏃の未製・失敗品と思われる、左の逆刺が未完成で、両側辺の刃を砥ぎ出す前に上半を欠損している。1418は、古代～中世の可能性もあるが、同時期の土器は皆無であることから、SA-32か34～37のいずれかに帰属する。鉄鏃は基部のみが多く、サンプリングエラーが多い。整品ではない1380、1389、1390、1393、1394、1404、1412、1416、1420、1421は鉄片であり、小鍛冶の素材として持ち込まれたものと考えられる。ミニチュア刀子に類似するタイプは、島内14・20・21・24号地下式横穴墓にみられるが、関連性を問うにはまだ資料不足である。

鋳造鉄斧は市内2例目の出土で、1例は妙見遺跡の2号住居出土品⁽¹⁾で、上面に4条の突帯があり

バリが付いたままである。南九州では、他には、鹿児島県大崎町の伝・双子塚出土品 2 例⁽³²⁾が知られているのみである。鉄器の素材として截断されているのは、終野第 1 号遺跡出土例のみである。

装身具 ガラス小玉 5 と滑石製白玉 3、碧玉製管玉 1 が出土したが、1 c 層水洗選別の成果が大きい。

鍛冶関係 鍛冶炉と鋳滓、鍛造剥片、粒状滓が出土したのは SA-14 のみであるが、SA-03 と 17・25 の焼土と炭の量は小鍛冶を推定させる。SA-25 の 457 は鑪の専用羽口の可能性がある。SA-37 の 1016 は被熱しており、唯一、高坏転用鑪の羽口として断定できるものである。高坏の脚の中心に小さく穿孔したものが 4 点 (SA-47 の 1183 と 1184、SA-48 の 1254 と 1261) あるが、被熱していない。SA-30 の 655 は全面被熱発泡しており、高温にさらされたことを示している。又、壺底部転用の 656 は周縁加工を施し、内面が弾けているので取瓶と推定している。

火処の 1 c 層は、土嚢袋に平均 2 袋ほどを持ち帰り、水洗選別し、ほぼ例外なく、小土器片、小礫、粗砂、細砂～微砂、炭粒として砂鉄を検出した。自然採取の持ち込み砂鉄なのか、鉄器製作～刃部再生時の削り屑 (鉄粉) なのか知るためにこれも自然科学的分析に委託した。その結果、砂鉄であることがわかった (第 4 章)。砂粒は加久藤溶結凝灰岩の風化粒で、土器用粘土の混和材 (川砂) ではない。SA-18・34・35 c・40・49 および SK-141 から鍛造剥片が出土しており、何らかの小鍛冶が想定される。砂鉄利用の鍛冶が古墳前期までは潮らないはずなので、何のために砂鉄を持ち込んでいるのか不明である。唯一、古墳前期中葉の雪野山古墳の矢の本別に塗布されている例 (つや消し・滑り止め)⁽³³⁾があるものの、資料不足である。なお、鍛造剥片については筆者の目視であり、科学的分析はしていないので、鉄滓皮もふくんでいると思われる。

石器 小型の圭頭鎌を模倣したものや無刃の類似品、黒色粘板岩製の器面調整具か極小極部砥石状石器が目立つ。長さ 15～20 cm 前後の棒状編物石の稜は摩滅・変色している。出土数が少ないのは、再利用しているためと思われる。又、その多くは砂岩で、砥石としても使われている。棒状石を錘としてヨシヤワラ、カヤ、竹などで編んだと推定する。1 本のタテ紐を両下端に巻き付けた錘を交互に交差して締めながら 1 本ずつ編むことと、大きな石が密にならない状況を想定すると、ムシロヤテゴ等ではなく、間隔の広いコモヤ依、ヨシズなどを編んだと思われる。なお、市内では 5 遺跡 16 堅穴建物から出土している⁽³⁴⁾。石包丁は 3 点しか出土していない。挟入柱状片刃石斧は、市内 2 例目である。

自然遺物 炭化堅果類はサンプリングエラーが多いと思われるが、シイ類が SA-03・04・06・17・18、46・48・50 から、モモ核が SA-01・14・15・20・25・28・30・34～37・48 から、クリが SA-30 から 2 個出土しており、副食・保存食として採取していたと推定される。

朱あるいは朱混ベングラ、ベングラ混朱、ベングラの粒が SA-20・22・26・30・32・35・37・38・40・47・49 の覆土から採取され、SA-20 と 33・34・35 からは鉄分沈積層膜 (褐鉄鉱) が出土している。丹塗り土器は細片 3 点のみの出土であり、赤色顔料は別の用途で使用されたのであろう。

終野第1遺跡は、高位段丘面60haが周知の遺跡となっているが、過去における県文化財課による試掘や南北の県道拡幅工事現場、令和元年度の畑灌工事現場等を見ると、北側に縄文～古墳中期の集落、北東部と南西部に小規模な古代の柱穴群が包蔵している以外は遺構・遺物は希薄である。南西部に集落が包蔵するのは、段丘下（浜川原地区）に豊富な湧水があるからだと思われる。広大なこの土地は、古代には牛馬の放牧地となっていた可能性があるが、令和4年度の発掘調査内容が物語るかもしれない。

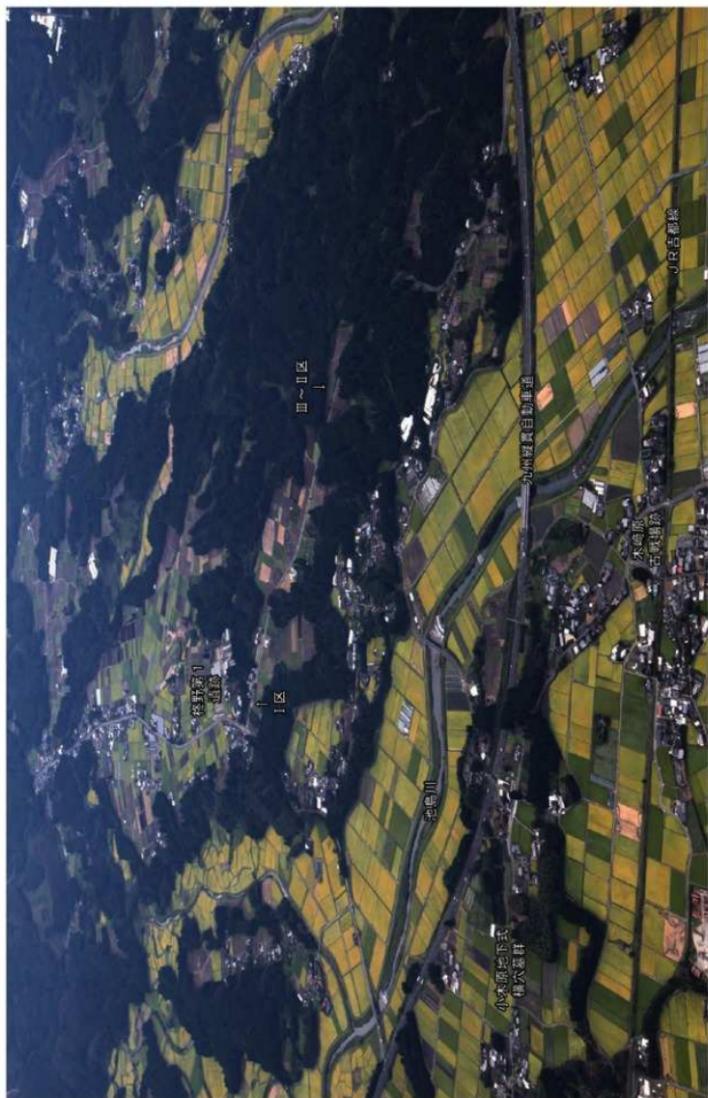
弥生時代中期後半、市内の中位～高位段丘に立地する天神免遺跡ほか、内小野、古屋敷、馬場田、上田代、田之上城跡、佐牛野遺跡など、西から東までの要所で黒髪式土器が出土しているが、当該期の堅穴建物を検出したのは本遺跡のみである。

古墳時代前期には小鍛冶も営み、市内でも最有力の拠点であったと思われる。対岸の小木原地下式横穴墓群蔵支群内には、市内唯一の木棺墓や木蓋土墳墓が営まれ、弥生後期～古墳前期後半に北郡九州系の文化・文物が入る。その居住地が終野第1遺跡の北縁であった。

なお、久見迫・馬頭支群が営まれた古墳後期の遺構は検出されなかったので、上田代遺跡と妙見遺跡が視野に入る。

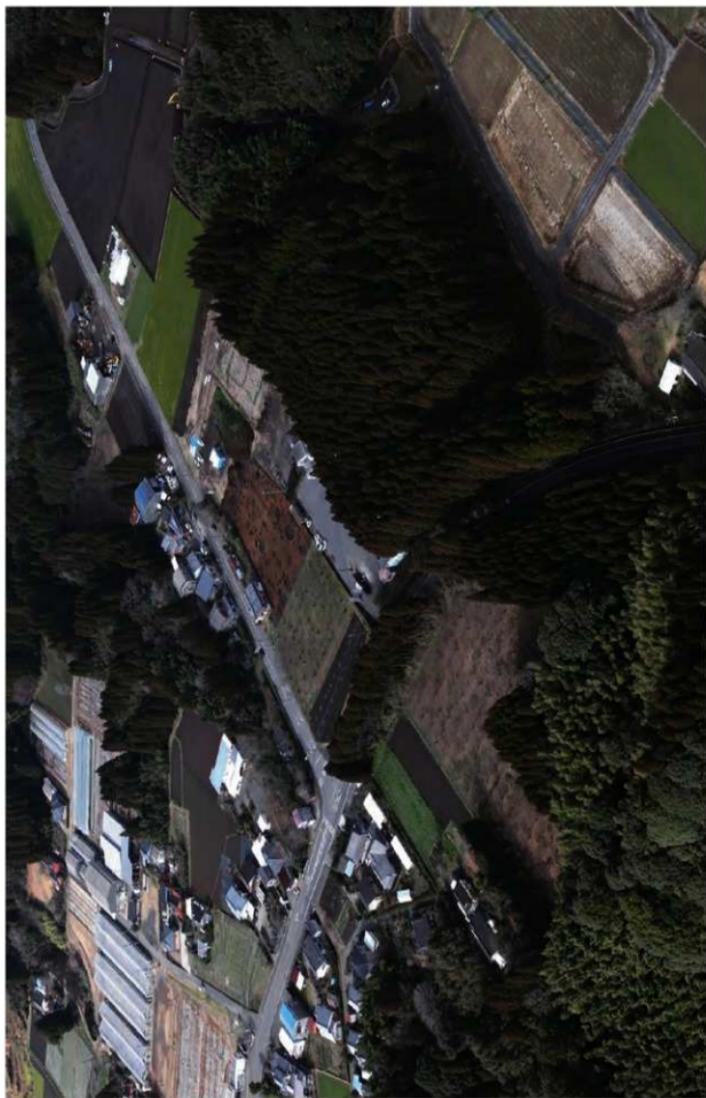
註

- (1) 宮崎県教育委員会『野久音遺跡、平原遺跡、妙見遺跡』1994、東潮『古代アジアの鉄と倭』1999、鹿児島大学総合研究博物館『大隅半良岡崎古墳群の研究』2008
- (2) 宮崎県立西都原考古博物館『馬韓・百済と南九州』2016
- (3) 杉井健「(8) 漆塗り製品⑤矢柄」『雲野山古墳の研究』1996 八日市市教育委員会
- (4) 本市には、2ヶ所で鉄鉱石を産出する。西北部の西の野地区の鉄鉱石は幕末～明治期に採掘され、鹿児島市の薩摩藩集成館へ運ばれ、原料の一部を担っていた。地元でも、明治19年に高炉が建設され、製錬が大正2年まで行われた。昭和22年までは採掘のみ細々と行われたらしい。一方、東北部には標高715mの鉄山があり、西沿いの谷には鉄山川が流れ、山砂鉄を産出していたらしい。幕末には良質の小型刃物も造られていたらしいが、詳細不明である。山砂鉄の利用がいつの時期まで遡るか不明であるが、終野第1遺跡に持ち込まれた砂鉄が鉄山産の可能性もある。
- (5) 甲斐康大「宮崎県北部の発掘調査事例～今井野遺跡～」『2010 鉄技術資料検討委員会 in 宮崎 資料集 日向における古墳以前の鉄器生産』ユーラシア治鉄史研究会 2010
- (6) 渡辺誠「編み物用錘具としての自然石の研究」『名古屋大学文学部研究論集（史学）LXXX』1981
- (7) 中野和浩「市内出土の編み物石について」『えびの市歴史民俗資料館年報 No6』2016



調査地遠景

図版 2



I区 調査地近景 (東から)



I区 全景



I区 全景 (西から)

図版 4



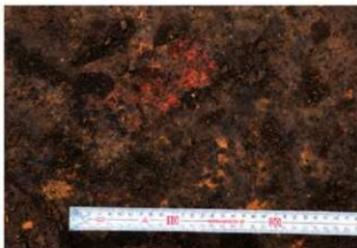
SA-01 1層 遺物出土状態 (北から)



同 (南から)



同 南西部の台石と焼土 (東から)



同 南西部 赤色顔料 (西から)



同 断面層序 (南東から)



同 南北畦東壁 断面層序 (東から)



同 内区 断面層序



同 床面 全景 (西から)



SA-02 1層 遺物出土状態 (北から)



同 (南から)



同 断面層序 (北東から)



同 南北畦東壁と内区遺物 (南東から)



同 内区 北東部床面と断面層序 (東から)



同 内区 床面・遺物出土状態 (東から)



同右上 中央部 火処 (東から)



同 貼床除去後 全景 (東から)

図版 6



SA-03 上層 遺物出土状態 (西から)



同 (東から)



同 外区東中央部 2次床直 遺物 (南から)



同 断面層序 (南東から)



同 北東区 床面・北壁～東壁 (北東から)



同 東西畦東半 内区北壁 (北から)



同 東西畦東半 内区北壁 (南から)



同 貼床除去後 全景



SA-04 上~中層遺物 出土状態 (西から) 同 (東から)



同 北東部 土器溜まり 上層 (北から) 同左 中層 (西から)



同 断面層序 (南西から)

同 (北西から)



同 床面 遺物出土状態 (南から)

同 床面 全景

図版 8



SA-05 1層 遺物出土状態 (北西から)



同 内区 (北西から)



同 畦 東・南壁層序・床面 (南東から)



同 内区 断面層序 (南から)



同 2本柱 完掘状況 (南から)



同 床面 全景



SA-06 床面・遺物出土状態 (南から)



同 北東部 遺物集中部 (南から)



SA-06 遺物集中部 磨製石鏃他 (南から)



同 床面 全景



SA-07 1層 遺物出土状態 (南から)



同 東半部 遺物出土状態 (東から)



同 床面完掘全景 (東から)



同 床面 全景



SA-08 東半部 1層 遺物出土状態 (南から)



同 床面 全景

図版 10



ST-01 遺物出土状態（東から）



同 完掘（東から）



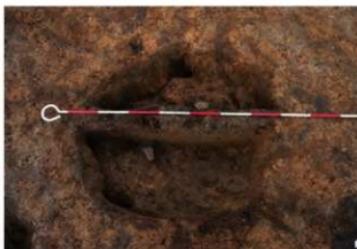
同（北から）



同 玄室



同 羨門～玄室



SK-23 遺物出土状態・断面層序（南から）



SK-42 遺物出土状態（東から）



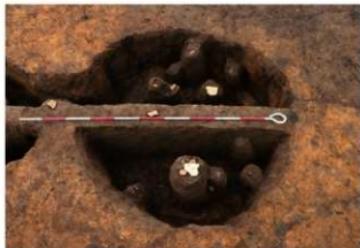
同左 下部遺物（東から）



SK-45 遺物出土状態・断面層序 (南から)



SK-49 遺物出土状態・断面層序 (東から)



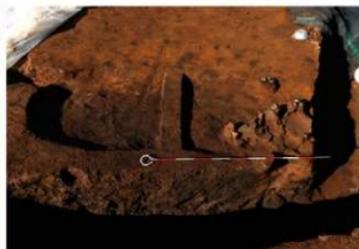
SK-52 遺物出土状態 (北から)



SK-53 遺物出土状態 (南から)



SK-55 遺物出土状態 (南東から)



SK-63 遺物出土状態



SK-66 遺物出土状態 (東から)



SK-37 ~ 40・56・57 断面層序 (北から)

図版 12



SD-01 遺物出土状態・北壁層序（南から）



北側 IVa層遺物 出土状態（南西から）



同右上（東から）



同左 北東部（南から）



同右上 磨製石斧とその周辺（南から）



トータルステーション遺物取上（南西から）



ラジコンヘリによる航空写真撮影



SA-03 貼床除去・清掃状況



Ⅱ区 全景

ドローン空撮
Ⅱ・Ⅲ区から
北西方向を
望む

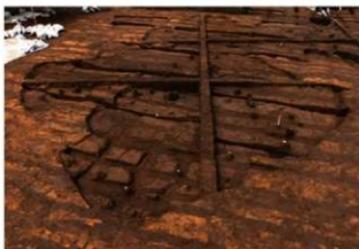


Ⅲ区から
小木原地下式
横穴墓群方向
を望む





Ⅲ区 全景（右上が北）



SA-09 ~ 11 1層 遺物出土状態(東から) 同 (西から)



SA-10 床面 全景



SA-09 ~ 11 床面 全景



SA-12 1層 遺物出土状態(西から)



同左 東西畦 南壁層序(南東から)



同 床面 全景(東から)



同

図版 16



SA-13 1層 遺物出土状態 (西から)



同 東西畦 南壁 断面層序 (南西から)



同 火処 平断面



同 床面 全景



SA-14 1層 遺物出土状態 (西から)



同左 (東から)



同 内区 遺物出土状態 (南東から)



同 北主柱穴・柱抜取穴・土坑 (西から)



SA-14 土坑 断面（西から）



同 南北畦 南半西壁 断面層序（西から）



同 鍛冶炉周辺の1c層（西から）



同左 接写（西から）



同 1c層の広がり～鍛冶炉検出



同 鍛冶炉 検出状態



同 鍛冶炉 底面



同左 接写

図版 18



SA-14 鍛冶炉 底面（北から）



同 北主柱穴内 甕底部を入れた甕



同 右上 甕の下から出土した甕底部



同 床面 全景



SA-15 1層 遺物出土状態（西から）



同左 内区 1層 遺物出土状態（南西から）



同 東西畦 南壁断面層序（南東から）



同 内区 断面層序（南東から）



SA-15 東端火処 底面・断面（南から）



同 床面 全景



SA-16 1層 遺物出土状態（北から）



同左 断面層序（西から）



同 床面 全景



同左



SA-17 1層 遺物出土状態（西から）



同 床直の土器と焼土・炭



ST-17 中央土坑と焼土・炭



同 土坑底面の炭化木片 出土状態（西から）



同 右上（東から）



同 床面 全景



SA-18 1層 遺物出土状態（北から）



同 北東部 遺物出土状態



同 南西部 火処



同 床面 全景



SA-19 1層 遺物出土状態 (西から)



同 断面層序 (南西から)



SA-20 1層 遺物出土状態 (西から)



同左 (東から)



同 南中央区 中央付近に編物石 4



同 南北畦西壁層序 (南西から)



同上 中央付近の内区 編物石等出土状態



同 床面 全景

図版 22



SA-21 1層 遺物出土状態 (西から)



同左 (東から)



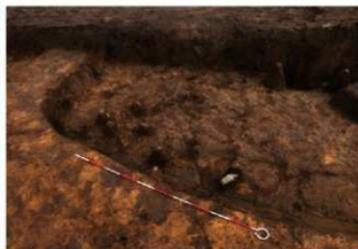
同 火処 断面層序 (南東から)



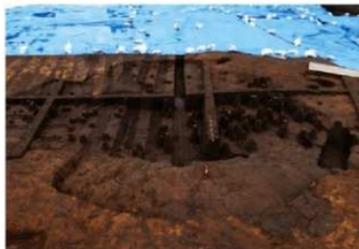
同 床面 全景



Ⅱ区 SA-22 1層 遺物出土状態 (南西から)



同 北端部 遺物出土状態 (西から)



Ⅲ区 SA-22 1層 遺物出土状態 (西から)



同左 (南から)



SA-22 内区 南西部 断面層序 (南西から)



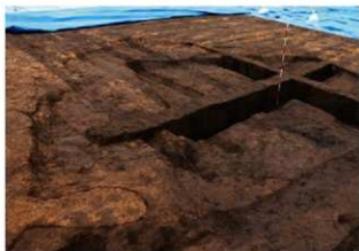
同 南北畦 南半 西壁層序



同 東西畦 中央寄 断面層序



同左 接写



同 西・北壁 断面層序 (北西から)



同 東・南壁 断面層序 (南東から)



同 内区 火処 断面

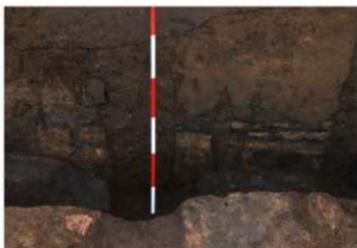


同 床面 全景 (右上が北)

図版 24



SA-23 1層 遺物出土状態・西壁層序



同左 西壁中央部 断面層序



SA-24 1層 遺物出土状態



同 南北畦 西壁層序 (南西から)



同右上 接写



同 床面 全景



SA-25 1層 遺物出土状態 (西から)



同 南半分 (東から)



SA-25 南半・西壁・内区床面



同 内区畦 西壁層序・被熱床面



同 右上 接写



同 内区・畦東～南壁・被熱床面



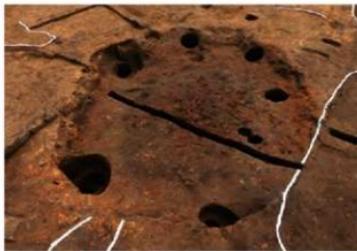
同 主柱穴P5（南から）



同 主柱穴P1（南から）



同 主柱穴P6（南東から）



同 内区 被熱床面

図版 26



SA-25 内区 被熱床面



同 床面 全景



SA-26 1層 遺物出土状態 (西から)



同 東側中央土坑 遺物出土状態



同 西・北壁層序 (北西から)



同 南北畦 南半西壁 断面層序 (西から)



SA-27 1層 遺物出土状態 (東から)



同左 南東部



SA-27 南東部 断面層序 (南から)



SA-26・27 床面 全景 (右が北)



SA-28 1層 遺物出土状態 (南から)



同左 (東から)



同 北東角の土師器



同左 下部出土状態



同 北西区内 甕ほか



同 東西畦 東半内 二重口縁壺

図版 28



SA-28 断面層序 (南東から)



同 火処 断面層序



同 断面層序 (北東から)



同 中央部 主柱穴



SA-29 北東部 火処 (南東から)



同 柱穴と断面層序



同 南側 床面 (南から)



SA-28・29 床面 全景



SA-30 1層 上~中層遺物出土状態(南西から)



同 南西区画(南西から)



同 右上 高環等 出土状態



同 南中央区画 鑄造鉄斧等出土状態(南から)



同 南東区画 破・高環等出土状態(東から)



同 南西区画 1層 下層 遺物出土状態



同 右上 中央付近 石包丁等出土状態



同 南中央区画 1層 下層 鉄燄と編物石ほか

図版 30



SA-30 南東区画 編物石と断面層序



同 南中央区画 北西部の土坑内遺物



同 南東区画 甕（南から）



同 南西区画 火処



同 右上 内底の赤色顔料



同 南東区画 北西部 火処内遺物



同 南東区画 焼土と鉱滓・炭化物



同左 接写



SA-30 断面層序（北から）



同 南西区画 東南壁



同 内区 貼床確認



同左 接写



同 南半 北～西壁 断面層序



同 床面 全景



SA-31 1層 遺物出土状態



同 西半部

図版 32



SA-31 北西端 鉄鏃 出土状態



同 東半 1層 遺物出土状態



同 中央付近 火処 上面



同 中央畦 西壁層序



同上 断面層序



同 床面 全景



SA-32 遺物出土状態 (南西から)



同 (北東から)



SA-32 南西区画 北東部 火処



同 西中区画 東部 火処



同上 断面層序



同 東部 火処



同 断面層序



同 断面層序



同 中央西端 火処



同左 断面層序

図版 34



SA-32 中央西端火処 断面



同 北東部



同 南半 北壁層序



同 床面 全景



SA-33 1層 遺物出土状態 (西から)



同左 (北から)



同 北端部 砥石と編物石 出土状態



同 石製模造品とその周辺



SA-33 刀子ほか 出土状態



同 北西端部 被熱礫集積状態



同 中央部 断面層序 (北東から)



同左 中央部 火処 断面



同 中央部 火処



同 床面 全景



SA-34 1層 遺物出土状態 (南から)

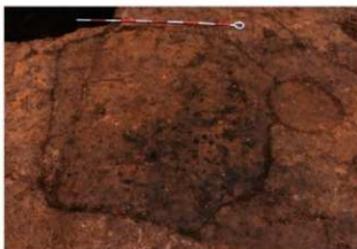


同 南西区画 南東角 土製勾玉と編物石

図版 36



SA-34 南東区画 砥石ほか出土状態



同 南西区 南西部の火処 検出状態



同 北西区 火処



同 1層 下層遺物 出土状態



同 南～西壁層序



同 中央付近 断面層序



同 砥石ほか出土状態



同 床面 全景



SK-140 (SA-35 B埋没後切込) 遺物出土状態



同左 中央底面 蓋 出土状態



SA-35A 1層 遺物出土状態



同 U字溝型掘込内遺物



同 小型壺 出土状態



同 内区 1層 断面



同 内区 断面層序



同左 接写



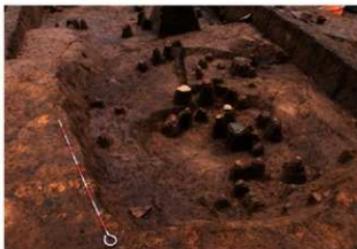
SA-35 A 床面 全景



SA-35 B 床面 全景



SA-36 西半部 1層 遺物出土状態



同左 下層・土坑上層遺物



同 火処・台石出土状態



同 中央付近の火処



同上 断面層序



同上 火処 接写



SA-36 南東部 VII b層 採掘穴断面層序



同左 完掘（東から）



同右上 底面 工具痕



同 床面 全景



SA-36 外方 SK-141 上層 遺物出土状態



同左 下層 焼土・炭



同 完掘



SZ-02 遺物出土状態（南西から）

図版 40



SA-37 1層 遺物出土状態



同 台石と火処



同 内区 東部の土器片 出土状態



同 南東部 断面層序（北から）



同右上 蛙除去 鉄鎌状鉄片



同 断面層序（北から）



同 東壁層序



同 床面 全景（南半分）



SA-38 北西部 1層 遺物出土状態



同 東部火処と周辺



同 火処



同 火処 断面層序



同 西北部 朱と編物石



SA-39 遺物出土状態



同右上 断面層序（西から）



SA-38・39 床面 全景

図版 42



SA-40 管玉と台石 出土状態



同左 接写



同 床面と火処



同 断面層序



同 東西畦 北壁層序



同 南東部と東端中央火処 1c層



SA-42 北西区 東南部 火処



同 1層下層 遺物出土状態



SA-43 断面層序 (東から)



SA-43 東端～SA-40 西端 断面層序



SA-44 南東区 火処 (南から)



同 南東区 南西部土坑 断面



同 断面層序



同 火処 断面層序



SA-47 南西区 南東端 土坑内遺物



同 VII b層採掘穴 断面層序

図版 44



SA-47 VII b層採掘穴 完掘



同左 底面



同 断面層序



同 火処 断面層序



SA-38 北西区 1層 上層遺物出土状態 (北から)



同 (東から)



同 接写 (北から)



SA-48 東西畦東半 1層上層 遺物出土状態 (南から)



同 火処の上 1a層内



同 西端部側面 (北から)



同 西端部 塞内外 入れ子状態



同 西南区中央寄り 火処



同右上 南北畦 東壁層序 (北東から)



同 東西畦 西側 断面層序

図版 46



SA-49 断面層序 (南東から)



同 火処と断面



同 南北断面層序 (北東から)



同左 中央寄り 接写



SA-50 畦 南・西壁 断面層序 (南西から)



同 火処部分 断面層序



同 (北西から)



同 西端部 断面層序 (南から)



Ⅲ区 遺構検出作業（東から）



同 南東部（北東から）



Ⅱ区 SA-13 掘込作業（西から）



Ⅲ区 SA-28 掘込作業（北から）



SA-30 内区 サブトレ掘込～清掃（南から）



SA-36 掘込作業



SA-26 ~ 29 トータルステーション測量

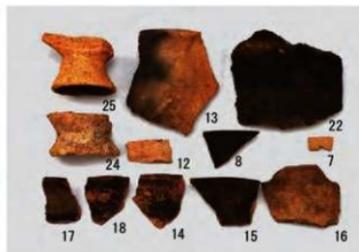


航空写真撮影

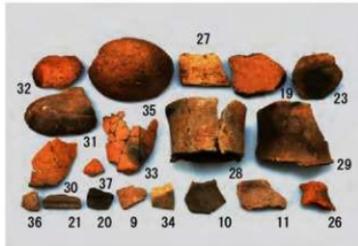
図版 48



SA-01 出土土器



SA-02 出土土器 (1)



SA-02 出土土器 (2)



SA-03 出土土器 (1) 同左 (2)



SA-03 出土土器 (3) 同左 (4)



SA-04 出土土器 (1)



SA-04 出土土器 (2)



同左 (3)



SA-04 出土土器 (4)



SA-07 出土土器



SA-08 出土土器

SK-63 出土土器



SA-05 出土土器



SA-06 出土土器



SK-55 出土土器



I 区出土 縄文土器

図版 50



I区 弥生赤彩土器 右：青花



I区 出土土器片加工円盤，土器片加工方形品



SA-01 出土石器



SA-02 出土石器 左上の礫：上端面に擦痕



SA-03 出土石器 (1)



同 (2) (2層)



SA-03 出土石器 (3)



SA-04 出土石器



SA-05 出土石器・石製品



SA-06 出土石器



SA-07 出土石器 (1)



SA-07 出土石器 (2)



SA-08 出土石器

图版 52



I区 SK·IV a層出土石器



I区 II~III·IV a層·SK·攪乱 出土石器



SA-09 出土土器



SA-10 出土土器



SA-11 出土土器



SA-12 出土土器



SA-13 出土土器

図版 54



SA-14 出土土器 (1)



同左 (2) 鍛冶炉付近・鍛冶炉直上出土 甕
外面のススを年代測定



SA-14 出土土器 (3)



SA-16 出土土器

SA-15
出土土器



SA-17
出土土器(1)



同上(2)



図版 56



SA-18 出土土器 (1)



同上 (2)



SA-19 出土土器



SA-20 出土土器 (1)

SA-20
出土土器(2)



SA-21
出土土器



SA-22
出土土器(1)



同上(2)



図版 58



SA-22 出土土器 (3)



SA-23 出土土器

SA-24 出土土器 (1)



同上 (2)



SA-24 出土土器 (3)



SA-25
出土土器 (1)



同上 (2)



図版 60



SA-26 出土土器



SA-27 出土土器



SA-28 出土土器 (1)



同左 内面

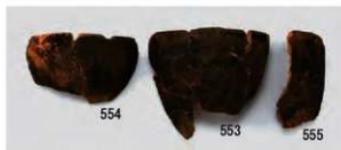


SA-28 出土土器 (2)

反転

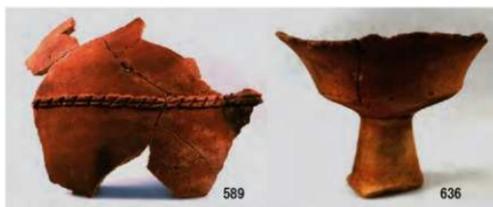


SA-29 出土土器



SA-30 出土土器 (1)

図版 62



SA-30 出土土器 (2)



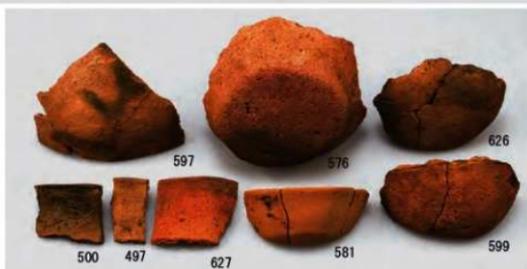
同上 (3)



同上 (4)



SA-30 出土土器 (5)



図版 64



SA-30 出土土器 (6)



同上 (7)



同上 (8)



SA-30 出土土器 (9)



656



同上 (10)



679

SA-31
出土土器 (1)

同上 (2)



689

同右上 (3)



670

672

669

671

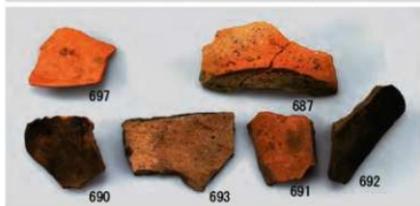
668

665

661

663

666



SA-31 出土土器 (4)



SA-32 出土土器 (1)



SA-32 出土土器 (2)

图版 68



SA-32
出土土器 (3)



SA-33 出土土器



SA-34 出土土器 (1)

SA-34
出土土器 (2)



同上 (3)



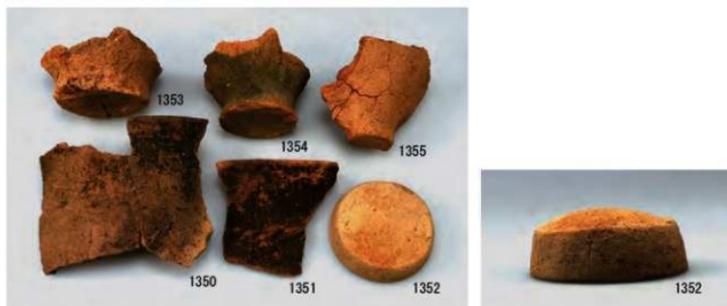
同上 (4)



図版 70



SA-34 出土土器 (5)



SK-140 (SA-34 埋没後に切り込む土坑) 出土土器



SA-35 出土土器 (1)



同上 (2)



同上 (3)

SA-35
出土土器 (4)



同上 (5)



SA-35 · 35A
出土土器



図版 72



SA-35B 出土土器



SA-35C 出土土器 (1)



SA-35C 出土土器 (2)



同上 (3)

SA-35C
出土土器 (4)



SA-36
出土土器 (1)



同上 (2)



図版 74



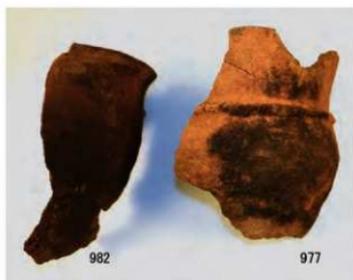
SA-36 出土土器 (3)



SK-141 (SA-36 南東) 出土土器 (1)



SK-141 出土土器 (2)



SA-37 出土土器 (1)





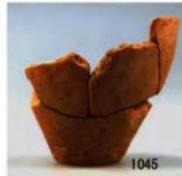
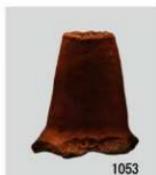
SA-37
出土
土器
(2)



同上
(3)

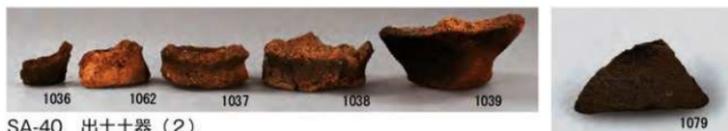


SA-38
出土
土器



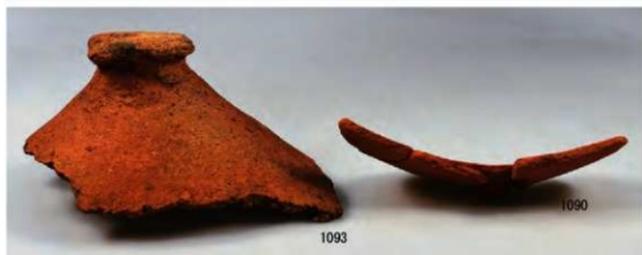
SA-40 出土土器 (1)

図版 78

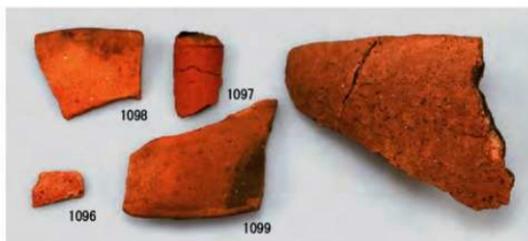


SA-40 出土土器 (2)

須恵器



SA-41 出土土器



SA-42 出土土器



SA-43-44 間IV a 層
出土須恵器

SA-43
出土土器



SA-44
出土土器



SA-46
出土土器



図版 80



SA-47
出土
土器 (1)



同上 (2)



同上 (3)



1184の内面



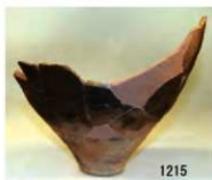
SA-47 出土土器 (4)



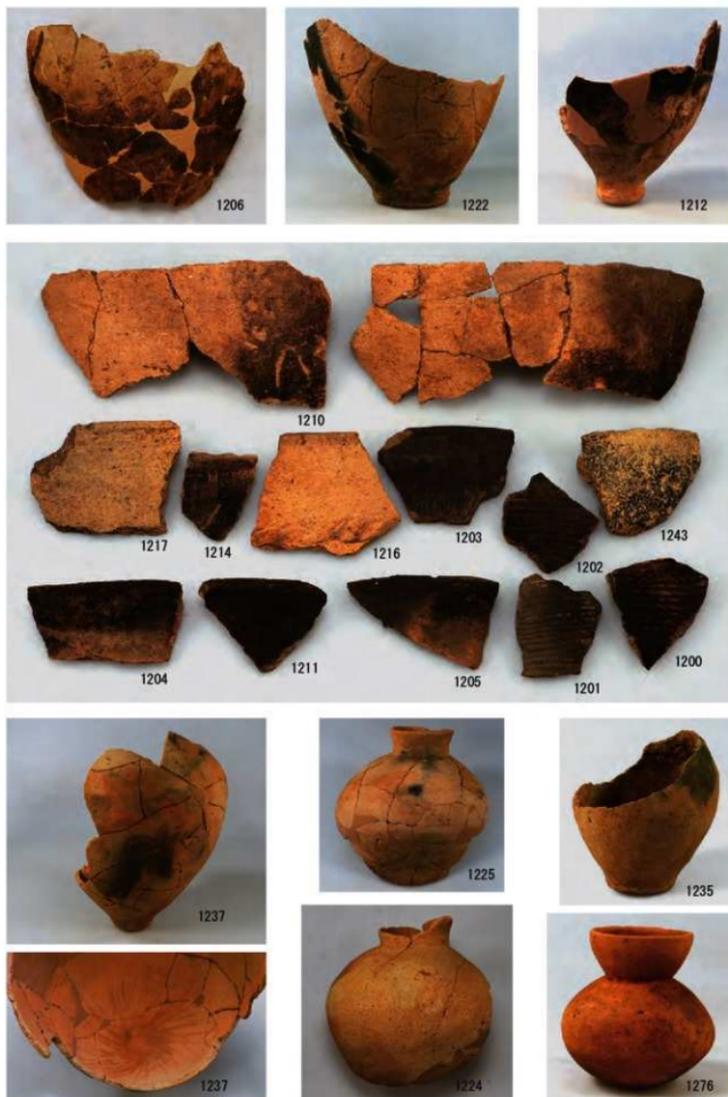
SA-47 内SK 出土土器



SA-48 出土土器 (1)



图版 82



SA-48 出土土器 (2)



SA-48 出土土器 (3)

图版 84



SA-48 出土土器(4)



SA-48 出土土器 (5)



SA-49 出土土器 (1)

図版 86



SA-49 出土土器 (2)



SA-50 出土土器



SK-95 (1), (2),
SK-103, SR-03,
SZ-02 出土土器



Ⅱ～Ⅲ層ほか
出土土器

Ⅱ～Ⅲ層
出土土器





Ⅱ～Ⅲ区 出土 縄文土器



SA-34 出土 土製勾玉

Ⅱ～Ⅲ区 須恵器, 土師質土器



SA 出土 小玉, 管玉
左から SA-35B, SA-35C,
SA-36, SA-48, SA-48,
SA-48, SA-49, SA-50,
SA-40



土製品, 被熱発泡土器片 左から SK-141, SA-40, SA-33,
SA-25, SA-30 出土



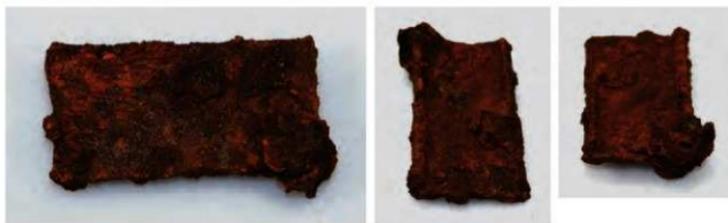
SA-17 出土
炭化木製品

同上
655
内面

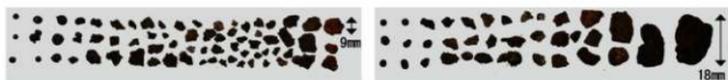




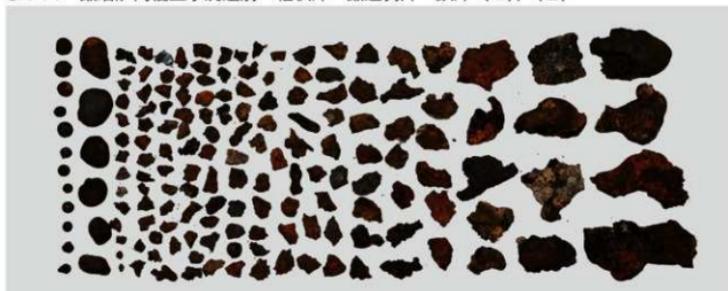
II~III区 出土 鉄器・鉄片



SA-30 出土 鑄造鉄斧 斜側面～裏面 短辺



SA-14 鍛冶炉内覆土水洗選別 粒状滓～鍛造剥片～鉄滓 (1), (2)

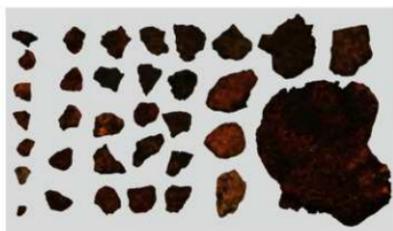


上: 同上 (3)
左上は直径
3mm, 右上は
長さ 19mm

左: 同上 (4)
左上は直径 4mm

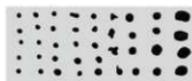


同上 (5) 覆土出土 鉄滓



SA-14 鍛冶炉周辺 1c層水洗選別 鍛造剥片・鉍滓

右上：長さ 10mm



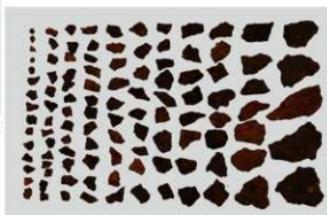
同左 粒状滓 右上長さ 3.5mm



SA-18 焼土水洗選別



SA-35C 1c層水洗選別



SA-34 南西部 1c層水洗選別 鍛造剥片 右上：長さ 8mm



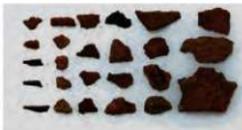
SA-40 北東部 1c層水洗選別



SA-40 南部 1c層



同左 右上長さ 3.5mm



SK-141 水洗選別 鍛造剥片



SA-40 1c層 (焼土混)



SA-49 1c層水洗選別



鉍滓 左から SA-17, SA-31, SK-103 出土

赤色顔料の素材
左から SA-20 の褐鉄鉱、
SA-30 の朱塊、
SA-49 の朱塊



SA-36 1c層水洗選別

左列から炭片・粒土器片
小礫
粗砂
中砂
微細砂
砂鉄



図版 92



SA-09 出土石器



SA-09 ~ 10 出土石器



SA-11 出土石器



SA-14 出土石器



SA-13 出土石器



SA-14 出土石器



SA-20 出土石器 (1)



同上 (2)



SA-18 出土石器



SA-21 出土石器



SA-23 出土石器



SA-22 出土石器



SA-24 出土石器



SA-25 出土石器 (1)



SA-25 出土石器 (2)



SA-27 出土石器



SA-28 出土石器



SA-30 出土石器 (1)



SA-30 出土石器 (2)



同上 (4)



同上 (3)

図版 94



SA-31 出土石器



SA-32 出土石器 (1)



SA-32 出土石器 (2)



SA-33 出土石器 (1)



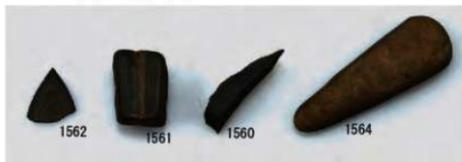
SA-33 出土石器 (2)



同左 (2)



SA-34 出土石器 (1)



同上 (3)



同上 (4)



SA-35 出土石器



SA-35C 出土石器 (1)



同上 (2)



同上 (3)



SA-36 出土石器 (1)



同左 (2)



SA-36~37 出土石器



SA-37 出土石器 (1)



SA-36 出土石器 (2)



SA-37 出土石器 (2)



SA-38 出土石器 (1)



同左 (2)

図版 96



SA-40 出土石器 (1)



同左 (2)



同上 (3)



SA-41 出土石器 (1)



同左 (2)



SA-42 出土石器 (1)



同左

SA-43
出土石器



(2)



SA-44 出土石器 (1)



同左 (2)



SA-46 出土石器 (1)



同上 (2)



SA-47 出土石器 (1)



SA-47 出土石器 (2)



SA-48 出土石器



SA-49 出土石器 (2)



SA-49 出土石器 鉄床石か

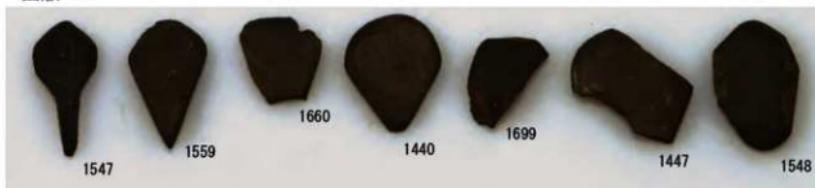
右:
SA-49
出土
石器
(1)



II~III区 II~III層 出土石器

II~III区
攪乱ほか
出土石器





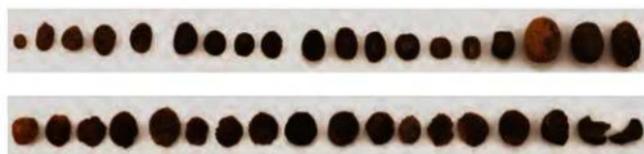
鉄鋳模造品・類似品 集合



器面調整具 集合



小型砥石・類似品 集合



左端はSA-43出土マノ類(6mm)他
はSA-03~06, 15, 17, 18, 9A-
21, 33, 50, 96出土マノ類

SA-01, 14, 15, 20, 25, 28, 34,
35, 36, 37, 48出土炭化モノ核
SA-30出土ク核左端長さ13mm

報 告 書 抄 録

ふりがな	ふきのだいいち いせき					
書名	終野第1遺跡					
副書名	県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書					
巻次						
シリーズ名	えびの市埋蔵文化財調査報告書					
シリーズ番号	第61集					
編著者名	中野和浩, (株)古環境研究所					
編集機関	えびの市教育委員会					
所在地	宮崎県えびの市大字大明司 2146-2					
発行年月日	2022年3月31日					
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		調査期間	調査面積	調査原因
		市 町村	遺跡 番号			
ふきのだいいち いせき 終野第1遺跡	えびの市大字 ^{すえなが} 末永 ^{うきはら} 上原ほか	9	3048	2018.10.18 ～ 2019.2.13 2019.7.22 ～ 2020.3.25	5,150 m ²	畑地灌 漑事業
所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
終野第1遺跡	集落	古墳	竪穴建物 土坑	土器、鉄鏝、刀子、 鋳造鉄斧、編物石	鍛冶炉、鉄滓、粒状 滓など出土、半数以 上の竪穴建物の火処 から砂鉄を採取	
要 約						
<p>小木原地下式横穴墓群の中でも、有蓋土壙墓や木棺墓、横口式土壙墓、竪坑上部閉塞タイプ地下式横穴墓を営んだ集団の、古墳時代前期を主とする大集落と推定される。竪穴建物は不定形の間仕切り住居が多く厚さ20～30cmの貼床がある。貼床に使用するためのクサリ礫混じりの硬い土を採掘した穴も2基検出した。大型建物では、小鍛冶が営まれ、截断された半島の鋳造鉄斧や鉄鏝・小刀子・鉄片などが出土している。</p>						

えびの市埋蔵文化財調査報告書 第61集

柗野第1遺跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

令和4年3月

編集・発行 えびの市教育委員会
えびの市大字大明司2146-2
印刷 株式会社 大口新生社印刷
鹿児島県伊佐市大口大田2319-1

